さえずり日誌（自分用）。

午雲

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
http://pdfnovels.net/

注意事項

このＰＤＦファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にＰＤＦ化させたものです。

この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのＰＤＦファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

さえずり日誌（自分用）。

【Ｎコード】

Ｎ９５７９Ｋ

【作者名】

午雲

【あらすじ】

祝リニューアル以後の活動報告の写しです。コメントもそのまま載せさせてもらって居ます。週一更新（切り貼りするだけ）。

1）・2）

1）祝リニューアル！

ようやくリニューアルが行われ、うれしい限りです。
現在「耳から草子」第六十一段まで。
エッセイです。
え？小説書けよって？わたし、俳句よみですから（笑）

２００９年　０９月　３０日　（Ｗｅｄ）

＊　＊　＊　＊　＊

さっそく、コメントしてみます。
更新を、密かに、楽しみにしていますよ♪
この活動報告って、気軽に書き込めて、交流できそうで、良い機能のような気がしますよね。
自分だけかな。
投稿者：まいまい@ノ”

＊　＊　＊　＊　＊

失礼いたします。
リニューアルしましたね。
これからもよろしくお願いいたします。
ストローをなおされているのを見ましたので、また何か感想を書かせていただきます。
それでは失礼いたしました。
投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊

ビバ☆リニューアルっ
（さとちゃんの真似（笑）
これからもまた～りと愉快かつちょっとブラックユーモアも含んだ午雲先生の小説を楽しみにしています♪←これは短編の話。
耳から草子もちょっとずつ読んでま～っす♪
感想が中々つけられんけど、しっかり読ませて貰ってますので（笑
また、余裕ができたら遠慮なくお邪魔いたしますね（´ ―、）～♪
投稿者：河野夜兎

＊　＊　＊　＊　＊
まぁ！　うさちゃんったらこんなところでお披露目！？ｗｗ
私ってビバ☆カーニバルなイメージ強いかしらん♪ｗｗ
午雲先生！　やっとここまで来れました！！（苦笑）。
改めてこれからも宜しくお願いします！
こういう場があるのもまた新鮮で良いものですね！
お互い頑張りましょうね！
投稿者：妃宮　咲都

＊　＊　＊　＊　＊
つかぬ事をお伺い致しまするが・・ビバとは何語ぞな、もし？
爺にはちと解かり兼ねまするが・・（お茶）。
日々勉強の積もりで頑張らせてもらいます。
みなさま、ありがとうございます。
投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

2）イラスト。

短編「からす」（童話）に挿し絵が付きました。
まいまい@”先生、ありがとうございます！
しかし、イラスト描いたヒトの許しを得ずに、取りこんで、事後報告で、お礼とか伝えた場合は、どうなるんだろう？
閲覧は自由だけど使用は自由じゃ無い、という決まりなのだろうか？
まさか無断使用で訴えられたりはせんよね？？
本音はもう見つけ次第、手当たり次第、好き放題、思う存分に取り込みたいところだけどー
（・・事後報告で・・・）。

２００９年　１０月　１０日　（Ｓａｔ）

＊　＊　＊　＊　＊
いやいや！
よした方がいいと思いますよ！！
まいまい様の場合は、午雲先生と交流がおありだから大丈夫でしょうが、他に無交流の絵描きさんから絵を取り込む場合、必ず事前連絡した方が得策かと思われます。
やはり絵描きさんにも素人とはいえ、著作権は発生しますからね。
俗に、逆をやられたと思って下さい。
自分の作品を、勝手に絵描きさんが取り込んで絵を載せてたら戸惑うでしょう？
まぁ、午雲先生は寛大なお方そうだから、細かい事はおっしゃらないでしょうが。
トラブル予防の為にも、お伝えしておきます。
投稿者：妃宮　咲都

＊　＊　＊　＊　＊　＊

うーむ、やはり著作権が…そうですね。バーストしても困るし…
やはり絵描きさんのご好意を待つ形なんですね！早まらんときます。
そもそも挿し絵に使って！なんて思いもしとらんヒトかて居てるやろうし…（汗）。
コメントありがとうございます☆
投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

妃宮　咲都　様も、おっしゃっている通り、事前に連絡したほうが、トラブルが少なくて良いと思いますよ。
自分の小説用に描いたものだから、とか、知人に描いてもらったものなので、とか、そういう理由で、他の小説で使われるのはちょっと、と言う人もいるかもしれないですから。
自分も、まさか、午雲　先生から、使いたいという言葉をいただけるとは思っていませんでしたしね……
絵を使いたいと思うほど、気に入ってくださって、嬉しく思いましたよ。
どう思うかは、人にもよると思いますが……
自分は、大抵の場合、連絡もらえれば、快く使用許可というのか、挿絵を差し出しますよ。
まぁ、自分の描く絵は、自分の小説にしか使えないような絵が大半ですけれどw
投稿者：まいまい@ノ”

＊　＊　＊　＊　＊　＊

まいまい@”さん、コメントありがとうございます。
わたしの好みは具象・和風・風景画なのでW骨董品とかが好きなタイプです。
そうか、自分の作品をイメージして描いた場合なら、唯一無二と

思ってるのが普通ですね。
たとえば連載小説に全回、挿し絵つけたいと思えば、もうあちこちから集めて来ないと（絵描きさんの身になってみないとその苦労がわからない汗）。
確かに、挿し絵を頂いてからアクセスが増えて呉れたみたいで…また宜しくお願いしますね（図々）。
投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

1）・2）（後書き）

活報まで読んで下さる皆さまへ感謝の思いです。

3）・4）

3）話別アクセスと休載。

午雲、わたしがここへ参加して、もうすぐ一年。
今日頃は「耳から」を書くだけで精一杯だが、ー
話別アクセスが復活したので、これがまた非常に気に為る。
我ながらどの段をも、もれなくお気に入りなのだが、ー
ところどころ、アクセスが跳んで居たりすると、
（もしか読みづらくて途中で止めたのかな・・？）
とか思いわずらってしまう。
他の作者さんのカササギをもよく覗いて居るのだが、ー
壱日の間に全話にわたって読まれて居る作品をもちらほら見かける。

気が付くと十万字を超えて来たので追い追い修正をも施して行きたい。
小説のようなエッセイになればなァ、とは思って居る（独り言）。

クレオ7さん程では無いけれど「耳から」がジャンル・エッセイにて上位にランクされるに至った事は書き手としてやはり喜ばしい。
アクセス0の日が無いことが何よりうれしく大いに励みに為る。
気軽に読めるのがエッセイの強み、みなさんもどんどん書いて欲しいと思う。
なお、ネタ切れのため、しばらく休載いたします。あしからず。

２００９年　１１月　３０日　（Ｍｏｎ）

＊　＊　＊　＊　＊

話別アクセスは、誰がどの話を見ていくのか分かって、面白いですよね。
第1話が多いのは、予想していましたが、
最終話しか読まずに去っていく人とかw
エッセイは、短編で、しかも1つしか書いたことしかありません。
でも、何かつれづれと、何か連載、書いてみるのも良いかもしれない……ふっふっふ。
投稿者：まいまい@ノ”

＊　＊　＊　＊　＊
まいまい@さん、コメントありがとうございます。
連載はやり甲斐が有るけれど、読んでくれるかな？という不安は常にありますね（汗）。
わたしなどは絵心に欠けて居るので、絵を描く人の心境には興味が向きます。
ぜひ、書いてみてほしいですね！
投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

4）　師走。

彼の司馬遼太郎さんが、
「エッセイを書くと想像力が鈍るような気がするので成るだけ書かないように心掛けて居る。」
と何処かしらで述べて居たが、
（・・案外そんなものかも知れない・・・）
と今更ながら実感するに至った。

理屈ばかりこねて居たせいか全く想像力が湧いて来ないのだ。

（歳のせい？スランプ？）

また猫でも飼いたいけれど壁で爪を研ぐのが玉にキズ、ー
よそのクルマの天井に飛び乗ったりするので近所の眼も厳しい。
かといって犬は散歩へ連れてゆくのが面倒だ。

温暖化のせいか気候はあったかいけど世間の風は寒い。

飼い犬を譲る張り紙　年の暮れ。　午雲。

２００９年　１２月　０１日　（Ｔｕｅ）

＊　＊　＊　＊　＊

私はエッセイ書くの苦手なので、書ける人を普通に羨ましいと思います。
それと同時に尊敬いたします。
それでは午雲先生にならって

年の暮れ　坊主走らず　スクーター

マスクしろ！　インフルエンザ　俺、頓挫・・・

山羊ノ宮
投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊　＊

あはははは（笑）。山羊の宮先生、御寄稿ありがとうございます。
そう今時は何故か袈裟掛けにスクーターですね（不釣り合い・・）
。

次の句「俺、頓挫」って・・・

山羊の宮さんもスランプなんですか（冬が苦手とか・・・）？？。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

犬、猫が面倒ならば、うさぎ。
あ、でも、うさぎは、色々かじるか。
じゃあ、イグアナとか、ナマケモノ……一般的じゃない～（笑）
最後に……w

雪の中　はねるウサギは　見えにくい。　まいまい@”

投稿者：まいまい@ノ”

＊　＊　＊　＊　＊

まいまい@”さんコメントありがとうございます。
野生のウサギがみてみたくなりましたW。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

多分スランプではないと思う。
けれど夏の頃に比べて勢いがなくなっているのは確かかなと思う。
あのころは何も見えず、突っ走っていたから。
今は少しだけ周りが見えて、散歩している感じ。
どっかで仕切りなおして、また走りださないとなぁと思いつつ、
のんびりまったりしているのでありました。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊

季節感って確かにありますよね。

冬に夏の話しは似合わないし…
クリスマスが近づくとまた色んな新作がお目見えするんでしょうね。
今から楽しみです！
投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

5）・6）

5）不惑？

彼の孔子は「論語」にて、
「四十にして惑わず。」
と言った。
社会の空気を吸って居ると否応なしに色んなことを知ってしまう。
日々、幻滅してゆくと言っても好い。
三十九を境に、ー
名立たる作家が自殺してのけるのも、これ幻滅の結果とも言えよう。

テレビを見無く為る。
缶コーヒーが缶ビールにへと替わる。
三度三度、飯を食うのが面倒に思えて来る。

肩凝りや胸焼けを覚える。
他人に頭を下げることが苦でなくなる。

社会の現象には表と裏とが有る。
マスコミは流しても差し支えの無い処ろまでしか流さない。
書きたくても都合が悪くて書けないことが世には多い。

肩が凝る　知れば知る程　肩が凝る。　午雲。

２００９年　１２月　０２日　（Ｗｅｄ）

＊　＊　＊　＊　＊　＊

私も肩が凝ります。
肩凝りという言葉がない国では、肩凝りという概念がないとか。
日本に来て初めて肩凝りを感じる外国人もいるとか。
では、

泡沫の　人の命を　哀れども　急いたところで　霞は食えず

山羊ノ宮
投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊　＊

すみません。
もう一つ浮かんだものですから、

四十雀（しじゅうから）　真昼の雲は　肩が凝る

山羊ノ宮
投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊　＊

　山羊ノ宮先生、返歌、有り難う御座います。
死んだ方がマシだと今日も飯を喰う。　午雲。

これまた一層、肩が凝る句ですが、周りの空気は実際、こんな感じです。
（わたしはそれほどでも無いですけど…）。
煙草の値上げが心配です（失礼）。
投稿者：午雲

＊ ＊ ＊ ＊ ＊

6）短歌と俳句。

日曜日の朝だけはテレビを観る。
「美の京都遺産」「皇室アルバム」「新日曜美術館」という流れだ。
愛子さまと悠仁さまの健やかな姿が微笑ましい。

この前ちらっと「短歌の時間」を観てみて驚いた。
色紙に五行書きしてあるのだ。
あれは石川啄木の流儀、
「ページ数を稼いで原稿料を少しでも多く取る為め。」
彼が編み出した苦肉の策だとか。

それは好いけれど、内容の方が凄まじい。
まるで私小説みたいだ。短歌の「歌」は「告」か「白」に変えた方が良い。

短歌とは「消息」・・・短い手紙として用立って居た。
基本、二人称である（あなたへ向けて物語るので）。

又、ネットの掲示板みたく使う用もある。
伝言やら洒落、落書きとして張り出してゆくのである。

（さりげなく大路に落としたりするので「落書き」とか謂う。）
俳句とは、この辺りから来たものらしい。

通りすがりに大勢の者共が、

（なんじゃ、これ！？）
と面白がって読んでゆく。そうしてその日の話しの種になす。
誰が書いたのかなんて、そんなの関係無いのだ。

磯までは　海女も蓑着る　時雨かな。　　詠み人知らず。

やはり歌なら口ずさめるものが好い、と思う。

２００９年　１２月　０３日　（Ｔｈｕ）

＊　＊　＊　＊　＊
美術関係のテレビですかー・・・。

嫌いじゃないですけど、ゆっくり見る時間がなくて最近みてないですね。

見てるのは世界遺産くらいです。

凄いお金持ちだったら絶対世界遺産を旅すると思います。

椎名誠みたいな取材旅行もしてみたいものです。

短歌ですか・・・

冬の朝
布団にくるまり

後五分

すいませんくだらなくて（笑）

投稿者：大橋　秀人

＊　＊　＊　＊　＊　＊

大橋さんコメントを寄せて頂き有り難うございます。

世界遺産って誰が考えた事か知れませんが善いアイディアですね！

わたしならアンコール・ワットの遺跡へ行ってみたいです。

トルコのカッパドキアも入ってみたいですね。

（そういえば記念に落書きしてゆく日本人が多いとか・・汗。）

うふふ・・・この俳句、気持ち分かります（笑）。

わたしも冬場は置き時計の針をわざとに１０分、進ませて居ます。

そうしたら目が覚めてから１０分間は布団の中にくるまっててても

大丈夫でしょう？

（そのまま二度寝し　てしまう時もあるけど・・・）

起こして呉れるヒトが居たらなァ（なんちって）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

芸術系の番組は、あまり見ないですねぇ……

自分が見るのは、アニメか、科学・民族学系のバラエティ番組（

秘密のケンミンＳＨＯＷとか、飛び出せ　科学君とか）くらいかし

ら。

しかも録画して、あとでゆっくり見る派。

ここにコメントする人は、

５・７・５で、何か詠まなくてはいけない流れに、少し、笑いを

こらえながら……

日曜日　朝から録画　見ているよ　まいまい@”

投稿者：まいまい@ノ”

＊　＊　＊　＊　＊　＊

まいまい@”さん、コメント有り難う御座います。

５・７・５は趣味でして、もちろん御自由に願います。

わたしはコレクション大好きな気質なので、録画は敢えてしないように決めて居ます

（押し入れが満　杯になること確実…）。

でも、昔の漫才とかが最近、無性に見たいなぁ（ぼやき漫才とか横山やすしとか…）。

忘れた頃にもう一度みてみると面白いと思いますよW。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

確かにこれも落書きに近いのかもしれない。

では、

除夜の鐘　ゴウンと鳴くよ　百八つ

山羊ノ宮

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊　＊

山羊ノ宮さん返句ありがとうございます。

ええ、そんな感じですよ。落とし書きは子供も読んだはず。

きっと子供ならこんな歌を喜ぶでしょうね。

うちの近所に古寺があってマメに鐘をつくので、大晦日なら確か

にそんな感じです
（いつでも行けると思いながら、まだ行ったこと無いけど・・汗）。
投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

7）・8）

7）ことわざ。

田舎では子供を叱るときに、よくことわざを使う。

「仏の顔も三度まで。」

今度やったら許さへん、折檻するぞ！という意味である。

そんなことからことわざには興味があり、ことわざ辞典を買った覚えもある。

ちなみに、わたしは親戚の兄さんからこう呟かれた。

「おまえみたいなのをな、こう謂うんや。」

「ん？」

「・・風呂屋の息子・・・」

当時、小学生のわたしには、何のことやら分からなかった。

これ、

「風呂」＝「湯・ばかり。」

つまり、

「ゆうばっかり。」

とな意味らしい。後になって知った。

（口が達者でうるそうてかなわん、静かにしろ！）

という意味なのか、

（言うてることは立派やけど、努力が伴うて無い！）

という意味なのか・・・

・・今もなお忘れ得ぬ、ことわざの一つではある（冷汗）。

２００９年　１２月　０４日　（Ｆｒｉ）

＊　＊　＊　＊　＊

私は幼少の頃、大人に「チキンライス！」と言われたものです。ごはんライスの由来でもあります。

なぜそんなことを言われるのかは当時はわかりませんでした。でも今はわかります。私もごっさん同様、口ばっかで努力しないので、チキン（腰抜け野郎）だと大人は思っていたのでしょう。

その話を昔、おじさんとしてたら、

「いや、あれはお前、チキンライスみたいに顔が赤いねって言ったんだよ」

と言われた。な、なにい。

不安に思い、おばさんにも聞いてみたら、
「ああ。こめちゃん、顔赤かったからね。だからそう呼んでいたの」
と言われ、これは実にまずい。え。そういうことだったの？？？？
おじいさんに聞いた。
「たぶん、その時、わし、チキンライス食べたかったんじゃないかな？よく覚えてないけど」
大人なんてもう信用しねえ！！！
投稿者：（蕪）ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊　＊
ふはは（笑）。
ライスさんコメントを寄せていただきありがとうございます。
そうさな…チキン＝気弱…なんて隠語をおっちゃん連中が知るはずも無いから…
たぶん健康優良児って意味かも。
そうチキンライスといえばお子さまランチの定番だったから、子供らしい子供…
つまり、わんぱくでもええ、たくましく育ってほしいとな意味合いではなからうか？
たぶん頬の紅さが目立ってたんでしょうねW。
投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

8）　川柳。

俳句とは形式上、連歌から来ている。
連歌とはしりとりみたいなものだ。縁語を汲み取って歌を連ねる。
柳と来れば川。

川と来れば舟。
舟と来れば・・・わかるかな？

そんな連歌の一等初めの句を「発句（ほっく）」という。
ここには今回の連歌のテーマが示される。
むろん、花も実も有る歌でなければならない。

ここから「俳句」と名がついた。
したがって、彼の「俳諧」とは趣きが少し異なる。
俳諧とは今に謂う「パロディ」である。
是れ、短歌の「本歌取り。」とな作法から派生した。
もっともパロディとは通なヒトにしか分からない。
案外、高等である。

なので「川柳」なるものが生まれた。
いわゆる即興・句である。
テーマは笑い、可笑し味と言ってよかろう。

江戸時代は社会風刺がウケた時代であった。
新聞もこの時代に生まれて居る。
季語も本歌取りも要らない。
落書の如く、一発、可笑しければＯＫなのである。

せまい日本　そんなに急いで　何処へゆく。

これも、川柳である。

ちなみに、ー
川柳という名乗りの由来とは、ー

一等、初めに世に出た名手のペン・ネームが、
「潜龍」
であったから、とか云う。

一行漫才と呼べるものかも知れない。

２００９年　１２月　０５日　（Ｓａｔ）

＊　＊　＊　＊　＊

午雲さん
雲午と言われ
クレ夫刺す

松尾米庵
（あ。芭蕉は俳句か）
投稿者：（蕪）ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊

ふっふふ：笑えませんな（あ、含み笑いか（レッドぐい飲み）。
投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

船と来れば？
……「乗る」！！（凄いよヒミちゃんあったまいい～♪ｗ）。

では私も松尾米庵さんを見習って。

妃宮さん
奴に向けて

殺虫剤

――ダメだ。いまいち捻りが足りない。

トラックで
跳ねて引き摺り
ミンチにす

いや。ダメだ。やっぱり体調不良のせいで物足りない。
あう。気持ち悪い……。
全快に至らない中途半端さが余計に辛い…。
せっかくのＫ－１ＧＰ楽しみにしてたのに、集中して見れない。
意識が混濁していくのでひとまずこれにて（チーン…ｗ）。
投稿者：妃宮　咲都

＊　＊　＊　＊　＊
うはははは（笑）妃宮さん、いらっしゃいませ！
え！？風邪ですか？熱ですか？
枕元　化けて出たしや　風邪薬。

ひねり過ぎたか（チーン）サンキューです！
投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

9）・10）

9）マンガの文章化。

夏目漱石「吾輩は猫である」を初めて読み通したのが中学生のとき。

「この間は効いたのだよ。この頃は効かないのだよ。」

文明批評は全く分からなかったが、この手なギャグには大いに笑ってしまった。

以来、猫好きな訳だが、また小説を作ってみたいという気持ちも非常に起こった。

しかし、日記以上の域を出ることが無い。

いくら書いても同じであった。

現実への執着が他人並み外れて強かったのであろう。

しかしマンガは読んで居た。

繰り返し読むので、セリフを空で言える程だった。

他に娯楽が無かった頃の話しではある。

あるとき、

（これを文章に直してみたら、どんなものが出来上がるだろうか？）

ということを、ふと思いついた。

自分で物語りを考え出すのは難しいけれど、ー

すでに在る物語りを文章に直すだけなら誰にでもできそうだ。

お気に入りの話しを壱話だけ試しに文章化してみる。

これが案外、面白い。

吹き出しのうちに台詞はすでに決まってある。
工夫すべきはその間・・・
台詞と台詞との間である。

想い起こしてみてもらいたい。
肝心なのは、つまり「動詞」である。

このシーン・・・
このキャラのこの動作にはどの動詞を宛てはめてやったら良いのか？

ちょうど、
「この文章の空欄を埋めよ。」
とな設問の如しであった。

だいぶん熱中したので、ー
国語の成績は抜群に伸びたけれど、ー
おかげで、他の科目はさっぱりになってしまった。

学校の宿題を全くしなくなったからである（汗）。
２００９年　１２月　０６日　（Ｓｕｎ）

＊　＊　＊　＊　＊
私はそれを、映画でやってますよ☆
私が書いている作品は、大概映画をイメージして書かれています。
ただ、表現手段に思い悩み小説に助けを求める気持ちで、集中的に読み始めました。
それでもまだ、全然力不足で泣けてきますけど（苦笑）。
そういった意味では、先週の金曜ロードショーで放送されていた

「シークレットウィンドウ」は、物凄くスムーズに私の頭の中で文章化されていきました。
そういう意味合いも込めて、面白いと評価できる作品でした。
作家のスティーブン・キングが凄いのか、はたまた撮影した監督が凄いのかは分かりませんが、実に感慨深い（作家として）ものを感じる作品でしたね。
すみません。
また私の映画病が出てしまいました。付いていけなかったらごめんなさい（焦り）。
映画で書き方を覚えると、漫画は役不足になってしまいました。
それ以前は私も漫画で同じ事、思ったりしてたんですけどいまいちリアリティーに欠ける（苦笑）。
それでは生意気に失礼しました！！ｗｗ。
投稿者：妃宮　咲都

＊　＊　＊　＊　＊

漫画の文章化、なるほど面白いです！！
かくいう私は、車の文章を書くようになったのも、実はある漫画がきっかけでした。
田中むねよし先生とおっしゃる漫画家の描く車の短編漫画です。

そういう車を通した登場人物の気持ちと雰囲気を考えながら、でも説明が冗長にならないように、そして私の拘りの登場人物に名前を与えないこと（誰もに移入していただきたいので）を考えながら書いていると、本当に脳が活発になる感じがします。
頭の中に情景と登場人物の立ち位置と台詞をしゃべる表情と、そんなのがばーっと広がってくるんです。

なので、そういう脳内に画が出てくる作品は非常に書くペースが速いのですが、そうでない作品はなかなか書きあがりませんし、書

きあがってもあまり面白くないんです。

やはりイメージが大事と言うことでしょうか。

午雲先生のご提案とはちょっと逆の話でしたね。失礼致しました。

投稿者：ＹＡＳ

＊　＊　＊　＊　＊

妃宮先生コメントありがとうございます。

先生は映画派ですか。なるほどそんな感じですねＷＷ。

ＹＡＳ先生もまたコメントをいただきありがとうございます。

イメージが湧いてくる過程がやっぱり人それぞれなんでしょうね。

またお願いします（感謝）！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

最近、手塚治虫の「アトム大使」（鉄腕アトムの前身）のノベライライズが刊行されました。

文章は大塚英志。

漫画は読んだことあるけどなかなか愉しかった。

んで本屋でノベライズをぱらぱらとめくったんやけど、当然、原作とは違う匂いを感じた。

挿し絵も手塚の絵じゃなかったし。

読んでみようかなー。

投稿者：（蕪）ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊

うーん。
ノベライズで成功してるものは残念ながら未だ見たことがありません。
どうしても原作の雰囲気が壊れてしまう。
想像以上に難しそうです。
米ント、ありがとさんです！
投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１０）ウイスキー。

ウイスキーの本場といえばスコット・ランド（イギリスの一部）。
その地は荒野が大半を占める為め、かえってその手な産業を確立したのだ。
気候が冷涼な為め、大麦しか実って呉れない。

今は「米を作る」なんて口に謂うが、ー
昔なら「田を作る」と謂ったらしい。
ヒトは下準備をするだけで、ー
実るか実らないかは、その年の日和り次第なのだ。

なぜウィスキーを造るのが難しいかと言えば、ー
それは、アルコールと水とがなかなかに化合しにくいからである。
量を得ようと思えば、蒸留酒と水とを混ぜ合わさなければならない。
しかしながら、そうすると化合するまでに相応の歳月を要してしまうのだ。

熟成させると謂う。ワインも同じ発想である。

ところが、ここ日本にもウィスキーなら在る。
それも、国産である。
なぜ日本でウィスキーが造りだせるのか？

これは発明の賜物。西欧とは少しく製法が異なる。

その昔、クラッシック音楽が好きなおっちゃんが居た。
ウィスキーをこよなく愛好して居た。
あるとき、そのおっさん何を思ったのか、
「そうだ。ウィスキーにも音楽を聴かせてやろう！」
という気に為った。

おもわく、
（ウィスキーだって音楽を聴けば気持ちいいはずだ。）
と。

それで、自分が外出して居る間にも、ー
ステレオを点けっぱなしにして瓶の中の酒に音楽を聴かせて居た。

そうして宅に帰って来ると何故だかウィスキーが非常に美味しい。
初めのうちは、
（気のせいか・・・）
と笑って居たが、そのうち半端で無くおいしくなってきた。

これは大変だ！と思って知り合いの酒屋へ問い合わせたら、

（むむ・・・）

大騒ぎになった。

レコードから発せらるる「超音波」が原因であった。
耳には聞き取れないのだが、ー
これが謂わば「触媒」みたいな働きをなして居ることがわかった。

ある特定の周波数の超音波を当ててやると、ー
ウィスキーの瓶の中・・・
アルコールと水との化合を一層、促進させて呉れるのである。

以後、ウィスキーは時を待たずとも大量に作れるように為った。

（ウィスキーにも素敵な音楽を聴かせてあげたい！）

おもえば、そんな発想・・・
・・日本人にしか、できないものかも知れない。

２００９年　１２月　０８日　（Ｔｕｅ）

＊　＊　＊　＊　＊

何だかよく分からないけど、日本人は凄いという事は分かりました（苦笑）。
外でレコード鳴らせば、コウモリ落ちてくるかなぁ？
いえ、私子供の頃に捕まえたコウモリが余りにもキュートで可愛かったので、またこの手に触れたいと思いまして（ここで語る事ではない（汗）。
夕暮れに飛び交っているコウモリを見るのが好きです。
マジでウイスキーと無関係ですみません。
ウイスキーにはほとほと無知なものだから（だったら顔出すなｗ）

。
失礼しました〜！！（逃走ｗ）。
投稿者：妃宮　咲都

＊　＊　＊　＊　＊
妃宮さん早速コメントを入れて頂きありがとうございます。
夜になると目覚めるコウモリ君、波長が合えば寄って来て呉れるかも。
確か彼らも（鳴き声のほかに）超音波をだして会話する能力が有ったはず。
超音波つながりやないですかＷＷ。サンキューです！
投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
ウイスキーというのは、英語と日本語を合わせた造語である。
ウイライク（わたしたちは好き）というのが、ウイ好きとなって、ウイスキーとなったのだ。
しかし、一方でロシアにウイスキーという、ひどい飲んべえの作家がおり、そこから取ったとも言われている。
投稿者：（蕪）ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊
ライスさん、子どもが聞いたら信じてしまいまっせ（ありそうでなさそうな：）。
わたしも競走馬の名前みたいに実は見えるんですけどね（ウソ）。
毎度どうもです。
投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
音楽で植物がよく育つとか、おいしくなるとか、きいたことがあ

ります。
植物も水と栄養（？）が、ながれていますから、それが混ざりやすくなる……とか？

人も体の８割が水。
だから、癒される音楽を聴くと、身体に変化が起きるのかもしれないですね。
投稿者：まいまい@ノ”

＊　＊　＊　＊　＊

まいまい@ノ”さん、コメントありがとうございます。
植物も生きて居る感じがしますね（特に夜・・）。
鉢植えだと窮屈そうにみえるのは、わたしだけかな・・？
なくなってみると、レコード盤で聴く音楽というのも、なつかしいものですね。
投稿者：午雲。

＊　＊　＊　＊　＊

酒好きの最終地点としてウィスキーを挙げる人も少なくないのではないでしょうか。

自分も大学時代、費用対効果を追求した結果、ウィスキーにたどり着いた憶えがあります。

確か、当時はブラックニッカだったでしょうか・・・。
スーパーに売っているなかで一番量が多く、安かったのは。

どうして当時はあんなに飲んだのだろうか今でも不思議です。

恐らく、若い時分は飲まれたら負け的な根拠のない妄想があったのでしょう。

今は少し成長して、角瓶のハイボールです。

完全に流行りに流されたミーハーですが（笑）

すいません長々と・・・。

投稿者：大橋　秀人

＊　＊　＊　＊　＊

大橋さんコメントありがとうございます。

学生時代からすでにウィスキーですか（渋いぜ・・笑み）。

わたしは氷で割るというのを知らなくてストレートでやりながら椅子から立てなくなった思い出があります（・・忘れたい）。

飲みっぷりに男は何故、プライドを懸けるのか？

やっぱ九州男児が酒では抜群に強いですね！

呑みっぷりをほめそやす文化が有るので。

（あんなん反則やでっ）

と近畿者のわたしなら思ってしまいます（汗）。

自然淘汰ですかね、あれは、ｌｗｗ。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

１１）・１２）

１１）　下ネタが苦手なわけ。

初めて自分から文庫本を買ったのは山岡荘八「徳川家康」の第壱巻であった。
大河ドラマの原作だったからである。
（役所公司？の信長役が凄かったな、確か・・・）

しかし中身は本格の時代小説。
うんうん唸って三分の一ほど読んだが、どこかへ行ってしまった。

次に買ったのは筒井康隆「くたばれＰＴＡ」とな本であった。
現代国語の教師のお勧めである。
どうやら「時を駆ける少女」のことを暗に示唆して居たらしい。
でも映画を観ない気質だったので作者名だけを便りに本屋へ走った。
そのときちょうど世に出て居たのが、それだった。

何も知らず読んでみて目を丸くした。
笑いと下ネタに満ちて居る。しかも下品だ。
でも、面白かった（笑えるという意味で。）

当時マンガを読んで笑うのは普通だったけれど、ー
小説を読んで笑うなんてことはめったに無いことであった。
（いま考えると不思議なことだけれども。）

下ネタは隠語で使う。あっても匂わす程度。
これが少年マンガの不文律であった。

しかして充弐分に面白い。

これは筒井氏の作品にもシッカリ踏襲されて居て、ー
下ネタはきっと笑いのネタとして用いてある。

（出てくるのはキスまで、ー。）

少年マンガを通して、ー
そのセンスに慣れ切った者にとっては、ー
彼の笑いは刺激的だった。

けれどもやはりマンガを読んで育った世代・・・
今でもなお、そのセンスが染みついて居て、ー
なかなか思うように下ネタが使いこなせない。

世代という他、無かろう（汗）。

２００９年　１２月　０８日　（Ｔｕｅ）　１８時　１１分　０５秒

＊　＊　＊　＊　＊　＊

自分も、下ネタを使いこなすのはかなり上級だと思います。

やりすぎ、上品下品、言葉の選び方。
センスが問われることばかりです。

その点、筒井氏はずば抜けた才能を持っていると思います。

色々なシモを使い分けられる人ですよね。
だからあんなに業にまみれたような顔になったんだと個人的には思ってます（笑）
性格は、人生は、顔に出るといいますし・・・。

投稿者：大橋　秀人

＊　＊　＊　＊　＊
あ、大橋さんも筒井さんをご存知なんですか。
わたしは全集も四巻まで買いましたが、あのハンサムボーイが今や…
まあ長渕剛とダブりますけどね（苦笑）。
Hなシーンは巧く描かないとかえって無駄になってしまうから、やっぱり恐ろしいです（冷や汗）。
大人感はグッと出ますけどね。悩みます。
わたしだけじゃないと知ってホッとしました。
ありがとうございます！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
オレも筒井康隆の顔、好き。何とも言えぬ雰囲気を醸し出しとる…♪

投稿者：（蕪）ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊
ライスさんは筒井さんの下ネタのノリをうまく踏まえてますよね（するとあんな感じになるのかな？…苦笑）。

どうもですW

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１２）　クリスマス・イヴの思い出。

学生時代、俺は寮に下宿して居た。
家賃は内緒である。
コンパ大好き人間にはありがちなのだが、ー
友人は居ても彼女は居ない。

クリスマス・イヴの朝。
意地なのか見栄なのか男どもは次々と出掛けて行く。

「おい、何処行くんだ？」
「うん・・・ちょっとな。」

こんなときアドレス帳は役に立たない。
その気なら、もっと早くから予定を立てようとするはずだからである。
こうして独り当日の朝を迎えたということは、ー
・・そういうことなのだ。

日が暮れて来て、俺は頭の中の電話帳を繰った。
彼女が居ない友達を、こんなに有難く思ったことはない。

（どうせならワンルーム・マンションのやつがいいな・・・）

そのほうがドラマチックだ（女っ気は無いが）。
俺はコーラをお土産に、その男の下宿をたづねた。
「おおっ！いま電話しようと思ってたトコ。」
（！？）
やはり持つべき者は友である。

俺たちは早速っコーラで乾杯をしてこたつに向かい合った。
「もう十二月やねえ。」
「そうやね。」
「今年の十大ニュースと言ったら何？」
「うーん、ドリカムがデビューしたことかなあ。」
「あ、あれいいね！うれしい楽しい大好き。」

何気なく緊張感の漂う会話である。

そのとき。
隣りの部屋から、その年流行りの歌「ＺＵＴＴＯ」が流れ始めた。
（・・・）
とたんに俺たちは口をつぐむ。
なぜなら、フル・ボリューム・・・
耳をつんざく大音響だったからだ。

「なんやねん、いきなりっ！うるさいなあ！」
「・・ホンマやな・・・」
「壁たたいたろかっ？」
「・・やめとこ・・・」
「う、うん。」

俺たちは外へとびだし、電車に飛び乗って、ー
場末の王将で二人して晩飯を食った。

ＯＯ君、ありがとう（苦笑）。

２００９年　１２月　１０日　（Ｔｈｕ）

＊　＊　＊　＊　＊

痛い！！
痛々しい！！

何がって、野郎二人で過ごす事よりも、よりによってイヴを王将で過ごしたってところが痛すぎた！！ｗｗ。

でもイヴに行った教会のミサで、綺麗に磨き上げられている全面ガラスドアに激突した私の方が、もっと痛いかな？ｗｗ。
その出来事が余りにも可笑しくて、用意されて持たされた聖なる蝋燭の火も、必死で堪えていた笑いの鼻息で消してしまったｗｗ。
その後、最後まで私達の笑いが止まる事無く、神父や信者に睨まれながらも腹を抱えて爆笑しながら、帰った聖夜ｗｗ。

とことん神を侮辱しまくった日だったなぁｗｗ。

投稿者：妃宮　咲都

＊　＊　＊　＊　＊

ぐわはははは（笑）。
妃宮さん有り難うございます！

そういえばわたしもクリスマスの日に友人に連れられて教会へ行ったことがあります。
食べ放題だと言うから遠慮なくおかわりして居たら…何やら冷たい視線が―。
ご飯をめあてに来ていたのがバレバレでした（冷汗）。
（食べっぷりがあまりにもよかったのだろう。）

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
ぐはっ王将。うーむ。切ない。
オレは寮に住んでいた。男子校の寮だ。
クリスマスイブなど実にさびしい。寮にはオレ一人。みな女子といちゃいちゃしてやがるのだろう。　腹が立つ。
断食したろと思ったが腹はへる。てか、ここにいると虚しすぎて気が狂いそう。
オレはジャンバーを着て、原付にまたがり、餃子の王将に向かった。

着いて店内に入ったら、寮のヤツら十数人がラーメンや餃子を食べていた。

投稿者：（蕪）ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊
ライスさんは男子高ですか！？
成程、それで下ネタが得意なんですね（熱血？）。
ほら、王将ならさすがに「サイレント・イヴ」とかは流れないでしょう？

（・・暗黙の了解です・・・・。）
どうもです。押忍！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１３）・１４）

１３）　著作権。

わたしがマンガに親しんで居たのは７０～８０年代。
彼の宮崎駿は「世界名作劇場」を手掛け、また週刊漫画雑誌を争って買った時代だった。
わたしは現実に極めて近い設定が好みなので、しぜん文章にも直し易い。
ガンダムは熱狂的に流行って居た。
映画の初日には男子の大勢が学校を休んで居た程だ。
（わたしは一度も観たことがないが。）
メカものを小説化するのは、やはり難しかろう。
どうしても挿し絵の助けが居る。
しかし恋愛ものなら、キャラは読み手の想像次第、かえって絵が邪魔になるくらいだ。
高橋留美子「めぞん一刻」やあだち充「タッチ」などを愛読して居た。
これらをいつか文章に直そうと思って居たのだが、ー
世には「著作権法」というものがある。
これが近年、改正されて、
「作者の生存中と、その死後五十年間。」
と記されてあった。
もちろん著作権さえ切れれば、大手を振って文章化できるわけなのだが、ー
考えてみると、ー
その頃には、もう死んで居る（息）。

２００９年　１２月　２０日　（Ｓｕｎ）

＊　＊　＊　＊　＊

ディズニーですねえやはり。
ディズニーは実に難しい。
でも腕が鳴る。
ギリギリのラインで戦いたいと思います。
警察当局に捕まれば書くことができないし、ディズニーという巨大な組織の言いなりになるのも男として情けない。

投稿者：（蕪）ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊

ライスさんはディズニー・アニメが好きなんですか？
うーん、アレはまずいでしょう。
日本にはキティちゃんがあるからいいじゃないですか。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１４）　謹賀新年。

みなさま、明けましておめでとうございます。

さて、今年はどんな作品と出会えますことやら、ー
新たなユーザさんとの出会いもまた楽しみにして居ります。
時間の許す限り、作品を読み、また何か新たな文章を書いてみたいと考えて居ります。
今年がもっと素晴らしい年となりますように！
よろしくお願いします。

２０１０年　０１月　０１日　（Ｆｒｉ）

＊　＊　＊　＊　＊
あけましておめだとうございます。
今年もよろしくおねがいします。
午雲　さんの作品楽しみにしていますよ♪

投稿者：まいまい@ノ”

＊　＊　＊　＊　＊
＞まいまい@”さん早速コメント有り難うございます。
去年よりたくさん書こうと元旦から気合い入れてます！
まいまい@”さんも頑張ってくださいね！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
あけましておめでとうです！
今年も頑張ってくださいね！

投稿者：神月ラセ

＊　＊　＊　＊　＊
神月ラセさんお気に入りユーザ登録ありがとうございます。
若いヒトの文章を読ませてもらって、わたしも勉強しようと思います。
（年々、石頭になりつつあるので、―）。
また感想させてもらいますね。賀正。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
あけましておめでとうございます。

何もせずにぼーっとしていたら、年が明けて４日も経ってしまっていました！！

今年も午雲先生の作品に刺激を受けながら、頑張っていければと思います。

投稿者：ＹＡＳ

＊　＊　＊　＊　＊
ＹＡＳさん、明けましておめでとうございます！
さあ、のんびりするぞっ！と思っても（目覚ましもかけてないのに）早く目が覚めてしまったり…
休みの日もまた時間が経つのが早いものですね！
先生の作品も楽しみにして居ります。
今年もがんばりましょう！

投稿者：午雲

*

*

*

*

*

*

１３）・１４）（後書き）

平成二十二年（２０１０）年に入りました。
読む量では去年の方が多かったなァ・・（汗）。

１５）・１６）

１５）　キイワード追加。

金魚（連載）のキイワードを追加してみました。
このわたしに“らぶえっち”な話しなんて書けるのだろうか…（不安）。
昔やったマンガの文章化―その実践作のつもりで書いて行こうと思います。
気が向いたら見てやって下さい。

２０１０年　０１月　０７日　（Ｔｈｕ）

＊　＊　＊　＊　＊

金魚、先程全話読み終わりました♪

命拾いの続きとあって、愉しく読ませて戴きましたよ（笑）
あの素晴らしくいい加減なマスターがツボにハマリました（笑）
金魚がふうわりとして可愛いですね。
んまー、チャイナドレスの暴君とは大違い（笑）

まだまだ謎が多い感じで楽しみ楽しみ♪

続き待ってま～す♪♪

投稿者：河野夜兎

＊　＊　＊　＊　＊

夜兎さんコメントありがとうございます！

あ、あのマスターですか（笑）。

モデルは居るのですが今思い出しても得体の知れないヒトでした（汗）。

なんか印象に残っては居ますけどね（苦笑）。

夜兎さんにならって新分野・挑戦と言った処ろです。

マキュポ、更新楽しみにして居ます！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１６）　タイトル変更。

金魚（連載）のタイトルを「金魚～そう呼ばれたい～」に変更いたしました。

ジャンル文学の雰囲気を出すためです。

そう、金魚とはヒロイン・カナ（本名）の本当のあだ名ではありません。

学校に居るときの、彼女の本当のあだ名とは何なのか？

もう解かったヒトが居たら（・・凄いけど）黙って居てあげて下さいね

（作者のためを思って・・・汗）！

たくさんの方々が読んで下さり感謝・感激、雨あられです（＝ど

ういう意味かな？）。
もしか小ネタでスベッてたら教えて下さい（・・参考にしますｗ）
。平伏。

２０１０年　０１月　０９日　（Ｓａｔ）

＊　＊　＊　＊　＊
タイトル、いいですね～。
付け足した部分に彼女の謎やらこれから向かうであろう展開やら
また想像が膨らむ膨らむｗ

今んとこスベッてないです（笑）
シュウさんの河内弁バンザイです。

読み手としてどうしても色々と勘繰りますが（特に金魚の事ｗ）
エロ描写も情緒がありソフトで綺麗です。
個人的にはもっとギアあげて攻め――（黙らっしゃい！！
これから追い掛けますので♪

投稿者：河野夜兎

＊　＊　＊　＊　＊
夜兎さん早速コメントを寄せて頂きありがとうございます。
生き物の金魚で無いことを示すために付けたしてみました。

小ネタもＨシーンも大丈夫そうですか？
いや、ホッとしました（安堵、安堵ｗ）。

え？男の下ネタですから・・・
ギアあげたら止まりませんよ？
（Ｒ指定してないので危険です・冷や汗。）

そうですね、なるだけ綺麗に行きたいですね（我慢、我慢）。
チンパン相原の本気モード？にも期待してまっせ（ん？）ｗｗ。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１７）・１８）

１７）　なるだけ毎日…

更新しようと予定して居ります。
中学生の人が読んでも大丈夫なラインを守るよう、気をつけます。
マンガより面白い（あくまで目標）。
金魚～そう呼ばれたい～
これからもよろしくお楽しみ下さい（感謝×☆）。
（あ…ジャンル・エッセイ「耳から草子」も読んでやって下さいネ。）
（ホントに同一人物？）
（…そうです…・汗。）

２０１０年　０１月　２０日　（Ｗｅｄ）

＊　＊　＊　＊　＊　＊

忙しい私にゆるまったりな時間をくれるとても優しい作品です。
時間経過がゆっくりなのが今の私には逆に心地良い♪
休憩中の良い息抜きになってます♪
モグたんには吹き出しましたよｗｗ

漫画変換、私の頭の中は高橋留美子です（笑）

投稿者：河野夜兎

＊　＊　＊　＊　＊　＊

夜兎さんコメントありがとうございます。
もともと短い話しをひきのばしているので、あんな感じになっているのでした。
へへ…そう、合ってます。
あの「ナチュラルに」のセリフは高橋さんの作品からひきだしたものです。
（宗一郎さん（犬・♂）なつかしいw。）

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

こんばんは。

なかなか拝読進まなくて申し訳ありません。
少しずつではありますが、読ませていただこうと思っております。
なかなかしおりが先に進まないんだよなぁ。

すみません！

投稿者：ＹＡＳ

＊　＊　＊　＊　＊　＊

ＹＡＳさんコメントをくださりありがとうございます。予想より長い話しになってしまったので…

気の向いたときにどうぞ読んでやって下さい。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１８）　キーワード。

ーのうちに“らぶえっち”を入れてあるのに、このところ不発（汗）。

十五禁外を意識して、大人しか知らない部位の呼称は、なるだけ使わないよう配慮して居ます。

会話はＨだけど描写は読み手の想像にお任せする。

その行き方なら年齢を問わず、携帯からでも読めるかと。

テレビ・ドラマの方がよっぽど過激、

（ええんかい？ここまでやって！？）

と思う今日この頃。

（完璧、十五禁やと思うけどな…）（苦笑）。

２０１０年　０１月　２９日　（Ｆｒｉ）

＊　＊　＊　＊　＊

ラインて実際本当に難しいですね。

だって、市営図書館のジュニアコーナーに、ＹＯＳＨＩさんの携帯小説の「Ｄｅｅｐ　Ｌｏｖｅ」シリーズやら、「Ｄｅａｒ　Ｆｒ

ｅｎｄ」とか普通に置いてありますよ。
あれ、性描写ダイレクトだし、ストーリーもかなりハードですよ。
「赤い糸」だって、ある意味Ｒ指定入れなきゃいけない内容も満載だと思いますが（母親が薬物依存とか自殺とか…内容は結構ハードだと思う）

Ｒ指定を疑問に思うところも私はあります。

確かに書き手は書く責任はありますが、読む側の心構えも必要なんじゃないかと常々思います。

フィクションをフィクションとして捕らえる力も必要なんじゃないかなぁと。
ああ、そこを徐々に教える為にもやっぱりラインは必要か……
（あ、なんか一人で納得しちゃったぞ）

小説って本当にこ難しい娯楽だなぁと感じる時があります。
（そこにどうしても敷居の高さを感じてしまう）

投稿者：河野夜兎

＊　＊　＊　＊　＊　＊
夜兎さんコメントありがとうございます。
うむ。とにかく今の商業主義は何でもアリですから・・・
合法か否かというラインすら「脱法」と言い換えたりするし・・・
「ドラマ＝Ｈシーン入り。」

というのは、いまどき最早、常識と化したる観があります。
それで新しい世代のヒトたちは性的な欲求に対して、中毒に罹る者と免疫が着く者と、目立って二極端に分化して居るのかも知れません。
決して理想視するべきものでは無く、また何か汚らわしいものと思い込むべきでも無く、程良い価値観を抱かせるべきとか思います。
エピソードが弱い、というコトをプロなら何時も気にかけて居るらしいので、競ってああも過激に成るみたいです。
こちらは猫みたくのんびりゆったり行きたいと思って居ます。
ちょっとおもしろいくらいが調度、頃合いなのでは？

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

１９）・２０）

１９）　正月末日。

わたしがマンガの文章化という事を思い着いたのは、中学生の頃。
当時の小説といえば、どれもこれも堅苦しく、今風でいえば「痛い」代物ばかりだったので、
「マンガみたいな小説があったらいいのにな？」
と単純に想ったのが、きっかけです。

まだ新たなストーリーを考えだす程な能は無かったので、手始めにそこらにあるマンガの話しをそのままに文章へ写して行ったのでした。

マンガにおいては先にコマ割りを定めて、それから画を入れてゆくそうです。
なので、よく見てみると、時にコマ数が間に合わなくて、急に話しが終わって居たりもして居ます。
青空のシーンの間に時間と会話とが勝手に進んで居たり・・・
次のコマに移った途端、もう結末が着いて居て、
「ええーっ何やってん！？」
とか（焦）。
その点、文章には長さに制約が無いから、その分、自由自在で良いと思います。

２０１０年　０１月　３１日　（Ｓｕｎ）

＊　＊　＊　＊　＊　＊

大変ですねー。そういう苦難があってこそ成長に繋がるのだと思いますけどね～。

投稿者：神月ラセ

＊　＊　＊　＊　＊　＊

神月ラセさん、コメントを呉れてありがとうございます。
ラセさんは文章だけで無く、もうストーリーまで作れるのだから、凄いと思います！
あ、また新しい連載、始まったんですね！
これから読ませてもらいますよｗｗ。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

２０）　二月突入。

我れながらドキドキものでしたが・・・
お蔭さまで今年は幸先の好いスタートが切れたと喜んでいます（感謝）。

他の先生方の作品を読み回っているうちに、ー
自分でも「らぶらぶ」や「らぶえっち」な話しが書いてみたくなり、ー
思い切って今年から書きだしてみたのでした。

いっそ会話はもれなく関西弁にしようかとも思いましたが、ー
そこはフィクション・・・
ヒロインだけ標準語という不自然さには目をつぶってお読み下さい。

え？Ｈシーンが物足りない？
それはフィクションだからです（・・意味不明？・・）。

今月もよろしくお願いします（平伏）。

２０１０年　０２月　０１日　（Ｍｏｎ）

＊　＊　＊　＊　＊　＊
そういうのが苦手な神月ラセです！（言う必要なし）
ですが、がんばってくださいね！（礼）

投稿者：神月ラセ

＊　＊　＊　＊　＊　＊
神月さんコメントありがとうございます！
いや、実はわたしも描くのが苦手な方ですが…
恋人どうしの仲の良さをよく示すために、今回は敢えて描いてみました。
（：ちょっとオーバーランしてる場面もあるかな…）←言う必要なし？
ラセさんの作品も楽しみにしています！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

21）・22）

21）　当て字。

わたしは喫茶店が好きだ。
子供の頃はクリームソーダがお気に入りだった。

いまはもっぱらコーヒー…アイスコーヒーに夏を感じる。
ーというわけで、アイスコーヒーの当て字を考えてみた。

「あいすこ（ー）ひ（ー）」＝「愛す来ひ」「愛す恋ひ」。
「ー・ー」＝「二」「人？」。

「恋愛×2」とか。
「恋人を愛す」＝「恋人同志」とか。
（これじゃホットか…）

「あいすこうひい」＝「あいす・こひ・うい」
「うい・こひ・あいす」＝「初恋愛」とか。
（これじゃアメリカンか…）

（なおコーヒーという言葉は英語の音写、和声です。）
（もはや歴とした日本語…海外では全然、通じないそうです。）

そういえば、
（ココアを出してバレンタインのサインに代える。）

というネタがどっかにあったな…
（ココア＝カカオと知ったのはだいぶん後のコト…）
：金魚はしばらくお待ちください（咳）。

２０１０年　０２月　０６日　（Ｓａｔ）　１６時　４４分　１１秒

＊　＊　＊　＊　＊
天下の往来で「おまん買うてんかぁ」つうのもおもろいですよね。
大阪から東京にばあちゃんが遊びに来て……。
大阪って、饅頭のことをおまん。あれのことをｘｘｘと言いますもんね。
ばあちゃんに悪気はない。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊
耳言葉ならすぐに立ち消えるけど…
活字の場合は、せめて当て字にしたほうがいいですよ？（冷や汗）

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

２２）　マンガ。

この頃のマンガは線が多い。
見た目奇麗か知れないが、とうてい真似できない縁遠さを感じてしまう。
落書きがてら真似して書いて、みんなして比べ合ったり…
案外、そんな親しみ方が人気の源であった気もする。
少女マンガなら昔から線が多かった。
美男・美女？しか出て来ないからだ。
少ない線で美形を描くのは確かに難しい。
ちなみにハワイ育ちの早見優は少女マンガのファンで、日本に来て初めてエレベーターに乗り合わせた時、がっかりしたという。
天才バカボンのパパ、それを書いた色紙に一億円だしたフランス人が居たとか。
絵画とマンガとは別物…
線はなるだけ少なく済ますほうが好いと個人的には思う。
ちなみにわたしは読むだけなヒトです（御免）。

２０１０年　０２月　０９日　（Ｔｕｅ）

＊　＊　＊　＊　＊
お久しぶりの書き込み失礼致します。
私は昔々、漫画家になりたいなぁなどと思っておりました。
でも上手に描けない自分に辟易し、そしてストーリーも作れない自分に嫌気がさし、そんな過去は忘れてしまいました。
といいながら、今色々とストーリーと画を頭の中にめぐらせながら文章を書いているのですが。

私も漫画は読むだけな人です。
自分の作品が漫画になったら面白いのにな、と勝手に考えてしまいます。

失礼致しました！

投稿者：ＹＡＳ

＊　＊　＊　＊　＊

ＹＡＳさんコメントありがとうございます！
わたしは絵を描くのが好きで、色が着いてる方が本当は好きです。
絵心を身に付けるのは、文章以上に大変そうな感じがします。
神業にしか見えません。
（羨ましいです！）
でも、自分の文章がマンガになるっていうのは、確かに気持ちいいでしょうね。
（ついでに描いて居る処ろを直にみてみたい！）

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

昭和２０年代の連載漫画と、今の連載漫画。
１ページにおけるコマ数がまるで違う。
２０年代のは８コマから１５コマある。
理由は実に簡単で、昔は月刊だったし、小説とか絵物語のＰ数が多かったので、漫画の連載は一回で４ページから多くて１０ページだったから。

どちらがいいかというと、これは実に難しい問題で、昭和２０年代でも週刊で一回２０ページくらいだったら、自然コマが大きくなる気がする。
だから、小説も、漫画や映画がなかった時代は娯楽の王者だったかもしれんが、すでにある以上はやむをえぬ。
とはいえ、もともと、おもしろおかしい話が読みたい書きたいという動機から小説が誕生したことも忘れてはならんと思う。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊
ごはんライスさんコメントありがとさんです。
貸し本・時代のマンガ、もしあったら読んでみたいですね（ちょうどあの頃でしょう？）
散髪屋サンで読めるマンガ…というのがゴルゴ斎藤のコンセプトだったとか。
もっと色んな発想があっていいと思いますね、確かに―。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

２３）・２４）

２３）　バレンタインの日に間に合わず。

ゴタゴタしてる間に、更新が日いちにちと遅れてしまい、ー
カレンダーの日付けに追い越されてしまいました。

バレンタイン・デイにまつわるお話し・・・
読んでみると、いろいろあるモンですね。

義理、友、本命・・・
今時なら男子から手渡す方式もあり得るとか。

そういえば長いコト、チョコレートなんて食べてないな（非・甘党）
。
来年こそは何か（・・と去年も思ったっけ）（汗）。

２０１０年　０２月　１４日　（Ｓｕｎ）

＊　＊　＊　＊　＊

失礼いたします。
私も間に合いませんでした。
くだらない話過ぎて、結局没ネタの沼の中に。
私はチョコ好きなので、この季節はおいしいチョコが出回るので
いい季節です。

チョコレート　幸せの味　貴方にも　とろける私　口移しで、ね？

山羊ノ宮

何書いてるんだろうか・・・
まあ、いいや。
それでは失礼いたしました。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊
山羊の宮さん、コメントを入れて頂きありがとうございます。
チョコレートの甘味は濃厚・・・
それが甘～い恋心をおのづと連想させるんでしょうね！
チョコボールは好きでしたね～（ピーナッツとチョコとはよく合う）。
ふはは・・・バレンタインのチョコを口移し・・・舌渡し（十五禁？）ですか。
そんなラストシーンなら・・・濃厚過ぎてやっぱ没にせざるを得ないでしょうねw。

チョコよりも　お猪口に親しむ　二月かな。　午雲。

（・・お粗末でした。）（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

お猪口とチョコか。
なんか良いですね。

トクトクと　お猪口に注ぐ　薬かな　ホッケをついばみ　なお止まらぬ

山羊ノ宮

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊
うむむw確かに今の季節、ホッケは絶品ですね！
カカオも原地では薬として嗜まれて居たものとか。
（精力剤といいますか…）チョコを食べ過ぎると鼻血が出るのもむべなるかな。
お猪口を食べ過ぎると酔いつぶれてテーブルの角で鼻血を出しそうですが…

チョコも　猪口も　あまり食べては　鼻血かな。　午雲。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊
小学生　料理をするのは偉いけど　カレーにチョコを　入れるのはやぁよ

こめこめ庵おこめ

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊

カレーにチョコを入れるのはよく聞くけれど、やったこと無い。
おいしいのだろうか？

カレーライス　ライスカレーと　一緒にすんなや！ゴラァ！！
そもそもあれはなぁ、別々に食うのが流儀なんや。
じゃないと分けとる意味無いやんけ！とか言う人がいそう。

いや、いないか・・・
どうでもいいか・・・

では、落書き失礼いたしました。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊

　カレーとチョコですか。
よく煮込めば美味しいかも（少量）。
カレーって調味料の集めものですからね～。
ライスが甘いから砂糖は要らんと思うけど―
たとえばお好み焼きにつけて食べるとか。
あ、もともと、ぶっかけ飯みたく食べるカレーをライスカレーと

呼んで居たようです
（洋食屋サンの発明）。
実は、ライス・カレー屋けんちゃん、なんですね？あの名ドラマ
（笑）。
コメントありがとうございます！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
彼氏には　チョコっと辛い　カレーかな。　午雲。

米庵さん、遅くなりました。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

２４）　猫。

ノラチのモデルは、うちの飼い猫。
ある日、ふらっと出ていってから、それっきり戻って来ません。
まだ二歳あまり、隠れるには早すぎるし、ー
家出したとしか思えません。
（警察が捜してくれないものだろうか？）
とすら思います。

犬と違い、猫は首輪とか嫌がるから、目印がつけられないのです。
犬課と猫課とは別々にして、ー
保健所の方には、取り扱ってほしいです。
（猫に札を着けるのはムリなのでー。）

２０１０年　０２月　２０日　（Ｓａｔ）

＊　＊　＊　＊　＊
実家では父が野良猫の愛ちゃんを可愛がってます。
決して飼ってはいませんが、何故か我が家の周りに出没する不思議な猫。
我が家の住人には懐いているのですが、近所の子供が近寄ると一目散に走り去ります。
謎です。

投稿者：（ＫＯＵ）

＊　＊　＊　＊　＊
ＫＯＵさんコメントありがとうございます！
猫にはやっぱりお気に入りの家みたいなものがあるみたいですね。
人家のそばに居ると天敵から狙われにくい、と聞いたことがありますが。
猫の天敵って、何だろう。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

猫については異常に詳しい妃宮どぇす！ｗ。

オスメス次第で、いなくなった理由も変わってきます。

唯一性別関係なく統一されている家で理由は、なわばりです。

室内飼いをしていたならいなくなる心配はないでしょうから（脱走されたならともかく）、放し飼いで自由奔放にさせていたのなら高い割合で縄張り問題でしょう。

詳しい飼育状態は分かりませんが、事情次第で帰りたくても帰ってこれなくなってしまう飼い猫もいます。

その場合は、大概遠くから飼い主の家を懐かしそうに見詰めているものです。

飼い主の知らないところで。

人間社会にルールがあるように、猫社会にもきっちりしたルールがあるのです。

例えば、いつ、いくつの時に、どんな時にいなくなったのか、そして性別、またその時家の状況はどうだったかで、いなくなった理由が９８％の確率で予測出来ます。

でも予測出来る知識があるほど、いなくなった事情が理解出来て飼い主的には余計に切なくなる事が多いのも事実です。

動物行動学をかじってましたので（苦笑）。……はぁぁ（溜息ｗ）。

投稿者：妃宮　咲都

＊　＊　＊　＊　＊　＊

妃宮さんコメントありがとうございます。

遠くから懐かしそうにながめてる…なんて、悲しすぎます。

確かに放し飼いだったので、よく噛まれた跡をつけて帰って来てました。

猫には猫のしきたりが…そう聞かせてもらうと、すこし気が安まりました。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

キャッ、と思ってしまいますなぁ。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊

ごはラさん、だじゃれ返し？ありがとうございます。
いつかパクろかなとチョコッと思いました。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

25）・26）

25）　色あせない。

歌の歌詞には常套句が多い。
これでもかというぐらい使い回して居る文句もある。
たとえば、
「色あせない思い出。」
という比喩・言葉。
元は着古した衣服の色が落ちること。
汗で頬紅など化粧のつやが乱れること。
年月を経て写真の色が薄らぐこと。
ここから、思い出へと飛び火したらしい。
汗をかくと色落ちする。
「色あせぬ唇。」
とまで言いだすと、なんだか造花のような感じすらしてくる。
人は思い出だけで五年は生きられる、とか謂う。
むしろ色あせ、時と共に少し色合いが退くほうが自然で、かえって懐かしいのではなかろうか。
（汗をかくの語源なら女性の化粧落ちから来たして居るのだろう。）
忘れたい思い出ほどなかなか色あせてくれないから、困りものではある（冷汗）。

２０１０年　０２月　２５日　（Ｔｈｕ）

＊　＊　＊　＊　＊

人の記憶には『記録』、『保存』、『再生』、『再認』の４段階が存在するそうです。
再生する回数が減ればその記録は脳の奥にしまわれ、取り出すのが難しくなるらしいです。
晩ご飯の献立なんかは一週間前のものさえ思い出すのが困難なのはそのためだそうですよ。

逆に、印象の強い出来事は好悪問わず何度も再生してしまうので長く記憶にとどまります。
えてして悪い出来事ほど印象に残ってしまうのは人体と同じで快感よりは傷の痛みの方が長く続くという事でしょうか。

投稿者：（ＫＯＵ）

＊　＊　＊　＊　＊　＊
ＫＯＵさん早速のコメントありがとうございます。
記憶の「再認」…なるほどとか思います。
少し改変して再認してしまう事例もありますね。
無意識なのか意図的なのか…
あとになってその場に居合わせた友人の記憶と突き合わせてみると、細部がちょっと都合の好いように変わって居たのに気付かされたり…
（間違ったままの方が良かったのにー）みたいな（恥）。

投稿者：午雲

＊＊＊＊＊＊

２６）　Ｒ１５とＲ１８。

昨夕のお知らせを読んで、びっくり。
男女の性的な交わりを示す場面が一箇所でもあれば、Ｒ１５指定せよ！とのこと。
露骨では無いにしろ、わたしの作品のうちにも確かに有る。
コピーをとって、打ち込み直すしか無いのか。
（露骨では無いから、アダルトでは無いと思うけれど。）
すると、データも感想も消えてしまうのがさみしい。

活動を長期にわたって休んで居るユーザさんの作品ならどうするのだろうか。
返事が無いからといって、警告を無視して居るわけでは無い。
著作権があるとすれば、返事が無い限りは削除を保留するのが道理とは成る。

わたしは現に参加中だから、休眠するに忍びない。
すると、みずから一旦、削除してＲ指定をした上で、再投稿する話とは成る。

いっそ旧作には警告のみに留めて、ー
新規投稿作品から、Ｒ指定の基準を適用すれば如何なものか。

そのほうが公平なのでは？と考えるのだが。
（トラブル多発の心配もあるので。）

改稿は行いにくい。
ーかといって、再投稿する手間を思うと、めまいがする（汗）。

２０１０年　０３月　０４日　（Ｔｈｕ）

＊　＊　＊　＊　＊　＊

私も先ほどＲ指定の話を読みました。

私の作品も、１作のみですがＲ１５を掛けさせていただいているのですが、こういうのって判断が難しいですね。
これはよくってこれはいかんと言うのは、読み手の主観にもゆだねられると思いますし、よっぽど直接的表現でないほうが色んなこと考える広がりがあるので、私的にはそっちの方が悶々としますが・・・？

システムで、後からＲ指定を掛けられる様にしてもらえた方が、我々投稿側にしても、管理側にしてもやりやすいんじゃないでしょうかねぇ。
技術的にそんなに難しい事でもないと思いますし。

午雲先生のように長期連載されている作家さんは、こういう機能を求められるはずですよね。

投稿者：ＹＡＳ

＊　＊　＊　＊　＊　＊

まあしかし、らぶえっちを選択したら最低Ｒ１５指定なのは暗黙の了解だったのかも。
これは軽率だったと反省して居ます。
時間は相当かかるけど、打ち込み直すつもりです。
（読み手としては旧作が他人知れず消えてなくなるのがもったいないとか思います。）
改稿はなかなかできません（愚痴）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊
確か削除しなくとも小説情報編集にてＲ指定の警告タグの追加ができたと思います。

追記、Ｒ１８指定にする場合には変更が効かない様子。
大変なのはこちらでＲ１５指定して投稿していて、Ｒ１８にしなさいと言われている場合であると思われます。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊　＊
あ、Ｒ１５へは変更可能だったんですね！
しかし、このことはあまり知られてなかったのでは、ー？
らぶえっちを選択すればおのづと警告に為り得るものと思って居ました。
しかし小学生も読むことを思えば、ー

らぶえっちとＲ１５とは、やはりセットなんでしょうね。
（キスまでですね、やっぱり。）
助かりました（冷汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

２５）・２６）（後書き）

連載・途中にてＲ１５指定をかけた、苦い思い出。

27）

２７）　エロチックとファンフィクション

提携サイトとの住み分けという事を考えると、今回のエロティック規制にも納得がつく。

感情の快楽としての性描写、その濫用を認め得るもの…それがつまり１８禁に相当するのであろう。

次の標的は二次創作（ファン・フィクション）と思われる。

ランキングをみると、ファンフィクションはお気に入り登録の頭数が多いせいで、上位を占める例が多いようだが、当サイトが健全サイトを目指すと謂うなら、ー

エロティックのみならず、ファンフィクションへも手をつけるべきであろう。

著作権法というものがあり、作者からクレームがつかないからＯＫ！という話しなどでは本来、世の中には通らない。

管理者側も黙認したという責めを負わされる可能性は大いに有る。

この辺り、未成年への配慮を重んじるならば、どう扱うのか要注目である。

なぜなら、投稿作品にはもれなく著作権が有り、それを前提としてファンフィクションが成され居るからである。

知らなかったでは済まされない。

エロティックを規制するのも教育的配慮なら、著作権・法という法律を識らせる事もまた教育的配慮とか思う。

２０１０年　０３月　１３日　（Ｓａｔ）

＊　＊　＊　＊　＊　＊

午雲さんの言ってることは正しいけど、言い方に愛がない。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊　＊

自浄能力がない集まりは、必ずいつか酷い目に遭うものです。

投稿者：神村律子

＊　＊　＊　＊　＊　＊

話の論点がズレた書き込みですみません。

ひとつ疑問に思ったんですけど、ファンフィクションでエロや残酷描写を発揮しちゃってる作品も、ノクターンやムーンライトへレッツらゴーと指示が出ているんでしょうかね？

それとも新たに年齢制限の場所を設けるんでしょうかね？

なんかオリジナルより、ファンフィクションのほうが若手やコアなファンの量が多いようなイメージがあるから。

そう言った意味では、オリジナルのみに規制をかけるのは、不平等かなぁと思います。

でもぶっちゃけファンフィクションは私も書いてるから厳しいこと言われると反論はし辛いですね…（苦笑

確かに著作権という法があるからなぁ。

その違法ラインは私も不勉強で詳しくはわかりませんが。。。

投稿者：河野夜兎

＊　＊　＊　＊　＊　＊

二次創作自体は悪いとは思わないが、問題は金と組織の大きさで

あろうと思う。
ノクターンのように切り離して、二次創作の場を設けるというのも一つの手だと思うが、ただそれだと偏見と無知の弊害が生まれるように思う。
扱いとしては結局今まで通り。
今回のR指定のように問題が起きてからの後手後手な対応となることであろうと思われる。
「出資者は無理難題をおっしゃる」
と、どこかで誰かがぼやくやもしれない。
ともあれ私も午雲先生も各々一つずつ二次創作の作品をその身に宿しているので、まるっきり他人事と言う訳ではない気がする。
果たして埋伏の毒はどのようになるのか。
それでは失礼いたしました。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊　＊
西遊記からドラゴンボールが生まれている。
ファンフィクションの出発点は憧れ。
好きな作品を真似したいと。
どこで名誉棄損に発展するのか。
嫉妬だろうか。
あまりにオリジナルがすごすぎるので自分が情けなくなって攻撃するのだろうか。
単純にエロなファンフィクションはノクターンにゆけばいいと思う。
なぜ著作権問題に発展しないかといえば、なろうが原稿料なしでボランティアに近いからだ。

もし、何億と稼げば、オリジナルの作者は怒ると思う。
要するにカネが派生しない以上は原作者にとり、ファンフィクションは怖くないと。
むしろ、ファンフィクションによりオリジナルを知る読者もいるわけで、宣伝効果がある以上、原作者はおいしいわけで著作権裁判で潰すのは損になるわけ。
ただし、原作を丸々写して主人公の名前だけ変えて、
「どや。ファンフィクションや」
というのは倫理的にあかん。
原作者が必死になって作った作品を盗んで打ってるわけだから。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊
確かに盗作はいけない。
けれど、出資者が必ず二次創作と盗作の区別ができていると言う訳ではないと思う。
金が絡むと知識や関係ない人まで巻き込む。
要は出資者として出資しているサイトのイメージが云々という話なので、そこでイメージが悪いと判断されれば、次のやり玉となるのは二次創作が標的となりやすいのではないかという話ではないだろうか。
数字が全て、イメージが全て、そこにある作品いかんなど眼中にはないのではないかと思う。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊
運営者がプロ作家に対してもアマチュア作家に対してもガタガタぬかすなと言えばいい。

無理か。
でも、ファンフィクションを全否定するとぜってー原作者にとって損だけどなー。
宣伝効果抜群やもの。
無論、むちゃくちゃやられても商品にダメージが与えられるので損。
バランス。難しいすね。
オレが原作者なら、どんどんファンフィクションを書き宣伝せえと。
ただし、ただやられるのは癪だから使用料払えと。
鬼やな！！

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊
鬼や。あんさんホンマ鬼や。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊
よう考えたら、原作者やアマチュア作家、スポンサーのこと考えて、ウメさんの苦労を無視してた。
ウメさんは鬼やないねんな。だから余計苦労する。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊
私はＲ１８部屋を作るのなら、同じようにＦＦ部屋を別に作って、そうしてパロラー達を、そっちの住人に分けて欲しいと思う。

ＦＦパロ作品なのに、ジャンルがそれぞれだから、そのオリジナル作品人気の作用で結果的に、本来オリジナルで書かれている作品を押し退けて、各ジャンルの上位をそれらほとんどが占めている辺り、納得がいかない。
パロるのは一向に構わないけど、ムンラやノクタンみたいに別室を作るべきだよね。
どうせＲ作品規制に力を注ぐのなら、その辺にも力を注いで欲しい。
中には結局、最早パロかオリジナルか分からなくなっている曖昧な作品もあるんだから、それこそ、著作権問題も出てくるでしょうｗｗ。
ま、この私の作品もパロられている一人だし（苦笑）。

投稿者：妃宮　咲都

＊　＊　＊　＊　＊

例えば、かのゴー宣のよしりん氏は一度著作権問題で戦っている。
左翼運動家がよしりんの漫画を切り取って文章つけてむちゃくちゃに使って本出したの。
三分の一がよしりんの漫画。
そら怒るわな。
漫画描くの大変やから。
まさしくドロボー。
ちなみにその本、左翼運動家の他の著作の何百倍売れてる。
楽勝だったと思うでしょ。
なんと最高裁まで行ってやっと勝ったのよ。
最初は、批評において漫画を利用するのはオッケーという判決が出てしまったのよ。
三分の一も使ってるのに！
なかには、文章を引用すりゃいいやんてとこまで漫画を掲載しと

る。
たぶん、よしりんヒールやから裁判官の印象悪かったんやろな。
にしても、これ相手がディズニーやったら、左翼運動家、電気椅子送りやわ。
日本は著作権意識が薄い！

とはいえ、中国の遊園地のにせドラえもんとか妙に怒れない。
ちびっこの笑顔を見てしまうと……パクられるてことは人気の証でもあるから。
ただ金銭的に藤子プロに不利益が生じていい仕事ができなくなるということもあるから実に難しい。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊　＊
オマージュと言う都合のいい言葉がある。
それですべての問題は解決！・・・出来ないよなぁ・・・

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊　＊
ごはラさんへ
著作権は作者に有り。作品はもれなく半永久的に掲載。
この手法がなろうの魅力とか思います。
今回「広告主」との言葉が見えましたので、
（ーでは、Ｆ・Ｆはどう扱う積もりなのだろう？）
とおもった次第です。
「金銭の授受には必ず理由がある。」
料金もまた然り。

するとF・Fを無断・掲載し金銭をやりとりして居る事をも、いづれ当然、問題とは為るはず。
この意見は、サイトへの愛着からでたものですよ？

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

神村さんへ
その昔、アニメーションにおけるエロティックに規制が無く、ーいかなる性描写も野放しに世へ出て居ました。
実はそれが「オタク」人種が発生した原因なのです。
したがって、今回のガイドラインは、一種の見識とは思いますが、ー
事前に周知・期間も無く、いきなりに密告奨励、警告、削除と言い渡されると、
（著作権は作者に有るのでは？・・・）
なろうへ参加しておられる作家さんなら、ー
さすがに誰しも不安や疑問を抱いてしまうものと予想されます。
むしろF・Fを黙認して居る事の方が、危ういと心配します。
（使用許可が出て居る作品なんて在るのだろうか？？）
と初めの頃から絶えず疑問に思って居る次第です。
なろう作品に対するパロディや盗作・行為に対しても、同じ思い。
（作家さんの許しを得ずに勝手気ままに掲載して良いものだろうか？）
と、やはり感じてしまいます。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

夜兎さんへ

厳密に謂えば「著作権」という言葉は重いです。

なろうもここまで大きくなると、その活動自体が世間の注目を浴びるはずだから、ー

二次創作の存在は遠からず問題になると思います。

F・Fも掲載・作品の一つには含まれるから、ー

オリジナル作品と同様、警告を受けるものと考えられます。

既存のキャラにHシーンを行わせるのが定番でもあるから、ー

その手な代物なら軒並みノクターン送りでしょう。

もしか集英社や小学館がその気になって苦情を言い立てて来たら・・・

・・考えるだけでも恐ろしいです。

管理者側が掲載に際して警告してあげるのが、参加して居る書き手さんへの思いやりとか思います。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

山羊の宮さんへ

わたしも二次創作は実はやってみたいのです。

しかして、

「著者の生存中および彼の死後、五十年間。」

著者の許可無く其の作品の使用を禁ず。

こう明記されてあるので、遠慮して手が出せません。

そこでしぶしぶオリジナルな作品のうちに蔵して描く行き方を採って居ます。

しかし一方で二次創作がいとも盛大に行われつつある。

これにはうらやましさに胸が疼くと共に”埋伏の毒”の一つも吹きたくなります。
一網打尽に遭いたく無いので、わたしはこれからも遠慮しておく心積もりです。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

妃宮さんへ
表現の自由という建て前が存るから、ー
パロディは許容されて居る様ですね。
しかしてパロディの意図を見ると、ー
既存の作品に対する皮肉や中傷を行おうとして居る代物が存外、よく目に立ちます。
この行為は「名誉棄損」にも相当しますから、ー
互いに著作権が有る事を自覚し、かつ此処を公けの場と考えるのであれば、ー
二次創作は言うに及ばず、パロディ作品に対しても何らかの規定を設けるべきかと思われます。
盗作などは論外で、ー
これから作品への監視を強めるとおっっしゃるなら、ー
その他の方面へも、しっかり目を向けて頂きたいと思います。
わたしもそうですが、ー
みなさん、やっぱり楽しい気持ちで書きたいでしょうからね。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

うーむ。楽しいを一元化してるから怖いんだよな。
ファシズムの匂いがする。
原作をきれいに扱うだけが楽しいと認定されて、中傷するのが楽しいと認定されないというのはあまりに文学的に考えが浅い。
それは文学でなく教育だ。
もちろん、中傷してるのは原作者の寛大な心に由来することはわかっています。
こっちはアマチュア。
あっちはプロ。
怒らないでねとニヤニヤして暴れる。
そこは情けないですね。へなちょこ。
小説の前にプロアマチュアの区別なし。
全員に、権利があり責任がある。

ただ……例えば手塚先生をごらんください。
ぐうたらでふしだらでワルな人間くさいアトムが主人公の短編も描いてる。
自作のパロディですね。
結局、手塚先生というのは根がいい人だからついアトムが教育的なキャラクターになってしまう。
しかし、根っからの表現者だから偽善が許されない。
だから、作者自らアトムのうさんくさいとこをを攻撃している。
無論、人にされるのと自分がされるのは違うから、温厚な手塚先生もむちゃなファンフィクションをファンにやられれば腹を立てると思う。
しかし、攻撃的な汚いエロなアトムをファンに書かれた場合でも、内容が面白ければ手塚先生は大喜びすると思う。
頭がいいから。
手塚先生のモットーの一つは反抗精神。
アトムも一つの権威ですし。

だから、正直、ディズニーはケツの穴が小さいと思いますね。
たかだかアマチュアに攻撃されたくらいで夢の世界が崩れてしまうのか。
とはいえ、ディズニーが弱いと考えれば、守ってあげたい。
ただアメリカはイラクを侵略したりアフガン攻撃したりむちゃくちゃやりよるでしょ。
弱いイメージが全くなく、むしろ悪の帝国のイメージがあり攻撃したくなるんだよなぁ。
アメリカ批判にディズニーキャラクターを使ってみたいですね。
逮捕が怖くてできないですが。
結局できない。情けない。保身が先行する。弱い！

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊　＊
オマージュ…
絵画の世界にては、よくありますね。
憧れ：その感情はステキだけど、今の世の中ではやはり、
「訴えてやる！」（声・紳助）
とか言われそうです（汗。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊
誤字
自分がされる→自分がする

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊　＊

ただオレは午雲さんより年下だから反抗的に書いてるだけで半分は共感してる。

きれいなアトムよし。汚いアトムだめ。という基準はやだけど、汚くておもろいよし。汚くてつまらんだめ。という基準はあるんですよ。

ただ、おもしろいて人によって違う。

オレがおもろいと感じても手塚師匠がつまらんととれば殴られる。

実に難しい。

難しい！ひとまずやばいと思ったらノクターンに移動しようと思うけど、ノクターンにはノクターンの規制ラインがある。

そこは試行錯誤してくしかない。

めんどくさいけど、意識的に改革してかねば話が進まない。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊　＊

うーむ。当事者の肩書きによって法を曲げるなんて事は無い、とは思いますが…

「マンガ家＝戯作者。」

という偏見なら今もなお世に存るものとか思います。

裁判が継続中な間に、パクりモノが大儲けを果たす、という手口は、出版界の常套手段ですよ？

（慰謝料や罰金なんて桁違いに安いから。）（苦笑）

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

訴えるのがすべて悪ではないんだよなー。誰でも自分の子供（作

品）はかわいいから怒るのは当然。
ただそれは作品が弱い時限定ですよ。
作品が強い場合は、攻撃させてあげる懐の深さも持たねばつまらぬ。
だから、M的要素がいる。
とはいえ、子供を守る時はSにならんといかん。葛藤だなー。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊
作品に借りての皮肉パロディならわたしもやられましたよ。
葉書きを中断して「序章」として保留したとき、
「所詮、予告していたような壮大な物語りを書ける器では無い。」
とな文句をその作品のなかに見かけました。
あれは今でも胸のうちに刺さったままです。
作者本人には（簡単には）分からないように、ー
パロる側も余程、工夫を凝らして書いてほしいですね。
それなら存在を不快に思う事も無いかと思います。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

２８）・２９）・３０）

２８）　手塚治虫。

彼は六十歳で死んだが、死ぬ直前、ＮＨＫで特集していた。

僕の特技は円（まる）を書く事。

この頃はね、この円が書けないんだ。

手が震えちゃってね。

昔ながらのファンならきっと、ああ手塚はもうダメになったって言い合ってるだろうな。

つづいて、編集者に原稿を突き返されるシーン。

こんな話しじゃとても載せられないって言うんだ。

全部、書き直せってね。

笑っちゃうでしょ。

ぼくも恥ずかしいよ。

：馬鹿だね。馬鹿。

マンガ馬鹿…。

こう全編にわたって愚痴ばかりこぼしていた。

生涯、現役。

その番組の一ヶ月後に、彼は死んだ。

（放送は死後のことだった。）

（追悼番組となったわけだが、別の意味で寂しいものがあった。）

２０１０年　０３月　１４日　（Ｓｕｎ）

＊　＊　＊　＊　＊

手塚治虫先生と言えば、私にとっては「ユニコ」と「ブラックジャック」だろうか。
もうどんな内容だったかうっすらとしか覚えていないが。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊

山羊の宮さんコメントありがとうございます。
手塚先生の肉声を聴いたのは後にも先にもあれぎりだったので、ー
今になっても深く印象に残っています。
わたしなら「リボンの騎士」と「メルモちゃん」かな。
何回観てもおもしろかったのを子供心に覚えています。
（・・編集者って鬼だなァ・・・）（冷や汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

たぶん記憶違い。
編集者に突き返されたんじゃなくて、締め切り間近に丸きり描き直すと手塚先生が言い出して編集者が困ったという話。

しかし、締め切りに間に合わせよりよいものを描いてしまう。だから編集者も文句が言えない。
言えないけど胃が痛くなるだろうなぁ。手塚先生の担当になると。妥協を許さんから。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊　＊
ごはラさんの手塚話に連鎖して、あの追悼・番組を思い出したのですが、ー
あのシーン、そういうコトだったんですか。
後半、泣きが入っていたので、てっきり…

（描き直すって自分から申し出たのか…）
（老いてなほその情熱…）
（…鬼やなァ…）

おしらせ、感謝します！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊
いやしかしですね。丸が震えてる。
確かに後期の作品、ブラックジャックとか実に線が震えてる。
ぼく、真似してましたよ。わざと手を震わせて。
アホや。でも、味があるんだよなー。

手塚先生もディズニーの真似してる。
初期のアトムは指が四本なんだけど、ディズニーアニメのキャラが指四本。
動くと五本に見えるのです。

オレが感動したのは、
「アイデアはバーゲンセールしていいほどある。あと４０年は描く」みたいなくだり。
歳をとっても挑戦を忘れない姿勢は筒井師匠に通底する。
ああいうじいさんになりたいですね。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊　＊

確かあの時は「アドルフに告ぐ」を描いて居て、円の震えをごまかすために、キャラの頬にシワを書き込む話しをしてましたね。
彼の「火の鳥」の鳥の頭が思うように書けなくなったのも見て取れますね、言われてみれば、ー。
今時のマンガは分業制だから、パワーが足りないのかも。
扉絵だけが本人の筆…中身は全てアシの代筆…
輪郭の線の力具合いを見ただけで、それと分かってしまうのが哀しいです
（模写への努力は認めるけど…）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

２９）　時代劇。

藤田まことが死んで、時代劇の定番がまた一つ過去のものとなった。
思えば、時代劇がすっかりさびれてしまった。
主役は居るが脇役が居ない。
どこから湧いてきたか分からぬような泥臭さ。
そんな俳優が少なくなって、悪役すらも何だか好い人っぽい。
いわゆる地方へゆけば、昔ながらの、時代劇に使えそうな風景なら沢山にあるけれど、ー
至るところ路が舗装されてあるのが、キズらしい。
これが映ってしまっては、もう台無しなんだとか。
セットがピカピカなのも実は不自然だ。
歳月を経たる風合い。
いっそ白黒で放映した方が見映えが好いかも知れない。
（白黒・水戸○門とか。）

２０１０年　０３月　１５日　（Ｍｏｎ）

＊　＊　＊　＊　＊
そうですね、昔、京都に住んでました。
すると、いつも上賀茂神社で時代劇を撮影してました。
懐かしいです。
昔の映画をケーブルでよくやっていますが、市川雷蔵の魅力的な

こと。
時代劇っていろいろと冒険があったように思います。
三匹の侍から、切った時の音がキャベツをざくっと切るというあの音を使うようになったり。
うーん、懐かしい。
最近は龍馬伝の撮影が凝っていると思います。
あれはお金掛けてますねえ。
勝手にお邪魔して失礼しました。

投稿者：河　美子

＊　＊　＊　＊　＊
河美子さんコメントありがとうございます。
芸人も今や高級？になって、何かこっちが見てやろうというより、むこうが見せてやろうとな構えがみえて、昔とは趣きが変わりましたね。
松健のれれれを観てると哀愁を感じます。
玉緒は雷蔵と共演した事が生涯の自慢とか。
時代劇ファンとしては京の町衆に頑張ってほしいです。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊
確かにここ何年も大河ドラマさえもう終わってるしね。
もう最悪。
去年の年末に日曜ドラマとして放送されていた「仁～ＺＩＮ～」

は、時代劇とは少し違ってもキャスティングが良すぎたせいで、今の「竜馬伝」が物凄く劣って見えるし。
もう滅多に見つけられない、時代作の当たり。
このジャンルだけは、手がける人次第で大きく差が開くよね（苦笑）。
それだけ安易なジャンルではない証拠だと思います。

投稿者：妃宮　咲都

＊　＊　＊　＊　＊
妃宮さんコメントありがとうございます！
黒澤明が死んでからかなあ…
やはり映画に出るのが俳優の名誉、ドラマなんて軽んじる風が依然、演劇界に残って居るのかと思います。
時代劇に思いを致す、映画監督のほうが先に絶滅したというか、ー。
無名の旅芸人からメンバー募ってみたらどうだろう。
この頃の大河は何だか学芸会みたいで観て居られませんな、確かに、ー。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

３０）二百文字・日記？

みなさんの作品につられて、わたしもやってみました。
むだな言葉をつぶやくスペースが無いのが、辛い処ろ。
ちなみにこれまで一度たりとも当たったことはありません（汗）。

宝くじ　ながめて暮らす　春日かな。　午雲。

２０１０年　０３月　１６日　（Ｔｕｅ）

＊　＊　＊　＊　＊

宝くじ　買わない人は　当たらない　　律子

お粗末様です。

投稿者：神村律子

＊　＊　＊　＊　＊

神村さん返句まで頂き、ありがとうございます。
厳密には句読点を省いて二百文字なんでしょうけど、
〈文字数２００〉
とな表示にこだわってしまいました。
（：まだまだで御座る。）（息）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

午雲さん

「文字数２００」にこだわるのでいいのではないですかね？
あれしか、「２００文字」を証明してくれるものがないですから。

余程の暇人でない限り、人の作品の文字数を数えてくれないでしょうから（笑）

投稿者：神村律子

＊　＊　＊　＊　＊　＊

うーむ。やはり小説では句読点もひとマス…
原稿用紙の体に基づいて居るんですね。
実際、読み点を省くと意味が通らない時もあるし、ー
要りますね、やっぱり。
ありがとうございます！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

食ったから　鯨の肉を　スモークで　多少なまぐさ　またそれも
良し

山羊ノ宮

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊

山羊の宮さん歌を頂き、ありがとうございます。
一度も当選したことないので、もっと当たりやすくしてほしい、
というのはいつも思います。
鯨の肉もいまやなかなか人びとの口には当たりませんね？

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

31）

31）　マンガに規制？

マンガにおいて、ー
未成年者（18歳以下）のキャラクターがHシーンを行なう事を禁止するとか云う。

東京都の話しだが、人口規模から考えて、やがては全国へ拡がりそう。

すでに、少年マンガにおいて、喫煙シーンを描く事に苦情が出て居るとか。

マンガと行動との因果関係。
無いとは言えないと思われる。

視覚的な情報、その影響は強烈だから。

無意識のうちに模倣してしまう、という場合は、ー
人によっては確かに有り得よう。

表現の自由と公共の福祉。

その論争は、いつの世にもあるけれど、ー
今時の有り様をながむるに、ー
往時のマンガと比べれば、ー
行き過ぎの感を禁じ得ぬ思いも、確かに来たす。

マンガとは子供が読むものとの前提を、初心に返って、今一度、思い出すべきであろう。

２０１０年　０３月　２０日　（Ｓａｔ）

＊　＊　＊　＊　＊　＊

こんにちは。

前にも書いたと思いますが、自浄能力を喪失した業界はやがて自滅の道を歩みます。

マンガ業界がそうならない事を切に願っています。

投稿者：神村律子

＊　＊　＊　＊　＊　＊

いや、今のままでは確実に、なりますね！

自滅の兆候・・・

それはもう目にみえて現れて居ます。

タブーに触れるプロットを堂々と商品化してあるのは、いかにもまずい。

心ある人々がマンガから離れてしまった。

瞬間風速にては売上げを伸ばしても、ー

長い眼でみると、戦略的にはアレが大失策だったと思います。

一度、定着したイメージは、もう、なかなかぬぐい去れない。

（・・致命的ですな。）（冷や汗）

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

私はマンガの性的描写規制のニュースを観て、正直アホちゃうか？と思いましたよ。

あのですね、マンガでも、小説でも、映画、ドラマ…ノンフィクションを抜けば、みーんな作り物の世界なわけじゃないですか？

私もちびっこの頃から漫画大好きですけど、マンガの世界はフィクションだって子供ながらに理解して読んでましたよ。

その中で、過激な性的描写もあったと思います。

永井豪なんて本当エロ、バイオレンスの帝王だといまだに私は思ってます。

でも、それもフィクション。リアルな世界じゃないと認識したうえで。

マンガや小説や諸々がフィクションじゃないって子供が認識できずにマンガの真似するのは、それを書いたり作ったりする人が悪いんじゃなくて、それをフィクションだと認識させる事ができない、そんなコミュニケーションも取れない親や大人の責任だと思うんですよ。

例えばキャッツアイを読んで、あの三姉妹に憧れても、ドロボーしたいと思いますかね？

（プラスチックのトランプでカードが刺さるか真似はしたけど）

北斗神拳使えると思えますかね？

リアルに鬼娘の宇宙人が宇宙船でやってきて、ダーリンを追いかけ回して電撃攻撃しますかね？

ヤンキー漫画を読んで、他校に木刀やら金属バット持って殴り込

みかけるなんて、今時やる人いるのか？
だったら、今は亡きミュージシャン尾崎豊は少年犯罪を推進しているからＣＤ回収しないかんじゃん。
「卒業」とか「１５の夜」とか、昔のヤンキーは尾崎豊に憧れと尊敬を抱いとったよ。

性的描写だってそうですよ。
ちびっこに真似されたくないなら、親がしっかり性教育して、フィクションとリアルのラインをちゃんと理解させとけよと思います。
大体性に対しての教育が不十分だから、ちびっこが痛い目見るんだよ。
漫画や小説、映像全般、雑誌、友達等から性知識を仕入れるしか方法がないってのは、親が子供に性とはなんぞやをきちんと教えてない証拠だと思うんです。
そこを曖昧にして、性的描写規制なんて、寝言は寝て言えと思います。

投稿者：河野夜兎

＊　＊　＊　＊　＊　＊
喫煙シーン規制だけで・・・・・終わらないんですよね？
確かに子どもへの影響が全く無いわけではないと思いますが、正直なところそういうところでいろいろなものを学ぶ機会は多かったと思います。
非現実的な要素を多く含む漫画でも現実に実在するものを題材とした設定がほとんどですし、今となっては現実世界で見ることのできない、もしくはそういう機会がたまたまない現象に関しても情報を得る事ができます。
じぶんとしてもそうやって学んだ事も多いですし、またグロテスクだったり強烈な表現について初めて出くわしたのも漫画の世界で

す。
生きていくうえで見る必要の無いもの、と言われるかもしれませんが正直なところ世の中ではメディア以外の偶然ですらリアルタイムで目撃する事もあります。

大して説得力を持たない実例ですが、
自分、小さい頃はかなり血とか骨とか絵でみるだけで一日中頭に残って困惑してしまうくらいそういうのが駄目でした。
中2までもののけ姫にもまともに目を当てられませんでしたし、アメリカのいろいろ出てくるアクション映画とかも吐いてしまうくらい苦手でした。

ただそれを克服せねば、とおもいたって友達の間ではやっていた某学生が殺しあう話の漫画版を死ぬ気で読んで・・・克服しました。
年齢的にそういうの大丈夫になってくみたいですが自分は必要以上に駄目すぎて他人に迷惑をかけてましたので本気で頑張りました。
特殊な例なのかもしれませんが・・・

そしてまぁ直接的にではないですが役に立ったんですよ。
中2のころ部活で山間部を走っていたとき、冬だったんですが自分ひとりはぐれて道に迷ってしまいしょうがなく帰り道を探していたところ、足を滑らせてから両手を突いて転んだんです。
んで、あんまり痛くなかったんですが衝撃的なことに生えて折れてた細い竹みたいなのが右手の平の骨の間を抜けて貫通してました。
幸いいたみは感じないものの血は出始めていてかなり焦りましたよ。
情けない事に気絶しそうだったんですけど・・なんとか持ちこたえて枝を折ってその場で傷を確かめて山から何とか降り、近所の病院にたどりつく事ができました。
今でも傷が少し残ってますがよくやったなと感心してます。。。

・・・だからなんだって話ですよね？汗

前もって漫画を通してみておく事で初めて現実で出くわした時に冷静に対処できたり、自分や誰かを護る事ができるかもしれないから規制なんかしないで今のままでいい。

といういけんなのです。

グロテスクなものや強烈な表現にそういう声がかけられる日も遠くは無いのかと思いまして心配です。。

説得力に欠けてすいません。

投稿者：希菜

＊　＊　＊　＊　＊　＊

今んとこ、2対2か。もう少し様子を見よう。弱い方の味方をする。

オレなんて小説で小学生に煙草を吸わせてるからひどいね。手塚先生が漫画でキスシーンを描いて、ＰＴＡが漫画本を校庭に山積みして燃やしてたことを思い出すなぁ。

あれは昭和２０年代の話か……。

ＰＴＡとナチスドイツって発想が似てる。

だいたいは午雲批判になったけど、必ずしても夜兎に全面賛成ではないので、午雲擁護の文章も書いてみたいと思います。

山登りで骨が突き出した話はちょっといいですね。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊　＊

「そんな子供に育てた親が悪い」

これ、最終兵器ですね。
でも、繰り返しますが、自浄能力がない業界は自滅しますよ。
親のせいとか、社会のせいとかにしていると、全部人のせいにして、結局自分は何も責任を取らない大人になってしまうような気がします。
規制は怖いですが、その規制に口実を与えている一部のバカ者がいるのも事実です。
もしかすると、そうするために規制側が仕込んだのかも知れませんが。

投稿者：神村律子

＊　＊　＊　＊　＊　＊

うむ。昔のマンガと今のマンガと何処が変わってしまったのか？
おもうに「子供が読んで楽しいもの」というコンセプトを強く意識して居たと思います。
大人が読めばくだらなくても、子供が読んだら面白い。
その垣根があいまいになって、むしろアダルトの方へ重心がシフトして居るとか思います。

マンガ業界の常識と世間の常識とが、ずれてしまった。
（好きなマンガも載ってるけど・・・）
（イヤなマンガも一緒に載せてあるから・・・）
（買うのやめとこう。）

垣根があいまいなので、子供心にそんな気分も働くか知れません。
スピリッツがエロを解禁した際には、びっくりした覚えがあります。
（・・小学館よ、おまえもか・・・）
みたいな気分。

模倣して居るのは、むしろマンガを読んだ大人たち。
しかし、その心理は、子供の頃に目に触れた、エグいマンガのせいかも知れません。
コマーシャルみたく、刷り込みという効果が暗に働いて居るのかも。

（たとえば、学校襲撃などという事件なら彼の「寄生獣」の場面を思い起こします。）

ジャンプのコンセプトは「友情」とか。
最後の牙城？として、これからもめげずに頑張ってほしいです。
（わたしもマンガには思い出ある作品が多いので、ー。）
（キャッツ！・・なつかしいなァw。）

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊
夜兎がんばれ！りっちゃんに負けとるぞ！言い返してやれ！
（オレはポテチ食べながら眺めてるから）

それにしても山登りして骨が突き出した話はいい話だなぁ（しつこい）

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊

知識・マンガという名のジャンルなら確かにありますね。
ゴルゴ斎藤は黙殺されてるけど、あれも一種の知識・マンガな観があります。

わたしは「ギャラリー・フェイク」が好きで、ー
あと「マスター・キートン」とかもよく調べてあるなと感心します。

前にも述べましたが、ー
ドラマのプロットが書き尽くされて、ー
エピソードの強さ（度ぎつさ？）を徒らに競い合う、ー
そんな傾向が、ー
殊にマンガの分野において、近年、顕著になって来たと思われます。

なんでもアリ…
行き着く処ろまで行ってしまった…

こうなると、マンガの存立自体が危ぶまれます。
マンガを読むとバカになるとか昔なら謂われて居て、ー
それを覆してみせるために、手塚先生らは頑張ったそうですが…
今なら何と謂われて居ることやら？
（草葉の陰で手塚先生が今頃、泣いて居るかも分かりません。）

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

ライス先生ありがとうございます。。。

突き出したのは・・・竹ですけどね。

神村先生のおっしゃる事はなるほど納得ですね。

でも責任転嫁なら、そもそも

「そんな子供が育つ漫画が悪い。」

と誰かが言い出したのが始りではないでしょうか？

もちろん全くの無関係ではないと思いますが、アメリカだって銃を子供の目に付くところに置いても銃のことをちゃんと教育しているから教育という規模では大げさに批判されているわけでないですよね。

戦争反対という大きな枠でもって批判されているのかもしれませんが・・・

もちろん不慮の事故で子供が傷つくという例外はありますが、そんなことをいったら車一台で何人でも人をひき殺せます。

性教育に関して、

夜兎先生のお言葉と一部かぶっていますが、教育的配慮が足りないのは若干親、そして断然この日本に何千とある教育機関＝学校組織だとおもってます。

漫画を規制するより保健の教育レベルを向上させるほうが圧倒的に効率的で批判も浴びないでしょう。

「勝手にどっかで知って来い」
と野放しにしたくせにたったいくつかの人間の例から情報源を批判するのは教育機関のやる事とは思えません。怠慢です。
ってなんか熱入ってすいません・・・・
神村先生批判、というより自分の意見が言いたかっただけです。
お気を悪くされたらすいません・・・
少ない人生経験値のもとでの未成年の主張を聞いてあげてください。
投稿者：希菜
＊　＊　＊　＊　＊　＊
はい、寄生獣でた（笑）
私あの漫画いっぱい葛藤があって深くて大好きです。今もマイ本棚に入ってます。
確かにあれ、描写がリアルで過激です。でもねあの話、あの作品であのリアルさがなかったら、心の中にすごい葛藤が生まれたのか？
果たして私はあの作品が素晴らしいと思えたかな？と考えてしまいます。
へなちょこで優しいシンイチに寄生していたミギーが本当に大好きでしたよ。
神村せんせー、違いますよ。
「親の責任」は最終兵器じゃないよ。
当たり前のことだよ。
性に対してのことだけじゃなく、すべてにおいてね。
自分の産んだ子供を守る為に、危機回避の知識を与えてやる責任、

義務を最終兵器というならば、私はちびっこに大人、身近な親がちゃんとした事を教えてくれないなら、どんどんやりたいようにやればいいじゃんと言いたくなる人間です。
要はコミュニケーション不足ではないかと言いたいんです。

同じ漫画読んで、子供とあーだこーだ言い合える親子関係を望んでるんですよ。
それが、残酷な描写や、性的描写があったとしてもね。
自然と子供に教えてやれるコミュニケーション、これ、一番簡単な方法じゃないかと私は思うだけです。

確かに大人が配慮、認識に欠けてるところもちゃんと認めてますよ。
でも、流行りだけで薄っぺらな作品は後世には遺らんとも思います。
そこは、作品を作る側は努力しなきゃいけないんじゃないかなと思います。

投稿者：河野夜兎

＊　＊　＊　＊　＊　＊
うわ。読み間違えたか。恥ずかしい！

なんか夜兎の方が強そうなので、りっちゃんの擁護しようかなぁ。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊　＊
夜兎さんも「寄生獣」を読んでましたか。
昆虫とは地球外生物？との学説からヒントを得たものでしょうね。

あれから一時期「外骨格・生物」ネタのホラーとかが流行りましたな。
あの作品を読んで以来、
＜パラサイト＞
という言葉が気に為って仕方ありません。
（ちなみに外国では、パラサイトという単語は語感・最悪・・・）
（・・使用をはばかるほどな忌避言葉だそうです。）（汗）。
コメント、どうもです！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
いやまァ自分がガキだとしてね。
給食の時間に放送で「ちびまる子ちゃん」とかだったらいいけど、
「この作品は暴力的表現を使っていますが友情とかそういうテーマは非常に教育的ですばらしいので流します」
と言って「バトルロワイヤル」流されたらどうする？

まァ作家的な発想だろうね。そんなことありえへんと。

あるいは、例えば、ジャンプ開いてもね、サンデー開いてもね、マガジン開いてもね、チャンピョン開いてもね、コロコロ開いてもね、ボンボン開いてもね、ヤンマガ開いてもね、おっとちびっこはヤンマガ読んじゃいけないよ、まァとにかくどの漫画誌開いても、「ちびまる子ちゃん」や「サザエさん」や「コボちゃん」みたいな漫画しか載ってなかったらどうする？

まァありえへんね。

でもそういうありえへん発想をしてみると、非常にわかりやすいよ。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊

まァ確かに「ちゃお」に「バトルオワイヤル」が連載されてたらやばいわ。

あるいは、エロ漫画誌に「サザエさん」が連載されててもやばい。

両方、読者が怒る。

バトルもサザエもいい作品だけどね。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊

う～む。

未成年者のキャラと置いてあるけど、ー

狙いはやはり児童ポルノへの規制でしょうね。

未成年者と大胆に区切ってあるのは、書き手の抜け道をふさぐ意味合いと思われます。

マンガ＝アブノーマル。

そんなイメージが世の中に定着してしまうことがいちばん恐ろしい。

もうだいぶんひろまりつつあると思いますが・・・（汗）。

営利も大切だけど、マンガは今や社会的な機能をも担って居ると見えるんですけどね・・？

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

だから、サザエというのはすごいんだよ。
あんなにくそつまらん設定なのにあんだけ長いこと続いてるってことは作品としてね非常にいいと。　バトルもさ。
あんなひどい暴力的な設定なのに若い読者の支持を得ているってことは作品として非常にいいと。
暴力的だから若者が支持するわけじゃないものね。
やはり心に響くものがある。
バトルてものすごいぶ厚いでしょ。
国語がニみたいな生徒が一生懸命読んで読破してたもの。
それだけ作品に力があると。
サザエも同様。
イクラがぐれるとかマスオが不倫するとかさ、そういうおもろい要素まるでないのに、あれだけ多くの視聴者に長い間観られてるってことは、作品に力があるからなんだよなァ。
オレもがんばらないと。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊　＊

マンガ＝健全。
これも危ない。
だってそうでしょ。
発言権がない子どもが先生や親に虐げられたとき、誰が代弁するの。
漫画家くらいしかおらんでしょ。

その漫画家が体制の側に回ったらもうおしまいだと思いますね。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊　＊

実際、手塚治虫も勲三等しかもらってない。しかも死後に。
政府にとって危険な存在だったんじゃないかな？
手塚治虫が勲三等。そういう国なんだよなァ。この国は。

たぶん、へなちょこな作品書いても政府にとって実に都合のいいことばかり書けば国民栄誉賞とかもらえると思う。

あ。屁こいてもうた。くそ。真面目な話をしているからつい緊張して。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊　＊

国民栄誉賞といえば、ー
浦沢「ヤワラ」の治五郎を思い出しますなw。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

最終巻で確か国民栄誉賞の授賞式があって、それをドタキャンして柔と松田が空港へ向かう。
泣いてしまいました。うはははは。実はラブコメが好き。
まー筒井康隆も勲章もらってるから政府もバカばっかではないん

ですけどねえ。
むしろ、賢い人が多い。
賢いと恥かくのがいやだからギャグをやらんのだけど、バカはギャグが理解できんという。
人間つうのは矛盾しとる。バカでもあり賢者でもあり。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊
あの頃、スピリッツはよく読みました。
「猿でも書けるマンガ教室」が何故か印象に残って居ます。
ラブコメに泣けるなら、きっとラブコメが書けるはず。
楽しみにしておきます！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊
こんにちは。
お気に入りユーザ登録ありがとうございます。
今「牢番」拝読させていただいています。
いろいろ勉強させていただければなと思います。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメント入れて下さりありがとうございます！
わたしはHシーンを描くのが苦手なので、黒姫杯を読んで勉強させてもらいます。

こちらもそのうち感想させてもらいますね！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

32）・33）

32）　幻滅。

人類が月に降り立ったのが、昭和四十四年。
実は「コーラン」には、
＜人類が月へ昇るまで神との契約はつづく。＞
とな文言が含まれて居るらしく、未だにこの事件を認めて居ない。
ちなみにユダヤ系の人々なら、
＜天地創成からの歴史は四千年。＞
とな文言が彼の「旧約」にみえるので、ー
恐竜の存在を否定する考えの人々もあるらしい。

人類が月に降り立って以来、
「科学万能主義。」
とも呼ぶべき価値観が世を席巻した。

アニメーションにおいてＳＦ・・・
いわゆる「メカもの」がこぞって制作されだしたのも、その現れである。

最初の頃は、より実用的なメカであった。
それがだんだんロボットになってゆく。
＜戦争もの＞から＜ロボットもの＞へ、ー。

この変化・・・
一説には、科学への”幻滅”から来たして居るとか謂う。

科学から空想の領域にへと、作り手の意識が逃避してしまったらしい。

アトムからガンダム、いまやエヴァンゲリヲン。
こう並べてみると”実用化”の意思など度外視して居るのがよく解かる。
宇宙戦艦や銀河鉄道とは明らかに発想が異なる。

アポロ計画から四十年・・・
気がついてみると、軍事偵察衛星が、地球の周りをぐるぐる回って居る。

月旅行なんて・・・どうやら夢物語りだったようである・・・。

２０１０年　０３月　２２日　（Ｍｏｎ）

＊　＊　＊　＊　＊

でも人間は夢をみる生き物だと思いますよ？
たとえ物質的な世界を人類が支配しようとも、人の感情に理由はつけられない
インターネットができてから電脳世界を夢見たんですから、次の時代には次の夢があると思います。

科学万能主義。
それも大きく見れば一つの夢でしょうよ。

でしゃばってすいません汗

投稿者：希菜

＊　＊　＊　＊　＊

希菜さん、コメントを入れて頂き有難うございます。
「ドラえもん」が何故、人気が出たかと謂えば、ー
当時は本当に、将来、あのぐらいのモノなら造りだせるだろう、と期待してたからなんです。
ワープ航法でさえ、理論的には不可能では無い、みたいなことが謂われて居ました。
その熱気を味わって居るだけに、
（あれは幻想だったのか？）
との思いが今頃、ひとしお押し寄せて来ます。
しかし、電脳空間って四次元ポケットのような感じもちょっとしますね！
未来の科学者には、なおもっと頑張ってほしいです。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

科学の発展は経済活動とは切っても切り離せませんよね。
小説の世界もそうですが、「売れる」か「売れない」かが価値判断の基準のような気がします。
ドラえもんが開発されることによって何十万人、何百万人の失業者が世界中に溢れるのかわかりませんｗｗ

悪魔のロボット、ドラえもんw

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメントありがとうございます。
科学と経済活動…
思えば確かに、
「大空の鷹をうつより軒先の雀を射よ。」
とな発想が、近年は見え隠れして居ますね。
遺伝子コンピュータの発明話しなどは何処に消えてしまったのやら？
ゆっくり行こうという共通認識に変わって来たのかも。
ドラえもんはホントに出来ると子供心に思ってましたけどね～（遠い眼）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

うーん、ＳＦアニメーションって言うと、私もやっぱ松本零士作品を思い浮かべますね。
宇宙戦艦ヤマトはちょっとわかんないけど、キャプテンハーロックや銀河鉄道９９９はすごい作品だなあとちびっこながらにもハマって観てました。
旧ドラえもんの映画にも『銀河エクスプレス』ってのがあり、やっぱ９９９を思い出しちゃったなあw

科学の進歩的な事を視野に入れて考えると、確かにそうゆう目新しい実用化の希望と取れそうなアニメ作品て最近見かけないですね。

一時期はちびっこの科学離れが加速してるという報道もしばしありましたが、今はどうなんでしょうね？

今はものがいっぱい溢れてて、自由な発想や探究がしにくいんでしょうかね？

（大人も同様ですが）

投稿者：河野夜兎

＊　＊　＊　＊　＊　＊

夜兎さんコメントありがとうございます。

宇宙戦艦ヤマトは原子力を積んで居て、ワープ航法なんかも其処で初めて知りました。

最近のＳＦは魔術的ですね。

ガンダムは動きがよすぎる、といつみても思います

（パイロットの腕の問題ではなく…）。

先の希菜さんの言われるように、

「夢想を表現せしもの」

と考えてやるのが当然なのかも。

まあ、なかなか簡単では無いと解った事をも、ー

ある意味、進歩と言えるのかも知れませんな（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

ガンダムは実話を元にしてるという話を聞いたことがあります。
アメリカが極秘でガンダムを製作していて、太平洋戦争でも使う予定だったとか。
使わなかった理由は、わかりません。
使わなくても勝てると思っていたからでしょうか？

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊

え？ガンダムを開発して、実戦・配備？
それは初耳ですな。
確か「宇宙戦争」というタイトルの有名なＳＦ小説があって、ーガンダムの設定は其処から来ている、と聞いた覚えがあります。
（その小説、まだ読んだことありませんが、ー）（恥）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

３３）　書籍。

その昔、日本は「黄金の国」と呼ばれて居た。
川床に砂金がごろごろして居たらしい。
昔話「三年寝太郎」を思い出してみてほしい。
あれは佐渡ヶ島へ渡るのだが、ー
かつては佐渡だけでなく、列島各地に鉱床が眠って居たらしい。

ところが列島の住人は何故か黄金に興味が無く、ー
ひどい時には「く（そ）がね」とか呼んで放置して居た。

あるとき、これを海外の住人が喜ぶことを知り、ー
砂金をかき集めては、貿易の決済につかった。

大陸との貿易において、列島人が求めた品物・・・
それは絹（シルク）と貨幣（銭）、そして何より「書籍」であった。

製造に手間が掛かるため、シルクと銭とは代価が高い。
しかし書籍は、格段に安かった。

原本なら禁地に埋蔵して後世に伝えおく。非売品である。
けれども、世に行われてある、写本なら、ー
その内容はほとんど同じなのに、ー
それこそタダみたいな値段で、譲り渡される慣らわしであった。

（漢字・文明を世界へひろめたい。）
という、大陸人の願いも、もちろん有る。

（文章は共有財産。）
（これをもって銭儲けの種にするなど、見苦しきこと。）
という考え方も永らく有ったらしい。

しかしながら、中華人がもしか写本にも相応の価値を見出して居たなら、ー
今頃、どれほど巨万の富を築きあげて居たことか。
日本にだけ伝わって、もはや大陸にては散逸した書籍も数多く有るとか聞く。

今となっては、ー
あらかた著作権なら切れて居るはずだから、ー
もう、後の祭りだけれども。

２０１０年　０３月　２３日　（Ｔｕｅ）

＊　＊　＊　＊　＊
奥の深いお話ですね。
今や「書籍」は商品でしかない。
売れれば何でもあり。
逆に売れなければどんなにクオリティの高い書籍も販売されない。
エコノミックアニマルとはよく言ったものです。
あんまり言いたくはないですが、本当によいものを見分けられる編集者・審査員はいるのでしょうか、甚だ疑問です。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメントを下さりありがとうございます。
グーグルと中華とのいさかいをみて、

（この発想が今も大陸の世間にては生きて居るのかな？）
と思ったのです。
佳い作品を選び、後世に遺す事をも、文に心得ある者の務め。
あまり高値にするのも考えものですが、ー
それにしても、ー
ろくに値をつけずに名著をどしどし世にひろめた、ー
いにしへの中華人の発想には、今更ながら唸る思いです。

文章をもって後世に名を馳せる。
それこそが最高の名誉と考えられていたとか。
今の世にあっては、なかなかそうもいかないけれど、ー
心の何処かには、そんな気持ちも保っておきたいですね（：理想論ですが）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊
ちょっといい話ですね。
そもそもなにゆえ書籍を読むのか。
それは広く知識を得たい、興奮したい、人間的に成長したい、ヌキたい（おっと。下ネタをゆうと午雲さんに怒られちゃうな）ということなわけで、売れる売れぬは二の次ってね。
無論、売れるのはいいことだ。
売れるから生活できる、生活できるから書ける。

とはいえ、例えばむちゃくちゃ売れて印税が一億円入ったとして、それで引退してしまったら何の意味があるだろう。

手塚治虫は書いて書いて書きまくってもうけて、そのもうけたカネをすべてアニメに投入。
時に借金までして。
ああいう生き方に憧れる。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊　＊
ごはラさんコメントありがとうございます。
昔なら「山月記」にあるような悩みはあったかと。
文才を誰か貴族に認められて、初めて文人として世に立つことができる。
今の世なら、貴族の代わりに出版社といえるかも。
やはり芸能の一種という感じもして来ますね。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊
午雲先生呼んだ？呼んでない？
まあ、いいや。
それでは私も少し。
例えば、ここに有名人のサインがある。
けれど、それは私の書いたものだ。
ここに価値は発生するだろうか？
答えはＮＯだ。
同じことが昔の中華でも言えたのではないだろうか。

作家の直筆の作品は絵画と同じように扱われ、内容が同じものであっても、写本は贋作と同じ。
贋作は今も昔も紙屑ほどの価値しかないのだ。
とは言え、印刷技術が進めば、価値と言うものは変わり、商売として成り立つようになってからは扱いも変わったのだろうが。
まさに今インターネットというインフラが発達し、著作権という価値観が変革しようとしているように。
長々とすみません。
それでは、また。
失礼いたしました。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊　＊
山羊の宮さんコメントを下さり、ありがとうございます。
写本が贋作！？
その発想は気づきませんでした。
彼の「史記」には伝説があって、原本のなかでは武帝の批判を行なって居るとか。
しかして肝心の原本が行方不明、未だ陽の目を見ないので、なお伝説のままなのです。
すると確かに写本は欠損品、現行の史記も原本と比べれば、価値が劣る代物・・・
なるほど、そんな発想なのかも知れませんね（う～む）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

手塚先生が「午雲」とサイン色紙に書いたらどうなるだろう？？？

あるいは、ジョンレノンがサイン色紙に「ＧＯＨＡＮ　ＲＩＣＥ」と書いたら？？？？

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊　＊

手塚先生やジョン・レノンンの直筆となると、時系列が合わないから・・・

落書きによる偶然の一致として片づけられるでしょうね。

あるいは筆跡・模写。

石碑なぞ彫る際には、名筆を貼り付け、文字を上からなぞって、それから彫るとか。

これだと、盗作というか贋作というか。

でも、見分けはつかないでしょうな（技ありっ）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

34）・35）

34）タイトル　魚。

黒マグロを獲る事を禁止すべし！
モナコがそう提案して、危うくマグロが食べられなく為る処ろだった。
決定が濃厚だったのに、中華が反対に回って、どうにか事無きを得たとか。

人口・大国たる中華にては、
「穀物よりか魚を主食にしよう。」
という構想があるらしい。
米も完全栄養食だが、本来、魚の身もそれに近いものが有る。
農業から養殖へ。
牧草を植える代わりに溜め池を掘る。
大陸国家にして膨大な版図を保持する、中華ならではの構想かも知れない。

大陸の中華がものを言わなければ、何も決まらない。
それは仕方が無い。
現在の国連、その体制を観るに、大陸・中華は戦勝国・・・
片や日本は依然、敗戦国とな待遇である。
この図式が、いつもアジアの政治事のうちには息づいて居る。
国連の体制があらたまらぬ限り、日本の戦後は終わらない。
そんな気がする。

それはともかく、ー

黒マグロを指して、
「海洋資源。」
と称ぶ言い回しが、どうしても耳に立つ。

こんな調子では、
「めだかの学校は～」
とか歌ってあげても、
「・・めだかに学校なんてあるわけ無いやん？」
とか、子供から言われそうだ（汗）。

２０１０年　０３月　２７日　（Ｓａｔ）

＊　＊　＊　＊　＊　＊
人間とはかくも傲慢な生き物ですね。
そんなテーマの小説書きたくなりました。
午雲さんの活報はインスピレーションの宝庫ですね。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊　＊
ニュースにおいては、ずっと「海洋資源」と言い通して居ます。
いつからだろう？・・・
なんかもの悲しい感じすらしてきます。
（・・これでいいのだろうか？・・・）

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

３５）　小説とマンガ。

評論家のうちに、ドナルド・キーンという名のアメリカ人が居る。
ハワイの大学で彼の「源氏物語」を学んだという日本語通である。
当時、そのゼミでは、日本語にて学生たちが会話して居たと云う。
ただし、十一世紀頃の日本語だったとか。
外国人の目から眺めても、文法がしっかり定まってあるので、遣い易かったと云う。

この彼が活躍して居る頃に、折りしも日本の小説は「世界進出」を目指して居た。
手本は欧米の文学・小説。
彼の村上春樹とかはその生き残りだが、結局、不発に終わった。
非キリスト教圏というのもあろう。
欧米における普遍的なテーマ、それは何より「神の実在の証明」に在るからである。
それに加えて、日本語は翻訳しづらい。
欧米の言語とは構造が明らかに異なって居る。
内容以前に、翻訳による紹介が難しい言語なのである。

ところがマンガとなると、話しが違う。

絵文字は万国共通。
この利点は、マンガにおいても宛てはまる。
吹き出しの中のセリフを読み手の言語に差し替えてやれば、ー
それだけで、外国人でも読んで楽しむ事が為し得る。
ちょうど、映画に字幕を付けてやるようなもの。
気が付いてみると、マンガの方が先に「世界進出」を果たしてしまった。
白黒だけに、いわゆる肌の色は関係無い。
キャラの容姿が無国籍なのも幸いした。
唯一のネックは「右から左へ読んでゆく」スタイルに有るらしい。
欧米圏にては「左から右へ読んでゆく」スタイルが常識・・・
まったく逆なのである。

もしかマンガを「左から右へ」読むようになったら、ー
マンガはもっと世界の人々に親しまれるだろうけれど、ー
肝心の日本人にとっては、読みづらい代物になってしまうかも知れない。
（過去の作品なら、もう触りようが無いのだし・・。）（汗）。

２０１０年　０３月　２８日　（Ｓｕｎ）

＊　＊　＊　＊　＊　＊

そういう意味ではアニメが一番受け入れられやすい理由が明白ですね。
アニメだったら順番は関係ないですもんね。
日本人の感性って、東洋の神秘なのでしょうね。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメントありがとうございます。
アニメのキャラは軒並み無国籍ですね（日本語をしゃべってるのが不思議なくらい・・）。
石ノ森「サイボーグ００９」あたりかなァ。
アニメの世界では日本語さえ話して居れば日本人となセンスが早くから定着してますね。
いま、彼の「ルパン三世」が海を渡って、フランスで大人気とか。
アルセーヌ・ルパンとルパン三世・・・全然ノリが違うとおもうけど（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

鉄塚プロダクションが製作したアニメ「きんたまくんとお尻くん」。
第一作「きんたまくんをいじめちゃいや」が放映されたのが江戸の末期。
１８４４年。
以来、約１５０年間、国民とともに歩んできた偉大なるアニメ。
でも、最近アメリカで放映禁止になったそうです。
文化の違いかなぁ。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊

ごはラさん黙示録？ありがとうございます。

昔の国語の教科書では、手塚先生がアニメーションを発明・・・・・したかのように書いてあったのですが、やっぱりディズニーの方が先なんですかね？

コマ送り、教科書に落書きして、パラパラと勢いよく頁をめくってやると、ー

キャラクターが、まるで生き物のように、目に、動いてる風に見えたとか。

同時代に同一の発明が起こるなんて、奇遇というか・・・

むしろ、

「現実とは小説より奇也。」

という文句を思い出してしまいます（汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

手塚先生にとってくそディズニー（いま反米なのでこういう言い方）は神的存在ですね。

最近文庫で手塚先生の「ピノキオ」買いました。

これはディズニーの「ピノキオ」を漫画化したもの。

ビデオもＤＶＤもない時代。

手塚先生、相当くそディズニーを観たんだなぁ……

ぼくも幼い頃テレビでよく観てた。くそディズニー。

アニメが初めてできたのは平安時代らしいですね。
宮中で「源氏物語」がヒットしていたのだけど、庶民で文字を読める人があまりいなかったので、アニメ化したそうです。
高校生の時に、日本史の嘘尾言蔵先生がゆうてました。
言蔵先生は「大東亜戦争は植民地解放戦争だ！」としつこく主張し解雇されています。
いい先生だったのになぁ。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊
マンガの発生、その契機は新聞の四コマにあるのかも。
彼のO・ヘンリーも初めは新聞に風刺画を書いてたとか。
ひとコマから四コマへはひと足でしょう。
四コマから、例のコマ送りとな発想へ至るのは、そう難しくないと想われます。
退屈な授業中、頁への落書き。
アメリカ人と日本人とは、案外、発想が似通ってる感じもします。
手塚先生はコマ数を格段に増やして、ストーリー性をもたせ、ーアニメーションを商品化した最初のヒトと謂うことなのかな？
絵巻物も発想はアニメにつながるものがありますな。
その前に紙芝居を横へ張り合わせた感じがしますが。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

戦前や昭和２０年代の少年誌は小説・絵物語・漫画・企画記事と実に多様で……

ただ、漫画が一ヶ月に４ページはきついつうことで、今じゃ一週間に２０ページ。

まぁそれはそれで楽しい。ダイナミックにできますよね。

枚数多いから。

でも、やはりドカーンドギャーンばかりだと浅いですね。

言葉によるうねうねした思考するものも読みたくなってくる。

伊坂幸太郎が漫画誌に小説を連載してたのも、ある種、自然な感じがします。

昔に回帰してるというか。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊　＊

紙芝居。描いてみたいですねえ。

描いたことないから。

ただ、発表する場がない。

空き地でやってたら、高校生にからまれそうですな（汗）

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊　＊

小説とマンガと合載というのは面白いですね！

とにかく今は省スペースがキイワード。

むしろ分量を減らしてでも品質を高めるべきかな？と思います。
捨てたくないと思い立てば、他の物を捨ててでも、ウチに置いておくはず。
そんな作り方をして欲しいですな（お茶）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

36）

３６）　飲み物。

缶コーヒーといえば、初めはＵＣＣしか置いて無かった。
五円玉で飴玉がまだ買えた時代・・・
一本百円！といえば案外、高い。
なので、お出かけと缶コーヒーとはセットであった。

（遊園地へ行けば缶コーヒーを買ってくれる！）
と楽しみのうちにちゃっかり数えて居たものだ。

ホントはカフェインが入って居て、ー
子供の身には刺激が強過ぎるのだが、
（炭酸飲料を飲むと、すぐ虫歯になる！）
というので、するとコーヒーを選ぶしか他に無いのであった。

いまの缶コーヒー・・・
実は、コーヒーそのもの、というわけでは無いらしい。
「・・味の素と同じですよ。」
と、小耳にはさんだ覚えがある。

おいしい缶コーヒー。
作ろうと思えば、もっとおいしく作り出せる。
けれど、割り高になって、すると商売に為り得ないとか。

コーヒー味がする調味料。
それが缶コーヒーのすがたと見える。

空気に触れると、すぐ味が変わるのは、ー
酸化して、微妙な調合のバランスが崩れてしまうからなのだ。

でも、カフェインだけは、きっと入って居る。
これもヒトを元気に為すお薬の一種なので、ー
飲めば目が覚める？調味料なコトは、間違い無い。

缶コーヒーが発達？して、ー
いまや喫茶店がすっかり減ってしまった。
本物よりか調味料のほうがよく売れて居る。
そう考えると、なんだか不思議な感じもする。

２０１０年　０３月　３０日　（Ｔｕｅ）

＊　＊　＊　＊　＊　＊
コーヒーは朝ごはんです。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊　＊
山羊の宮さんもそうなんですか？
わたしもです。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊
牛乳たっぷりコーヒー牛乳にしないと、飲めないコーヒー。

投稿者：まいまい@ノ”

＊　＊　＊　＊　＊

まいまい@ノ”さんは、コーヒー牛乳が好きなんですか。
コーヒー牛乳・・・なつかしい響きです。
おフロあがりの一気飲み、銭湯を思い出します（・・遠い眼）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

だから！！
しょうが汁と砂糖を煮詰めると飴色になるんだってば！！（追いかけてきたのか…ｗｗ）。
しかし私は現在、栄養ドリンク二本とコーヒー数杯とコーラで、メチャクチャカフェイン取り巻くって半ばパキってもおかしくないくらいなのに、そんなに私の元気、悟空に吸収されたんだろうか？
（詳細はツイッターにてｗ）。
使用料取りたくなってきた悟空からｗ。

投稿者：妃宮　咲都

注）飴色＝コーラの色のお話し。
悟空＝ｂｙドラゴンボール（↑元気玉？）。

＊　＊　＊　＊　＊

そういえばコーラにもカフェイン入ってましたっけ！
（だからコーラの色は企業秘密だってば―）
カフェインを過剰摂取すると、十二指腸・潰瘍になると、ゴルゴ・斎藤のどこかに書いてありましたよ？
妃宮さんも、気をつけてくださいね。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
コーヒー僕も好きですよ。
でもＢＯＳＳだけは酸味が強くてキライです（＜＿＞）

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんはあの味が苦手ですか。
どうやらターゲットが年配の男性向けみたいですね。
苦味というか渋味というか…。
実は各社、ブラックに力を入れて居るそうです。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
昔、ジョージアの缶コーヒーを一日一本毎日買ってました。
小さいシールが貼ってあり、シールの裏を見ると励ましの言葉が書かれてあり、すごく元気が出た。
シールを集めて台紙に貼って送ったら、女性用のムートンが当たり、妹にプレゼントしました。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊
景品つきの缶コーヒー。
実はあれ、関連業者のヒトたちがほとんど当ててしまうとか。
（：何か裏技があるのだろうか？）（未確認）。

ごはラさんはきっとめっちゃ運が強いんですよ？

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

ちなみに私の愛用缶コーヒーはジョージアのエメマンブラック！
ＵＣＣは中学生で余りの甘さに卒業。俗に言う中二病の始まりｗｗ。
でも家では執筆の時に飲む量がハンパないから、家計を守る為渋々マキシムのインスタントｗｗ。

投稿者：妃宮　咲都

＊　＊　＊　＊　＊

わたしもインスタントはよく飲みますよ。
ネスカフェ×クリープがなじみです。
（：手っ取り早いから。）（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

多分缶コーヒーは売れてない高知県。
喫茶店、人口の割には高知ってたくさん喫茶店があります。
多分、どこの田舎より多いと思う。
朝から親子でモーニングも多いけど、娯楽が少ない県だから、そこに集まるんじゃないかなあ。
暇そうな喫茶店も実家に帰るたびにつぶれてません。
むしろ、年齢層が上がっても固定客がついてるから。
どこもつぶれない。不思議です。
飲み屋はつぶれても、生き残る喫茶店。

高知はやっぱり話好きなのかも。
居酒屋もつぶれても、次の居酒屋がすぐ出来るので、高知って不思議な貧乏県。
産業はなく、所得が少なくても、飲んでしまうんだなあ、昼間はコーヒー、夜は酒。
はあこりゃこりゃ♪

投稿者：河　美子

＊　＊　＊　＊　＊

販売機で缶コーヒー買って飲むなんて大人げない、という感覚は、確かにまだ処ろ処ろ残ってますね。
誰も買わないので、めったと販売機を置かない地域もあるようです。
河さんは喫茶店が多い地区に住んでるんですか。
正直、うらやましいです。
飲酒運転の取り締まりが厳しくなって、居酒屋さんも減りましたな。
（夜の灯りはコンビニだけ？）（息）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

今は都会ですから喫茶店は多いけど、ずーっと、家であの１杯１９円のブルックス。
または哀しいマキシム。
でも、意外と美味しいと最近は思ってます。
勤めてるときはどれほど喫茶店に行ってたか…今となっては夢のまた夢。

投稿者：河　美子

＊　＊　＊　＊　＊

喫茶店…

ちょっと一服したいとき。

タバコが切れたとき。

両替えしたいとき。

時間つぶしするとき。

わたしも何かとよく行ってました。

いまはそんなのんびりした感覚じゃなくなったのかも知れませんな。

（時は金なり？…）

でも、コーヒー飲む時ぐらいは、ゆっくりと飲みたいもんですね（ため息）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

37）

37）　タバコ。

少年マンガに於いて、タバコを描くことを遠慮するという。
ヤンキー・マンガのジャンルにては、タバコは必須・アイテム。
「ビーバップ・ハイスクール」や「特攻の拓」が今も印象に残って居る。

タバコの葉は南米・原産。
原住民の主食は御存知、とうもろこし。
これを栽培するのに毎日、池から水汲みをしなければならないのだが、ー
これが物凄くしんどいので、ー
元気づけと息抜きとして、いつしかタバコを喫う習慣が興ったらしい。

タバコの葉とは謂わば雑草、痩せた土地に好んで生える。
日本に於いても、むろん栽培・農家なら存る（長崎など）。
痩せた土地に生えてくれるゆえに、ー
タバコの葉は、そんな土地に住まう人々にとって、ー
かけがえの無い現金・収入の種なのだ。
（買い取り先は、むろん旧・日本たばこ公社。現・ＪＴのみ。）

ただし、タバコの煙・・・
その微粒子が電子・機器の故障を引き起こす、という話しも聞く。

また、長年喫煙して居ると、ー
年老いてから、健康不良に陥る例が多くある事も確かである。

（歯槽膿漏、心臓病、呼吸器・疾患など。）
こうなると、楽には死ねない。

医療費・抑制を阻む主犯格、それがタバコと目の敵にされつつある。
（本当は過労が原因な気配もあるが、ー）（冷汗）。

もっとも或る医者の談によれば、
「紙巻きの紙・・・その漂白剤の方が実際、身体に悪そうだ。」
とのこと。
日本で何故、葉巻きを売ろうとしないのか？
おもえば、ちょっと不思議でもある。

昨今、タバコが悪役に祭り上げられる由縁は、ー
先ず、この辺りにありそうだ。

２０１０年　０４月　０１日　（Ｔｈｕ）

＊　＊　＊　＊　＊　＊
ニコチンとタールが何物なのか、そういえば未だに知りません。
（タバコの葉を燃やした煙だけだと、おいしくないのかな？）
投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊
ツッコミがボケに合ってないのでボケを削除。
オレもまだまだです。

投稿者：ごはんライス

注）出だし。
ごはんライスさん、大麻と煙草とを比較。
際どくなった処ろで、ー
今日は四月一日とのオチ。

＊　＊　＊　＊　＊　＊

エイプリルフールというのは、わたしの意識にはありませんな。
アメリカなら夏入学だけど、日本の春は年度が変わる時期だから、ー
むやみにウソを吐かれると、戸惑いの元ですな（汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

ごはラさん。大麻草は煙草より中毒性が低いんですよ（マジでw）。
大麻はすぐにやめれるけど、煙草がなかなかやめられないのは俗に言う「シガレット・ジャンキー」になってるからです。
それはそうと、本格的な煙草専門店があるのをご存知ですか？
あんな商店街にあるような婆さんが売ってそうな煙草屋さんじゃない。
ワイン専門店並の店構えをした世界各国からの煙草を取り揃えている店を、見たことがあり、そこには葉巻も売ってました。
紙巻みたいに細くて女性でも手軽に味わえる葉巻とかあって、オシャレな印象がありました。
でも私個人、キセルの煙草にすごく憧れます。
見た目だけでも格好よく見えてしまうし、時代劇の影響もあってww。
こんな私ですが、歩き煙草をしている相手には物凄く攻撃的にな

ります！！
座ったりと一ヵ所に留まって吸う分では構いませんが、あの歩き煙草はマジで迷惑！！
大砲構えて撃ち飛ばしてやりたくなりますｗｗ。

投稿者：妃宮　咲都

＊　＊　＊　＊　＊　＊
ボケは難しい。。。文化によって違うし。。。
煙草専門店行ってみたいなァ。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊　＊
うむ。
ごはラさんが大麻ネタをぶつとなると、ー
なんだか迂濶に返事なんかできない気分になってしまいますよ（冷や汗）。
もっとおしゃれ？なウソにしてください。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊
妃宮さんコメント、サンキューです。
大麻は殊の外、生えやすい植物で、園芸みたく自家・栽培も可能な様ですね。
ただ、大麻が生えそうな場所なら、きっとけしも生えてる。
大麻を知ることは、すぐにけしを知ることへつながってしまう。
そこで大麻から先ず禁じてあるようです。

キセルを用いる、刻み煙草は、フィルターが利きすぎて、さほど美味くも無いとか。
まさにファッションですな。
禁煙用にはちょうど好いかもｗｗ。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
けしはアカン。
人生が生きながらにして終わってしまう。
麻薬の女王。
ヘロイン中毒者は、覚醒剤よりもう言動が狂ってる。
生きるゾンビ。
半全裸化しても本人は全く気付いていないくらいで、まさにゾンビと同じ足取りで歩き彷徨うさまは異様な光景（効いてる時は）。
更に効果が切れたときは死体を見るよりも恐ろしい…。
あの光景を見せられたら、やろうと思っている人もさすがに考え直すでしょう。

投稿者：妃宮　咲都

＊　＊　＊　＊　＊
咲都さん、、、ご覧になった事が有らせられるのですか？？？汗

投稿者：希菜

＊　＊　＊　＊　＊
はい。見た事ありますよ♪

投稿者：妃宮　咲都

＊　＊　＊　＊　＊　＊

武器と麻薬とは共に世界の壱大・産業。

麻薬（の富）が紛争を生み、そこで武器商が暗躍する。

けしを撲滅する事が戦争を劇的に失くす近道である事は、疑う余地がありません。

しかし、けしもまた痩せ地に好んで生える、魔性の植物。

これを根絶することは、容易な事ではありませぬ。

それしか生きる術べが見当たらないとなれば、万難を推して栽培せんと試みるはず。

むしろ、買い取り手を滅ぼす事が急処の一策かも。

すると、客らもしぜんと絶えるはず。

中毒者の惨状なら、毎日、マスメディアで流して善いくらいですな。

（海外ではやってるんでしょうか？）

（生まのホラー・・・）（冷汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

うちの市は煙草禁止。健康バカのマッチョが市長になってしまったの。

オレはしばらくヤクザから買い、路地裏とかでこそこそ吸っていた。

ある時に、誰もいないとこで吸ったらどうなるかなぁと思い吸ってみたら、マンホールが開き、中から警官が出現。煙草所持の現行犯で逮捕。

今、留置場でこれを打っている。

しばらく、留置場から職場へ通う日々が続く……。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊

そういえば、キセルの長所は葉っぱをブレンドできる事。
禁煙、嫌煙と余り締めつけると、しまいに煙草の密売とか始まりそう。
横流し品は当然、粗悪なブレンド品。
お灸とか線香とかさえ雑ざっても吸えるかも。
古道具屋へ行って、キセルでも買っとくかな？今のうちに、ー（汗）。
（ダメ！ダメ！と言われ尚更吸ふ不思議。）

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

しかしですね。
ドMなんかもわからんですが、煙草禁止法とか出たら粗悪品でもむちゃ旨いと感じますわ。
今はいい煙草吸ってるけど当たり前すぎて感動がない……。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊

聞けば、海外のタバコ市場ならマールボロ一色。
それに比べたら、日本は恵まれてますな。
昔のセブンスターの旨かったこと（遠い眼：）。
一体、何が入ってるんだろうとみんなで感嘆し合った覚えがあります。
貧しい国では混ぜタバコは当たり前…
キセルに詰め込んで吸うようです。

紙巻きだと、最後のひと葉まで、とても吸い切れないから、ー
タバコもこう高値になってくると、そのうちみんなキセルへ切り替えるか知れませんね（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊
う～ん…奥が深いですね…
まったく自分には関係のない話なので、気にもしていませんでした…

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメントを入れて下さりありがとうございます。
芥川「煙草と悪魔」にもあるように、ー
喫煙の習慣…
それが社会に浸透する早さと謂ったら、何処の国に於いても驚くべきものがあります。
無くても困らないけれど、さて、無いとなると奇妙にさみしい。
そんなアイテムの一つかと思います。
「禁煙したら、これから亡くなるまでの間に、なんぼほどお金が貯まることか…試しに勘定してみィ！」
と諭された事があるけど、ー
見えない形で役に立って居る気もします。
（いずれにしろ世界共通な話題の種、小説においては便利なアイテムであることは確かですね…。）

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

赤ちゃんが煙草を吸うとかがおもろいと思う。
あー乳母車に乗せられてかったるいぜプハーみたいな。
小学生だとちとリアル。
あるいは、チワワが麻薬やってるとか、そういう感じですね小説の場合は。
ただ絶対できないのはミッキーマウス。
裁判になれば必ず負ける。資本がちゃう。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊　＊

マンガのせいで、
「タバコ＝アウトロー」
となイメージは確かに存ると思います。
漱石「彼岸過ぎまで」とかみると、
「タバコを吸える良い身分。」
みたいな描き方をしてありますが。
今ではイメージが逆転してる辺り、時代の移り変わりを感じます。
そのうち「洋モク」とか「湿気モク」なんて言葉も死語と化すか知れませんね。
（煙もくもく…）
（タバコ＝もく。）
（なぞなぞみたい…）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

38）

３８）　落語。

落語というものが、どうもわたしは好きである。
上方は漫才が盛ん、落語は江戸と定まって居る。
落語は一人芸、これが案外、難しいものとみえる。
しゃべくり、うたひ、おどり、まひ…
加えて、志紀島の道も心得ねばならず、世間の人情にも通じていなければならない。

落語の客なら、通ばかり。
そんな客をむこうに回して、たったひとりでしてのけねばならぬのだから、凄まじい。

実は彼の「笑点」なら子供の頃から親しんで居るけれど、ー
いまだ目の辺りに落語をみたのは、一度きりしか無い。

テレビ落語だと、客の顔色を読まなくて済む代わり、あまり芸が練れそうにも無い。

この頃は、アメリカ風に、きっと笑い屋がつくようになったから、ー
なおのこと、ツボが分かりにくくなった。

芸人も偉くなって、地方へはなかなか出て来ない。
たまに来ても、このホールは音響が悪いなどと文句をつけたりする。

生で聴かす、笑わす。
それでこそ、本物なのに、この頃の芸人はどうかして居る。
この調子だと、当分、名人は出そうにないな、と素人考えながらも、想う。

２０１０年　０４月　０２日　（Ｆｒｉ）

＊　＊　＊　＊　＊
古典落語は僕も大好きですよ！
地元に社会人の落研がありまして、ときどき公民館とかで落語やってくれます。

もちろんプロとは比べものにならないとは思いますが、僕は大好きでよく見に行きます。
聴きに…ですかね。
とにかくヘタなお笑いよりも面白く、考えさせるネタが多いですね。
選ばれた者のみが笑える世界っていうんでしょうかね。
こういう世界を知らない人は不幸ですね。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
むむ。聖騎士さんも落語好きなんですか。
うれしい気分です！
落語の場（寄席）は小じんまりしていて、制限時間も短い。

ごまかしが利かないから、その分、台本は見た目よりじっくり練られて居る。
客の目にかけて、反応を調べ、その都度、手直しをして、ー
ようやく今の形が出来上がったものとか想われます。
その分、噺しの密度が濃いので、演じる方は大仕事、並大抵でないと察せられます。
お客も勉強の心積もりにて見に来て居るような趣きが有るので（わたしもですが）、ー
芸を見る眼も、おのづと厳しい。
呼ばれれば必ず行く。どこへでも行く。毎日でもやる。何度でもやる。
そのくらいな気組みで、玄人なら、ちょうど好いのではないでしょうか。
わたしが見たのも桂一門の若手の顔みせ、みんなほとんど無名でしたが、ー
粗削りな処ろが、かえって身近な感じがして、親しみをもって見た覚えがあります。
寄席を実見してこそテープで聴いても意味があるので、その体験はうらやましく思います。
紙芝居の爺さまでも、時には近所で評判になる程な名調子のヒトも、その昔は居ましたけどね。
しょうがないから、今はテレビ落語で我慢するしかありません・・（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊
「あたま山」が一番好き！！！！

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊　＊

あたま山って何ですか？ごはラさん。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

えーっとね。むっちゃシュールなの。江戸時代の人すげえと思ったもの。

さくらんぼを種もいっしょに食ってる奴がいて、そいつの頭の上に桜の木が生えちまった。

最初はまぁええかぁと思ってほかっておいたら、江戸っ子どもが桜の木の下でわいわい宴会をしやがる。

うるせえと思って木を引っこ抜いたら、頭に大きな穴ができた。

ほかっておいたら雨が降って、穴に水が溜まり、池になった。江戸っ子どもが釣りにやって来る。

毎晩毎晩船に乗り夜釣りを楽しみやがるのでノイローゼになり、ついに主人公は自分の頭の池に身を投げちまった……というお話。

実に面白い。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊
ありがとうございます。
それがあたま山ですか。
徒然草の堀池の話しを思い出します。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
徒然草のどんなやつですか??

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊
坂田さんの徒然草で見かけたんですが、ー
ほりいけの僧という話しで、あだ名をつけて呼ばれるのが嫌さに、寺の樹を切り回り、切り株をほじくりだし、それが池になって、なほ堀池の僧正とよばれて困った、というお話しです。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
読んでみます。ども。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊　＊

失礼いたします。

落語はあまり詳しくありませんが、間の勉強になるので、たまに見ます。

本当にごくたまにですが。

「らくだ」と言うタイトルだけと「時そば」ぐらいしかちゃんと分かりません。

なので、良く分からないままそれっぽいのを書いた時思ったのですが、一人一人のセリフを短くすると実際にやるとき忙しないなぁと。

落語は一人でやるのである程度のセリフ量がいるのだなと。

後、関西圏にいるので見ている落語は上方落語なのかなとか思ったり。

でも、普通に江戸の方言で話している落語もよく見かける。

とりとめないですね、すみません。

それではここいらでお暇します。

失礼いたしました。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊　＊

三遊亭円楽…なじみの顔がまた消えて、落語はますますマイナーになりそうな雰囲気。

もう息をするように、さらさらさらりと語ってみせる。

枯れてくると、しぜんのうちにそうなるみたいですが、いまはそんな風に肩の力が抜け切ったヒトは　ちょっと見当たりませんね。

確かに小説も一人芸、落語に通じるものがあると思います。

また、書いてやって下さいね！楽しみにしています。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

39）

３９）　ホラー。

小説のジャンルにて、ホラーの人気には根強いものが有る。
江戸時代、怪談や妖怪ばなしが流行ったことを思い起こす。
都市の住人がわざわざ怖い思いをして喜ぶのは何故なのか。

アメリカにて、ジェットコースターが流行った昔を思い出す。
ちょうど、ベルト・コンベアーが導入された頃ー。
工員サンがストレス発散の為め、毎日のように乗りたがったとか。
今ではこれが進化して「絶叫マシーン」とかよぶ。

まさかホラー小説を読んで、本当に叫ぶヒトは居ないと思うが、ー
怖い気分を味わって、ー
心の内にて絶叫することは度たび存ると想う。

その体験が、いわば疑似体験となって、ー
知らないうちに、ストレス発散の働きをするのかも知れない。

・・・決して　独りでは　観ないで下さい・・・

あのフレーズ、今も耳のなかに、こびりついている。
何の映画だったか、覚えていないけれど。
わたしはホラーが苦手なので、むろん決して観に行こうとはしなかった（冷や汗）。

２０１０年　０４月　０４日　（Ｓｕｎ）

＊　＊　＊　＊　＊
では僕のホラー小説読んで鍛えてくださいｗｗ
拙作なのであんまり恐くないと思いますよ。
他の方の本格的なホラーを読まれる前にぜひｗ
なんて、宣伝してすみませんでしたｍ（＿＿）ｍ
ちなみに僕はホラーは大の苦手です。
一人どころか、複数でも観られません。
恐くて夢に見てしまいます（＜＿＞）

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメントありがとうございます。
花屋と死怨でしたね。
花屋の方から読んでみます（コワそう・）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
＞午雲さん
確か、「サスペリア」だと思います。

投稿者：神村律子

＊　＊　＊　＊　＊

神村さん教えて下さりありがとうございます。
「オーメン」「ポルターガイスト」なども途中で観るのを止めた覚えがあります
（：６６６）（汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

日本のホラーと、海外のホラーって怖さの感覚がちょっと違うと私は思います。
日本のホラーはどこかじめじめとした息の詰まる精神的恐怖を感じますが、海外のホラーはやっぱりエンターテイメント性が高いと私は思います。
海外モノは午雲先生が言うように、ジェットコースターやお化け屋敷みたいな絶叫スリルを味わう感じですね。

日本のホラーって、どこか警告的な要素が入っているような気がします。
古典的な怪談からしても、人や動物等が不幸な目にあい、怨念となり復讐するっていう話が多いですが、あれはある意味警告的なものを感じます。

命あるものを粗末にしたら、化けて仕返しされるぞみたいなね（笑）

無益な殺生はいけないよって宗教的な要素も入っているのかな？
とも思います。
情け深い日本人だからこそ作り上げることができたのが、日本の怪談なのかな、ともついつい思ってしまいます。

投稿者：河野夜兎

＊　＊　＊　＊　＊
夜兎さんコメントありがとうございます。
生き物の復讐…
それが日本人なら誰でも怖がるテーマだったんでしょうね。
殺すと祟る、と謂われてる生き物なら特に…（以下省略）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
あれは怖かった……「激烈！うんこ戦争」。
うんこを投げ合って戦うお話。
確か、R指定になったはず。
相当怖い。
ちびっこが観たら泣いてしまう。
監督は、雲午太郎。
雲氏は、１９９９年にバカンスの途中、自爆テロに遭い死去しています。
若冠２２歳でした。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊　＊

うん●ならグロでしょ？ごはラさん（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

いやいや、うんちょはギャグホラーですね（笑）
リアルな映像なら、ある意味サスペンスなホラーですよ。
リアルうんちょなんて実に狂気的っ！
でもちびっこの頭に浮かぶうんちょは完全ギャグです。
顔が書いてあるようなかわいらしいうんちょ（笑）
私はうんちょネタは「ドリフ」か「Ｄｒースランプアラレちゃん」をどうしても思い出します（笑）
アラレちゃん＋棒＝うんちょ（笑）

うん。
エンターテイメントなホラーとギャグはやっぱりきょうだいみたいなものですよ（笑）

昔、志村けんがジェイソンとかフレディーとかパロディーでやってて、げらげら笑ってた。
でも「スイカ人間」のコントはちびっこの私にはちょっと恐ろしかったな（笑）
確か、土曜８時に放送してた「カトちゃんケンちゃん」でしたっ

けね？
てか、ドリフの幽霊コントは本当に面白かった。
「しむらぁあ～！うしろぉお～っ！！！」て生放送で叫ぶちびっこの声。
劇場型であれだけ派手なコントはきっとＤＶＤでしか観れないんでしょうねぇ…。
（寂しいなぁ）

投稿者：河野夜兎

＊　＊　＊　＊　＊　＊
ははははは（汗）

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊　＊
ドリフなつかしいですね！
あの熱気は何？
いま思うと不思議です。
荒井注なんかは、おれはミュージシャンで、こんなしんどい事やりたくない、と拗ねて途中で抜けたそうですが（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

ホラーで爆笑してスプラッターで飯が食えるこの私をビビらせるくらいの、ホラー作品はないものかｗｗ。

私が怖いと思うのは心理ホラーですね。

だから海外ホラーは逆に私の嗜虐趣向を掻きたてさせるだけ♪

グロデスクフィギュアとか欲しくなるｗｗ。

だがしかし！！

日本のホラーは暗くて陰気臭いだけで退屈になって、途中で眠くなる作品ばかり。

今のところ、怖くはなかったけど読んでこいつは面白い！！と思ったホラー小説は、「天使の囀り」というタイトルの貴志祐介の作品。

だからと言って、全てが面白い訳ではない。

同じ作家でも「黒い家」は最悪つまらなかった。

しかし恐怖心は一切感じなかったけど。

こんな私だけど、絶叫マシーンは大の苦手だｗｗ。

投稿者：妃宮　咲都

＊　＊　＊　＊　＊

「ブレアウィッチ・プロジェクト」どうでした？

オレ、あれが最高に怖い。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊

妃宮さんコメントありがとうございます。
ホラー好きは女性に多い感じがします。
わたしなどは、まじめに見てしまうので、トラウマになりそうで恐いです。
（火曜サスペンス劇場？でも、たまに恐いのんありました。）（汗）

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

４０）・４１）・４２）

４０）　漱石と龍之介。

江戸は芸能の都だった。
京や上方から移転させてまで、江戸の地に芸の達者を呼び寄せた。
あとは、捨て扶持を施して、代々の面倒を見てやったものである。

末期とは謂え、そこに生まれた漱石。
江戸の空気を呼吸して生い立ち、あらゆる芸能に接して居た。

一方の龍之介。
すでに東京と名乗る都には、欧化の風波が押し寄せ、日々、洗われて居た。

両者の趣味の違いは、この辺りから来たして居るものとみえる。
漱石は江戸趣味、どこまで行っても古風である。
一方、龍之介は新しい。
明治の空気を存分に呼吸して暮らして居たからである。

龍之介はモボでハンサムであった。
一方、漱石もハンサムだったが、彼は、あばたに悩んで居た。
龍之介なら自身を主役にも為し得るが、漱石には、それができない。

龍之介は自負心が強く、内弁慶な漱石を物足りなく思って居たらしい。
「男があばたなど気にしてどうする！？」

武家のはしくれ、そんな生まれの彼だけに、そうみなしたとて不思議で無い。

彼の「鼻」とは、こうみると、モデルはその実、漱石その人であろう。

二人は師弟というより、出会った初めから、ライバルだったのである。

龍之介を知ってから、俄かに漱石は文豪と化した。

そして「猫」を恥じ、二度とあの手な物を書こうとはしなかった。

一方、龍之介は漱石の門下然に扱われる事を嫌い、ー

漱石を乗り越えるべく、長編に挑む。

しかして、彼には、どうしてもこれが書けなかった。

一幕の劇。

どうしても、そんな作りをしてしまう。

漱石には理想の女性像、マドンナを描いてみたい、という夢がある。

龍之介には、そんなものが無く、説話を好んで書いた。

「こんなお話しがあります。」

そこから、一歩も出られなかった。

キャラクター小説とプロット小説。

見比べると、両者の、趣向の違いが如実に出て居る、とまた思う。

２０１０年　０４月　０５日　（Ｍｏｎ）

＊　＊　＊　＊　＊　＊

勉強になります！！

やはり多くの文書を読み続けているとさまざまなものがお見えになるのでしょうね。

自分もいろいろと勉強を重ねたいです。

投稿者：希菜

＊　＊　＊　＊　＊　＊

希菜さん、コメントを頂き、ありがとうございます。

現代・日本の文章は、この二人に始まる、といって過言では無いので、ー

どうしても、興味が向かいます。

（漱石は、日本で最初の”小説家”ですし、ー。）

実は、わたしが愛読して居るのは、司馬遼太郎「この国のかたち」（全八巻）です。

そこから出立して、自分なりに、その先をあれこれ考えて居るのでした。

吉川英治ー司馬遼太郎ー宮城谷昌光。

このラインが、よく勉強になると思います。

（基本、歴史ものですけど・・）（汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

漱石の弟宝石・定石と、龍之介の兄π之介(ぱいのすけ)が巻き起こした「うんこカレー論争」は今でも胸に突き刺さるものがありますね。
うんこ味のカレーがいいのか、カレー味のうんこがいいのか。
永遠に解けない哲学的命題を、経済・文化・政治ありとあらゆる分野とからめ、八時間に渡り論議する。
当時、学生だった司馬雲午郎はその詳述を雑誌で読み、影響を受け、のちにカレー職人になったことはよく知られています。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊

うははwそりゃヤンタンの葉書きネタでしょう？ごはラさん（・・しっかり聴いてました）。
司馬遼さんは本来、学者肌とか思いますね。
歴史小説、どれを採っても記事・文体・・・蛇足が多くて、読むのに骨が折れます。
でも、対談ものとエッセイとは見処ろがおほいに有ると思います。
晩年は文章もぐっと読み易くなって、あの随筆が読みたいばかりに「文芸春秋」を一冊、買っていた位いです。
よき教科書という感じ、勉強に際してのタタキ台というか。
（たまにええ加減な事を誠しやかに書いてる処ろもありますからな・・）（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

司馬さんは日清日露戦争をむちゃ誉めるのに、大東亜戦争をけち

ょんけちょんにけなしやがる。
そこがいや。
ただ、『坂の上の雲』は読んでみたい。名作らしい。
『竜馬がゆく』は全巻は読んでないけど、面白いです。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊　＊
うむ。戦後はあの戦争をけなすのが書き手の任務みたいな観があって、環境の強制…謂わば、共同体的プレッシャーの為せる業でしょうな（苦笑）。
日本の良心を世界へ示す、となお題目が盛んに唱えられし時代でした。
司馬さんのキャラ造形は、書き手の好き・嫌いが如実に出ていて、もうひとつ納得がゆきません。
あの雑学というか、知識の量は、さすがに物凄いと思いますが。
ほんと、格好の叩き台、資料集を読む気分がしますな（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊
まーわかりますけどね。
司馬さんの世代は戦争で痛い目にあってるから。
ただぼくらの世代て中国にも朝鮮にもアメリカにもロシアにもへこへこしてる。
それがいやで、あの戦争を肯定的に見てるのかも。
小さい島国が大国アメリカに喧嘩売ってるさかい。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊

日本は内政一辺倒な観があります。
いまの状況だと、国家に誇りを持とうと呼び掛けても、まだまだ…。
仲間外れな状況から、早く脱してほしいですな（汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

41）　命日。

毎年、四月八日は釈迦の命日。
大陸の孔子と同じく、インドの釈迦にも伝記がある。
もっとも暦は処ろによって異なるもの、誰が命日を決めたのか定かで無い。
しかしながら壱年のうちのいずれかの日に亡くなったはずだから、
大きな目でみれば、それ当たらずも遠からず、と謂った処ろである。

釈迦の不思議は、火葬されし事に存る。
古来、インドなら川へ流す。

火葬は今や日本にては当たり前だが、ー
この方式、釈迦に始まる新しいものであった。

考えてみると、釈迦を火葬したのは、その弟子たちである。
葬儀にも様々あって、民族ごとに異なる。
ミイラ、土葬、禿鷹に供える鳥葬とかもある。
昔話「姥捨て山」などは、この鳥葬の存在を想わせもする。

弟子たちのその後をたどると、ー
お骨を分け分けして、それぞれ形見と為して居る。
この発想、日本列島にても、古くから伝わるものと同じである。

ヒトの歯は、上下合わせて二十数本有る。
しかして、弟子の数は八十名以上。
形見分けするとしても、歯だけでは、とても足らない。
そこで、誰が言い出したのか、
「他のお骨をもって形見と代えよう！」
「ならば、火葬に致してはどうか？」
そんな発案があったとて不思議で無い。

骨は風化しにくく、永らく朽ち果てぬ代物だから、ー
形見と為すには、うってつけの品ではある。

ただし火葬の方式なら、インドに於いては異端だから、ー
まさにこのときから
「仏教・東伝。」
その歴史が始まった、とも謂い得る。

形見が欲しくて火葬を思いついたのか、ー
はたまた、火葬という方式がすでに何処かで行われて居たのか、ー

釈迦そのヒトよりも、むしろ、その弟子たちの方が謎とか想う。
ちなみに、仏舎利とは、インドの白砂とか。
釈迦もインドの地に生まれたと考えれば、ー
列島に謂う「産土（うぶすな）」という発想にも、通ずるかも知れない。

２０１０年　０４月　０６日　（Ｔｕｅ）

＊　＊　＊　＊　＊
何かしら師匠の形見がほしかったんですかねぇ？

それだけ大事に思っていたのか、どうなのか・・・

個人的には、火葬が一番神聖な葬儀の仕方の気がします。
土葬でも鳥葬でも自然に返すという意味では結局同じですが、残ったものが死者を弔うのという点では火葬がいいと思います。

それに人類の飛躍の歴史は火を恐れないところから始まったのだと習いました。
言ってみれば火を操ることに始まった人類はやはり火をもって最期を迎えるべきかなということです。

それが人間らしいようにおもえるんです。

投稿者：希菜

＊　＊　＊　＊　＊　＊

希菜さんコメントありがとうございます。
お骨分けとは形見分け、いっそ骨を召して故人と一体化する風習まで存るそうです。
土や水には<復活>との観念があって、ー
鳥葬や火葬にも、見かけは違えど、やはり復活への祈念が籠められてあると想われます。

そう、何よりアジアは温暖・湿潤・・・
しかも、人口・密度が高い。
葬儀と言っても、大仕事。
とにかく腐り易い土地なので、衛生面からみて、火葬は好い方式とか思えます。

跡形も無く、消え失せる。
その相(すがた)に、神聖なるものを見てとったのかもしれませんね。

(魂は肉体に宿る、と考えていたようですから・・・)
(骨は残しても、よかったのかも。)

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

火葬は日本では当たり前だが、土葬する文化圏では火葬は人を二度死に至らしめているように思わないだろうかとか思う。
死体はいずれ復活する。
そんな考えも少なからずある。
かつて聖人の死体が墓の中から消えたように。

伝染病とかの予防を考えたら、火葬の方が良い気もするのだが。
失礼いたしました。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊　＊

山羊の宮さんコメントありがとうございます。
あのインドの地にあって、弟子たちが敢えて火葬を選んだのは、確かに不可解ですね。
火に聖なる力が宿るとみて、火を神聖視する宗派も古代には在ったようですが。
魂が帰って来た時、宿る場所が失くなると謂うので、ヒトによっては火葬を拒む場合もあったようです。

聖なる火炎。
その力を借りて、魂を天に送り届ける。
天界を想定する民族の間にては、どうもそんな発想が共通認識されて居た風です。
まれに棺桶のなかで息を吹き返す例があるそうですが、ー
そんな時には、火葬だと、ちと残酷かな・・と想います（冷や汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

ゾンビは西洋。
骨骨マンは東洋。

この二者がバトルしたらどちらが勝つであろう？
勝つであろう！！？

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊　＊
しゃれこうべが唄いだす、なんて昔話がありましたね、そういえば、ー。
ゾンビーバンパイヤと来るラインも土葬・圏ならではかも。
香港映画のキョンシーも、あれ、ゾンビの類でしたかな？ごはラさん。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊
キョンシーは怖かった。ほんまに怖い。あの映画。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊　＊
道教にては“お札”を用いて魔除けや霊媒に作す方法が定番。
実は其処に記す呪文、つまり文字に霊験を見て居る風です。
もっとも庶民の間には文字に疎い者が多いので、…
代わりに“霊獣”を描いた絵画を宛てて居るようですが。
火葬を宗ねとする民族は、ながめると、案外、少ないみたいです。

日本はやはり最後の秘境？古代の思想とか風習をよく遺して居るものとか思います。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

４２）　坊主頭。

坊主頭は仏教徒の目印。
あの髪型？がどこから来たのか、気になって居た。
大陸では丸坊主は奴隷の目印。
髪は急に伸びては呉れないから、どこへ逃げてもすぐ判る。
罪人を労役へ従わす慣いがあったので、罪人もまた丸坊主であった。
もともと童謡とは、この手な労役の際に歌われた歌。
世を風刺する歌が多い。
子供の間で自然とに生まれ、歌いだす歌は、神のお告げとも考えられて、ー
そこから、わらべ歌に童謡とな文字が宛てられしものらしい。
つむじがすりへってくびすに至るとも、ー。
そう唱えて秦の覇業を助けたる墨子教団。
彼らの目印も丸坊主であった。
伝説では、教祖の出自が職工、かつて労役に従事せし僕童の一員だったから、とも謂う。
釈迦の髪型はどんな風だったのだろう？
その弟子たちの髪型は？
丸坊主という点に注目すれば、少なくとも、墨子教団の末裔と仏教

徒とは、大いに関係がありそうとか見える。
（大陸では決してスキンヘッドはしないと云う。）

２０１０年　０４月　０７日　（Ｗｅｄ）

＊　＊　＊　＊　＊
昔は中学校て男子は全員坊主頭。
ある種、中学校て刑務所みたいなとこありますけん。
坊主頭といえば松本。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊
中学生はスポーツに打ち込むので、毎日、汗をかく。
髪が長いとシャンプーが面倒なので、あらかじめ五分刈りに定めたとか聞きました。
みんなで喫茶店へ行ってジュース飲んだだけで“不純異性交遊”とか罵られたけど、もう死語かな？
なんか軍隊みたいでしたな、いま思うと（汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

４３）・４４）・４５）

４３）　「金魚～そう呼ばれたい～」９０・到達。

作品のなかは二月、今、現実のなかは四月。

気分を出すために冷房を・・・つけたりはしてません。

高校生のノリを思い出すのに、いま苦心しています（・・ムリやろ？）。

らぶえっちは加減するしかないので、あしからず（汗）。

よろしく完結までお付き合い下さいｗ。

２０１０年　０４月　０８日　（Ｔｈｕ）

＊　＊　＊　＊　＊

らぶえっちを最後の最後で覆し、激エロにするとか。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊

必然性が見当たらないので、できません。

１５禁がついただけでも、当人としては涙のんでます。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

４４）　漢字。

国語において難しいのは、漢字を扱う事である。
数学にて記号が壁になるのと同じく、国語にては漢語が壁となる。
彼の宮城谷昌光も、初め漢語の正誤を見極める事に悩んだという。
（本当に、これで良いのか？）
と考えだすと、確かに正解を知る者など、誰も居ない。
飽くまで、慣用句に過ぎないからである。

漢字の本意に思いを致した、最初の人なら、おそらく孔子であろう。
紀元前五ＯＯ年頃、すでに漢字の本意は分からなくなって居た。
奇しくも、釈迦や墨子も、その頃の人である。

漢字の本意をたどるには、なるだけ古い字体をたずねてゆくのが、近道である。
今と昔とを照らし合わせれば、その間に起きた転化の成り行きを察し得る。
なるだけ本意を踏もうという心掛けが、ー
彼の「論語」に記す行文にも、力を与えて居るのかも知れない。

一連の漢字を創始したのは、商王朝、通称・殷王朝とか云う。
この伝説に則って、孔子も殷の文字を探し求めた。
文字なら遺跡に眠って居る例が多い。
古代、遺跡と謂えば、すなわち墳墓であった。

孔子とその弟子たちが葬儀を生業と為した由縁とは、ー
おそらく、殷の遺跡を発見する為め、とか想われる。
東西南北へ旅して、今に謂う、
「トレジャー・ハンター」
そんな集団と化して、活動せしものか。

一生かかって捜し回っても、ところが、なかなか見つからぬ。

（この分では、遺跡は大陸には無いのかも知れない。）
（いっそ東海へでも浮かんで、未知の島へと渡ってみるか。）

そんな事を思い立って、列島へ探検に来たる弟子も居たかも知れない。

果たして、殷の遺跡は、大陸に在った。
ただし、陽の目を見たのは戦時中・・・
時を遥かに下って、二十世紀になってからのことであった（合掌）
。

２０１０年　０４月　０９日　（Ｆｒｉ）

＊　＊　＊　＊　＊

午雲参歯、漢字尾多句使井枡値。
僕歯血微子尾意識氏、益々平仮名画多句名梨枡。
大人弐歯逆弐読観肉井陀朗名亜。

ごうんさんは、かんじをおおくつかいますね。
ぼくはちびっこをいしきし、ますますひらがながおおくなります。
おとなにはぎゃくによみにくいだろうなあ。

どっちも読みにくい！！！

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊

ごはラさんコメントどうもです。
万葉仮名ですか！？暗号みたいですねw。
わたしも論文では漢語を遣いますが、小説では和語を遣うよう心掛けて居ます。
恋愛小説とかなら殊に、和語でないと雰囲気がでない感じがします。
ただし、和語とみなし得る漢語なら、気にせず遣うようにして居ます。
（・・不安とか、普段とか、病気とか。）
たまに漢語を入れてやると、アクセントにもなって、効果的ですよ？

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

筒井康隆の「郵性省」を思い出します。

中国人のセリフが漢語なんだけど、内容シモネタで、あれげらげら笑いました。

論文が漢字というのはわかりますね。

だって、「資本主義」とか「高度経済成長」とかは平仮名にできんですよ。

「倒す」とか「好き」とかはできるけど。

古墳時代のさびた刀剣が博物館にあって、そこに「ワカタケル大王は変態」を「輪家武大王歯変態」みたいに彫り込まれており、昔の人は大変やったなーと思います。＜注）ウソです。＞

平仮名は平安時代からですものね。

しかも、古墳時代はまだ文字は漢字しかないので。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊　＊

文字にて銘が入れてある刀剣。

鋳物師（いもじ）と名乗る職掌があって、どうも渡来系の部民だったようです。

彼らは漢字を彫り込むのが専門だから、ー

得意な漢文字をあしらって、当て字みたく読まそうとしたのかも。

竹簡や木簡になら、平仮名もあって不思議で無い処ろですがね。

それにしても、列島の古墳の内に、文字が全く見当たらないのは、摩訶不思議。
豪族ほどな身分なら知識有る者を呼んで、和歌の一つも書かせそうなものなのに、ー。
非・文明人だったのかな？と想ったり。
日本列島は謎だらけですな（お茶）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
今日は。

今連載している作品の中で、「やまとことば」をなるべく使いたい話があるのですが、難しいです。
日常語には漢語が多くて（泣）

投稿者：神村律子

＊　＊　＊　＊　＊
神村さんコメントありがとうございます。
擬古文体なら鴎外や漱石も試みてますね。
でも、彼の「源氏物語り」の中にすら漢語を用いてあることを思うと、大和言葉のみで書き切るのは、無理難業とか思います。
（けいえいとかしょうそことか…女房言葉のうちにも入り込んでた

みたいですね。）
戦国時代あたりの擬・古文体で充分なのでは、ーと個人的には考えています。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
どうでもいいことなんですけど、午雲先生の雲の字を見ていると、ワンタンを連想する。
ホントどうでもいいですね。
すみません。
多分おなかが空いているんです。
失礼いたしました。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊
ふはは w 山羊の宮さんは中華料理が好みなんですか。
雲呑でしたかな？
孫悟空の金斗雲のせいなのか、ハイジのオープニング・ソングのせいなのか、ー
なぜか雲の字が好きな気がします。
（雨雲じゃなくて晴れた日の白い雲のイメージですけど・・・）
わたしは焼き餃子が好きですね。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

４５）　漢字の知識。

殷王朝から周王朝へ。
漢字の総数は当時〈１２００〉ほど。
この漢字の知識が受け継がれた事は、つらつら思うと、奇蹟に等しい。

文字の歴史をみると、ー
表意・文字を元にして、そこから改めて表音・文字を作りだすのが常套手段だからだ。
表意・文字は複雑で日常の用には遣いにくい。

それを思うと、殷民と周民とはセンスが近しく、ー
もしか同じ民族のうちの違う部族くらいな間柄だったか、とも想えて来る。

周は殷民を領民となして統治し、重税を課した。
その辺り、彼の白川静「詩経」を読むと偲ばれる。

殷民は村落を成して、祖先の文化を頑なに守りつづけた。
前王朝の遺民として、そのプライドを忘れなかったのである。

しかし周の統治は過酷で、時を経る間に、だんだん結束がゆるみ、

みだれてゆく。
そんな中から思想家、孔子と墨子とが生まれでて来たのである。
孔子は漢字の知識を尋ね、墨子は兵法の知識を究めた。
共に、殷民の里、その乱れを憂いての発意とか思われる。

民族の復興を文字、文学に求めた孔子。
片や、兵法、軍事に求めた墨子。

似たもの同志ほど対立しあう。
自己の立場を確かめ、相手との相違を明らかにするために。
頂(つむじ)が擦り減りて踵(くびす)に至るとも、努めて使命を果たすべし。
〈滅私奉公〉が墨子のモットー。

君子は身を労さずして心を労す。
〈克己復礼〉が孔子のモットー。

こうながめると、両者のこころざしは共によく似ている、とも見えてくる。
(労＝いたわる。)
と読んでやれば、ー。

果たして、ー
墨子の末裔は秦の統一の後、歴史の波間に消え去った。
一方、孔子の末裔は漢字の知識と共に、今に生き残って居る。
文学の力というものは、計り知れない、とまた思う。

２０１０年　０４月　１０日　（Ｓａｔ）

＊　＊　＊　＊　＊

ペンは剣よりも強しってところでしょうか。
ちょっと違いますねｗ
でも墨子の考え方も間違ってはいないと思うんですよね。
墨子のような姿勢って、間違いなく学のない大多数の農民には支持されるでしょうし、
こと中国においては数は力でしょうからね。
まずは自ら行動するっていうのは、人の上に立つ人がすべきことだと思います。
理屈をこねるまえに。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメントありがとうございます。
墨子も孔子も同じ匂いがします。
どちらも同じような人種ではないかと。
どこまでいっても、あくまで仮説ですが、考える余地はじゅうぶんあると思います。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
織田信長と松本人志。直観系。
信長は本嫌いだし、松本は九九もできん。
手塚治虫はまぁ直観的なとこもあるけど、医学部出身だし、本も好きだし、勉強系。
いずれにせよ。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊
ごはラさんコメントありがとうございます！
むむ。墨子が直観型で、孔子が努力型というヤツですな。
さらにまた考えてみたいと思います。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
墨子も孔子も世をよくしたいという気持ちは同じですね。
ただ、やはり孔子の方が一般的になるのは仕方がない。
墨子をメジャーにすると、政府にとって都合が悪い。弾圧する。
とはいえ、アウトローな層には支持されると思います。
政府ばかりが世の中の基準ではないですから。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊　＊

ごはラさん二度目のコメントどうもです。
墨子流の思想は、そう、政治的というより実践的・・・
統治する側にとっては、手を焦く存在でしょうね！
案外、孔子も寝業師、深謀遠慮な処ろが見得るのですが、ー
明暗、という感じですかね（う～む）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

……始皇帝に弾圧された儒教が生き残り、墨子教団が姿を消したのは時代が背景にあります。
言い方をかえれば秦に姿を変えたと言っていいと思うのです。秦が滅んで墨家も消えた。
法律が国の柱の秦には徳を柱にする儒教は邪魔です。
その秦が滅びた時、劉邦が法律をたった三つにした話しは有名です。
秦の滅亡が儒教と墨子教団の分水嶺になったのかもしれません。
日本人には国と国を引っかきまわし、時には戦争すら画策する口舌の儒教より、強気をくじき弱きを助ける任の墨子教団のほうが好みなのですが……。
二、三年前の映画（原作は酒見賢一）の墨攻では一人で城を守る墨家の男をアンディ・ラウが演じてました。なかなか渋かったな。

投稿者：蝙蝠傘

＊　＊　＊　＊　＊

蝙蝠傘さん、コメントを下さり、ありがとうございます！
むむ。墨子の末裔が「法家」と化して秦の統一に組みしたと、ー。

確かにそれは有り得ると想われます。
任と仁。
徳とは結局、私恩を施して徒党を養う。
世間の実際にては、そんな風に応用されて居ます。
法外に暗躍する結社。
おもえば彼の劉邦も、そんな一味のうちから頭角を現した人物。
その当人が敢えて儒家を選び、法家を見捨てた。
こう鑑みると、歴史とは複雑怪奇ですね。

酒見「墨攻」はわたしも読みました。
併せて森秀のマンガ版も読んでみました。
主人公「革離」・・・
さもありなむ、とな雰囲気、よく出来ていました（感嘆）。

陰と陽。
両者は、その実、表裏一体な間柄なんですね！
先生の作品、楽しみに待って居ります。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

４３）・４４）・４５）（後書き）

白川静先生の研究を基いとして、宮城谷昌光や酒見賢一の中華古代歴史小説が世に出たのでした。

46）・47）

４６）　うぐいす。

朝からうぐいすが鳴いてます。
いい声。
これからしばらくうぐいすの声に起こしてもらえます。
毎年のこと。
近くにお気に入りの樹でもあるのかなァ（微笑

２０１０年　０４月　１１日　（Ｓｕｎ）

＊　＊　＊　＊　＊
そうなんです。都会でもウグイスが起こしてくれます。
四国では聞かないのに。
なんで都会でウグイスなんでしょう。
でも、いいものですね。

投稿者：河　美子

＊　＊　＊　＊　＊
ウグイス嬢っていいですよな（苦笑）
セクシーですよな（汗）

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊

ウグイス嬢ってなんなんですか？ごはん先生？

投稿者：希菜

＊　＊　＊　＊　＊

もう！希菜ちゃん。そういうのは午雲さんに聞いてよ。
簡単に言うと、ウグイスのようないい声を出す女性のことです。
夜ベッドの上でね。
夜兎とかだとゴリラみたいな野蛮な叫びを上げるわけだけども、
ウグイス嬢はそれこそ春を思わせるような美しいセクシーな癒し系
の声を「ああん」ともらすわけです。
男はもーメロメロですね。

すみません。ごっさん。ウグイス嬢って何でしたっけ？？？（汗）

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊

声が綺麗なコは好きですねぇ～

一緒にいるだけで癒される～　ゲラ

投稿者：希菜

＊　＊　＊　＊　＊

みなさまコメントありがとうございます。
へたな鳴き方のときでも、うぐいすの声って良いですね。

ウグイス嬢って野球のアナウンスしてる女の人でしょう？
声優サンとはまた違いますね、あれ、ー。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
え？うぐいす嬢って、盛りのついたオス猫の声じゃなかったっけ？
ごはラさんみたいなw。

あれだよ。選挙カーで清き一票を、とか言わされている女子のことだよ（何かが違うw）。

投稿者：妃宮　咲都

＊　＊　＊　＊　＊
四番（四番、四番…）
キャチャー（キャチャー、キャチャー…）
山田くん（山田くん、山田くん…）

カラオケのマイクを使って二人がかりでやってみましょう。
キィをあげれば、男だらけでも、気分はでます。

妃宮さんコメント、サンキューです。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

４７）　桜前線。

散るからこそに美しい。
そんな歌もあった桜の花。
しかし桜はなかなか散らない。
気温に敏感なので、地域によって咲く時期が異なる。
だれが名付けたか、桜前線（たぶん気象庁）。
列島の西から東、南から北へと咲いてゆく。
ひとつ処ろにとどまらず、ー
東へ東へと追いかけてゆけば好いわけだ。

ゴールデンウィークが四月にあればいいのに、ー
と春になるたび、また思う。

２０１０年　０４月　１４日　（Ｗｅｄ）

＊　＊　＊　＊　＊

そうですね。そうすれば、桜を追いかけて旅行できますね。

来年からは、ずれるんでしょうか、休日が。よく分かりません。

投稿者：河　美子

＊　＊　＊　＊　＊

河さん早速コメントを入れて下さりありがとうございます。
しだれ柳ならぬしだれ桜、あれは絵になりますね！
ゴールデンウィークの分散化…
大陸ならともかく、南北に長い日本列島にてはムリがあると思いますが、ー。
（地の理を考えると…）（汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

僕の住んでいるところは、ゴールデンウィーク明けぐらいが満開でしょうね。
ようやっと蕾が膨らんできました。
でも今日軽く雪がちらついて、また咲くのが先延ばしになってしまいましたね（^＿^；）

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメントありがとうございます。
寒いとその日はじっとして居る桜の樹々・・・みてると生きてる感じがして来ます。

ちらつく小雪のなかにちらほら咲きこぼれる、桜の花。
渋いです。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊
長い休みは休んでいる間はいいけれど、その前と後が大変だから
正直なくてもいいなあとか思う。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊　＊
山羊の宮さんコメントありがとうございます。
仕事のコトを考えると黄金週間って確かに物憂いモノがありますね。
サービス業なら、まさに多忙なるブルー・ウィーク（汗）。
燃え尽きて、五月病になりそう・・（以下省略）。
忙しいうちが花、とも謂うようですが、やっぱりね・・（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊
自分は大学の入学式の頃が満開でした
大学は大きな池を囲うように建っていて、池を縁取るように桜が

円を描いていました
水面の上をふわふわと舞う花びらの優雅さといったらありません
そして水にそっと身を任せたそれはやがて桜色の海をつくります

圧巻でした

いまはもう緑と桜色が半々くらいですかね

投稿者：希菜

＊　＊　＊　＊　＊
希菜さんコメントありがとうございますw
その桜の景色、たぶん一生、忘れないでしょうね！

葉桜、さくらんぼ、新緑の季節・・・
小説を書くヒマがなくなるでしょうねwたぶん（予想）。
合格、おめでとうございます！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
しだれ桜。近所にあります。
平安時代からあったと言われる。
しだれてる。かなりしだれてる。
オレのちんこのようだ……
いかん。いかんぞライス。
何をじじいぶっておるのだ。

元気を出せ。
女を百人レイプして逮捕され死刑になるほどにがんばるのだ。
しだれ桜になるな。マイちんちん！（苦笑）

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊
ごはラさんコメントありがとうございます。
しだれ桜にわがしなびたる竿をおもう。
じじいのほうがいまどきよっぽど血気盛んですよ？
ごはラさんも、桜にそれを想うなら、まだまだ元気な証拠です。
荒城の月とか同期の桜とか口ずさみたくなると、ー
もう枯れてますけど（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

48）・49）

48）　掛け言葉と縁語。

瀬を速み　石にせかるる　谷川の　割れても末に　逢はむとぞ思ほゆ。

和歌に<相聞>という。
使者をもって恋文をやりとりせしものが、これに当たる。

神木の枝に結びつけて、これを運ばせた。
直かに手渡す訳では無いから、途中、他人に見られる恐れが有る。
それを慮って、文面に掛け言葉を用いた。

たとえば上に引いたる有名な和歌。
谷川の流れ、その風景をのべた歌では無いことは言うまでも無い。
ちりばめられし掛け言葉、どれだけ含むのやら数知れぬものがうかがえる。

文字として読むのでなく、声にのせて聞く感覚。
せ＝夫。はやみ＝早く見たい。
石にせかるる＝口には言わずともたえず急かるる心地。
出だしからもうそんな調子である。

さて、縁語とは、ー
前の言葉と後の言葉との間に、何らかの関係が認められること。
そんな風に意図して言葉を並べてみせる技法である。

上の歌をみれば、ー
瀬と急かすとが縁語。（気がはやるとも謂う。）
瀬とは、川の流れにおいて、その流れが速く為った処ろ。

割れると合う。
関して流れを阻み、わざと流れをせきとめ、流れを速くする。
無理に仲を割かれるとかえってあひたしと思う気持ちが募るもの。

同義語。対義語。そして類義語。
彼れには此れが憑きもの。
自他ともに、そう認められて居るものが、ー
是れ、互いに＜縁語＞となる。

縁語ならつまり連想しやすい。
掛け言葉も単純なものなら、やっぱりそうである。

縁語を便りに、だんだんと言葉のイメージを広げてゆく。
まさに川の流れをたどるが如し。
飛び石を踏み踏み、対岸へと渡る様子が思い浮かぶ。

そんな言葉づかいを、かつては好んだ。
これはセンス、美意識の一種であって、ー
かならずしも、約束事とか是非を云々すべきものではなかろう。

けれども、縁語にはリズムが有る。
掛け言葉には、奥ゆかしさが有る。

用いてあるのを見かけると、
（うん？）

と心がなごむのも、また確かではあろう。

２０１０年　０４月　１５日　（Ｔｈｕ）

＊　＊　＊　＊　＊　＊

本当に午雲教室という感じがします。

今昔の　思いを込めた　恋文の　意味をひも解く　オヤジたち

山羊ノ宮

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊　＊

山羊の宮さん、コメント下さり、ありがとうございます。
ふふｗｗオヤジたちと来ましたかー☆
男が身を固める事を俗に＜年貢の納め時＞とか謂うでしょう。
すると余計、恋文とか紐ときたくなるのかも知れません。
あのウィスキーのＣＭ、
「・・女房口説いてどうするつもり？」（・・冷笑。）
となセリフが、しぜんとに今、浮かんで来ました（汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

現代社会はそういう「奥ゆかしさ」は「メンドクサイ」って一蹴されますよね。
我々活字文化の底辺を支える者は、こういう美しい日本語を守っていかなければならないと思います。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメントありがとうございます。
古典をながめて居ると、ー
和歌にて掛け言葉が流行り、連歌にて縁語を重んじた様です。
その伝統の上に、和文、日本の散文のスタイルがようやく確立された訳で、ー
謂わば、このふたつを心得ておくことは、文章家の基本かな、と思われて来ます。

今の、活字本の文体とは、記事・文体。
小説本よりもむしろ新書版の方が読んで面白い位です。
少し前の時代の岩波新書と今のものとを読み比べてみると、その差は歴然…
活字本の方面は、これから新書版が主力となりそうな勢いを感じます。
しかし、論文と物語りとは別物。
各々、違う文体を目指すべきかな、と思ったり、ー。
そういう意味でも、電子書籍という名の、新たな媒体には注目して居ます。
（なぜか主要なマスメディアはこれを全く採りあげようとしませんが…）（疑問：）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

オヤジたち　エロ和歌詠んで　盛り上がり　ついに　みんなでソープ街に消ゆ

誤雲さん　当たった嬢がでぶばばあ　されどそのテクに　翻弄されるなりけり（字余り）

海羊さん　当たった嬢が女子高生　うほほとしてたら　逮捕されけり

性闘士　お金がないので外で待ち　たちしょんしてたら　逮捕されけり

米庵は　どMであるゆえ　叩かれたい　されど嬢まで　Mゆえ静止

米庵

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊

うむむ？これはつまり連歌独吟ですかな。

嬢と申すのは泡姫がこと？
名古屋には繁華街があって羨ましい限りで御座る。
拙者は田舎者ゆえ、門外漢に過ぎませぬ。
猫の睦みが騒がしうて、寝苦しい位ひな今日この頃で御座候ふ（お茶）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

４９）　龍神。

架空の霊獣＜龍＞。
その由来は自然現象、彼の＜竜巻＞に存るらしい。

竜巻とは＜つむじ風＞。
つむじ風とは、渦巻く風。

頭のつむじも渦巻き形である。

竜巻が立つ様子をみると、まさしく龍のデザインと見透ませる。
見た目、巨大な蛇にも見える。
蛇気と言おうか蛇雲と言おうか。

一方、神なら雷鳴り・・・

宙を走る放電・現象。
いわゆる＜いなづま＞である。

甲骨文字をみると、やはり蛇の如く描いてある。
示す偏をのけた＜申＞の文字、これが神の本字である。

竜巻と雷鳴り。
龍と申。
天空に二神ありて、並べて＜龍・申＞。

龍は天へ昇るようにみえるから、地神。
雷は天から降だるようにみえるから、天神。

神鳴りを呼ぶと云う菅原の道真の怨霊・・・
それが天神として祀られるのも、当然かと。

もっとも科学的には、ー
竜巻も上空から地上へと降だるものであるらしい。

見た目も成り立ちも異なるけれど、本来は、どちらも天神。
龍神も雷神も、天神さんと思ったとて、間違いでは無い。

つむじ風や台風を祀る＜風神さん＞が、なぜ見当たらないのか？
その理由なら依然、謎ではある。
（あるいは、龍神のうちに風神も含まれて居るかも知れない。）

２０１０年　０４月　１６日　（Ｆｒｉ）

＊　＊　＊　＊　＊
かっくいいですよね

なんか昔は神様とか龍とかにみんなマジになってて楽しそうです

不可思議なものの存在を信じてしまう自分にとっては、科学で一つ解明されてしまう度になんだか寂しくなってしまいますね…　憂

投稿者：希菜

＊　＊　＊　＊　＊
そうですね！
科学的な知識が未だ曖昧模糊なだけに、ー
竜巻や雷鳴りに畏敬と神秘の念をなお一層、抱きしものと偲ばれます。

もう現代の我々には古へびとの気持ちへなりきることは為し得ないでしょう。
あ、子供を除いては、ー。
コメントありがとうございます！希菜さん。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

確か風神様はもとは西洋の神、西風のゼピュロスだったような記憶があります。
渡来の神様は多くいますが、その中の一人だったかと。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊
西風のゼピュロス。
それは初耳ですね。
ギリシヤ神話とすれば、それは季節風？貿易風？
いづれ航海を手助けして呉れる神なのでしょうね。
すると番帆・・・
彼の八幡さんが＜風神＞に相当するのかな？
いや、外来の神さんなら、七福神のうちに居るのかな。
きっと、どこかには祀られて在ったんでしょうね。
知らせて戴きありがとうございます！山羊の宮さん。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
神も竜も人間の想像物です。
つまり人間が一番偉いんですね。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊

（説明不能な）自然現象を各々、霊性に見立てるセンス。
やはり人類は元をたどれば同じ種族だったと改めて想われます。
想像力も、人類の立派な異能のひとつですね！
持ち主にすら窺い知れぬ、巨大化した脳の、底知れぬ潜在・能力・・（汗）。
コメント下さり、ありがとうございます！聖騎士さん。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

５０）・５１）・５２）

５０）　更新。

なんかつまってしまって、そのまんま一週間。
活動報告を書いていたので本人だけは退屈してないというわがま
ま状態。
コメントくださった方々ありがとうございます！

２０１０年　０４月　１７日　（Ｓａｔ）

＊　＊　＊　＊　＊
僕は逆です。
更新は毎日きちんとしたのに、活動報告はちゃんと書けなかった
（Ｔ＿Ｔ）
別になろうの仲間たちを軽んじていたわけではないのですが…
時間よりも気力・体力の問題ですね。
お互いがんばりましょう！

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメントありがとうございます。
なにより更新が大切ですよ！
携帯で読むことを思えば、毎日更新が理想的でしょうね。
生活のリズムに組み込んでる読者さんも居るはずですから。

活動報告はブログみたくマメに更新してくださいとのこと。
なので、自分流にすきな事柄を書かせてもらっています。
いろんな形があって好いかと。
ツイッターとはまたちがう使い方がありそうですね！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊
ついに活動報告が８００回を越してしまった。
どうしよう……。昔の見るのにすげえ時間がかかる。
非公開設定にしてネタ帳として使うか。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊　＊
ごはラさんコメントありがとうございます。
消す勇気も必要かな。
半年おきか一年おきに。
１日２４時間しかありませんからねぇ～（汗）

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊
差し出がましいなあと自分でも思うけれど、一つ提案として。
活動報告をまとめて、作品にしてしまったらいいと思うのだけれど。
編集次第で面白い読み物になると思う。
エッセイみたいなの？
作品にしてから消してしまえばいいと思う。
写す時にいるのいらんのと整理できるし。

でも、やはり、うーん、良く分からない。
せっかく書いたのだし、何かに使えればいいかなあとは思うのだけれど。
ムズカシイ・・・

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊　＊
山羊の宮さんコメントありがとうございます。
うむ。移すとすれば、エッセイか日記の形ですかね？
さらりと書いたものでも、あとから見直すと懐かしかったりするし、ー。
考えてみます！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

５１）　活報・保存。

メール言葉をここ＜なろう＞で覚えようとして居る、午雲（４０）。
削除するのがもったいないので、写して投稿しておきました。
コメント陣のうちから将来、有名人が出世したなら、ー
一夜にして＜永久保存版＞と化すかも（裏心）。
残り十くらいを目安に、順次、投稿してゆく予定です。

動詞「さえずる」から動詞「しゃべる」が生まれでたとも。
自己満足に投稿して御免なさい（焦）。

２０１０年　０４月　１９日　（Ｍｏｎ）

＊　＊　＊　＊　＊　＊

面白い試みですね！
楽しく読ませていただきます。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメントを入れて下さりありがとうございます！
ながめると、コメント欄も面白いと今になって思います。
一応、そのままに写してみたのですが、ー
どう組み立ててやれば、もっと見やすくなるのか、ー
確かに考え処ろですね？
工夫してみます。
これからも宜しくお願いいたしますね！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

５２）　さえずり。

あのタイトル、おしゃべりという意味だから、コメントゼロだと意味をなさない。
しかしやがて投稿されるかと思うと足踏みして敬遠してしまう方も居るかも知れない。
するとコメント欄をのぞく楽しみが奪われる。

ひとりでも気にせずさえずるとするか（汗）。
（気にせずおいでくだされば幸いです。）

なお、コメント欄を並び替え、ー
時間が早いものから順に上に置いてあります。
活報欄にも並べ替えの機能があったら読みやすくなるのに・・（希望）。

２０１０年　０４月　２０日　（Ｔｕｅ）

＊　＊　＊　＊　＊　＊
おめ。おっと。「さえずり」に載るところだった。危ない危ない。
ははははは。
こりゃこれから下手なことが書けませんなあ（汗汗汗汗汗汗汗！！！）

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊　＊
ふふふwありがとうございます！
コメント・エッセイって、やってみると、案外、面白そうですね！

クセになりそうｗｗ
これからもよろしくです！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
よし、さえずるために、コメントしよう（意味不明）
「さえずり日誌」を、読んでいると、懐かしいです。

投稿者：まいまい@ノ”

＊　＊　＊　＊　＊
遠慮なくさえずって下さい、まいまい@”ノさん。（午雲）。

＊　＊　＊　＊　＊
そんな事より私はよっぽど「金魚」の続編の方が気になる…。

投稿者：妃宮　咲都

＊　＊　＊　＊　＊
妃宮さんコメント、サンキューです。
切り張りに手間どってしまって（機械音痴：）
うれしい台詞です（感謝）！
しばしお待ちをー。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

僕のコメントもいずれ掲載されるんですか？
楽しみです（＊^＿^＊）

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さん、いつもコメントありがとうございます。
せっかくだから、いつでも読み返せる形にと思って、ー
もちろん載せさせてもらいます。
これからも鋭いコメント、よろしくお願いします。
こちらも日々、勉強になりますので、ー。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
鶯の　キララ輝く　声音聞き　昼に起きては　活報ホケキョ

山羊ノ宮

私のコメントこんなのばっかりです。
すみません。
では、失礼いたしました。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊
山羊の宮さん歌を頂きありがとうございます。
うぐいすの　鳴き声聞けば　気もそぞろ　と謂った処ろでしょうか。

春ですねぇｗｗ。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

うぐ椅子に座ればホケキョとうなだれる

米庵

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊

ごはラさん俳句ありがとうございます！

ホーホケキョ。

あの鳴き声が何を意味して居るものか、確かに謎ですね？うーむ。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

５３）

５３）　コメント感謝。

活動報告を写し終わりました。

執筆活動の合間を縫って、コメントを寄せて下さった先生方に改めて感謝いたします。

どうしても昭和の匂いがしてしまうのは、世代というほかありません。

これでもだいぶん頭が柔らかくなってきたなぁと自分では思っています。

小説のほうもよろしく！

（･ちょっと忘れかけ…）（汗）。

２０１０年　０４月　２５日　（Ｓｕｎ）

＊　＊　＊　＊　＊　＊

いつも面白い活動報告なのでまとめ正解だと思います。

これからも面白い活動報告＋小説を期待しています

投稿者：大橋　秀人

＊　＊　＊　＊　＊

大橋さん、うれしいコメントを下さり、ありがとうございます。
わたしは俳句や随筆が好きなので、ついこういう書き方になってしまいます。
えーの話し、読み易くて好いですね！
語り口調、携帯で読むにはピッタリかも。
わたしもいつか試してみたいです。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

午雲さんすみません。
僕、まねしちゃいました（^＿^；）

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊

おおっやりましたか！？
聖騎士さんの活動報告は、いつも力が籠もってるな、と内心、思って居た処ろです。
数学と同じく、小説をも知的遊戯と考えなせば、ー
いろいろな抽象的なるものごとに思いを巡らす行為も、ー
きっと、意義が有るはずです。
これから、じっくり読ませてもらいますね！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

ごっさん。ありがとうございます。
聖騎士先生の活報連載、お気に入り登録します。
後日、お礼に、まぐろの刺身を郵送します。中トロの一番高いやつ。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊　＊
ごはラさん、コメントありがとうございます！
聖騎士さんの活報録、わたしも読んで居る処ろです。
完全・異世界となるとジャンル・ＳＦに通じるものがありますね！
わたしなどは「ジョジョの奇妙な冒険」でも充分ＳＦにみえてしまいます。

―奇跡はみづから起こすもの―

良い言葉ですね！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊
ぼくは今のところ、無料の話と公募の話とバカボンの話となろうの評判の話を読みました。
実に面白い。
聖騎士先生が葛藤しながら作品を作ってる姿が浮かびます。
ただ、先生と呼ぶところが「なろう」のいかんとこらしい。
だからみんな、さん付けしとるのか。
オレもこれから、午雲さんと呼ぼう。
ごっさんにしようかな。

雲午は礼儀的にバツ。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊

うむ。

文章・界の底辺を支えるという自覚には、謂われてみると、わたしも同感ですね。

呼称については、確かリニューアルの際に、

「～さん付けで統一しよう。」

と、サイトのほうから呼びかけてありました。

未成年の書き手さんなら、

「先生なんて、呼ばないで下さい。」

とよく言われたものです。

先生と付けるのも敬称の一つにしか過ぎないのだけれど、ーアマチュアなのかプロなのか、それだと区別がつきにくいから、ーまあ＜～さん＞と呼ぶ方が無難かも知れませんね。

作品を語る際には、しぜん＜先生＞と呼びたくなりますが。

人それぞれで構わないのでは、ーと個人的には考えてます。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

私にとって先生という呼称は、戒めです。

どうにも私は文字の向こう、数字の向こうに人間がいるという当たり前のことに意識がいかないときが多い。

なので相手を尊敬、尊重するという意味あいの強い先生と言う言葉は、私にとって必要な言葉だったりします。

と言うテキトーな後付けをしてるので、今でも午雲先生は午雲先生のままなのでした。
では、失礼いたしました。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊

山羊の宮さんコメントありがとうございます！
わたしも長年、文章を書く事に苦心してきたので、ー
小説はじめ作品に接する際には、やっぱり敬意を込めて“先生”と呼びたくなります。

芸名？を名乗る間柄ではあっても、ー
相手方の文章のうちに、その人と形りをしぜん想像してしまいます。

ある程度の修練を積まなければ、ー
意図して作品を作り上だす事は成し得ぬわけで、ー
その歳月をおもえば、敢えて“先生”と呼ぶのも決して過大では無いとか思われます。

こういう場が世に現れたのが、つい最近の事でもあるから、ー
まだ戸惑いが残って居るのも、確かですが。

公けに文章する限りはもれなくプロ…とわたしなら考えて居ます。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

オレも先生と呼ぼう。雲午先生。

これだとバカにしとるみたいかな。どうですか？
しとるな。やめよう。うんこやもん。

午雲師匠にしよう。
吉本興業のノリで。
三枝師匠、えらっしゃ～い。みたいな。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊
師匠と呼んでるのを聞いて、初めてさんまが落語家なのを知りましたw。

芸名ですから何でもいいっすよ！ごはラさん。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
じゃあ午雲師匠。
ぼくのこと、ライス兄さんと読んでよ。
なろうではぼくのが先輩だもの。
吉本ではそうでしょう。
ココリコだって花子より年上だけど芸歴短いから花子のことねえさんと呼んでますよ。だめ？

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊
兄さんと呼ぶくらいなら、先生と呼びたいけど、―

らいす兄さんね…
活動報告のときはそう呼びますかな。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊
ちゃん付けとかは？
「ごはラちゃん」
「雲午ちゃん」
「「あはははは～～～」」
とか二人で浜辺を走っている感じ。（遠い目）
・・・だめだな。
すみません。
今日も私の頭は腐っているようです。
では、失礼いたしました。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊　＊
うむむ（コケッとなw）
さすがに”ちゃん”づけはちとキツイですね（汗）。
ええ歳ですからw二人とも、ー。
（そりゃたぶんマンガですよ？山羊の宮さん・・）（焦）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

54）

54）　バッド・エンド。

刑事ドラマ「太陽にほえろ」で有名な俳優・石原裕次郎（知事・石原慎太郎の弟）。
彼は映画のなかで一度も死んだことが無い。
たとえ本人が希望しても、
「できるわけないよ！裕ちゃん。」
決して監督が同意しなかったと云う。

カンフー俳優・ジャッキー：チェンなら初めの頃、途中でよく倒されて居た。

ジャッキーの「〇〇拳」とタイトルしながら、途中で息絶えたりすると、
（なんじゃそりゃ！？）
もう続きを観る気がしなくなる。

読み手がなべて、
（死なないで！）
と思って居るキャラクター。
死ぬなんて、似合わないキャラクター。

それを殺してしまっては、ー
せっかくのファンをガッカリさせてしまう。

バッド・エンドは案外、難しいと思う（汗）。

２０１０年　０４月　２７日　（Ｔｕｅ）

＊　＊　＊　＊　＊

ですよね…

ていうか恋愛もので、くっついたら絶対幸せになれるのに！ってのが実現しなくて片方が死を選んだりしたときはもう…泣

投稿者：希菜

＊　＊　＊　＊　＊

希菜さんコメントありがとうございます！

少女マンガ系なら、確かにそのパターンが多いですね！

「ゼッタイ死ぬよ？この子・・・」

読み慣れたヒトなら、すぐに見切ってしまうみたいです。

三角関係の恋愛モノなら、要注意ですよ（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

そうですよね、と言いながらバッドエンドも書いちゃうんですが。

最後をこうしたいと思って書くことはないです。
書き始めたらどんどん違う方向へ進んでしまうことがほとんどです。
だから、自分の力がどれぐらいって言うのが、私自身分かってないみたいです。
それだから、今も書くことができてるのかも。

投稿者：河　美子

＊　＊　＊　＊　＊
河美子さんコメント下さりありがとうございます。
わたしもよくあります。
書いて居るうちに、こっちが感情移入？してしまって、ーひどい目に遭わせたくなくなる、という（汗）。
喜劇より悲劇の方がしびれるのは分かってるんですけどね？
・・悲劇には、勇気が要ります。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊
これ偏見かもしれんけど、ちびっことじいさんはハッピーエンド

を好むと思う。
ちびっこの頃やはりバッドエンドは怖くていやだった。
親の保護下にある身としては。
まだ老人じゃないけど、おかんが「水戸黄門」むちゃ観てるからそうなんじゃないですかねえ。

逆に若者はハッピーエンド恐怖症のような気がする。
若者て発展途上で、これからどうなるかわからんという状況にあるから、
「めでたし。めでたし。ちゃんちゃん」
とやられると、
「んなわけあるかー！」
て不安になるような気がする。
あくまで気がするだけですが。
今は不況なので堅実というか真面目というか意外と若者でもハッピーエンド志向かも。。。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊
ダウンタウンの昔のコントおもろかったなあ。
死んだ子どもが棺おけの中から色々いたずらするやつ。
「余命一ヶ月の花嫁」は悔しいかな泣いてしまいました。
オチわかってるのに。涙が止まらなかった。
モデルの女性がＡＶ出演してたとかいう情報ぶっ飛んだ。
スタッフの力量。

ただ、オレの作風でない。
オレだと、余命一週間くらいで散歩に出て病気と関係なくいきなり自爆テロに巻き込まれるみたいな。
そういうシュールなのになりそう。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊
ライス兄さんコメントありがとうございます。
そう、ゲーム系ファンタジーなら主役は絶対勝ち、ハッピイエンドがお約束。
ゲームならゲーム・オーヴァーが有るけど、小説にはそれが無い。
この辺りに不満を抱くのは、もしか不安定が常態と化して居るからかも知れません。

ウルトラマンなんてカラータイマーが鳴りだすと、きまってドキドキしたものだけど、ー
最後にはきっと勝つ。
それが面白くて喜んで見入って居た覚えがあります（・・遠い眼）。
それだけに＜ゼットン＞は印象に残ってますが・・w。

釣り師は池に始まって、池に返る。

日本人ってほんとうはハッピイエンドが好きな気質なのかも知れませんね？

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

いっそ新世界の中心で愛を叫んだらどうですか？ライス兄さん（ウソ）。

＜時間制限つきラブ・ストーリー＞。

すでに百恵・友和のドラマ「赤い～」シリーズを見飽かしたわたしなどには、ー

免疫がついて居て、さほど驚きもしません。

謂わば＜焼き直し＞・・・

でも、面白いものは面白い。

二十年以上も経てば＜時効＞ですな（お茶）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

＞「ゼッタイ死ぬよ？この子・・・」

読み慣れたヒトなら、すぐに見切ってしまうみたいです。

そういうのを同人用語では「死亡フラグが立つ」と言いますｗｗ。

でも、逆に生きているものと思って観ていたらラストで、実は死んでいましたパターンのバッドエンドは、どうしてああも感動するんだろうｗｗ。
よっぽど生きてる状態でラストに死ぬオチよりか、泣けるんですけどｗｗ。
最近の映画の手法で増えてきました（そういうのが）。
要は騙しオチみたいなｗ。

投稿者：妃宮　咲都

＊　＊　＊　＊　＊
妃宮さんコメント、サンキューです。
むむ。大ドンデン返し（・・化石）！
・・時、すでに遅し・・・となな成り行きですか。
（確かに泣けて来そう・・。）

誰だかの推理小説に、ー
殺害されたと思われし被害者が、ー
実は＜心臓麻痺＞だった（↑自然死）。
ーというネタが有りましたが。

「主役が最初から死んで居る。」
というのは、まさにトリッキーですね！

（初めに見つけ出したヒトは偉いっ！）
と、いつも後になって、思います（・・苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

バッドエンドはそこまで持っていくのが難しいですね。
もやもやしたものを残してもらわなきゃならないので。
僕はあまり好きではないです。
オープンエンドなら好きなのですが。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメントありがとうございます。
わたしもバッドエンドが救いになるような形を除いては、あまり好みではありません。

でも、ホラーと悲劇とはセットなのでは、ー？

過激にエスカレートさせてゆく作品なども、なろうにては、よく見かけます。
（ちょん切るとかバラバラとか…）

ところで、オープン・エンドって、なんですか（初耳）？

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
ホラーと悲劇ってセットなんですか？
僕のホラーはほとんどすべてハッピーエンドですｗｗ
唯一「笑福」だけがオープンエンドです。
オープンエンドっていうのは、まとめないんです。
読者に判断を委ねるってやつです。
ハッピーでもバッドでもなく、でもどちらとも取れるような終わり方です。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
あ、ジョーズ風な趣向なんですね！
恐怖・体験を乗り越えて栄光を掴む！みたいな、ー。
うむ。それなら健康的ですね☆

なるほど、結末を敢えて伏せる行き方…
それがオープン・エンドなんですか。
助かるか助からないか分からない。
余韻が後を曳いて、心に残りますね（高等戦術っ）。
そういえば若かりし頃の菊地秀行は、そんな形で終わるのが得意技でしたね（Ｄシリーズとか）！

いや、勉強になりました。
また、教えて下さいね（感謝）！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
確かにその通りです。
でも僕の「笑福」ははっきりとしたオープンエンドです。
もしお時間がよろしければ一度読んでくださいませんか？
連載形式ですが短編なので、３０分かからずに読了できます。
ご指導いただければ嬉しいですが、オープンエンドの話もしやすいので。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さん「笑福」読んでみました。
うむ。ホラーというよりＳＦという感が来たしました。
「パニック・ＳＦ」（我流）と分類すべきかな？
語り手たる詩織が冷静で分析的なので、なおさらＳＦ感が濃くなって居ます。
色々なテーマが盛り込まれて居て、これからさらに大きく膨らみそうですね！

そういう終わり方が、オープン・エンドとすれば、これは確かに知的な刺激に満ちて居ます。
ここからどう枝分かれしてゆくのか、今後の作品が楽しみです。
早紀がなお走り続けて居るシーンが殊に何故だか印象に残りました（象徴何？）。

あ、ここへ感想を書いてしまった。
オープン・エンド・・・覚えておきます。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
読んでくださったんですね。
ありがとうございます。
感想とても嬉しいです。
あの終わり方ははっきりとしたバッドエンドです。
しかし大きな視点で見れば、人類は絶対に死なず、環境破壊も起こらず、戦争も永久に起こらない。　天変地異でさえも乗り越えられるんです。
笑顔で。
これをハッピーエンドといわずしてなんというでしょう！
っていう僕なりのアイロニーを込めてみたんです。

人によって変わるという、オープンエンドの応用ですね。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊　＊

生物の進化に終わりが無いとすれば、ああいう状態が最終形かも知れませんね。

沖縄の住人が軒並み長寿に恵まれるのは、
「よく笑うから。」
とも謂われて居ますが、ほんとかなw？

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

ホラーと喜劇。悲劇とギャグ。は、紙一重。
狼男怖いはずなのに実際に見ると笑ってしまうかもしれん。
二重被爆（広島で被爆した人が歩いて長崎に行きまた被爆してしまう）なんて非常に微妙。
笑っていいのか何なのかさっぱりわからん。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊
悲しすぎて笑ってしまう。
驚きを通り越して笑ってしまう。

泣くより笑う仕草のほうが、ー
その実、感情・表現としては高位に存るのかもしれませぬな。

心の闇に笑い在り？
（さっき聖騎士さんの「笑福」を読んだもので、ー。）
ライス兄さん、新しいコメントどうもですw！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

55）

55）　心の声。

＜なろう＞の作品、その感想欄をみると、ー
よく「視点」の問題が論述してある。

キャラが多くなると、ー
主人公の視点だけでは、とても記述し切れ無くなる。

もちろん全文、三人称にて統一してしまえば、それで格好だけは着くのだが、ー
それだと、臨場感に、どうしても欠けてしまう。
過去の事件や回想の場面を物語るのには、客観的な立場の方が好いけれど、ー
現在・進行形たる出来事を物語るのなら、一人称の方が断然、ふさわしい。

三人称に於いても一人称に於いても、ー
共通なる悩みの種といえば、ー
＜心の声。＞
その扱い方であろう。

厳密に謂えば、心の声とは当人、すなわち本人にしか分からない。
本当なら、観察者へ対してさえ、その中味は伏せられてある。

しかして小説に於いては、これを当然のように描き明かして居る。

ドラマに於いてなら、当人の声に乗せてナレーションが付く。
視点が一人称なら、主人公の心の声は聞こえて当然、ー
むしろ、その方が読んで居て自然である。

しかして三人称ならカメラ目線・・・
風景の一部としてキャラを映しだすのが、本来の相だ。
実は、ここにはごまかしがある。
いま仮りに、ー
心の声をも、観察者の心の耳に届く事としてある訳だ。

語り手と主人公とが互いに補足し合う。
そんな視点を＜一人称的三人称＞と称ぶとすれば、ー
語り手とは主人公の＜分身＞・・・
そこで、主人公が居ない場面に於いては、ー
この分身が、主人公に代わって、描写を受け持つ事とはなる。

この視点を我流にて＜分身・三人称＞と称んで居る。
実はこれ、マンガの作品にて、よく見受ける手法である。
分身とは謂え、ー
主人公はその場に居ない事に為って居るから、ー
キャラたちの＜心の声＞なら不明瞭・・・
さりげなく伏せてあるのが普通である。

しかして、もしか当人が主人公と極く親しい間柄なら、ー
彼あるいは彼女の＜心の声＞が聞き取れたとて、ー
さほど不自然では無い、とか推して思われる。

むろん親しくも無い相手の＜心の声＞まで、ー
明からさまに示し回っては、さすがに不自然だ。

こんなごまかしを指して＜外連味（けれんみ）＞とか謂う。
歌舞伎などで、よく遣われる言葉でもある。

小説とはフィクション。
多少のけれん味なら、あっても好いとおもう。

２０１０年　０４月　２８日　（Ｗｅｄ）

＊　＊　＊　＊　＊
メタフィクション。たまに筒井康隆やりますね。
三人称を司るべき作者（筒井康隆）がいきなり作中に降りてきてべらべら喋り出す。
三人称でも作家が性格破綻者だと楽しい。
きちんとカメラ的な説明をせにゃならんのに、いきなり泣き出したり競馬と胸の話をし始めたり。

オレはだいたい一人称三人称混合体です。
星師匠はだいたい三人称。
筒井師匠は一人称（おれ）が多いですね。
最近は師匠は自分のことを「わし」とゆうてるが。
「小生」も真面目な話する時使いますね。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊　＊

ライス兄さんコメントありがとうございます。
そう、筒井さんの「おれ」は有名ですね！
あのヒトは演劇の発想に基づいてるから、常に観客席へ語りかけて居るイメージがあります。

完全一致・一人称なら「私小説」。
二人称なら「論文」。
三人称なら「新聞記事」。

太宰治の文体なら<二人称的一人称>とか謂われて居ます。
読み手、一人一人に手紙を書いて居る風な語り口。

典型的な人称を用いて、単純に推し進むだけでは、到底、小説には成り得ない。
第一、不便です。
そこで混合させたり、合体させたりする事となる。
多少の綻びには敢えて目をつぶる寛容さも、必要とか考えます。
小説ですから（声・筒井師匠）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊
三人称視点と一人称視点の混在型は「サンイチ」とか「イチサン」って呼ばれてるみたいですね。
僕も使っている作品あります。
とても興味深いやり方です。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメントありがとうございます。
ジャンル・ファンタジーなら殊に「視点」の設定には思い悩まれるでしょうね！
たとえばラセさんの作品にては＜並立・一人称＞を採ってます。
場面ごとに主役を定めて、語り手が入れ替わるという書き方です。
キャラが個性的で、しゃべり口にも特徴をもたせてあれば、ー
それで充分、描き通せるものと思われます。

しかし現実に近い舞台設定にては、なかなか描き分けるのも難しいので、ー
使鬼神（しきがみ）の如く、主人公の分身を用いる行き方が、便利とか見えます。

テレビ・カメラの視点・・・
典型的な三人称を操るセンスが定着したのは、そんなに古い事でもないようですね。
長谷川町子「サザエさん」を読んで居て、気づいたのですが、ー
例のサザエ一家と無関係なシーンをネタとして作る場合には、ー
きっとラストの四コマ目に、一家の誰かサンが顔を出してます。
縁側にてタラちゃんが泣いてたり、その場へ買い物帰りのザザエさんが通りかかったり、ー
誰だかの目撃談、または伝聞録とな型を採るよう心掛けて居る風です。

＜物語りとは、一人称。＞
おそらく、そんなセンスが在りし事の名残りなのかと。

しかし、ー
作者と主人公との実・年齢・・・そのへだたりが大きくなって来ると、ー
さすがに、分身も使い辛くなって来ます。
為り切るのが難しいというか、感情移入しにくいというか、もはや気分的にムリというか・・・

・・青春とか描くのなら、今のうちですよ（汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
そういうの並立・一人称って言うんですか？
それなら僕中二の時「死怨」で使ってますよ。
お暇な時にでも見てやってください。

青春…僕の引退作は青春スポーツ物って決めてますw

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
あ、わたしは命名するのが好きなもので、ー
あれは我流の術語です（失礼）。

同じ場面を片や男・目線から、片や女・目線から描いてみせる。

そんな実験なら目にした覚えがありますが、ー
物語りの最中にあって、自在にころころ視点が入れ替わるという方法は、ー
これまで見たことがありませんでした。

視点の〈統一〉と謂うことが暗黙の作法とされて、ー
主人公が入れ替わる〈並立・一人称〉は視点の〈分裂〉…
邪道とか決めつけられて、目の敵にされて来たようです。

演劇なら主役は一人、しかし舞台回しを行えば、場面の転換も可能です。

もちろん、その場にて主役を入れ替える事も、ー。

視線の統一を是とし、分裂を非として、徒らに排斥して来たのも、ー
いま想えば、固定・観念に囚われて居ただけだったのかもしれませんね！

あ、あの死怨では早くも実践してあるんですか。
ホラーが大の苦手なので、そのうちそのうちと思ってたんですが、勇気だして読んでみます
（怖かったらどうしよう…）（鳥肌）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

うまくできているかどうかはわかりませんが、一貫した主人公はいます。
でも視点人物を中心に、物語の舞台や視点、時系列さえ変えて展開させています。
恐くないですよｗｗ
所詮未熟者の僕の書くホラーですからｗｗ
コーヒーでも飲みながらリラックスして読んでやってくださいｗｗ

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さん「死怨」・・・もう出だしからキッチリ来てるじゃないですか（冷汗）。
（これだけの文章を中二で書いたというのがすでにコワイが、ー）
夜中に読むと危険？なので、ー
お気に入り登録して、明日の朝、明るい間に読ませてもらいますね。
視点の設定・・・特に注目しておきます！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

56）・57）

56）　一人称。

語り手と主人公（主役）とが一致して居る〈視点〉…
これを指して、特に、
「完全一致・一人称。」
と称ぶ（ただし、我流。）

典型的なのは「日記」。
読み手は自分自身のみ、という型である。

文章のジャンルで謂えば、
「私小説」
と名乗る作品がこれに宛たろう。

主語＝私。
内容＝体験談。
あらすじ＝特になし。

つまり小説仕立てな「日記」のことと想えば可い。

「あれは小説では無く随筆（エッセイ）である。」
との極論もあるが、今は措く。

私小説を読んでいて、
（…小説のような気がしない。）
と決めつけるヒトは、実は少ない。

ただの「日記」とは明らかに違うとみえるから、わざわざ「私小説」と称び慣わしてあるのだろう。

すると、その由縁とは何なのだろうか？と、つらつら考えてみた。

評論など読んで居ると、作家の素顔を暴露してあるものなどがある。

その素顔と私小説の主人公とをこう見比べてみると、
（彼我のキャラクターにはかなり相違があるのではないか？）
ということに思い至った。

つまり、
「私小説に於いては、語り手のキャラ、それ自体にフィクションの操作が掛かって居る。」
と見えて来たのだ。

すると、その文章が生の日記と同じはずがない。

意図して〈虚構・性〉を其処に持たせてあるのだから、それは立派な小説と謂える。

語り手・自体に虚構のキャラを据える事…
それが〈完全一致・一人称〉を操ってみせるコツではあろう。

２０１０年　０４月　３０日　（Ｆｒｉ）

＊　＊　＊　＊　＊　＊
確かにまんまの自分を登場させてもくそつまらん……
以前書いた「ごはんライス日記」なんて、フィクション九割……。
オチあたりでニューヨークに原爆落とすし、もうめちゃくちゃ。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊　＊
コメントありがとうございます。ライス兄さん。
名指しして悪いけど、彼の漱石先生の評論なんぞは暴露ネタが非常に多い。
死人に口無しとな文句を地で行くえげつなさです（ほとんどパパラッチ状態：）（冷や汗）。
作家として生涯〈仮面〉をかぶりつづける。
そんなもう一人の自分自身を確認する為めに、あんな小説を書きつづけたのかな？とか想います。
自分すらをも演じる。
そのうちどれが本当の自分だか分からなくなって来て、ー
ちょっとヒステリックと化したりするのでは無いでしょうか。
理想の人格…
それを描こうとして居るのかな？もしかして…
或いはそれは大なり小なり人間の性（さが）なのかも知れませんね（苦笑）
。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

でも、ちょっと面白そう。脚色かぁ。
私小説書いてみようかなぁ。
「孤高のきちがい金属バット・午雲のエロエロ恐怖談」（私小説）
とか読んでみたいですねえ。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊　＊
漱石は「坊ちゃん」しか読んだことない……
昔、漱石の全作を一冊にまとめるつうすげえことやってた出版社
あったな。
字がこんまけえの。
１ページに１０ページ分くらい詰め込むから。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊　＊
新しいコメントありがとうございます。ライス兄さん。
そう、架空の私小説？というのんなら、面白いかも知れませぬなｗ
実はもう筒井さんが藤村に為り代わって『小説「私小説」』とい
うのを書いてます。
（藤村の地顔を暴くとなパターン。）
なにか良いキャラが見つかれば、ー
完全一致・一人称でもって敢えて書いてみるのも、面白いかも知
れませんね～！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

確かにあれおもろい。めちゃ茶化してますよね。
特に筒井師匠の場合、虚構性を強調した作品が多いのでああいう感じになるのかも。
最近、再読してる「最後の喫煙者」は完全なる虚構ですが、主人公が小説家なためか、筒井師匠の素顔が垣間見られるような気がして愉しい。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊

おもえば彼の筒井さんは一人称が得意技な訳だから、ー
一歩進んで、私小説を書いたとて不思議は無いですな。
筒井さんの書く一人称は、やはり分身・三人称かな？
主役が死んでから、まだ話しが続く時もあるし、ー。
そういえば日記ものはまだ読んでません。
（あんまり気乗りがしない…）（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

言文一致も究極の一人称ですよね。
私小説には好きな作品多いです。
川端康成が一番ですが、島崎藤村もいいです。
文学っていいですよね。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊　＊

うむ。考えてみると漱石「坊っちゃん」も完全一人称…
所謂「私小説」な趣きが有りますよね。
あれは全文、東京の下町言葉…
言文一致・文の実践・作とか謂われて居ます。

語り手たるキャラの雰囲気というか匂いというか、ー
そんな風なものが作品・世界、全体を覆って居る。

全く“趣味の箱庭”という感じがして、ファンには堪まりませんね！
非プロット小説という意味合いで考えれば、あれをもキャラクター小説の内に加えても可いのかも。

川端は味が有りますね。
読めないヒトと言うか、底が知れないと言うか。
いかにも文学という感じがします。
コメント下さり、ありがとうございます！聖騎士さん。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

57）　二人称。

二人称の主語なら＜あなた＞または＜あなた方＞。
手紙文や論説文がこれに宛たる。

文学史とか眺めると、ー
作家のうちには、教師とか記者から転身した者を多く見受ける。
教師なら生徒へ向かって語りかける仕事。
記者なら読者へ向かって意見を述べる仕事。
どちらも相手に自分の気持ちを分からせようと為す思いが有るから、
「説得。」
と名乗る行為が察せられる。

二人称の場合にては、ー
単なる伝達では無く、ー
相手を＜説得＞するような語り口とは為る訳だ。

たとえば漱石なら、教師・出身。
彼の「こころ」にみえる独白体などは、教師気質の典型とか見えてくる。

一方、司馬遼太郎なら、記者・出身。
彼の歴史小説・・・
そのエピソードには、出処ろが怪しい代物も多く有るのだけれど、

ー

読み手は、例外なく、本当のコトと信じ込んでしまう。
この語り口、小説に名を借りた、まさに＜説得＞である。

二人称な文体・・・
その最も人気がある作家といえば、やはり太宰治であろう。
彼が自らの苦悩を語るシーンにては、ー
まるで直かに手紙にて秘密を打ち明けられて居るような気分がしてくる。
壱読者というよりは、誰か友人にでも話しかけるような、しゃべり口。
メール小説の先駆者・・・
彼の文体には、いつも二人称が蔵されてある。

おもえば、恋文だって、異性を説得する手紙とか思えなくも無い。

（二人称の文体には＜詩＞を感じる。）
（たとえ蔵されてあったとしても、ー）

２０１０年　０５月　０３日　（Ｍｏｎ）

＊　＊　＊　＊　＊　＊

なるほど。
しかしその押し出しが強すぎると、現代の読者は嫌悪感を示すかもしれませんね。
昔は通用した手法かもしれませんが、今はなかなかやり方を工夫しないと受け入れられないかもしれません。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊

聖騎士さん、早速コメントを下さり、ありがとうございます！
そう、今に謂う〈痛い〉とな言葉がその心行きを表してますね。
少し前なら〈ひたってる〉なんて言い回しもよく聞きました。
ドラマとかでも、あまり役柄に入り込んでる俳優なら、
「暑苦しい…」
とか評されて、昔気質な俳優なら弱り切って居るとか（苦笑）。
暑苦しくない二人称って、確かに工夫が要りそうです…。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

58）・59）

58）　三人称。

明治期、彼の正岡子規が＜写生＞というコトを言いだして、ー
その名も＜写生文＞という散文の方法・論を推奨して回った。

これ、謂わば＜観察・日記＞のような発想である。

朝顔の観察をして、毎朝、成長の様子を書き記す事を想えば好い。

ここにおいては、書き手は観察者・・・
朝顔の成長と書き手とは無関係とな立場にある。
観察者の立場に徹する事。
それが＜非人情＞とな造語の、壱面の本意ではあろう。

新聞記事なら、報告書であり、時に観察日記でもある。
これを記録・・・すなわち＜記録・文＞と称んでやっても好い。

本来、記録文のなかに、ー
書き手の人情が立ち入る余地は無い。
司馬遷「史記」のごとく、読み手の壱人としての感想が存るのみである。

三人称の文体＝客観的な視点に立った文体。
写生文、すなわち記録文がこれに宛たる。

おもえば、記者が三人称の文体を得意技と為すのも当然とか思わ

れる。
観察者、報告者、記録者・・・
もっと謂えば＜傍観者＞なる立場を職業柄、よく心得て居るからである。

事件とは没・交渉たる＜傍観者＞。
そう考えると野次馬だって、三人称の視点に立つ者と謂って良いかも知れない。
人間の眼がカメラの代わり・・・
もちろん、心の眼というものもあるけれども。

敢えて心の眼を閉じた処ろに、ー
本来の三人称なる文体なら、書き得るような気もする。
（読んでそれが面白いかどうかは別にして・・・）（冷や汗）。

ありとあらゆる風景・・・
絶え間なく起きては消える現象・・・
その中から、どれを選んでみせるのか？

三人称の視点において、ー
書き手の意図が現われる処ろと謂えば、ー
おもうに、其処だけではあろう。

２０１０年　０５月　０４日　（Ｔｕｅ）

＊　＊　＊　＊　＊

山羊ノ宮は午雲先生に質問してみる。
午雲先生は一、二、三人称、どれが一番書きやすいですか？と。
山羊ノ宮は私は特に書きやすものは無いですと、聞いてもいないのにこたえだした。
では、失礼いたしました。
そして、ぺこりとお辞儀をしてそそくさと退散するのだった。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊
山羊の宮さん、コメントを頂き、ありがとうございます！
そう、この自分で自身を客観視してみせる文体・・・
＜分身・三人称＞の絶好の用例ですね（山羊の宮・流！？）。

わたしなら、やはり三人称が書き易いとか想います。
自分は圏外遠くへ置いて措いて、ありえないキャラ壱色で描き切る。
いっぺんやってみたいなァ（・・夢やがな）（声・こだま・ひびき）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
目に映る、もしくは知覚しうる情報の中から何をピックアップするか。
その時点で「観察者」「傍観者」なりの主観が入ります。
さらに形容詞や形容動詞、副詞を使えばすでにそれは絶対的な客観ではない。
ゆえに絶対的な三人称とはこの世には存在しないことになります。
「どれを選ぶか」の時点で、すでに「三人称」ではなく「一人称を

三人称視点に置き換えたもの」にしか過ぎないのかもしれません。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊　＊

むむ。確かに！！

どの詞を置くのか？という所作に際しても、書き手の主観が反映されてしまいますね。

しかして、三面記事など読んで居ると、いかにも味気無い。

思うに、これは決まり文句のみで機械的に書き流してあるせいかと思い当たります。

定型文の並べ替えに終始して、ー

一定のリズムを守り、ー

頑なに、自己流の詞を注意深く排除する。

達意の文章にして読み易いかしれませんが・・・

流れ作業と化すので、ー

書き手としては、何の楽しみも、きっと感じられないでしょうね（汗）。

なので、わたしは、推理小説だけは個人的に、どうも苦手です。

（トリックさえ思い着けば、誰が書いても同じみたいな処ろが・・・）

コメントを入れて下さり、ありがとうございます！聖騎士さん。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

推理小説は、一人称が書きやすいですね。と言ってみる。

投稿者：神村律子

＊　＊　＊　＊　＊　＊

神村さんコメントを寄せて下さり、ありがとうございます！
あの左京ー樹理コンビなら、わたしでも読めますw。

どうしても「アガサ・クリスティ」に理想形を見てしまうのですが。
オシャレなトリックというか、ポアロ好みな事件というか・・・
結末よりも、その間の過程が楽しいんですよね！
あのセンス・・・すごくイギリスの風土を感じるし・・・（息）。

物理的には可能でも実際には不可能となトリックが世にはあまりにも多いでしょう？
初犯のおばさんが独りで十名も殺して、なお平気に暮らしてるとか。
舞台設定がリアル（日本）なだけに尚更、気持ちの糸が切れてしまいます（首捻）。

日本には、日本ならでは、な犯罪があっていい。
・・日本風というか。
キリが無いので、以下略。
左京他、楽しみにしていますw。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

ある晴れた午後。

人気ポルノ男優兼作家である午雲氏の書斎で、人気ポルノ映画監督兼作家であるごはんライス氏は質問した。

「午雲くん。あなたにとって、エロとは何かね」

一瞬、静寂がその場を支配した。あまりに、あまりに哲学的な命題であった。

「ぷう」

午雲氏は緊張のあたり、屁をこいてしまった。

屁を知らない読者のために少し説明しておこう。

屁というのはお尻から出る有害ガスで臭いことで有名である。

このことは聖書や日本書紀にも記されており、昨年国連でも決議された。

それほど重要な文化財である。

さて、そんなことはどうでもよく、午雲氏はごはんライス氏に謝った。

「汗！汗！汗！ライス兄さん、ごめんなさい。あっし、あっし、屁をこくつもりは。屁をこくつもりは」

「苦笑！苦笑！苦笑！午雲師匠、そんな頭をあげて。誰だって屁をこきますよ。こきますとも。おいらなんて、パンツの中でうんちょをもらすことだってあるのです！」

午雲氏はふふふと笑った。

「ばかやん。お前」

ごはんライス氏はかちんときた。

「なんだと。このきちがい金属バットめ」

「ないい。やるか」

「来いや」

大乱闘。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊

なにかよくわかりませんが・・・

力の入った文章を寄せて頂き、ありがとうございます。らいす兄さん（汗）。

・・解読に努力します（できるだけ・・・）。

三人称にて書き流した例文なのは、確かですな（以下、省略）？

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

５９）　四人称。

小説の取り柄は、広い世界が描ける事。

吉川英治「三國志」とか読んでいると、そう思う。

さらに抽象的な物事を描ける事が挙げられよう。

マンガなら全て画像だから、目に見えるもの、すなわち具象しか描けない。

登場人物が現われなければ、マンガならストーリーが成り立たない。

したがって、三人称までなら、マンガにてもカバーできる。

しかし、抽象的な領域に入って、もはやキャラクターが出て来なくなったら…？

そこから先は、きっと文章の、独壇場であろう。

たとえば、日本に壱有の遊戯たる、将棋。

あの成り行きをマンガにて表現できるだろうか？

あれは合戦を抽象化したものであって、ー

駒の動き、そのうちに秘められた壱連の思考も、また、極めて抽象的なものである。

駒は、抽象的な存在。

もし名を冠せるなら、それは抽象・名詞とか予想されるだろう。

仮りに、駒を軍隊とみれば、どうだろうか。

個体では無くして、群れ。
人員では無くして、組織。
個人名でなくして、役職名（〇〇将軍とか）。

個人を越えて、集合体を扱う処ろに、新たな人称…

第四人称が存りそうな予感がする。

２０１０年　０５月　０６日　（Ｔｈｕ）

＊　＊　＊　＊　＊　＊

僕の小説「Ｘａｎａｄｕ」の第一章、第四節、第五節でその手法使いました。

大人数の動きを描写するにはよい方法ですね。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊　＊

聖騎士さん、コメントありがとうございます！

この発想もやっぱり司馬遼の「明治もの」の影響なのですが、ー文章中に組織の名称が非常に出て来る。

これを人員に分解しようとするから、話しがややこしくなる。

いっそ、組織名と役職名を駒として、より簡略に描いてみたらどうなのか？

どっちみち、リアリズムを指向するならマンガや脚本には敵わない。

関係性とか勢力図とか、もっと抽象的な事柄へ焦点を定めた方が好いのではないか。

そんな事をおぼろげながら思ってみたりします。

うむ。もう実践されてるんですね。
もうすぐ連載が終わりそうなので、一度、じっくり見てみます！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

思考する。
一人称が当事者。
二人称が対象者。
三人称がそのほかの第三者。
いわば三人称は作者の視点。
ならば、その外側の四人称は誰からの視点だろうか？
一つ考えるに読者という存在がいる。
では、読者による作品の批評などは四人称になりえるだろうか？
否、それは個々人の思想を語る一人称として扱われることだろう。
午雲先生の記述にあるように四人称においての読者は集団であり、一つの総意として扱われるべきなのである。
しかるに私の考える四人称とは以下のようなものである。
一つの出来事（物語）に対し、読者の視点（感想）でのみ構成されており、物語の全容を表しながらその面白みを伝えるもの。
読み物としての完成度があるもの。
このようなものが四人称の作品であると私は考える。
思考停止。
あー、ねみー、こーひーでものもうかな、いや、もうねようかなー。うー、なー。
思考再開。
とは言え、人称とは立ち位置（視点）のことである。

明確に四人称が何処からの視点かということを決めなければ、やはり四人称と言うものは曖昧なものでしかないだろう。
一次元は点、二次元は線、三次元は立体。
では、八次元は？二十四次元は？
何かを定義づけるには言葉の物差しが必要である。
以上結局何も分からないお話でした。
それでは失礼いたしました。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊
山羊の宮さん、コメントありがとうございます。
うむ。
キャラ全員を傍観する作者の視点。
それが三人称と仮定してやれば、ー
その作者を傍観する立場とは、これ読者の視点と想定できますね！

描き手たる作者を論じる視点。
そう想定すると、ー
やはり評論と名がつく形式とか推して思われます。

あるいは行間を読む。
あるいは〈ｉｆ〉展開を仮想する。
あるいは、空白たるその続きを試みに書き継いでみる。
すると、謂わゆる二次創作とな作業が、ここで謂う四人称に宛たるのかも。

劇中劇。

屋上屋。
作品を描く作者を主人公となして文章する、という風な視点もあるか知れません。

わたしの場合は、
〈人称＝代名詞。〉
とか見定めて居たので、ー
三人称の次に来るとすれば〈ｉｔ〉か〈ｗｈａｔ〉かな？と推して考えてみたのでした。
人情を離れて理屈で動く何者か…みたいな感覚。

なお考えてみたいと思います。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
さらに思考。
二次創作は四人称ではないと思う。
なぜならば一つの物語に対し、視点の変化と言うよりももう一つ別の物語を作っているからである。
ここに「金魚」と言う作品がある。
その感想欄のメッセージをまとめ、「金魚」を読まずとも読み物として成立している（読んでいて楽しいという意味では無く、読んでいて金魚の筋が把握できるという意）のならば四人称なのかもしれない。
まあ、作為的にやっても非常に難しいとは思うが。
思考停止。
タコヤキタベタ、クスリノンダ、ネムク・・・ナッ・・・タ。

思考再開。
本のあおり文がある。
『最期の三行で全てをもっていかれた』
『抱腹絶倒、とりあえず読め！』
『「鼻から牛乳飲んで目から出す人がいるらしい。だからきっとこれも目から出た鼻水」「きたない。さっさと拭け。台無しだ」』
あのあおり文を読んで購買意欲がそそられたというならば、きっとそれはその文が本の物語の一端を確実にとらえているからであると思う。
ああいうものの延長上に四人称があるのかもしれない。
ただあったところでカオスだし、読みにくそうだし、大して興味もない。
以上、さじ投げてお終いでした。
それでは度々失礼いたしました。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊
山羊の宮さん、新たなコメントありがとうございます。

そう、感想から一歩進めば、それが評論となる訳で、―
考えてみれば、作者対作品と、読者対作品と、おのおのの視点がまさか一致するはずも無く、―
しかも、評論というものとは本来、作者に向かって仮りに問いかけられた文章であって、二人称的な読み手を期待しては居ないのかも知れない。

作者と本文とが今、仮りに目の前にあると想定して、ー

作者と直かに対話するような視点…
作者とはまた異なる視点から、作品をながめてやる。
評論って二人称の体裁はとってるけど、実は、ここに謂う仮想の視点なのかも知れない。

あおり文やパロディに対しては、読み手の自由に任せてあるだけに、内心、なかには意に反したものへ苦々しく思いなす書き手も、きっと居るんでしょうね。

もっとも、評論とかの材料になった頃には、作者はたいてい、もう死んでるけど。
小説より面白い評論とかあおり文、確かにありますね！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

60）・61）

６０）　キャラの記号化。

江戸時代の小説を「戯作（げさく）」とか謂う。

現代・劇の脚本を「戯曲（ぎきょく）」と謂うのも、おそらくここから来て居よう。

当時は漢文を手本に据えて居たので、ー

和文ならもれなく手なぐさみとか卑下する風があった。

政治好きな大陸人、その漢文のうちに笑い話しが少ないのは、おもえば当然である。

なので、笑いを誘う物語りとなると、みずから戯作とへり下るのが常であった。

しかして、江戸の住人は、とりわけ笑いを喜んだ。

そこで、戯作者も競って笑い話しを作るようになった。

そのなかに「気質（かたぎ）モノ」と名の付くジャンルがある。

書生気質、職人気質・・・

業界ごと、世間ごとに典型的な人物を選り抜いて、ー

多少、それに誇張を施して、造り上げたキャラクターたちが織りなす物語りである。

これが世間にバカ受けして、ー

その伝統なら、いまもなお息づいて居る。

典型的なキャラばかりが現れて、ー

しかも時間なら循環的・・・

こうなると、物語りの世界が決して壊れることが無い。

ギャグ・マンガなどは、この気質モノの系統とみなして好いであろう。

キャラをくっきりとタイプ分けしてしまう。

しかも、各自は自分の性格を忠実に守り、ー

ほぼ例外なく、それに従って、行動する。

そこには、荒廃も無い代わり、成長も無い。

時間は同じ処ろを循環して、そこだけ止まってるみたいな恰好。

よくみると、現実の世界からは、かなり遊離してあるのが見てとれる。

こんな気質モノを扱う場合なら、本来、キャラに名前など要らない。

火消しＡ、少女Ａにて、充分である。

名前よりも、彼や彼女が属する世間、すなわち役柄こそが大切だからだ。

この手な方法を＜キャラの記号・化＞と称ぶ。

記号化とな操作はフィクションであって、ー

多分に誇張されてあるから、居そうで居ない処ろがミソである。

時に理想・視される事もあるけれど、ー

そんな事が世に起こるのも、ー

それ、フィクションならでは、とか思う。

２０１０年　０５月　０８日　（Ｓａｔ）

＊　＊　＊　＊　＊

現在執筆中の作品で、今回は少年少女その他色々が混雑しまくってるから、記号として割り当てちゃったら、読む人は愚か書いてる私さえもオネムになっちゃいますよ！！ｗｗ。

しかも内容が内容だけに、一種の犯罪ドキュメント作品になりかねない…ｗｗ。

投稿者：妃宮　咲都

＊　＊　＊　＊　＊

妃宮さん、早速のコメント、サンキューです。
彼の「雪天使」は人数が多い上に、各個人に与えられた情報・量が多いから、ー
確かに記号化すると混乱するし、しかも物足りなく思えてしまうかも。
キャラに似合った名前を考えだしてみせるのも、ー
作者の楽しみというよりか、立派な技のひとつなのかも知れませんね！
名と体が一致するようなネーミング。
いや、名が体に影響を与える、という場合もあるか知れない。
キャラの名前って、大切ですな（・・うーむ）（腕組み）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

「ドラえもん」「サザエさん」「ちびまる子ちゃん」「クレヨンしんちゃん」…挙げればキリがないですね。
そういう作品は。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊　＊

聖騎士さん、コメントを入れて下さり、ありがとうございます。
サザエさんなら昭和三十年代、ちびまる子ちゃんなら昭和四十年代の風景ですからね（苦笑）。
まさに、タイム・カプセルの中・状態です。

わたしなら幼い頃、彼の「トムとジェリー」を観て居て、
（ええかげん、何とかならんのかな？この二匹・・・）
と、しまいに欠伸がでた覚えがあります。
（トムもジェリーも記号的キャラそのもの・・・）

キャラが全員、歳を取らない。
ただ、季節だけが巡ってゆく。
性格も役柄もずうっと一緒。
髪型すらも変わらない。
主人公にとっては、それが一種の理想・郷なんですかね？
（かなり異常な世界のような気もするけど・・・）（汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

小説ではズッコケ三人組。あ。中年バージョンがありました。
あと、スターシステム。手塚がやってた。
キャラを俳優と見立てる。
ヒゲオヤジなどアトム以外にレオでもＢＪでもブッダでもありとあらゆる作品に顔を出すので愉しい。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊　＊

あ、「ズッコケ三人組」シリーズなら二、三作、読んだ覚えがあります。

いかにもマンガチックでしたねー（遠い眼）。

手塚先生の分身が訳もなく割り込んで来るやり方には、当時から賛否両論あったそうですが…

あれは遊び心というよりか実は先生の羞かみの微われだったような気がします。

ただ、あの決まり文句、

「ハナモゲラ！」

が、性病（梅毒）から来ているのを聞き知ったときには驚きましたが（さすがは医学部くずれ…）（汗）。

コメントありがとうございます。Ｒｉｃｅ兄さん。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

成長してしまうことは悲しいけど

やっぱすきなキャラクターが大人になって続編になって出てきたりするとなんかそれだけで感動します

『生きてる』感がでるっていうか～　うんうん

一方

ずっと変わらない世界にも憧れたりします

小さい頃、いやなことがあった日は某少年誌ギャグ漫画（星のカービィ）を繰り返し読んではその世界に自分も入って永遠に楽しい暮らしをしたいなって思ってました

ある意味理想の楽園でしたからね～

投稿者：希菜

＊　＊　＊　＊　＊

希菜さんコメントありがとうございます。

成長モノと循環モノ。

わたしなら成長モノの方が、より現実味があって、しぜんとに感情移入してしまいます。

循環モノなら、主人公が若いのが普通…

思春期を美化したものが多いから、やがてはついていけなくなってしまう。

大人キャラなら、きっと脇役と決まってますからね（苦笑）。

成長モノでも、その息子や孫がでてきて、疑似・循環させる手法が常套手段と化してますが（汗）。

彼の「赤毛のアン」なんかは、娘が生まれて、それからどうなったのやら、そういえば、まだ読んでませんでした…。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

＞午雲さん

「ハナモゲラ」はタモリさんでは？

手塚先生は「アッチョンブリケ！」か「オムカエデゴンス」ですね。

投稿者：神村律子

＊　＊　＊　＊　＊　＊

あ、あのセリフって、タモリが発明したんですか（初耳）！？

付き合い、広いんですね。あのヒト・・・（すでに長老？）。

（猫のマネしてる時から見てますけど、ー）（苦笑）。

お知らせ、ありがとうございますw神村さん。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

６１）　一本化。

旧「脱出」（前）（後）を「脱出」（改）へ一本化。
感想を下さった方（＝聖騎士さん）御免なさい（・・削除済み）。

また、短編「理系と文系」（１・２・３）をも、連載・形式にて一本化。
こちらは、思い出深くもあり、短編も据え置くことにします。

いつにか新しい話しを思い着いたら、のばしていきたいとは思いつつ・・・
（・・いまのところ、まるで思い着きそうにないけど。）（汗）。

よろしく、ご報告まで。かしこ。

２０１０年　０５月　１０日　（Ｍｏｎ）

＊　＊　＊　＊　＊　＊
プロローグがエピローグになってたよ。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊　＊
ライス兄さん、お報らせ、感謝します（恥）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊
おもしろいので直さないでください。うけけけけけ。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊　＊
いやもうすぐに直さしてもらいました。
（・・めったに使わんからすっかり忘れてました。）（白状）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
全然いいですよw
僕も短編まとめようかなぁ。
「葉書き物語」もう少しで読了します☆

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
すみません（汗）。
あれはまだ＜なろう＞へ来たばかりの頃に出したもので、ー
（前）（後）に別れて居るのも、完結と連載中とクリックし間違えたせい・・・
なので、エピローグをあわてて書き足したという不格好な代物だったのでした（恥）。
一本にすると感想もろとも消えてしまうのは、いかにも残念ですね？

・・・といって、同じ文章を二つも置いておくのも、なんか変だし・・・

お気に入り登録の機能を思うと、なるだけ一つのタイトルのもとに収めておきたくなります。

短編だって、短編集と銘打って、連載・形式にしてやった方が、案外、便利なのでは、ー？

ただ、検索の際、短編からヒットする場合もあるだろうから、ー単独の短編としても、敢えて置いといて好いと考えます。

（携帯にて読み流すなら、短編・形式の方が好都合かと。）

聖騎士さんもやってみて下さい。

短編・集なら、わたしも大好きです！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

６２）・６３）

６２）　「金魚～そう呼ばれたい～」・完結。

正月元旦から始めた連載、１０７話にて完結しました。
これだけ多くの方に読んでもらえて、幸せな気分です。
途中から十五禁に変更して、ご迷惑をお掛けしました。
また思い出した頃に、読み返して頂ければ、幸いです。

こんな長いお話しは、書いたことが無くて、ー
所々、スベッてるシーンもあるかとは思いますが、ー
どうか大目に見てやって下さいませ（息）。

２０１０年　０５月　１２日　（Ｗｅｄ）

＊　＊　＊　＊　＊　＊
まだ読めてないけど、連載完結お疲れ様でした～♪
忙しいのが終わったら、またお邪魔しますね♪

煩悩の数とされる１０８話で終わったらまたちょっと違う意味面白かったのになぁと、下らな～いことを考えた私ですｗｗｗ

投稿者：河野夜兎

＊　＊　＊　＊　＊　＊

夜兎さん、早速コメントを頂き、ありがとうございます！
らぶえっちが不完全燃焼に終わったのは心残りですが、ー
まあ、分かってはもらえるとか思います。
（どっちみちアダルトなシーンを描くのは苦手だし、ー）（冷や汗）
。

１０８は狙ってたんですが・・・まあ、しょうがないかな？

レビューまで書いて頂き、改めて感謝な思いです。
（仕事の方も大変でしょうが）小説の方もがんばって下さい。
これからも楽しみにして居ます。
（・・まともに完結したのは、これが初めてだｗ）（安堵）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

祝完結！
まだ読んでないのでこれから読もうと思います。
単行本買った気持ちで。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊　＊

らいす兄さん、祝って下さり、ありがとうございます！
ドタバタとコミカルの中間くらいが理想でしたが、ー
中盤から後半にかけては、あえなく失速してしまいました（・・反省）。

規制が入ってからは腕が振れなくて、Ｈシーンもほとんど失くなり、ー
兄さんの目にはきっと物足りなく映ると思いますが、ー
気が向いた時に、読んでやって下さい。

無事、完結まで漕ぎ着けて、書いた本人もホッとして居ます（ふぃーっ）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

完結おめでとうございます。
一つの小説を完結させるってたいへんなことですよね。
特に長編は。
いずれ拝読させていただきます。
もう「葉書き物語」読み終えられるのでｗ

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊

聖騎士さん、お祝い下さり、ありがとうございます！
この手な物語りを「通い同棲。」と称ぶのですが、ー
マンガのジャンルにて既に、
「部屋(うち)においでよ！」
というタイトルの決定版が在るので、ちょっと年の差にしてみたのでした。
（作者は「さよなら三角」や「ジャスト・ミート」を描いたヒト。）
（・・化石）。

我れながら「葉書き」は読みのに根気が要る作品とか心配します。
（自分自身でもあまり読んだコト無し・・。）
実は、概略はもう考えてあるのですが・・・
バーストしそうなので、完全・異世界に作した方がイイかな？と想ったり（汗）。

まあ、歳が入っても書けそうなお話しなので、気長に練ろうと考えて居ます。
いつも、目を通して下さり、感謝です！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

やっぱり煩悩の数って事で、勝手におまけ編をツイッターで予告してきましたので、１０８話おまけでは、もうＲ１５を振り切る勢

いのラブエッチを楽しみにしています！！（爆笑！！）。
最後くらい大丈夫だって！！
もう今は過激性描写追放運動はやってないから♪（マジでｗ）。
頼みます！！（たってのリクエストｗ）。

投稿者：妃宮　咲都

＊　＊　＊　＊　＊

妃宮さんコメント、サンキューです。
え？１０８話目はらぶえっち一色ですか？
受験の話しか卒業の話しにしようと思ってたんですが、ー
これといったネタも思い着かなくて、ー
らぶえっちは難易度、高いです（冷や汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

６３）　事件と人物。
演劇にしろ映画にしろ、何か事件が起きて呉れなくては、ドラマにならない。
殊に目で追う娯楽、視覚・像に頼るドラマにおいては、ー

めまぐるしいくらいに動きがあって、ちょうど良いと見える。
チャップリンなどは大丈夫か？と思うくらい動き回って居る。
踊り回り、走り回り、立って転んで、息つくヒマを与え無い。

ドラマの起点を事件に置く。
演劇においては、そんな発想が見て取れる。
事件があって初めて、キャラクターに感情が生まれる。

一方・・・

小説においては、キャラクターの感情そのものがドラマの起点となり得る。
部屋にて独り物思いに耽った事さえも、充分、ドラマと成り得るのである。

「小説なんて筋を読まなければ何を読むんです？」

漱石「草枕」にてヒロインに言わせた、このセリフは有名だが、ー
実は漱石自身、事件を軸に据えた作品をあまり書こうとはして居ない。

事件の駒としてキャラを扱えば、ー
見た目、退屈しないコトは確かだ。
ただし、キャラに感情移入してるヒマも、あまり無い。

キャラを大写しにするなら、自ずと視野はせばまる。
ささいな出来事を、さも大事件の如く扱う恰好とは成る。

すると見た目、動きはほとんど失くなるから、視覚的には退屈である。

キャラクター小説よりかプロット小説の方が、映画とかには成り易い。

もしか漱石「こころ」を映画化したら、ー
きっと欠伸が止まらないであろう。
（でも、いっぺんぐらいはやってほしい。）

２０１０年　０５月　１６日　（Ｓｕｎ）

＊　＊　＊　＊　＊　＊

＞午雲さん

故市川崑監督が映画化してますよ。
かなり忠実に映像化されてるようです。

投稿者：神村律子

＊　＊　＊　＊　＊　＊

神村さんありがとうございます。
「猫」と「それから」とは観たのですが「こころ」はまだ観たことがなかったもので（汗）。
あのぐらい地味な話しだと、いっそスローモーションを連発した方が…

むかし「巨人の星」で多用してたみたいに…

キャラの精神の有り様を可視・化するというのは、ちょっと工夫が要りそうですね。

「それから」は結構、ドラマチックにしてあったと思います。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

確かにその通りですね。

僕の小説はプロット小説だと思います。

キャラはもちろん大切にしていますが、基本ストーリーを優先させてしまって、内面の描写は場面に応じてしまうので…

一度そういう小説を書きたいとは思っています。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメントありがとうございます。

書き手が演劇好きかどうかは、ー

プロットの立て方に如実に出て居ると思います。

事件よりも感情を起点となす場合なら、ー

エピソードは弱く見えるけれども、キャラクターへの共感が増す。

事件に感情が従う場合なら、ー

エピソードは強くなるけれども、ー
キャラは風景の一部に没して、もれなく”記号化”してしまう。

小説の利点とは、むしろ精神・性を表現し得る処ろに有りとも見えて来ます。

記号化したり、精神化したり・・・
エピソードによって使い分ける事が為し得れば、ー
もっと自在に物語りを作れるとか予想されます。
（・・理想・論ですけど。）（汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

６４）・６５）

６４）　ゲームの思い出

デジタル時計が出て、時計にゲームが付いた。

時計がおまけになって、ゲーム・ウォッチとなった。

中学生になると近所のゲーセンで遊ぶのがみんなの楽しみであったが、ー

１ゲーム５０円が相場であったので、ー

タダでゲームができるというのは、中学生にとって感激大であった。

なので、ファミコンが出た時には、猿みたくやり通したものだった。

当時、パソコンならン十万したものだが、ー

ビジネス以外には用が無く、ー

個人にとっては、高嶺の花であった。

ただゲーム・ソフトをやりたいばかりに、ー

就職するなりローンを組んで、買い込む者もあった。

ゲーセンのゲーム機で交代、交代、ー

ハイ・スコアを目指して、腕を競い合ったものだが、ー

今となっては、懐かしい光景ではある。

（わたしは見学してるコトの方が多かったけれど・・・）

（なぜかＢＧＭだけは今もよく覚えて居る。）

２０１０年　０５月　１９日　（Ｗｅｄ）

＊　＊　＊　＊　＊　＊

インベーダーの頃でしょうか。

僕以前、昔のゲームで「クレイジー・クライマー」という変わったゲームやりましたよ。

レバー二本でビルを登っていくヤツです。

けっこうハマりましたｗ

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊　＊

インベーダー・ゲームは伝説ですね！

当時はゲーム機といえばテーブル代わり、喫茶店にしか無く、大

人しか遊べませんでした。
（郷ひろみがギャラでこの機械を買って、自宅で好きなだけ出来ると悦に入ってたとか。）
ははァ「クレイマー」ですか。
確か、映画「キング・コング」が種元のヤツだったかな。
（・・時代を感じる。）（苦笑）。
コメントありがとうございます！聖騎士さん。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
ゲームウォッチやりました！ムチャクチャはまった！
小二くらい。なんか内容忘れたけどずっとずっとアホみたいにやってた。
ただそののちのファミコンはあまりはまらなかった。
高過ぎたからかなあ。
漫画をたくさん買ってたのでゲームを買うカネがなかった。
ゲーム的な番組で「風雲たけし城」にもはまった。小学高学年くらい。
今のちびっこたちが「逃走中」とかにはまる理由なんとなくわかりますねえ。
動き回るのがちびっこは好きですよね。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊　＊

ライスさんコメントありがとうございます！
ゲーセンのゲームを移植したものが多かったけど、動きが悪くて全然、面白くなかった。
ドラクエは最高でしたけどね！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

６５）縦書き。

目次を開けて、本文を表示してから、ー
縦書き<中>あたりにしてやると、ー
長編の連載・小説でも、読み易い事に気づきました。
みなさんも一度、お試しあれ！
（・・活字・本に慣れ切ってるせいかも知れませんが。）（化石）。

２０１０年　０５月　２１日　（Ｆｒｉ）

＊　＊　＊　＊　＊　＊

でも、縦書き読みで見直すと、記号、濁点等の位置や表示方が変わってたりして、混乱する時があります（苦笑）。

あの辺も、上手く合わせてくれたりはしないんでしょうかねぇ…（汗）。

投稿者：妃宮　咲都

＊　＊　＊　＊　＊　＊

妃宮さんコメント、サンキューです！

ああ、感嘆符や疑問符が横向いてしまうヤツでしょう。

もう今や当たり前とか思うけど…

リニューアルを経てもそのままな処ろをみると…案外、修正するのは難しそうですね（汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

僕も基本的には縦書きの方が読みやすいのですが、なろうの縦書きは読みづらいです。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊　＊

聖騎士さん、コメント、ありがとうございます。
以前、携帯閲覧にて縦書きモードはよく使ってましたが、ーPCの方はページめくりで無く、左へ伸ばしてゆく形なんですね！
（ちょっと巻き紙みたいな感覚・・。）
でも、行空け無し、長文・連続な文章なら、縦書きの方が目で追い易い感じがします。
縦書き変換の様式も、だんだん改良して行ってほしいですね。
（携帯の縦書きモードも廃めたコトだし・・）（残念）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

66）・67）

６６）　携帯小説。

ニュース番組にて携帯小説の話題を取り上げる例をちらほら見かけるようになった。
見て居ると、しかし最後には必ず活字本を読もう、という話しとは成って居る。
新聞社と出版社とは互いにもちつもたれつな間柄なのだから、うなづける。

その昔は貸本なる商売があった。
古本屋の前身、有料にて古本を貸し出すのである。

活字本は文庫本となったが、マンガ本は永らく貸本で済ます型が残って居た。

文庫本は貧しい学生の友であった。
ポケットに入る寸法にしてあるのは、その為めだ。

今日頃は何故か文庫本も値上がりして、ー
手当たり次第に買うという訳にも行かなくなった。

もはや商売なのだから仕方が無い。
図書館にては借り逃げが跡を絶たないとか聞く。
書店にては万引きを警戒して私服の監視員を置いて居るらしい。
今の世に、貸本なんて成り立たないであろう。

もはや活字本は貧しい学生の友ではなくなった。

マンガ本も同様である。
作るのに経費がかさめば、その分、元を取ろうと図るのは、世の常ではある。
携帯を維持するのにも相応の金銭が掛かるから、ー
本当は、携帯小説とて、タダという訳では無いのだが。

２０１０年　０５月　２５日　（Ｔｕｅ）

＊　＊　＊　＊　＊
私も報道で取り上げられていた最新情報で、この「携帯小説」なる世界を知りパソコンで検索した結果、真っ先に出てきたのがこのサイトでした（半ば苦笑）。
お蔭で鍛え上げられましたし、だからこそ今の私がここにあると何だかんだ苦情文句を言いながらも、感謝はしています。
さすがに、携帯で小説を執筆するのは私個人負担が多く細かいのが苦手なので、パソコンでのオンライン小説として愛用させて頂いていますが。
元々諦めていた可能性を見出してみたいと言う思いから、始めた事です。
なので、このままでは終わらせられない真情みたいなのはありますね。
なので私は、あくまでも私個人としてはの話ではありますが、安易な執筆をしたくはないのです。
常にやるからには熱意を込めていたいと、マジに打ち込んでいま

す。
勿論それ一本だと、疲弊も出るだろうから息抜き用の逃げ道作品も用意していますがw。
ですからマジ作品の方は私の信念、願い、人生、そして世論の真実、皮肉を込めています。
単純なものではないのです。
なので理想や趣味は、あくまで息抜きw。
だからそこに順位も求めません。
自分も読者も楽しければそれでいいw。

しかしマジな方は、そうじゃないからこそ読者もそして筆者の私自身も楽ではないのは、それが理由です（苦笑）。
人生、現実の世界は楽ではない。いろんな世界がある。
その中で厳しさで生きる「人間の強さ、逞しさ、弱さ、本音、真実」。
それらが最終的に伝えられれば私の作品は初めてそこで完結し、成功と言える気がするのは、あくまで私個人の自分よがりかも知れませんが（苦笑）。

投稿者：妃宮　咲都

＊　＊　＊　＊　＊
妃宮さん、コメントを下さり、サンキューです。
書き手を自負する者なら、各自、ポリシーを持って居て当然でしょうね。
（この人なら、こう来るだろう…）
分かって居ても、期待してしまうものです。
やはりあそこまで踏み込まなければいけないのか。

わたしなら書かないし、まず書けませんね。
（ポリシーの違いなんて言い訳なのかも知れませんが…）
わたしはまだまだ格段に甘いのかも知れませぬ。
（うーむ）（頭痛）

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊
僕はもともとケータイ小説サイトで小説を書き始めたので微妙な気分ですね。
でも書いているうちにすごく違和感を感じたんです。
下らない小説たくさんの読者に読まれ、ランキング上位を占める。
そしてどんどん書籍化されていく。
作者はプロ作家気取り。
もっと真剣に、レベルの高い小説を書いている人はいっぱいいるのに、「売れる」小説と「よい」小説は違うんだとわかったときの衝撃は今でも忘れられません。
ケータイ小説が読まれているのは仕方ないと思いますが、これからはその形を変容させていくような気がします。
同じような恋愛（モドキ）小説ばかりでは、いつかきっと飽きられてしまうでしょうからね。
最終的にはネット小説が生き残ると思っています。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメントありがとうございます。
うむ。携帯サイトの場合は、メール小説というスタイルの作品を、読み手の方も求めて居るのかも知れませんね！
ニーズが有るという事なのでしょう。

わたしは活字本のスタイルに慣れ親しんで居るので、こちらの方が合います。

いろんなスタイルが出現して居る事は、マクロ的にみれば、文章の界にとって良い事とか思います。

是非に及ばず、と謂うべきか。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

活動報告では初めまして。よろしくおねがいします。

貸本屋って初めて知りました。そんなのあったんですね。

借りるといえば図書館でっていうイメージです。

本屋の私服保安もやりづらいですよ。

保安の入っている時間とか完全に知られてる店もあって、居ない時間狙ってやられてたりとかばっかりです。

その効果は薄いと思います。

投稿者：ふぇにもーる

＊　＊　＊　＊　＊

ふぇにもーるさん、コメント頂き、ありがとうございます！

お気に入り登録、感謝します。

貸本業の事はマンガでしりました。

モンキーパンチや白土三平、斎藤たかおや横山光輝…案外、貸本作家の出身な人が多いのです。

雑誌には載せにくい、キワモノを書いて居たものと想われます。

わたしは背表紙を見て歩くのが好きなんですが、近年はすぐにそれらしき人が張り付いて来るので、興醒めです（息）。
今買え。すぐ買え。さあ買えって感じ。
世も末だな…と思います（はかなし）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

先日、近所の古本屋で、小学生が万引きをし、店員に銃殺されました。
「現代経済学入門」という５０００円の大著を万引きしたようです。
半額でその値段ですから定価だと一万円。店員が射殺した気持ちもわかるけど、今は低所得の家庭が多いでしょう。
子供もお小遣いが少ないでしょう。
金持ちしか勉強できないなんていやな世の中ですね。

ぼくが小さい頃は、貸しエロ本というのがありました。
ホームレスのおっさんがやっていたのですが、橋の下へ行くと一冊５０円くらいでエロ本を貸してくれたのです。
当時ぼくは小学生だったので本屋でエロ本を買うことができず、だから非常に助かりました。

そのおっさんはその後、がんばって国会議員になりました。
現在の内閣総理大臣です。

投稿者：ごはんライス（お米風味）

＊　＊　＊　＊　＊

ライスさんコメントありがとうございます！

古本屋に売り飛ばすために万引きする人が多いそうですね！
三名くらいで行って、左右をブロックしながら取るみたいです。
窃盗も犯罪ですからね。
万引きしたら自衛隊で訓練・１ヶ月というのはどうでしょうか？
キートン・太一みたいな教官にみっちりしごいてもらったら、もう二度とやらないでしょう。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

６７）賭け事。

伝説では、賭け事の起源は古代ギリシアにあるとか云う。
格闘技の試合に際して、どちらが勝つかに賭ける事が行われたらしい。
それはお祝いの意味合いを持ち、その試合を祝福する行為と見なされて居た。
銭貨を祭祀のアイテムとして用いる例ひなら、古く列島にても存る。
思うに、大事にして居るものを敢えてお供えするセンスなのだろう。

競馬や闘鶏、牛相撲・・・
人間以外の生き物を闘わす場合にも、好んで銭貨を賭け合う。
これも元をたどれば＜祝儀＞となセンスを持って居たのであろう。
場を清める為めのものにて、本来、どちらが勝っても好いのである。

むしろ勝者への褒美というより、ー
それは、敗者への心づけ、慰労の品であったのかも知れない。

ちなみに、古代のオリンピックにおいては、ー
格闘技なら、公平を期すために両者、丸裸・・・
しかも、どちらかが息の音を止めるまで、ずうっと闘い続けたとか云う。
今日の感覚から鑑みると、何とも、すさまじい話しではある。

２０１０年　０６月　０１日　（Ｔｕｅ）

＊　＊　＊　＊　＊
私は皇帝ネロの生まれ変わりかもｗｗ。
是非観察を愉しみたい。

そして集合掛けて反省会ｗｗ。

投稿者：妃宮　咲都

＊　＊　＊　＊　＊
妃宮さんコメント、サンキューです。
殺しきって初めて勝ちとみなす。
古代は戦争ばかりしてるから、格闘技もその一環だったんでしょうね！
人が死ぬ事に慣れていたと思えば、さほど感動もなかったか知れませんよ（汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

なるほど～☆
午雲さんは博識ですねぇ。
勉強になりました。
賭け事はやりませんがｗｗ

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメントありがとうございます。
先日、競馬をテレビで観たので、つい、こんなことを書いてしまいました。
（：某競馬ゲームのファン）（白状）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊
ほんと、午雲師匠は殺し合いが好きですねえ。
バイオレンスな人柄がよく出ていてよいと思いました。

投稿者：ごはんライス（お米風味）

＊　＊　＊　＊　＊　＊
ごはんライスさんコメントどうもです。
戦国時代が終わって、まだ四百年…
日本人の生き残りは、凶暴な遺伝子をたっぷり持ってるような気もしますがね…？

投稿者：午雲

*

*

*

*

*

*

68）・69）

６８）　共通体験。

ファンタジー小説といえば「不思議の国のアリス」や「オズの魔法使い」が思い浮かぶ。

アメリカ大陸にては竜巻がよく起こるから、竜巻に巻き込まれて異世界へ飛ばされるという設定は、アメリカ人の世間にてウケた事だろう。

竜巻なら共通体験であるから、話しが通じ易い訳だ。

ゲーム・ファンタジーが花盛りなのも、きっとＲＰＧが般く共通体験たる施為であろう。

トレジャーハンターや決闘裁判の代理人…

凡そ西洋文明の伝説を巧く融合してある。

日本で謂えば〈鬼退治〉もファンタジーに当たろう。

あらゆる異形なる者を鬼の一言で片付けて居る処ろが、想えば少し物足りないけれど。

２０１０年　０６月　１１日　（Ｆｒｉ）

＊　＊　＊　＊　＊

確かにＲＰＧゲームの普及が、ファンタジー小説の人気に影響を与えているのは間違いないと思います。

その恩恵を僕も受けているわけですがｗ

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメントありがとうございます。
確かアメリカだったか「ウルティマ」と名乗るソフトがあって、それがＲＰＧの元祖だとか。
忍者が流行ってるのも、或いはその系統のゲームのせいか知れません。
こう極まって来ると、かえってＢ級なＲＰＧが懐かしくもあります。
いまのファイナル・ファンタジーなら、はっきり女性向けですね！
ヒーローのキャラがイケ面だらけ（ジャニーズ系Ｘ白人）（汗）。
モンタージュ写真みたくユーザーが面を設定できたらいいのに、とか思います（ムリか？）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊
「ウィザードリィ」ではないのですか？
僕はこっちが元祖だと思っていました。
実はドラクエの前の「ファンタジアン」というＲＰＧ知ってます。
確かパーティを組んで戦う日本で最初のゲームだと思いますｗｗ

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメント下さり、ありがとうございます。
有名になったソフトの最初という意味合いかも知れません。
（又聞きなので…）（汗）

ハードも進化してるから、昔のゲームをしたくても、もうできませんね！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

６９）　世代。

誰が発案したのか知れないが、ひと昔前の流行を指して、昭和の匂いとか謂う。

ラジオのＤＪが好んで遣う風でもある。

平成生まれと昭和生まれ、これを世代の違いとも謂う。

親族内の序列をきめる際に〈年齢階層〉と〈世代階層〉と謂う分け方が存るとか。

このうち〈世代階層〉というのは「いとこ」とか「又いとこ」とかいう法である。

年の差に関係無く、いとこ同士なら世代階層は同等という話しとなる。

親の兄弟、その子供たちなら、すべて同じ世代。

この発想から、今に謂う〈世代〉とな言葉が定着したらしい。

誕生から成人して新たな子を儲けるまでが、およそ二十年。

それを一世代と考えなす。

世代により考え方が相違するのは、やはり彼我の共通体験が異なるからであろう。

因みに天皇が代替わりすれば年号も替わる。

親族内の階層を〈世代〉と呼ぶ慣わしは、ここら辺りから来て居よう。

代が替われば、世も替わる。

同じ昭和生まれでも世代が違うと、やはり話しが通じにくい。
祖父母の世代なら戦争の話しをしたがるし、ー
父母の世代なら学園紛争の話しをしたがるし、ー
わたしたちの世代なら野球の話しをしたがるし、ー
昭和の匂いと謂っても、その間に三世代はあるはずだから、実は色々なのである。

２０１０年　０６月　１３日（ｓｕｎ）

＊　＊　＊　＊　＊
昭和の終わりの生まれなんですケド、そんな私は古い人間世代に入っちゃうんでしょうか。
平成生まれと普通に話も通じるし、その考え方は何かおかしいような……。

投稿者：ふぇにもーる

＊　＊　＊　＊　＊
ふえにもーるさんコメントありがとうございます。
たとえ年齢が近くても世代が違う…
または、年齢が離れて居ても世代が同じ…
そんな例もあるかなと思ったもので（汗）。
かつては十年ひと昔とか謂ったけれど、今なら五年ひと昔とな感じもします。
都会ならもっとサイクルが短いかも知れませんね？

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
海外旅行行って同じ日本人を見ると何か安心しますよね。
同じ世代って流行とか話通じやすいし。
まぁ、多分に重なってる部分もありますよね。
僕は同年代と好み違うので、話合わないです；；；

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメントありがとうございます。
共通体験を共有して居るという意味では、地縁や血縁を重視する〈民族〉という枠組みは生まれて当然という感じがして来ます。
そう、留学とかしても、気がつくと日本人同士、より集まってしまって、なんだか海外に居る気がしない、と耳に聞いた事があります。
趣味は違っても発想とか行動パターンが同じ…
抽象的だけど、そんな時に際して、同じ世代だなあ、と感じ入る場合があります。
海外に出掛けると、そんな思いは尚更、強烈でしょうね！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

70）・71）

７０）　本棚。

学者や政治家はカメラの前へ出る時、さりげなく書斎の本棚を背にする。
びっしりと隙間なく並び立つ蔵書の数々。
それが画面のなかに知性的な雰囲気を醸し出す。
かつては書籍と言い、本は代々、伝える物であった。
本は元に通ずる。
種ね本と写本とは厳密に区別されたものだ。
初版本を何より大切にする慣いなら、今も変わらずコレクターの間に遺って居る。
これが直筆の原稿ともなれば、それこそ大騒ぎだ。
まず私蔵されて、世間の表へ出て来る事は無い。
もしか学者にでも嗅ぎつけられたら、研究という名の下に、取り上げられてしまうからである。
素晴らしい作品なら、おのづと立派な書籍へと仕立てるはず。
そして代々、家宝の如く守り伝えるはず。
昔ならいざ知らず、ー
昭和・戦後よりこの方、そんな作品が世にいくつあったろうか。
ちょっとすぐには思い浮かばない。
まだ知らないだけかも知れないけれど（汗）。

２０１０年　０６月　１４日　（Ｍｏｎ）

＊　＊　＊　＊　＊

これからはネットの世界が中心になるので、もともとの「原稿」ではなく「データ」になるんでしょうかねw
たくさんの本は嵩張るだけですww

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメントありがとうございます！
案外、書き書きするのはしんどい作業（筆力というか何というか）。
それに漢字を知らなくても変換して幾らでも書ける処ろがうれしいです。
書斎用というか図書館用というか、将来は書籍もインテリア風なものになるか知れませんね？

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

失礼いたします。
今世の中にある本を全てデータブック化できるならば、どれだけの森林が伐採されずに済むだろうか。
そんなことを考える私の目の前には平積みされたこれから読む予定の本（買ってからずっと読めていないだけの本。予定は未定。だって、読む前に新しいのが出るんだもん）がある。
やはり私にとっては紙の本は必要かもしれない。
すまん地球、許せよ。
では、また。失礼いたしました。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊　＊

山羊の宮さんコメントありがとうございます。

今の世にては、まだ印刷しておかないと不安な感じですが、将来は紙の量もずっと減るでしょうね。

ただ日本は台風、地震など天災の多い国だから、電気が不通になった時のことも、しぜんとに考えてしまいます。

石紙が発明されたと以前、聞いたのですが、あれからどうなったのかな？

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

没設定が延々と書かれた元の原稿が貴重な品に……うわ恥ずかしい。

って実際なったらスゴイですよね。

投稿者：ふぇにもーる

＊　＊　＊　＊　＊　＊

ふぇにもーるさんコメントありがとうございます。

筆跡というのは当人一有…それこそ人生掛けておもむろに出来上がるものですからね。

落書きたろうとも、後世の者にとっては、形見そのものです。

ひとつくらいは色紙など遺しておきたいものですね（：あまり構えるのも何ですが…）（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

７１）　乗り物。

生物とは遺伝子の乗り物である、という学説がある。
（進化論の新種：利己的遺伝子とか称ぶ。）
思えば、言葉も意味の乗り物と謂えるのではなかろうか。
言葉と意味とは必ずしも〈一対一・対応〉をして居る訳では無い。
ひとつの言葉のうちに沢山の意味が乗って居る。
それは案外、人によって様々であろう。
初めのうちは言葉の海を思い思いに漂って居たものが、やがて群れを成し、手をつなぎ始める。
連想・記憶術とな裏技があるが、まさしくあんな風ではある。
言葉の群れ方、すなわち乗り物の連結の仕方には、人それぞれに違いがあろう。
遊泳を止め、言葉という乗り物が連結を為始めると、ー
知識の吸収は格段に速くなる。
もちろん初めの一歩から次の一歩までは恐ろしく遠い。
しかしながら、だんだん楽になって来る。
頭の中に壮大な船団が走って居る風景。
または、水族館にてイワシが群れ泳ぐ様を思い浮かべてみても、好いだろう。
ただし、記憶力には自ずと限界があるから、全てを究めると謂う訳には行かないけれど（汗）。

２０１０年　０６月　１６日　（Ｗｅｄ）

＊　＊　＊　＊　＊　＊

それが極まったものが「俳句・短歌」なのかもしれませんね。
１７字の宇宙。
３１字の広大な世界。
句集を読むのも僕好きですよ。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さん早速コメントを下さり、ありがとうございます。
辞世の句と謂い、遺歌集と謂う。
言葉の使い様には、その人の人生が籠もって居るのかも知れませんね。
ただ歌だけをポンと示されても、相手の人と形りを知らなければ、かなり難解な代物と化すのも確かではありますが、ー
それもまた一興かな（お茶）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

72）・73）

72）　富みの源泉。

戦後・復興を行なったのは何も日本だけでは無い。
実は戦場と化したヨーロッパが一等、ひどかった。
たとえば当時の英国、その輸出品は書籍であったと云う。
（英語が母国を救った。）
荒廃した国土に在って、ー
生き残った人々は偉大なる先人に大いに感謝したとか云う。

イギリスはもう曲がり角を曲がった国・・・
そんな風にすら世に思われて居るけれども、ー
文化的な遺産や発明が多く有り、ー
今もなお＜富みの源泉＞を沢山に持って居る。
北海油田みたいに目には見えないけれども、ー
世界中から富みが集まって来るような、ー
得体の知れない物を永らく守り伝えて居る。
そして、それは今もなお立派に働きつつある。

果たして日本に於ける＜富みの源泉＞とは何だろうか。
佐渡ヶ島の金？
それはもう大方、枯渇して久しい。
サムライ・スピリッツ？
本当にそんなものが存在するのか、実は怪しい。

打ち出の小槌・・・
どこを見回したとて、ー

なんにも無い日本だからこそ、ー
そんな願いが、物語りのうちに、ひと際、凝り固まったのかも知れない。

２０１０年　０６月　１７日　（Ｔｈｕ）

＊　＊　＊　＊　＊　＊

「文化」
その一言に尽きるような気がします。
人的資源ではもはやインド・中国には敵わなくなってきていますし、資源などは言うまでもない。
世界にただ一つの「日本文化」を、もっとわれわれは学び、誇りに思い、後世に伝えていかなければならないのかもしれませんね。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さん、早速コメントを下さり、ありがとうございます。
漱石の倫敦日記などは、今も当たり前に読み通せる。
生活のスタイルなら英国風・・・
現代の共通感覚、文明人のセンスは、どうやらもうこの頃に定まって居たようです。
したがって、日本文化なら何処まで行っても飽くまで傍流・・・
なぜかフランス人だけは極めて親しく愛好して呉れて居る風ですが。
（・・謎です。）
文化的ソフトというものは、ちょっと把み処ろが無いから、厄介

ではありますね（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

日本の文化って、未だに良く分からないんですよねー。
宗教は有るのに無いし。戦前と戦後でまるで別世界だし。
今も続いているものでなければ、既にそれは過去のものであって、文化とはいわないと思います。

侍はもう居ません。忍者も居ません。殿様も居ません。
馬に乗って刀を振り回す時代なんてとっくの昔に終わりました。
こういうのが日本文化だというのなら、既に日本文化は日本にありません。
相撲は日本人ではなく外国人のためのスポーツとなっております。

あえて言うなら。結婚式は西洋式。お葬式は東洋式。
ハロウィンもクリスマスも全て世界の宗教ごっちゃ混ぜ。
宗教はあるけど結果としてみんな無神論。
信じてるのは一部だけ。
このめちゃくちゃなのが今の日本の文化です。

投稿者：ふぇにもーる

＊　＊　＊　＊　＊

ふぇにもーるさんコメントありがとうございます。
無神論というのは、どうも片寄った見方のようです。
唯一神を信仰して居ない、という意味なら“無神論”とな言い方

は如何にも極端に過ぎます。
宗教は迷信だという意見もよく耳にしますが、ー
そこまで謂うと信教の自由を踏みにじるものとも聞こえます。
しかし不思議と三十を過ぎた頃から、西洋式に飽きるというか、和風の方が気性に合うというか…
誰に謂われずとも和風・回帰を起こす人が、やっぱり多いようです。
ふだん意識して居ないだけで、日本にしか見られない伝統・文化というものは、沢山に息づいてますよ。
意識して居ないくらい浸透して居るというのは、ある意味もの凄い事である、と外国人が言って居るのを聞いた事があります。
白人への憧れ、というのが今や日本の宗教かな？と思ったり…
タレントとかマスコミのなかだけの話しかも知れませんが（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊
失礼いたします。
「技術」では？
ただこの国は外交下手なので、うまく生かされていないように思えます。
世界基準と言うものがあれば、それに日本人は合わせようとする。
だが、それを日本よりのすることだってできるはず。
基準というものは変わるのだから。
国が本腰入れて技術を売ろうとすればもっと日本はよくなるはずだと思う。
ただそうしていれれば自然格差は広がるだろうから、それを是正するような政策も必要になるだろうが、さじ加減が難しい。

政権を取らなければ、政策は実現できず、だが、政権を取ることにかまけて、政策をないがしろにしては本末転倒である。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊

確か司馬遼が書いてましたが、ー

戦時中、日本の技術力の不足を、兵士に至るまで皆が実感したそうです。

工具なんかも鉄の硬度が低いから、すぐ鈍ったり：

その共通体験が有るから、今や技術力が日本の看板にまで成って居るようです。

彼の松下電器などは製品よりも部品で儲けて居るという話しだし…

敗けて得るものも無きにしもあらず、と謂った処ろでしょうか。

統計を見ただけでは解らない実力…

そんな風なものが確かに日本にもありそうですね！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

７３）　豪商？坂本竜馬。

国家とは商業・団体の如し。

その言は、すでに絶対・王政の時代から言われて居た。
大航海・時代・・・
南米の金銀が欧州へ流入して、通貨・制度が確立した。
通貨とは、お互いが充分に保持して居て、初めて意味を成す。
仮りに独り占めして居たとしても、ー
それは、ただの石ころに過ぎない。
実は、通貨とは、そんな代物なのである。
貿易の決済を通貨にて行なう。
そんな商・習慣が行き渡って、ー
欧州・各国の船隊が海洋を押し渡り始めた。
通貨さえあれば、あらゆる物資が手に入る。
果たして、欧州には貿易に値ひする商品が無く、ー
通貨は、どんどん流出して行った。
いわゆる＜輸入・超過＞である。
そこで何か商品・作物を手に入れるべく、
＜帝国・主義＞
にへと移り変わってゆくのである。

商業・国家的な発想なら、列島の商人、その世間には古くから在った。
倭寇と謂えば詰まり海賊だが、
（鉄を造るよりか鉄を盗んで来た方が話しが早い。）
とな発想に基づいて居る。
陶器と違い、鍋や釜などの遺物がめったと残って居ないのは、ー
使い古した道具を溶かしてリサイクルして居たからとか云う。
ビタ一文とは悪銭のコトだが、ー
いよいよとなれば、銭すら溶かして、何か他の道具へ造り直して居たかも知れない。

戦国時代・・・

栄えた豪商の者のなかには、ー
倭寇を手掛けて成りあがった節もあるやに見受けられる。
当時、日本刀に優る武器は世に無く、ー
侍大将を擁する、日本の軍事力とは、ー
掛け値無く、世界・最強レベルであった。
（国家が養う侍連中が海賊の先手を務めるのだから、凄まじい。）

軍事力が均衡して居れば、代価を支払う。
軍事力に差があれば強奪して帰って来る。
鑑みれば、それこそが古への貿易というものであった。

坂本竜馬は幕末、海援隊という組織を立ち上げて居るが、ー
それは、海外・諸国との貿易・会社たる事を意図して居た。
個人では無く、すでに公けである。
おそらくオランダの、
＜東インド会社＞
みたいなものを意識して居たものと思われる。
（もちろん初代・総督なら竜馬・本人。）

当時、貿易の相手が軒並み商業・国家と化して居たので、ー
早くから、それに見合う国家を造れたら、ーと構想して居たらしい。
大和魂ならぬ商人魂・・・
倭寇の昔をおもえば、船乗り魂と謂えるかも知れない。
（その昔みたく強奪なんて荒業は最早、出来ないけれど。）

国家を後ろ盾にして、世界の海を股にかける。
あるいは、戦国期、豪商として名を馳せた、ー
誰彼の姿を、未来の自分に重ね合わせて居たのかも、知れない。
（彼の岩崎弥太郎が竜馬のお株を奪った恰好とは為ったけれども。）

２０１０年　０６月　１８日　（Ｆｒｉ）

＊　＊　＊　＊　＊

竜馬流行ってますね。

ああ～、やっぱり時代小説書きたくなってきましたｗ

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメントを寄せて下さり、ありがとうございます。

司馬遼太郎「竜馬がゆく」は未だ読んだ事が無いんですが、ー

あの西郷隆盛が相手をしたということは、推して彼も相当な人物だったはず。

西郷には観相・眼が備わって居た事だけは確かとか思います。

四国と謂えば瀬戸内海…

瀬戸内海と謂えば村上・水軍の本拠地…

これ、秀吉の遠征にも呼ばれた、由緒ある海賊の氏族です。

薩摩藩などは法外の外様にて、密・貿易も相変わらず続行してましたから、ー

きっとその線で、西郷らとつながって居たのでしょう。

倭寇というのは不文の歴史に属する存在ですが、ー

彼の吉川英治も「私本・太閤記」にて、さりげなく触れて居ます。

（戦国時代を語るに於いて倭寇の存在は欠かせ無いのでしょう。）

吉川英治→（山岡荘八）→司馬遼太郎→宮城谷昌光。

こう歴代、大御所が並んで居るから、歴史・物語りだけは、どうにも手をつけかねます（玉汗）。

（何か新しい人物なら描き得るかも知れませんが…。）

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

お返事ありがとうございます。

確かにそうですねｗｗ

あ、そういえば、西郷隆盛と清少納言は遠い親戚だって知ってました？ｗ

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊　＊

ええっ！？

それは初耳です。

遠い親戚といっても少納言は平安時代の人でしょう。

家系図とか遺ってあるんでしょうか（汗）？

戦国時代に、家系図を売買したり、新しい家系図にお墨付きを与えたりするのが流行したとか話しに聞きましたが、ー。

真贋の程は如何なんでしょうね（：首捻）？

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

僕もうろ覚えなんですが、清少納言のお父さん（深養父）の奥さ

ん、つまり少納言のお母さんの子孫が、西郷家（菊池寛氏縁の者）の祖先なんです。
今度ちゃんと調べてご報告しますね！

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
うむむ。
確かに戦国期には京が焼き討ちされて、公家さんや君達が沢山に都落ちしたとか聞いて居ます。
島津の殿様が特に隆盛へ目をかけた由縁とは、もしかその辺りにこそあるか知れませんね。
しかし少納言の、そのまた父の代まで遡るとは…
世間は広いようで狭いというか何というか…（驚嘆）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

74）・75）

74）　落日。

テレビ番組は、娯楽の主役だった。
ソニーがビデオ・デッキを開発した頃が最盛期だったと思い返す。
それまでは用事で見落とす事が多かった人気番組が、ー
いつでも観られるというのだから、有り難い。

マルチ・メディアの主役は、テレビ番組と目されて居た。
しかしフタを開けてみると、主役はネットの方だった。
テレビ番組の方が”ついで”になってしまったのである。

つらつら思うに、ー
テレビ放送は一方向、ネット情報は双方向・・・
この相違に、原因が有るとか察せられる。

「東京でウケなければ商売に為ら無い。」
マス・メディアの方針なら此れに尽きるとか聞く。
拡大・首都圏で考えると、人口・五千万。
片や、大阪がなんぼ威張っても、人口・四百万を出ない。

しかして、日本の総人口は、一億二千万。
多数決なら本来、謂はゆる地方の勝ちである。
東京の話しを聞いても、さしあたり、日常生活の役には立たない。
なので、どうせならネットにへと向かってしまう。

テレビ局は、これからどうするのだろう？

朝、チャンネルをあちこち回しながら、近頃おもう。

２０１０年　０６月　１９日　（Ｓａｔ）

＊　＊　＊　＊　＊　＊

映像をダイレクトに伝えるという方法はテレビ独自のものなので、しばらくはまだテレビはメディアの主役であろうと思います。

でもネット的な昨日を装備したテレビも昨今は発売され、映像もネットでは自由に見られるようになってきたので、将来的には「テレビ」「ネット」のカテゴリーは融合されてしまうかもしれませんね。

人口で言うなら日本＜世界ですよねｗｗ

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊　＊

聖騎士さん早速コメントを下さりありがとうございます！

大阪人はプライドが高いので、何かと東京と張り合いたがるのですが、ー

最近はさすがに東京の”一人勝ち”状態を誰もが認める風です。

うむ。やはり画像情報の登場が大きいですね。

動画が観られるというのは、画期的です！

（桁外れでしょうね？その情報量・・・）

「民間・企業の寿命は二十年。」

が相場と巷では謂われてますから、ー

その定式から行くと、よく保った方でしょうねｗ？

これからのキイワードは”ワールド・ワイド”かな？
（・・観る時間が無いのが心配ですけど。）（汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

７５）　静電気。

自然・界は静電気にて動いて居る。
生物・電気と謂えば、化学・反応の際に生じる電気的エネルギー。
それが信号となって、神経伝いに、情報を伝達する。
電気だけに、その速度は光速だとか。

「生命とは化学・変化の結果。」
とも見えて来る。

ただし、生命として結果するまでの、ー
一連の化学式なら途方もつかぬ程、長い。
多分にちょっと人智を超えて居る。
まさしく神業、絶妙というほか無い。

雷電も大気の摩擦によって起こる。
あれも静電気である。

もしか体内にて雷電なみの静電気が発生したら、ー

何者も一瞬にして死に至る。

ほどほどのエネルギーを持続的に発生させるのが、ー
また生物・電気の凄い処ろではある。
（これには酵素と名乗る種々の＜触媒＞が関与して居るらしい。）

石油・文明の時代に入って、ー
人類の暮らしぶりは格段に豊かになったけれども、ー
こう自然・界の様相を眺めるに、ー
旧態・依然たる＜蒸気・発電＞の方式では、いかにも心もとない。

静電気・発電。
自然・界の知恵？に比べれば・・・
人智など未だ微々たるものに過ぎない・・・
・・と、またおもう。

２０１０年　０６月　２０日　（Ｓｕｎ）

＊　＊　＊　＊　＊
もしか体内にて雷電なみの静電気が発生したら――――

となると、まずは人体にそれほどの静電をためる静電容量があるとなる。
でなければ垂れ流しで、静電がたまらない。
器が大きければそこに流れる水も多く入るわけで。
雷の流れることのできる大きな通り道。
人体は落雷を受けても平気な体を得ることとなる・・・のかな？
よく分からないけれど、まあ、いいや。

関係ないが、仕事柄よくではないが感電する。
存外痛い。
では、失礼いたしました。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊　＊

山羊の宮さん早速コメントを下さりありがとうございます。
そう、確か直流を交流へ変換する際に強烈な電磁波が発生するので、現行の発電・方式だと心臓に悪いとか聞きました。
（電力・会社の方々、ありがとう！）
栄養を過剰・摂取しても、酵素が反応を抑えて呉れるので、人体を破壊する程な暴発は起こさないそうです。
その代わり何かピンチに陥った時には、痛覚を遮断すると謂った、爆発的なエネルギーを発生させる仕組みも予備として備わって居るとか。
人類の生命力、その凄みとは、むしろ回復力に有るようです。
髪の毛は帯電、感電しやすいから、髪・発電とか出来ないものかな？
雨の多い季節、感電には気をつけたいものですね（落雷も大いに心配：）（焦）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

そういう人智の及ばないところを、自分なりに想像して書くのはファンタジーやＳＦになるんでしょうね。

世界観を作り上げるのはたいへんですが、だからこそわくわくします。
発電人間…
蓄電人間…
放電人間…
いや、電撃文庫みたいな小説書けそうですねw

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメントありがとうございます。
生物・電気のコトを思えば、人類が使えそうな魔法とは〈電撃・系〉なのが自然でしょうね！
彼の「古事記」にも、
「人体には八つの雷が棲んで居る。」
という風な伝説が出てくるのですが、ー
分子・生物学の知見を考え合わせると、あっと驚いてしまいます。
雷様には、きっと角が生えてありますが、ー
もしかあれが鉄の角なら雷電を招く仕業も確かに出来そうですね！
ただし常人にては、とても雷電に耐えられそうにはありませんけど…
何か好いトリック無いかな（…う～ん）？

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
電気は水とよく似ている。
電気は目に見えないが、水は目に見える。

電気の事を水にたとえると分かりやすい。
プラスマイナスとは樋の高低差である。
電流は水量。
水圧は電圧。
古来より水計はよく城攻めに使われる。
ならば、電気的水計なるものを考えるとするならば・・・
予備発電できるような施設を攻略するのに役にたつかな？
送電線を切れば、済むような施設では無いのが前提で、時限発火装置のような用途も期待できる。

機械に支配された国、そこにわずかばかりのレジスタンス。
国中に散らばめた装置。
そんな設定なら面白いのかな？
よく分からない、まあ、いいや。
では、失礼いたしました。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊　＊

山羊の宮さんコメントありがとうございます！
水に流れが起きるのは＜位置エネルギー＝重力エネルギー＞のせいですよね。
彼のアインシュタインの仮説によると、
「電磁波と重力とは同じ力の両面。」（未証明）
との話しですから、ー
「重力エネルギー＝電気エネルギー」
という可能性もあるかと思います。
もしか重力に高低差を与えられれば、ー
その裏返しとして、電極を発生させる事も為し得るかと。

でも、電気で重力を操作して電極を発生させる？というのでは、ーなにやら堂々巡りとなりそうですね。
ただし、電気で重力を相殺して望みの場に重力・場を設定できれば、ー
ヒトが生きたまま宙に浮くという現象も生起・可能となるかも。けれどその際、強力な電磁・場をも発現するはずだから、ー結界・内の電子・機器を全て破壊へ追いやる事は間違い無いでしょうネ（笑殺＝爆笑）。

外出先から携帯にて返信を行なった為め不用意な文章となったことお詫びします（平伏）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

失礼いたします。
コメントを入れてから、少し会社に用があり、出かけておりました。
なので、その初めの返信自体見ていないのです。
すみません、いらぬお気遣いをさせたようで。
今帰ってきたのでありました。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊　＊

いや、そうでしたか？
お互いに日曜日といっても忙しない事ですな（苦笑）。

発電の方式に於いては、かなり色々と研究されて居るようですが…
もし発明できたらノーベル賞＆ａｍｐ；ライセンス確実ですから、日本人の科学者に頑張って欲しいです。
（出でよ！第二のドクター中松ｗ）

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

そして、フロッピーディスクを作る！

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊

時価百万円でアメリカのメーカーにライセンスを売り渡してしまったそうですね！中松博士。
そして今も日本のメーカーはライセンスの使用料を相手方に支払い続けて居るとか。
でも、まあ発明者としての名誉は永遠不朽ですけど（：学者の鏡？）☆

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

物質がくみあわさって生物の素となるまでを比喩したものに以下のようなものがあります

目覚まし時計の部品をバラバラに箱へ投げ込み、それを延々振り

続けて時計が完成させるのと同様の確率を要する
と
個人的には３５億かけてもそれができたことは奇跡に思えてなりません
投稿者：希菜

＊　＊　＊　＊　＊
希菜さんコメントを下さり、ありがとうございます！
まあ、それは極端な比喩ですネ（苦笑）。
調べてみると、―
生命の素とはアミノ酸で、たんぱく質が出来るまでに相応の時間を要したようです。
たんぱく質には、
「同一の組成なら同一の形状を有するに至る。」
という特異な性質があって、ー
それがやがて種の分岐を生んだようです。

炭素Ｃは化合・用の触手を四本も持ってるので、ー
多彩な化合・物を造りだす可能性を持った、元素なのだとか。
その試行錯誤の時間が、つまり数十億年という事なのでしょうね！
遺伝子に関わる物質なら、バクテリアから人類まで共有して居るそうです。
脳が有る生命体なら、みな生物かな？と思います。
植物に脳はあるのか？
（バイオテクノロジーで実験的に持たせみると面白いかも…）（無責任）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

76）・77）

76）　文字以前。

古墳のなかに文字は見当たらない。
しかし文字が無かったとも言い切れない。

禅宗の僧侶の間には＜印を結ぶ＞という作法がある。
これ、手指を用いた合図、すなわちサインである。
秘法ゆえにその様子はもれなく伏せてあるが、ー
色々な型があったらしい。
もっとも、印を結ぶ作法は今でもある。
たとえばジャンケンだって、その一種と言える。
（手話まで至ると、もう言語そのものだが。）

印を結んだとしても、その場限り、ー
伝言なら当人の暗記力に頼るほか無い。
古代、文字の代わりとして＜暗誦＞の能力を磨いた事も確かである。
暗誦の達人・・・
彼の稗田阿礼の名は文献にも記録されて居る。

絶対に忘れたくない事件なら記録に遺したいと思い立つのが、人情だ。
印を結んだまま旅を続けたとて、残せるサインは一つだけ。
草の茎の汁で記す方法があって、ー
ここから＜注す（しる）＞と謂うのだが、ー
実は、もっと好い手がある。

それは＜結縄＞と名乗る方法で、ー
音読みして「ケツジョウ」とよぶ。
縄を結ひて、その結び目の模様にて、文章の代わりとしたらしい。
今で謂う「定型文」みたいな格好。
この法を用いれば、かなりの長文たるとも記録なし得る。

言うと結ふ。
この二つの動詞が同音なのには、深い歴史が横たわって居そうだ。

２０１０年　０６月　２１日　（Ｍｏｎ）

＊　＊　＊　＊　＊
「耳から草子」の活報版ですね。
相変わらず面白く勉強できて嬉しいです！
ありがとうございました！

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメントありがとうございます。
実はあの文体、かなり作ってるので、半ば忘れてしまって、ー
今頃、思い出すのに苦労して居る最中なのでした（汗）。
ちょっと準備運動というヤツです（失礼）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

じゃんけんの中に「カメハメ破」を導入したい。
全てを超える、絶対的勝利手法。
しかし、永遠に相子で終わる先のない手法でもあるｗｗ。

投稿者：妃宮　咲都

＊　＊　＊　＊　＊　＊
妃宮さんコメント、サンキューです。
パーじゃダメですか？それ（予備動作でモロバレだから既に不利？）。
鳥山明と謂えばアラレちゃんなんですけどネ、わたくし（：化石）ｗｗ

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊
そう言う意味では、アラレちゃんの秘儀「ンチャ砲」は予備動作がない分、勝利率高いな…ｗｗ。

投稿者：妃宮　咲都

＊　＊　＊　＊　＊　＊
ンチャ砲！？
ダメだ：すでに記憶の淵に沈んで居る（汗）。
むしろあの鉄をかじる（取り返しのつかない）ガッチャンとイカサマくさい酸っぱマンとの印象が強い（：博士以外意味ナシ男ちゃんばっかり？）ｗｗ
よくンチャとかバイチャとか口走ってました（リアルタイム）（遠い眼：）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

そうか。「ンチャ砲」はリメイク版でしか紹介されていないんですね…ｏｒｚ

投稿者：妃宮　咲都

＊　＊　＊　＊　＊　＊

いや、すごく後半の方でお目見えしたのかも知れませんが、アラレちゃんは小学校卒業と共に卒業したので（：ラジオの深夜放送へ移行）さんまやつるべはその頃からの耳なじみです（：化石）ｗ！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

７７）　芸人さん。

日本は遅れて居る。

そんな言を声高に言い出したのは、明治期の欧化政策・以来である。

当時の文部大臣、森有礼は、

「公用語をドイツ語に変更したいが、どうすればよいか？」

とドイツの外務大臣に質問して、

「そんな馬鹿げた言をおっしゃるものでは無い！」

と逆にたしなめられたと云う。

そんな風潮のなかで、ー
かえって伝統の文化を見直そうという機運が強まり、ー
その名も「民俗・学」という学問が興った（柳田国男・命名）。

そのとき初めて語源の探求なども行われたのだが、ー
ついでに、ことわざの由来なども調べられた。

そのなかに、
「芸は身を助く。」
ということわざが有る。

古来、芸人とは世見師（せけんし）・・・
各地を渡り歩く暮らしを慣ひとして居た。
世間の人々も、それをよくわきまえて居たので、ー
何か芸能をひとつ披露すれば、ー
宿賃でも船賃でも、芸人に限り、タダにて済ます慣ひが存ったと云う。
なので、その気になれば、ー
達者な者なら身空（着の身着のまま）にて何処へなと行けたものらしい。

ここから（多分にお恵みだが）、
「芸は身を助く。」
となことわざが世に生まれでたとか。

旅に暮らす関係上、おのずと見聞も般くなるから、ー
その話しを枕にして、
「月遅れの新聞。」
を読んで聞かすような役目をも、芸人さんには有ったものらしい。

列島にて、おおむね芸人を尊ぶ気風が見えるのは、ー
いわゆる＜世見師＞という人物が、ー
世にも珍しい存在であったからなのだ。
達者でなければ相手にされず、身を助く事は為し得ない。
生きて在るという事は、つまり達者というコトなのである。

今の世には、もうそんなことわざも、あまり聞かなくなったけれども。

２０１０年　０６月　２２日　（Ｔｕｅ）

＊　＊　＊　＊　＊
ぶわはははは！！（爆笑！！）。
森有礼バカヤローすぎでしょう！！
どこまで日本のプライド棄てまくってんだ！！

しかもそう対応したドイツ人の紳士らしさ？↑オイ？ｗ。
もう序盤で笑い過ぎて、後の話の内容が頭に入ってこない（大笑！！）。
だから未だに文部省はバカな集団なのかしら？ｗｗ。
は～、しばらく笑いのネタになりそうだわ私の中で♪ｗｗ。

投稿者：妃宮　咲都

＊　＊　＊　＊　＊　＊
妃宮さんコメント下さり、サンキューです。
うむ。明治の頃は何か西洋の言語を遣うことにした方が、日本の

文明開化を進める上では有益であるはずと、本気で考え詰めて居たみたいです。
（森有礼は暗殺されて死亡。）
彼の志賀直哉も、終戦後まもなく、
「公用語をフランス語にしたらどうか。」
と新聞に発表して、今でも語り草になって居るとか。（作家を廃業して野に下る。）
なにか具合いの悪い事があると、すぐ日本語のせいにしたがるのは、謂わば悪癖…
今も昔も変わりません。
（：暴論の見本ですな。）（お茶）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊
ウヒャヒャヒャヒャ！！
志賀直哉も大バカヤローですな！！（笑い転げ！！ｗｗ）。

そしたら下手すると、この日本人の容姿でフランス語を操ってたかも知れないんですね！

「ボンジュール　マドモアゼ～ル。セブレボンジャポネス　ププッピドゥー」みたいな！
（最早意味不明ｗｗ）。

鳩がフランス語話していそうですね！（泣き声的に？ｗｗ）。

公園のベンチで語り合うフランス人の周囲で、鳩も一緒に「ポロッポッポー」なんてさ…（遠い目）。
↑もう誰に求められないここのバカｗｗ。

日本語の美学が解からん奴は、政治に関わってはいけないと思います！！（挙手！！ｗｗ）。

投稿者：妃宮　咲都

＊　＊　＊　＊　＊

ふふふ…

志賀直哉はそれまで小説の神様みたいに謂われてたのですが、ー

その一挙動が為めに全てを拭いにしてしまいました（自業自得：）。

フランスでフランス人がフランス語を遣うから似合うのであって…

言語を更えて、わざわざ不便な思いをする民族が何処の世界に在るか？という感想を抱きます。

思考に埋没すると往々にして、日常生活から遊離した妄想にとらわれがち…

宜しく悪しき見本として、我が身の戒めとしたいものですね！

（どうやって翻訳するねん？源氏物語とか…ｗ？）

にわとりもアメリカへ行けば、クックドゥルドゥとなきますからねｗｗ

漢字を規制したからと謂って、日本人が優秀に成る訳じゃなし…

ローマ字表記・推進とか、国語を弄ろうとする作業は、どれも“仕事の為めの仕事”と見えて仕方が無いですな。

事業仕分け、せっかくの機会だから、頑張って欲しいです（お茶）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

半分狂ってる妃宮さんは放っておいてw

小説家もある意味世見師のようなものかもしれませんね。
言葉の魔術師。
言葉は人を助けもするし傷つけもする。
そういうものを扱う達人として、われわれ小説書きも自戒したいものです。
もちろんプライドもしっかりと持ちたいですね。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
おおおお～～～～！！
性器師団長までお越し下さいましたか～～～！！
澄ましてないで、こっちおいでよ妃宮のカオスワールドへ～～～～♪
ウヒヘヘヘヘ！！ww。↑笑い過ぎてラリってるww。

さぁ～てと。
今度はどこの活報をカオス化させようかなっと♪（フラフラ…）。
↑誰かこの危険人物を止めろ！！ww。

投稿者：妃宮　咲都

＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメントありがとうございます。
そう、これだけ情報があふれて居ると、個々人の力で把握する事は最早、不可能です。
（まともに取り組み始めたら、とても日常生活は送り得ない。）
それだけに、情報の伝達に際しては、媒介者の存在が大切になっ

て来ると思います。
般く観るのはマスコミがやってくれるから、ー
我々は深く見ると謂った処ろでしょうか。
案外、役割りは重要とか思えて来ます（気合い）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

78）・79）

78）　サイ。

明治の頃にはアイヌ人の集落がまだ北海道にあった。

日本が鎖国を解いて、近代化を目指す事になったので、外国人の学者なども沢山に来日した。

当時、言語を比較するという学問が盛んになり、当然のようにアイヌ語の存在へも注目が集まった。

もう同化・政策の最中であったが、危うい処ろで、研究者の目に留まったのである。

戦国時代の宣教師と同じく、アイヌ語の辞書まで造り上げた学者もあった。

（異民族に接すれば、まず辞書を、ー）

という発想が彼らには骨身に染み付いて居るのだろう。

その学者に遅れて、日本の学者も研究に立ち上がった。

それが金田一京助博士である。

その著書のなかに、

「みず」＝「ｓａｉ」

という意味合いが載せてあった。

アイヌ語に於いては、水のことをサイと言うと謂う意味である。

この「サイ」という言葉は、大和言葉のなかに沢山に入り込んで居そうである。

サイを含む言葉、そこを水の意味合いに置き換えてみると、面白い。

ところでアフリカには、川にサイと名乗る動物が居るが、彼れに名前をつけたのは誰なのだろう？

学名では無く、それはもちろん和名であろう。

なぜなら、英語のサイなら、ため息とな意味合いとなってしまうから。

川に棲み、角が有る動物、サイ。

角が有るのは、それ聖なる動物の印しでもあるから、ちょっと気になる。

今はアフリカにしか居ないけれど、

（大昔にはそこらじゅうに居たのかも？）

と想ってみたくもなる。

２０１０年　０６月　２３日　（Ｗｅｄ）

＊　＊　＊　＊　＊

失礼いたします。
中華からかもとか思う。
麒麟のような幻獣の類としてサイがあったのでは？
うる覚えだがなんかそんな生き物やらがいた気がする。
失礼いたしました。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊

山羊の宮さんコメントありがとうございます。
あ、サイって漢字の音から来てるんですか！
学者さんがつけた名前なら、なるほど漢音が多そうですね。
ちょっとみてみます！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

ウイキであれこれ見てみると、ー
サイは犀（サイ）、絶滅寸前ながらアジアにも棲息する事が分かりました。
（孔子と子路との問答編にも出て来る、有名な漢字でした。）（不覚）。
象と同じく、漢文の呼び名に倣ったんでしょうね。
犀犬（サイケン）という妖怪の名が出てましたが、その内容は未詳でした。

古代には、大陸の河にもサイが居たんでしょうね。
その角は漢方薬の材料として、よく密猟の憂き目に遭うそうです。
ひとまず、以上です（ウィキさまさまw）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
犀犬は犬の妖怪のようです。
あまり犀とは関係ないかもですね。
うーん。記憶違いなのだろうか？
昼に余裕無くて、今調べたけど何処にも記載ない。
・・・あきらめ、あきらめ（ふて寝）

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊
山羊の宮さん、お調べ感謝します。
中華の伝説ともなると歴代の史書以上に雑多膨大…
追跡しだしたらキリが付かないでしょうね（汗）。
サイの名も、伝説上の霊獣が先に居て、ー
そこから、現存するサイへ宛てられた可能性は充分有りとか想います。
「山海経」と名乗る書物が、古代の伝説を集成したものと聞きますが、ー
まだ読んだことありません（水滸伝とかに出て来ないのかな？）。
読んでない本がまだまだ多いです（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

今日も「耳から草子」活報ですねw
水に関する「サイ」ですか。
ちょっと思いつきませんね。
「賽の河原」くらいですか…
「祭」や「斎」も何か意味合いがありそうですね。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメントありがとうございます。
ネットのお蔭で学術の交流も盛んになって、ー
古典に原文から直かに当たる研究も、相当に進んで居るそうです。
（マニアック過ぎて、とても窺い知れたものではありませんが…）
平仮名以前となると、原文は漢字・一色という話しに為るのですが、ー
そこで漢字の古音を調べ尽くして、
「本来の訓みを特定しよう。」
という試みが地道に為されて居るようです。
しかし意味を意図的に歪曲して、
〈意味・不明〉
と作すかの如き文章が至る処ろに見受けるので、
（アイヌ語・由来の言葉も隠れてるかも…？）
と仮説してみたのでした。
水も本来、透明だから空白へ通ずるでしょう。
大気と同じです。

例を挙げれば、ー
「小さき」と「小さい」とな言い回しがあります。
仮名「あき」と「あい」とは、〈交替・可能〉という法が見て取れます。

なので、仮名「さき」と「さい」とが交替・可能と仮定する事が為し得ます。

水先案内なんて文句は、
「水・サイ・案内。」
から来た言葉かな？と思ったり…。
まだ確信が持てないので、ちょっと途中まで書いてみたのでした（失礼×２）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
ＸＩ
でサイって読んだりしますけどこれはどうなんでしょう。

投稿者：ふぇにもーる

＊　＊　＊　＊　＊
ふぇにもーるさんコメント下さり、ありがとうございます！
アルファベットは表音文字でしょう。
その気になれば、どうとでも読ませられそうな気もして来ます。
（ハイ・ライトの例もあるし…）（↑日本の煙草）。

ＸＩといえば彼のサイコロ・パズルでしょう。
あれでどうしてサイと読めるのか、多分我流だと思いますよ？

補足ですが、ー
祭や斎は古くから遣う文字で、意味合いもゆかしきものがあります。
実は雑賀の「雑」の字を見るに、ー

声「サイ」と「ソウ」とも交替可能と推察されます。
すると、さいのかはらとはそうのかはらとも読めて、ー
或いは「葬の河原」という本意かなと予想したり‥。
そうですか、という処ろをさいですか、という地域も現に存りますからね。

しかして、
「サン」＝「ス」＝「ソウ」
とも交替・可能とか見えるから、ちょっと迷路です。
眼力を磨くしかなさそうですね（タイムマシン欲しい‥）（目眩い）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

７９）　樹の伐り方。

砂子をふるいに掛けて砂鉄を集める。
ところが砂鉄は、そう簡単には融けて呉れ無い。
炭火に風を送って烈火を熾こし、ー
炎熱が籠もるように窯を築いて、ー
ようやく思うように融けて呉れる。
（たたらを踏んだり、吹い子を吹いたり・・。）

鉄器を造るには、燃料たる材木を費やす訳だが、ー
思えば、樹を伐るのにも鉄器が要る。
ちょっと堂々巡りである。

果たして、鉄器を用いずに樹を伐るには、どうすればよいか。

彼の秀吉は俗事の知恵に長けて居た。
炭奉行の時、ひと山の樹々、その本数を数えるに当たって、
「縄をなえ！」
と部下の者共に命じた。
そうして、一本一本、幹へ縄を回し、ー
もれなく回し終わってから、今度はそれを外すように命じて、ー
後で、その縄の頭数を読んだと云う。
多分に伝説だろうが、ちょっと算数みたいだ。

それは好いとして、ー
この、
「縄を樹の幹へ回す。」
というのが、ー
実は古来より伝わる、樹の伐り方なのである。

気の長あい話しではあるが、ー
まず、幹へ回せし縄へ火をつけてやる。
立ち木なら即ち生ま木だから、なかなか火は燃え移りにくいもの。
なので、縄だけが燃えて、それもすぐ燃え尽きてしまう。

跡には、少し焦げ目が残り、縄目に沿って、くぼみが走る。
飽きることなく、この行為を延々と繰り返してやると、ー
やがては、くぼみが深くなって、ー
ついには、樹が伐れる話しとは成る。

秀吉の、樹の数え方とは、この手の応用に過ぎぬらしい。
けれど信長は、ついぞ見たことも聞いたことも無かったので、ー
その手際に、たいそう驚いたのである。

非力な者でも、樹が伐れる。
斧などの鉄器に頼る用も無い。
そこが、ミソである。
ただし、だいぶん時間は掛かるけれども。

２０１０年　０６月　２４日　（Ｔｈｕ）

＊　＊　＊　＊　＊
「水滴岩に穴を穿つ」
ですね。
地道に小説を書いていたら、いつかは日の目を見ることもあるのでしょうかｗ
穴を穿つ前に干からびそうな気がしますｗ

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さん、コメントありがとうございます。
うむ。
文章もスポーツに似て、日々の練習が欠かせぬものとか思います。
時を得るというのは、多分に他力本願ですから、じっくり待つよ

り他、手立てがありません。
しかし運も実力のうち、ー
たとえ運が巡って来ても、実力を養っておかなければ、捕まえることはできませんからね。
そう思うようにして居ますw。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

80）・81）

80）　発想。

よりよいものをより安く。
これが日本の商人の発想である。
しかし、それは欧米の発想とは異なる。
商品に希少価値をもたせて、なるだけ高く売るのが、主流な発想なのだ。

ダイヤにしろ金にしろ、わざと流通量を抑えて、価値を維持して居ると云う。

「良い商品なら、なぜ高く売ろうとしないのか？」
欧米の商人は常々、首をひねって居るとか。

戦後、日本は輸出の利潤に頼って来たけれど、ー
いまの悩みとは、あらゆる商品が普及し切ってしまったことだ。
薄利多売なのだから、こう成るのは、当然である。
ヨーロッパもアメリカも、メイドインジャパンであふれて居る。
良い商品はあっても、もはや買い手が居ない。
だれもが、ひと通り、買い揃えてしまったからだ。

希少価値をもたせて、高く売る。

日本伝来の価値観とは相ひ容れないけれど、ー
これからの新商品には、そんな発想を用いても、好いかも知れない。

（戦前は、安かろう悪かろうと言われていたらしいから、まだマシではあるが。）

２０１０年　０６月　２５日　（Ｆｒｉ）

＊　＊　＊　＊　＊

失礼いたします。
安く、良い商品を。
それは日本の武器なのでそのままでもよい気がします。
ただそれだけではいけないのも確か。
円安の時はいいが、円高だと売れない。
そんな状況はいけない。
円安の時に売れるものと円高でも売れる路線を二つ持たなければ安定はしない。
それは企業の安定、しいては従業員の安定につながる。
安んじて働ける職場、今この時勢どれだけの数があるだろうか。
確かに商売は戦争だ。
しかし、何のための戦争か、誰のための戦争か、そこを失念している気がしてならない。
では、失礼いたしました。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊

山羊の宮さんコメントありがとうございます！

そう、これだけ経済・状況が悪いのに、円が暴落しないのは、ちょっと謎ですね。
低金利なのに円高・・・ジャパン・マネー恐るべし！とな状態なのかも？
（・・喜ぶべきか悲しむべきか？）（迷）。
預金金利と貸出金利とが、これだけかけ離れてしまっては、ー
もう正統な資本主義・経済とは謂え無い感が来たします。
＜金融・国家、日本。＞
それは良いかも知れないけれど、この先、失業率がＵＰするのは確実ですね。
（薄利多売を醍醐味とする発想は、そろそろ止めにした方が・・？）
売れ線の商品を大切にして欲しいです（戦略というか）（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
現実問題として、日本ブランドは今右肩下がりに落ちていると聞きます。
韓国製品の進出が著しいとか。
現代ブランドの車が、国によってはトヨタを抜いているみたいですね。
液晶やプラズマの技術も今はどんどん他国に追いつかれている状況です。
島国故の殿様商売は、もうそろそろヤバイのかもしれませんね。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメントありがとうございます。
うむ。
実は統計データには必ず”穴”が有るものです。
日本も戦後しばらくは、ー
米国の保護の下で購買力のＵＰに努めました。
それと同じ事が、いまアジア全域にて行われて居るのです。
半島も大陸も、企業は部品を組み立てて、
＜製品化＞
を行なって居るに過ぎません。
中身の部品は全て列島からの輸入に頼って居るのです。
もちろん現地の従業員には給料が当たるので、ー
その国の購買力はＵＰします。
すると頃合いをみて、ー
日米の大企業が輸出・攻勢を掛けて来る、とな構図です。
（おそらく資本・投資という形を採るでしょうが・・。）
米国の戦闘機だって今や日本の部品が無ければ飛びません。
しかし、その分、肝心の本国・・・
日本の購買力が右肩下がりにＤＯＷＮしてるから、ー
何をやってるコトだか分りませんね？
（お人好しというか見栄っ張りというか・・）（冷や汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

81）　稲作。

田んぼ田んぼと簡単に言うけれど、ー
思えば、稲作というのは、かなり高度な作業だ。

律令制が始まった頃には、ー
国が農場を造って、今に謂う＜技術・指導＞を行なったらしい。
農具・一式も、もちろん貸し与えたとか。
朝に借りて、夕べに返す。
ちょっと町内の運動会みたいだ。

問題は、当時の住人たちが、文字と無縁だった事である。
口伝てに、手取り足取り教えてゆかねばならない。
その苦労たるや、推して知るべしである。

その昔、村は＜氏の長者＞が仕切って居た。
村人は＜氏子＞と謂われ、血筋を同じうする者と認め合って居た。
氏族・社会とは血縁をたどって結びつく。
今に謂う＜部族・社会＞であった。

氏の長者は都へ出仕して、文字を習う。
したがって、何かややこしい事柄があろうとも、ー
彼にさえ教えておけば、ー
あとは、彼の口を通して、村人にも教えることが為し得る。

おそらく、こうして稲作の伝播・・・
農事の指導を行ないしものとか思われる。

お宮にて執り行なわれる、奉納踊り（神楽）・・・

見ると、田起こしやら田植えやら・・・
農事に関わる動作を、ひたすらに繰り返すものが多い。
毎朝、広場に集まって、みんなして練習したのかも知れない。
夏休み、近所の公園でやる、恒例のラジオ体操・・・
ちょっと、それに似た風景を、思い浮かべてみたくもなる。

２０１０年　０６月　２６日　（Ｓａｔ）

＊　＊　＊　＊　＊　＊
言葉が読めない分、人々のコミュニケーションは今よりも濃密だったんでしょうね。
その方が人間関係は深くなれるような気がします。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメント下さり、ありがとうございます。
同じ村に生まれた者なら、遠い親戚…
そんな意識があって、お互いに親しみ合って居たような気もします。
友人、隣人というよりは、身内という感じ。
そういう場にては、プライバシーというものが希薄になるから、ー今みたいな個人主義的な発想は、生まれようが無かったでしょうね。
向こう三軒両隣り、みんな同じ名字とな町も、まだチラホラ在り

ますけど、もう古風な感じがします。
この頃は米の商品・価値が上がって来たから、この先、農家が増えるかも知れませんね（昔返り？）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

82）・83）

82）　文章と方言。

日本の町々には殊更に文字が多いと聞く。

空いたスペースには何かしら文字を入れたがる、ー

そんな習性が有るようだ。

おもうに、無文字だと、うらさびしい感じが来たす。

文字が有るという事は、活動中である、という目印とも為る。

名字の抜けた表札とかが、好い例であろう。

また、文字にするからには、誰にでも解かる言葉を選ぶ事が多い。

古看板の文字に、時代を感じるのは、そのせいであろう。

当時は洒落て居たような言葉が、後の世には、なじみが薄かったりする。

古くは、文章・語・・・

すなわち文語にて会話するのが、唯一の標準語であった。

互いに地元の方言を持ちだしたのでは、ー

独特の言い回しが多過ぎて、ー

到底、話しが通じなかったからである。

雅文、漢文、候文。

和歌や俳句を使いこなせるということは、

（このヒトは標準語を知って居る。）

とみなされしものかもしれない。

そう考えると、アナウンサーが文語調なのも、うなづける。

文章に方言を用いるのを邪道と感じるセンスも、ー

もしか、あながち根拠の無いことでもないかも知れない。

２０１０年　０６月　２７日　（Ｓｕｎ）

＊　＊　＊　＊　＊

小説も同じですね。
せいぜい関西弁ぐらいでしょうか。
広島弁と東北弁も見たことありますが、基本標準語ですね。
やはり読者のことを考えるとそうせざるを得ないのかもしれませんね。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメントありがとうございます！
歌詞とかを見ても、ホントは方言のほうが心情を込め易いのは確かですが、ー
公けの場においては、その方法では表現として不充分という事になりそうです。
中華・大陸などでは、もっと発音の差違が甚だしく、文章を用いてでないと演説などは出来ないとか。
それで、標語を作りたがる慣わしがあるようです。
文語体が確立されなければ、統一・国家は成し得ない。
そう考えると、マスコミの営為も馬鹿にはできませんね（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
方言だと知らずに、普通に使っていることもありますよね。
標準語でも使われる言葉だけれども、意味が違うとか……

投稿者：?まいまい@ノ”

＊　＊　＊　＊　＊

まいまい@ノ”さんコメントありがとうございます。
関西弁なら、かなり標準語に入り込んで居るとも聞きます。
～してもらいたい、という処ろ、～してほしいと言い回してみたり…。
関西弁＝漫才師、というイメージが世に定着してしまうのも、ちょっと悩ましい処ろではありますが。
ギャグが苦手な関西人もいっぱい居てますよ（白状）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

全然関係のない事なんですけど

午雲さんの活動報告の中に良く出てくる「、ー」って何の言葉なんですか。
前から目に付いてまして。

投稿者：ふぇにもーる

＊　＊　＊　＊　＊

ふぇにもーるさんコメントありがとうございます。

句読点の後の棒線ですか。
あれはクセみたいなもので、ー
句読点の後に空白が出来るのが寒々しいから、ちょっと勝手に置いてみたのでした。
ホントは余り意味も無く使い回すべきでは無いのでしょうが、ー
どうにも落ち着かないので、ー
読んでおられる最中には、あの棒線は無いものと思って読んで下されば、幸いです。
（：ご面倒かけます。）

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

８３）　二百文字小説集「ひとひねり」。

連載形式にして、第九話を更新しました。
四百文字で一分。
二百文字なら三十秒？
（ホントかな？・・）
省き過ぎて、読者の想像力に頼る処ろが大かと心配しますが、ー
気が向いたら、読んでやって下さい。
（小ネタ探し、小ネタ探しｗ）

２０１０年　０６月　２８日　（Ｍｏｎ）

＊　＊　＊　＊　＊
２００文字小説って、書き始めたら止まらない魅力がありますよねw

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメントありがとうございます！
限られたコマ割りにマンガを納め切るような感覚ですね。
可能性を感じます。
（４００文字でもよさそうですが、ー。）

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
こんな感じ？

「始めたら止まらない魅力がありますよね？」
「河童のえびせん？」
「違います」
「幸せターン？」
「それも違ーう。っていうか食べ物から離れてくださいよ」
「うむ。それはそうとそろそろ腹が減ってきたのぅ。晩飯にするか」

「そうですね」
小休止。
「だーかーらー、食べ物から離れてください！」
「君、鼻にケチャップついとるよ」
「あっ、ホントですか？よくやるんですよ、僕」
「で、なんだっけ？」
「えっと・・・なんでしたっけ？」

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊

違うな。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊

山羊の宮さんコメントありがとうございます！
そう、会話というか対話のみで大半、埋められたら、読了時間はもっと早くなりそうですね。
（脚本と区別が着かないかな？形式上…）
テンポかリズムか。
まだ課題は多そうです（汗）。

投稿者：午雲

＊
＊
＊
＊
＊
＊

８４）・８５）

８４）　和歌。

和歌を詠む際には＜雅語＞を用いるのが定まりなのだが、ー

遣い手が居なくなって、いつしか知的遊戯と化してしまった。

その起源とは、演劇の台詞かな、と思ったりもする。

晴れの場においては、綺麗な言葉づかいを誰しも心掛けるもの。

宮中にて立ち居振る舞いする者なら、ー

自他共に、俳優みたいな気分でもって行き来して居たのではなかろうか。

文字しか残って居ないので、その節回しは不明だが、ー

もともと和歌とは舞台の場にて歌われたものであり、ー

謂わば＜決めの台詞＞みたいな格好だったかとも想われる。

彼の「源氏物語」が、ー

ほぼそのまま少女マンガへ移したとて何の遜色も無いのも、ー

そこにもともと演劇的な雰囲気が隙間なく漂って存るせいかと思

われる。

あれが宮中における日常生活をモデルとなし、ー

その延長上に出来上がったものかと考えると、ー

極く狭い世間の有り様ながら、なにやら凄いような感じもする。

さて、演劇は＜葬式＞の際に行われた。

ものまね師を呼んで、行跡を劇へと仕立て、故人を偲ぶよすがとしたのである。

漢字「俳」には「真似る」という意味合いが有り、ー

俳優とは、もと、ものまね師を美化せし呼び名であった。

最期にあたって、辞世の句を遺言する仕来たりも、ー

古来、この行事が在りし事の徴るしなのかも知れない。

彼の能楽も壱代の工夫にて突如、興ったわけではなく、ー

ものまね師という芸能・・・

その伝統の上に、ようやく成り立ちしものであろう。

和歌とは偲ぶもの。

本来の相なら、そんな予感もする。

２０１０年　０６月　３０日　（Ｗｅｄ）

＊　＊　＊　＊　＊　＊

高校時代、古典の授業にて。
川柳を作るという授業があった。
変な自信を持った私が先生のもとに見せに行くと
「同じレベルのものをあと１００できるなら認める」
と言った。
面倒臭いので作るのをやめた。
まあ、出来て、二、三であったろう。
懐かしき思い出。
では、失礼いたしました。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊　＊

山羊の宮さんコメントを寄せて下さり、ありがとうございます。
うむ。古典の教師なら、きっと俳句や川柳には壱家言もっておられるでしょうね。
その言い回しから推せば、よほど悔しかったものかと思われます。
（まぐれや！まぐれに違いないっ）
その教師の、心の叫びが耳に聞こえて来るようです。
（その先生もその日を境いに川柳から遠ざかってたりして・・）（小説的妄想）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

いや、多分授業始まってものの二、三分で終わられては困るので、そう言ったのだと思う。
そもそも私にそんな才覚はないのだし。
けれどもその妄想は面白いかもですね。
生徒と教師、けれどその才に年齢や立場など関係なく・・・
恐らくは教師の視点で語られるのでしょうね。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊　＊

山羊の宮さんコメントありがとうございます。
高校生の年頃なら、
「どれ、添削してやろう」
くらいな気が教師には有ると思います。
わざとに添削しやすそうな句を作って見せてあげたら、かえってその先生は大喜びだったかも。
（高校生でそこまで知恵を回すのも何かコワいけど・・）（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

８５）　「耳から草子」再開。

我れながら、読むのに骨が折れる処ろが多く、修正を思いながら、思うに任せず、下手に触ると余計に分からなくなりそうなので、そのままにして、再開することにしてしまいました。

達意、簡潔な文章が目標ですが、言うは易く行うは難しで、まだまだ道は遠いようです。

よろしくお付き合い下さいませ。あな畏こし。

２０１０年　０７月　０１日　（Ｔｈｕ）

＊　＊　＊　＊　＊　＊

読んでいて時々難しくて読めない漢字もありますが、応援してますよ！

そして、さりげなく旨い話があったら咥えて掻っ攫って行くのだ！！（俄か盗作宣言か！？ｗ）。

参考にさせてもらいますねｗｗ。

その時は♪

投稿者：妃宮　咲梗

＊　＊　＊　＊　＊　＊

妃宮さん早速、目を通して下さり、ありがとうございます。
そう、読み仮名はマメに振らないと、不親切でしょうね（焦）。
脇道にそれて帰って来れなくなって居る章段が多いようです。
（悪いクセ・・）（反省）。
小説に使えそうな言葉は、まだまだ沢山、眠ってますよ！
どんどん遣ってやって下さいｗ
（あだなりという言葉へ寄り道しようかと思いましたが）我慢して
またそのうち…（以下省略）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

再開歓迎也

投稿者：大橋　秀人

＊　＊　＊　＊　＊　＊

大橋さん、うれしいお言葉、ありがとうございます！
どうにもうまく推敲できないので、困ってましたが、ー
ともかくも書きながら、その辺り、考えてゆきたいと思います。
（書きたい事を全部書こうとすると、イカンイカンとは思いつつ・・・）
「えーの話し」、つづきを楽しみにして居ます（・・先が読めない）！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

86）

８６）　歴史小説。

太平記など見ていると、列島の北から南まで、毎日のように武士団が活動して居る。
しぜん気に懸かるのは、物資の事だ。
刀は刃こぼれするし、鎧兜も傷みが来るはず。
それは然るべき豪商が引き受けるとして、ー
肝心の兵糧はどうしたのだろう。
稲は年に一回しか実らない。
しかもおかずの無い時代、米は其の年のうちに残さず食べ尽くしたはず。
米の飯が食えるというので、それを生き甲斐にして、武士になった者が多いはずだから、兵糧だけは欠かせなかったはず。
あるいは混ぜ飯か。
それとも武将以外は芋とか豆とかにて済ませたものか。
味噌をなめ、水を飲んで討って出て、勝ってから山分けしたものか。
籠城する際には味噌を買い集めるとか聞く。
田より畑の方が作りやすい。
乱世にあっては、主食は大豆かも？と想ったりもする。
（比叡山に、一生涯大豆ばかり食べて暮らした坊さんが居て、鳩僧主とあだ名されたと云うし…）。

２０１０年　０７月　０２日　（Ｆｒｉ）

＊　＊　＊　＊　＊

その貴重な米を確保する為に、米俵があるのでは？

戦が始まると、贔屓の商人から確保する術もあるし。

当時の泥棒が、よく蔵から米俵も一緒に盗む様子が時代劇でも描かれるくらいだから、保存はされていたと思いますよ。

大豆や小豆も、貴重な糧として裕福層や武士を主に提供されたらしいです。

貧しい百姓はその分、米を税として提供して冬など厳しい季節は、粟やヒエ麦飯を細々と食したとか。

私が幼児期に聞かされた昔話で、こんな話を今でも忘れません。

昔、地主の小豆がなくなって大騒ぎになった時、ある貧しい百姓の幼子が「おら、赤いおまんま食っただよ」と口走った事で、盗っ人扱いにされる。

そこで父親が無罪及びもし本当に盗んだのなら、その罰をも与えられるからと証明する為に、その息子の腹を地主の前で裂いて見せた。

すると胃袋から出てきたのは赤褐色のヒキガエルだった。

父親は疑惑をかけられた悔しさと、少しでも息子を疑った自分、そしてカエルを食せねばならない程の貧しさで死んだ息子を抱き締め嘆いた。

地主はというと、立場的に気まずくなり逃げ出すが、子供一人を殺すまでに疑ったその欲深さは大罪として、農民から一揆を起こされ食料を奪われた。

って話です。

子供ながらに凄くショッキングな昔話だったので、多分死ぬまで忘れないでしょうｗｗ。

何にせよ、腕ある武将は決して武士を粗末に扱わず、しっかり食糧を与えて戦力をつけていたとは聞きますよ。

投稿者：妃宮　咲梗

＊　＊　＊　＊　＊

妃宮さんコメントを下さり、ありがとうございます。

田んぼの畦に、その名も赤まんまという雑草が生えて居て、昔から幼な児らのままごと遊びに用いられて居たとか。

それに比べると、赤蛙とはリアルで悲しいお話しですね。

そういえば“銀舎利”“金舎利”という愛称があって、金なのは粟飯とか聞きました。

そういう称び名が長らく世に通用して居た辺り、米の飯を食べずに日を暮らす人々も沢山に居たんでしょうね。

狩りは行事として催すばかりで、牧畜の発想は殊更に無かったようです。

（もののけやたたりを畏れる哲学がいまだに根強く…）。

イナゴに喰われ放題だったのに、やはりそれだけ年貢が重かったという事でしょうか。

（陸穂という品種もあったとは聞きましたが、ー）

不文の領域だけに不気味ではあります（ふ～む…）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

金舎利もあるんですね！（知らなかった。また一つ勉強になった♪w）。

銀舎利は、例えば炊き立ての新米を私は時々そう表現するんですが、私の周囲の人間は誰一人知らなかったww。

まぁ、焼酎は貧相な農民の雑酒だと、昔は馬鹿にされてたくらいだけど、今やそこから更に低落して、チューハイや発泡酒が人気ありますしねw。
だからこそ、清酒を戴く時はいい加減で下品な飲み方はしたくないと思う、侍スピリット？ｗｗ。

投稿者：妃宮　咲梗

＊　＊　＊　＊　＊
ホントは粟飯を美化する為めに金舎利という愛称が生まれて、世に親しまれたそうです（銀はシャレｗ）。
酒は、戦時中に化学的な方法にてエタノールを生成して“清酒”として売り出す方便が始まって、
（こりゃ、儲かるわい！）
というコトで、終戦後もそのままに続いて居るとか。
薫りなどは後づけだし、水をまぜて酒精を薄めたりしてるから、正体は、ほとんど“調味料”だそうです。
なので、そんなにありがたがる理由も無いかと。
（本物の清酒って何処へ行ったら売ってるんでしょうね？）（ため息）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊
失礼いたします。
確か干飯（ほしいい）と言うものがあったと思う。
あれなら保存がきくと思う。
米も玄米の状態で芽が出ない様に保存すれば、結構長く持つと思う。
失礼いたしました。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊

山羊の宮さんコメントありがとうございます。

うむ。ものの本によると、献上の食べ物などは、一様に、干した物を湯水で戻してから口にして居たらしいですね。

（インスタント食品の発想ｗ）

干した飯というのは、やはり湯水に浸してから食べたんでしょうか。

（せんべいみたいな作りかな？）

玄米の形で保存して古米や古古米でも難なく食べれるように工夫してたんですかね。

近畿、四国…

列島のどこかには穀倉地帯があったのかな？

軍勢ン万とか号するのが、そもそも怪しいか知れません。

（そんなに人口居たのかな？あの乱世に…）。

兵士の頭数がもっと少なかったのなら、説明はつくんですけど（…不明）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

日本酒の一升瓶を抱えて水のようにガブガブ飲んでたあたしのバカァアアっ！

（でも反省はナシですよｗ）

あの、宇宙人な鳩ぴー前総理は一粒１万円の豆を主食としているらしいと風のたよりで聞きました。

おかっぱ頭の嫁が「鳩ぽっぽ」を歌い踊って、庭に豆を蒔いて、それを鳩ぴーは「クルックー」と楽しげついばんでいたという噂も耳にしました。

世も末じゃのぅ・・・
（お茶）

投稿者：河野夜兎

＊　＊　＊　＊　＊　＊
夜兎さんコメント寄せて下さりありがとうございます。
鳩山首相の鳩の鳴き真似、伝説ですな（苦笑）。
あの夫人の髪型は、パリ・コレに出たとかいう例のモデルにあやかったものでしょう（知る人ぞ知る：）。
うーん、一升瓶で飲みだすと危ういですよ？
（アル中一直線の予感…）（汗）。
利き腕が震えてキーが打てないなんてことに陥らぬように用心して下さいね（温めた方が酔いは早し！）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊
プフゥ〜〜！！
夜兎ちゃんたら凄すぎーーー！！ｗｗ。
日本酒を水の様に飲めるなんて…！！ｏｒｚ
私は季節を肴に風流に飲みたがるだけに（その分弱いんだけどｗ）、今の私の夜兎ちゃんのイメージは「ＢＡＳＡＲＡ」の女海賊、茶々に思えてきたよ！！（カッコイイｗｗ）。

鳩ピー、菅総理の額にある豆まで、啄ばまなければいいのだけれど…（何せあの嫁の事だから、指示しそうｗｗ）。

投稿者：妃宮　咲梗

＊　＊　＊　＊　＊　＊

千昌夫に菅直人…

あの阿弥陀ぼくろが縁起が善いと云うのは、どうやら本当みたいですな。

（狙って出来るものでは無いから難しい…）ｗ

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

さては一献

朱塗りの盃に　白濁の酒
思い偲ぶは　遥昔の武士（もののふ）の姿
今は湿気を纏い　疲れて　やつれて　うららるらん
がぶ飲み　酒も敵わず　相敵なしと
これ　今の武士（もののふ）の姿なりか

恐ろしい

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊　＊

何だか知らないけど、山羊ノ宮先生の一献がカッコイイ♪ｗｗ。

ｂｙ歴女ｗ。

投稿者：妃宮　咲梗

＊　＊　＊　＊　＊

吟詠、ありがとうございます。

原酒と銘打ち、濁り酒を売る店も近頃、見かけます。

かえって好い心地がしますね！

もののふの心行きはすでに文のなかより外に知る術べも無し。

この酒を誰も飲みしか彼も飲みしかとは想えども、器の中身は同じ酒にあらず。

ただ酔ひたくて酔ひ崩れるのみ。

（水杯よりは味があるだけマシだとおもう、今日この頃。）（苦笑）

。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

なんだか分からないけど、妃宮先生に褒められた。

それにしても『もののふの心行きはすでに・・・』とは午雲先生の言葉運びは渋いですね。

雰囲気だけの私とは大違い。

そう言えば、清酒は江戸時代から、それ以前は濁り酒がメインだったとかいう記憶があります。

（まあ、大体私の記憶はあやふやですが）

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊

個人的に剣に生きる浪人者をイメージしてしまいました。

（はぐれ狼などよく観て育ったもので、ー。）

玄米をそのまま酒に造ると濁るのが普通とか。
濁りを分離した物が酒の粕かな。
さむらいとものふとは、また語感が違いますね！こう見ると・・・
・（渋い）w
時代劇が廃れ気味なのが改めて寂しい思いです。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

87）88）

87）　筆記用具。

筆、墨、紙。

文章家にとっては、飯より大切な道具一式かも知れぬ。

彼の兼好法師は世捨て人とは言いながら、ー

きちんと硯をすって居るのであるから、無収入とは思えない。

筆の毛とは鹿の毛である。

あれにも職人に伝来の技があって、ー

鹿を射止めるのは容易くとも、ー

さあ筆を作るとなると、そう簡単には作れそうもない。

見る処ろ、一般の筆記用具とは、ー

筆では無くて、割り箸であった。

これの先を削って、墨を付け、書き書きしたものと見受ける。

（昭和の頃までは実際に、この方法にて字を書いた覚えもある。）

細筆で書くような書きぶり、狭い処ろへ詰めて記すには却って重宝だ。

言の葉という詞に「葉」の字を含む由縁とは、ー

いにいへ、書き料ろとして、紙の代わりに葉っぱを用いて居たからと云う。

串カツの「串」を想えばよい。

先の尖った木串でもって、葉肉に傷をつけることで、文字を記したのである。

割り箸の筆も、その発想の延長上にあると言えよう。

葉の裏面に書くとなると、そのスペースは非常に狭い。

鼻音「ん」や濁音、幼音の仮名を省く発想も、ここから来て居るのであろう。

スペースの節約、今にいう「省スペース」とな発想である。

（五七五や七七のリズムも、もしかこの辺から来たのかも知れない。）

列島にも、鳥なら、たくさん棲んで居た。

羽根ペンに墨をつけても書けそうだけれど、ー

ついぞ思い着かなかったのか、それとも敢えてしなかったのか、ー
思えば、ちょっと不思議でもある。

２０１０年　０７月　０５日　（Ｍｏｎ）　１１時　５３分　２７秒

＊　＊　＊　＊　＊

ＰＣという文明の利器のありがたさを、改めて感じますね。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメントを寄せて下さりありがとうございます。
その昔は新聞ガミやチラシの裏、あとカレンダーの裏なんかも用立ててましたね。
帳面に書くのは、まともな事だけ。
暗黙の了解で、そう決まってました。
さらにそれで折り紙を折って遊び、ごみを燃やすときの燃え料ろにして居ました。
「ばっちい」という言葉は「罰（ばち）」から来てると思うんですけど、ー
鳥の羽根とか持ち回るのは「罰当たり」と思われて居たのかも。
ワープロを初めて使ったときの感激は今も忘れられません。
おかげで、文字を書くのは、すっかり下手になってしまいましたけど（汗）。
でも、だれでも書けるというのは（機会均等という意味で）善い事だと思います。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

仕事をしなくなると、字を書くことがめっきり減りました。
原稿も聖騎士先生のようにパソコンですし。
でも、字をどんどん忘れていきます。
自分の頭では変換してくれませんから。

投稿者：河　美子

＊　＊　＊　＊　＊　＊

河美子さんコメント頂きありがとうございます。
そう、昔は字が下手だと恥ずかしいというセンスがあって、ー
習字の塾が、どの村にも一個はあって、みんなして熱心に通ってましたね。
ヒマなときには、小説本の気に入った文章を書き写してみたり。
作文の宿題などでは、内容よりも字の上手さに気を配ったものでした。
（・・先生が見るので。）
でも、文章を読み書きする機会が増えたので、漢字への興味は却って高まって居る様です。
わたしなども、字を書くより前に万年筆が指に馴染まなくて困って居ます（汗）。
習字道具となると何処へ仕舞ったのやら分からない始末。
（漢字なら）書けずとも読めれば好い、という風になりそうですな（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

失礼いたします。
昔、コンパスにロマンを感じました。
教師が持つ大きな三角定規。
あれもロマンかと・・・

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊　＊

山羊の宮さんコメントを入れて下さりありがとうございます。
そういえば、あれ、非売品ですね！
あ、黒板と白墨というのも、確かに筆記用具。
「赤毛のアン」の舞台はカナダだと思いますが、ー
授業中、生徒もやっぱり石版と白墨を使って書き写すシーンがあります。
（アンは確かそれで男の子の頭を殴って石版を割ってしまうんですがw）
黒板に立ってチョークで書いたりすると、なぜかドキドキしたのを今でも覚えて居ます（・・遠い眼）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

８８）　軍師。

戦国時代、武将の家庭教師といえば、禅僧であった。

一休さんも宗純と名乗る禅僧。

武士と自負する者は、なぜか禅僧を有り難がった風である。

禅僧は、論より行ないを重んじる風がある。

思想と心中するかのような苛烈さを見せる。

僧形の武士と謂った佇まい。

言葉には非常に敏感で、ほんの一言のうちに心根を見切る眼力がある。

必ずしも、漢文で考えて居るわけでは無い。

言葉を通して、心を読む能力を鍛えて居るかのようである。

今に謂う＜帝王学＞のようなものである。

軍師とは、自身が王になる手管を考える者では無い。

（帝王とは、いかに存るべきか？）

と、考え通す者である。

僧形ならでは、世の外に立つ者にしか為せぬ業とも謂える。

禅問答にて逆説的な表現が多く、よく頓智話しに準らえられるのも、ー

彼らの考えて居る事柄が、あまりにも抽象度が高い為めであろう。

言葉を用いて言い表すことを、ー

内心は、もう、あきらめて居るような感が来たす。

彼の孔子が「論語」のうちにて＜仁＞を説くとき、ー

それは自身のことでは無くして、

＜将来の帝王たる者とは、いかに存るべきか？＞

その事をこそ、説こうとして居るかに見える。

相手の素質に合わせて、それに見合った言を吐くのも、

（もし、あなたが帝王の位に就くとすれば、ー）

このようにふるまうべきです、と進言して居る心積もりなのかも知れない。

すると、志し無き者には孔子の言葉は永久に分からない、とも推せる。

孔子の姿勢と禅僧の姿勢とは似て居る。

思うに「仁」たるべきは、孔子や禅僧なのでは無く、ー

彼らから教えを受けつつある・・・

将来、世を背負って立つ身分に恵まれた、若者たちなのであろう。

そう考えると、彼らがおのずと軍師と目されるのも、うなづける。

漢字「仁」の答えは、相手によりけり、ー

一概に定まるものでは無い、と今はおもう。

２０１０年　０７月　０９日　（Ｆｒｉ）

＊　＊　＊　＊　＊　＊

将棋やチェスが上手い人は、軍師の才があるって本当ですか？

ちなみに碁の意味が分かりません。

そして私はいずれにせよ超下手ですｗｗ。

投稿者：妃宮　咲梗

＊　＊　＊　＊　＊　＊

妃宮さんコメント下さり、サンキューです。

碁は公家が好み、将棋は僧侶が好んだようです。

関西では将棋が盛んなので、わたしも子供の頃はよく指しました。

あれも相手の心を読むとな趣きが有るから、軍師の発想に通じるものがありそうですね。

囲碁に替わって将棋が猛然と流行りだしたのは、ちょうど戦国時代からとか。

軍師たる禅僧たちの弟子による、代理戦争。

武将同士の合戦を見て居ると、そんな感じもして来ます。
治世に精根を傾ける辺り、禅僧だけは際立って中華風な感じがします（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

落書き、失礼。
言葉がおかしいので、雰囲気だけ。

「策とは奇をてらう事に非ず」
「では、如何なるものか」
子明問ふ。
師答ふるは、
「常道なるを人の道ならば、その上をいくを策とするものなり」
曰く、
「天道なるを策とする」
子明落胆し、言葉を食む。
「風の流れ、水の流れ、人の流れ、万物知りて策となる。我人の身故、天を掴む事あたわず。」
師、笑ひて、是を激す。
「我も人の身。故に我は策を倣ひて、模倣にて人を謀る。」
「其は策に似て非なるもの。」
「是。而して是にて神を謀るれば、其は策と成す。」
「神を謀るとは如何に。」
子明、問ふ。
師、懐中より刀を取り出す。
師、
子明、地図に刀を突き立てる。

彼の地、樊城。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊　＊

書いてて思ったのですが、なんだか午雲先生の「、」はなんだか漢詩みたいなリズム。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊　＊

山羊の宮さん、漢文コメント、拝見しました。
軍師というのは、不可思議な人物です。
上は天文、下は地理。
諸葛亮の策など眺めると、当時は自然現象を利用した作戦が多かったみたいです。
策をもって、神を謀るとは！？
けだし鬼神の化身の如しです。
（毒薬？生物兵器？）
漢文の訓み下し文なら、和語の古い形をよく遺して居るので、なにかと親しんで居るのでした。
（・・お見通しでしたか。）（脱帽）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

89）・90）

89）　隠語。

民俗学者に宮本常一という人が居て、

「忘れられた日本人」

というタイトルの著書を遺しています。

戦時中の農村を歩き回って、聞き書きしたもので、ー

当時の隠語なども、数多く拾ってあります。

学者とか博士とか告げると、有り難く思う風が昔はあって、ー

ライフ・ヒストリーなどを座談のうちに語ってもらったりして居ます。

村の女房衆の世間に伝わる隠語を交えた話しぶりなどは、ー

今の代にも、相変わらず繰り広げられつつある風景かと思い当たります。

（・・文章に載らないからこそ隠語なので、ー）

（・・載せてしまったら意味がなくなるような気もするが。）

それも種ね本の一つなのでした（あしからず）。

２０１０年　０７月　１０日　（Ｓａｔ）

＊　＊　＊　＊　＊　＊

失礼いたします。
高校時分、「パレード」という隠語がありました。
私が作ったんですけど、元は「血みどろパレード」でしたが、略され、「パレード」となりました。
部内でしか通用せず、電車内で「今日、パレードだから・・・」と部員が言うと他の乗客が驚いた顔をしていたことを思い出します。
懐かしい。
失礼いたしました。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊　＊

山羊の宮さんコメントありがとうございます。
ち、血みどろって何ですか？
パレードと口にすれば、行進よりか上等な感じがしますからね！
（確かに誰にもわからないだろうｗ）
そう、中学生の頃なら即興の隠語がたくさん発生していたような気が（：書けないけど）（汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

９０）　新聞。

いまの時代、国語・教育の目標なら、
「新聞を苦もなく読みこなせるようにすること。」
とか聞く。
新聞がスラスラ読めるようになったら、
「国語の免許・皆伝。」
という訳だ。
テレビ番組の知的水準なら、
「平均・中学二年生レベル。」
に設定してあると云う。
この発想は、
「義務教育の間に新聞が読めるレベルまで。」
という方針と、よく一致する。
放送局といえば常に花形扱いだけれど、ー
その親会社と謂えば、新聞社である。
新聞の活字、その文章の有り様が、現行の国語・教育にも反映して居る。
英文和訳・構文、漢語の多用、和語は助詞だけ。
それはそれで一流の“文体”なのだが、記事には為っても小説には為りそうに無い。
時間を割いて、自分で学ぶほか、手立てが無いのである。
なので、日本に限っては、小説家は皆、独学…
社会人として尊敬される例めしは、めったと無い。

関係ないが、新聞少年の給料は驚くほど安い。
労働基準・法に於いて定める、最低・賃金ギリギリ…
ボトム・ラインである。
「プロ野球選手はいいなあ、一打席百万円だって！」
「アナウンサーはいいなあ、毎晩、銀座で遊んでるんだって！」
「ぼくたちの時給、あと五百円上げてくれないかなあ」
苦学生の間では、そんな会話がささやかれて居るそうである（汗）。

２０１０年　０７月　１２日　（Ｍｏｎ）　１５時　５４分　１９秒

＊　＊　＊　＊　＊
新聞はそれ自体一つの文化でありメディアですよね。
僕はけっこうＴＶより新聞の方が好きです。
隅々まで読む時間がないのが残念です。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメントありがとうございます！
新聞社が作りだして世に広めた「和製・漢語」なら数知れず、ー
それを作品にたとえれば、日々更新って感じすらして来ます。
ほとんど熟語を覚え込むだけで、国語の時間が終わってゆくような・・・。
論文の方面は、お蔭で見違えるように発達してますが、ー
小説の方面には、さっぱり効果が見えないような感じがします。

新聞記事なら、全部読まなくても、曜日毎に目を通す欄を決めておけば好いかと。
コラムと評論、あとシリーズもの（企画もの）などは、わたしもよく読みます。
雑誌なんかも、その方式で、とても全部は読み切れませんね！
（さすがに斜め読みとかは、しませんが・・・）（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

91）・92）

91）　二双舟。

日本は海に囲まれた島国・・・

しかも地形が複雑だから、舟を抜きには語れない。

いかだ、カヌー。

潮の流れがあるから、その手な舟でも結構、行けるらしい。

彼の出雲なら、季節風と潮流とを見計らえば、ー

日本海を渡って、半島から大陸までも行き来し得たとか。

どうやら、夜空の星、星座を見て、方角を見定めて居たらしい。

それにしても、海路にて心配なのは、食糧である。

舟道具と身体ひとつとで舟出したのでは、いかにも心もとない。

古代にては、もっと水かさが低くて、ー

途中、寄れる小島がもっと多かったのかも？と思いたくなる。

実は、折り紙の品のうちに、

「二双舟（にそうぶね）。」

と名乗るものがある。

これ、カヌーを横並び、二体つなげた形と見える。

聞けば、これが至極安定、少々の荒波にも耐えうるのだそうだ。

こうして、積むものを積み、勇んで漕ぎだしたのではなかろうか。

大船を用いるのは、公式の使いであって、ー

普段は、この「二双舟」を乗り回して、海路、往来して居た予感もする。

折り紙というものは案外、古代のデザインを今に遺して居るのかも？

これも、先祖の智恵かなァ、と、またおもう。

２０１０年　０７月　１３日　（Ｔｕｅ）

＊　＊　＊　＊　＊　＊

聞くところによると、いわゆる「海賊」はこういった小型船で暴れまわっていたそうですね。

小回りが利くので、本当はこういう船の方がいいのかもしれませ

んね。
いや、よくはないですがw

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメントありがとうございます。
カヌーは工夫して熟練すれば、かなり便利な舟となるそうです。
水上・自転車みたいな感じで乗り回して居たのでは？
潮の流れさえ知って居れば、遠路も軽々と漕破して居たかも知れません。
出雲と紀州とが潮の流れの終点なので、この二国が列島・古代の主役とか想います。
あと、地中海（瀬戸内海）の海賊もねw！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

９２）　鬼やんま。

安倍の清明が操りし「式神」の「式」とは「使鬼」の隠し名かと云う。

鬼とは「怨霊」すなわち「もののけ」かと思われる。

もののけを招いて、思い通りに使いこなす術が「使鬼」である。

平安時代には呪術が流行し、多く呪文を唱えたので、さぞ文章も練られた事だろう。

祝詞(のりと)の悪用とも考えられるが、ー

あるいは「志磯島の道」の「志磯」をも、呪文・・・

彼の「使鬼」の隠し名なのかも知れない。

それだけ都にて呪術が流行を極めて居たという事なのであろう。

文字「鬼」といえば、仮名「おに」と訓むけれど、この語源もはっきりしない。

音写の法から推せば、音「オン」＝仮名「おに」なので、

怨霊の「怨」あたりが、まず思い浮かぶ。

怨念、怨霊・・・「怨」が付けば、見るからに「うらみ」と見える。

しかして昔話しなど見るに、鬼とは必ずしも「般若」の形相とは限らない。

むしろ「おに」を和語とみて、
「お・ぬ」＝「お・ん」
この声「おん」から「オン」と聞き取って、ー
のち「おに」と漢音風に音写するに至ったのではなかろうか。
仮名「お」とは「峰」を指すと見る。
峰とは、険しい「山」のこと。
すると「おぬ」とは「山ぬ」
山に住むもののけなら昔話しに「やまんば」という。
あのコワい面したとんぼを「鬼やんま」という。
「おぬ」と「やまぬ」とは、言葉は違えど・・・？
あのとんぼの面を見て居ると、いかにも「鬼」という感じがする。

２０１０年　０７月　１４日　（Ｗｅｄ）

＊　＊　＊　＊　＊　＊
「耳から～」って実は活報からだったんですか？
毎回すごく勉強になっています。
ありがとうございます。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊

聖騎士さん、コメントありがとうございます！
平仮名の表を完全・制覇（意味不明？）するのが念願なので、ー
つい、こんな話しばかりになってしまうんですよ（汗）。
（小説のネタも何か思い着かないかなァとは思いつつ・・）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

93）・94）

93）　200文字小説・一本化。

短編形式のものを削除して「ひとひねり」のみを残しました。
一話完結なので、ジャンル・その他です。
感想およびポイントを入れて下さった方、勝手に消去して御免下さい。
大いに励みになりました。
これからも、ジャスト200文字にて、何かひねってみたいと考えております。
ひきつづき、よろしくお願い致します（平伏）。

2010年　07月　16日　（Fri）

＊　＊　＊　＊　＊

「一本化」

まとめる事はいいことだ。
世の中、複雑な事が多すぎる。
ならば、まとめて一本化すれば良いではないかと思う訳である。
例えば、この目の前にある金属の構造。
これを火であぶり、ハンマーで叩く。
すると、金属は延び、一本の塊になるのである。
こうやって世の中を少しずつ分かりやすくしていくことが、今の世の中には必要ではないか？

そう思うのである。
「お兄ちゃん。ここに置いといた知恵の輪知らない？」
まとめる事はいいことだ。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊
山羊の宮さん、コメントを頂き、ありがとうございます！
削除しないで行こうかとも思いましたが、２００文字の短編がダブるのが個人的にどうしても気になって…。
また気軽に新たな感想などお寄せ下さい。
ジル魔女、好調ですね！
そうか彼女は人間では無いのか……。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

９４）　人工・知能。

知的な遊戯…
チェスに於いては、すでにコンピューターの方が人間より強いと云う。
コマが減るチェスに於いては、終盤へゆくほど、選べる手順が限

られてくるから。
コマが減らぬ将棋に於いても年々、コンピューターの強さが増して居ると云う。
最終形から逆算してゆくという、思考回路。
したがって、ある局面がそのパターンと一致してしまえば、ー
その時点で、最終形へと走りだしてしまう。
そうなれば、もう人間には勝ち目は無い。

まだ四名にて戦う、彼の麻雀に於いては、ー
ハプニングが多すぎて、コンピューターも追いつかないようだ。
中華大陸の皇帝、その後宮の女官たちが無限のヒマをもてあまして、遊びつづけただけの事はある。

あらかじめ、計算が立たないように作ってある訳だ。
囲碁も同様で、人智を越えた手数が生まれるように、どんどん盤目（マス目）を増やして行ったのかも知れぬ。
人智を超えたもの、到底、人智が及ばぬものへ、かえって人間とは挑みたがる。

おもえば、これも、ヒトの本能…
いわゆる性（さが）の一つなのかも知れない。

２０１０年　０７月　１７日　（Ｓａｔ）

＊　＊　＊　＊　＊　＊
人間はコンピュータよりも強い！
と、信じたいところですね。
「マトリックス」のような世界はゴメンです。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメントありがとうございます。
人工知能を搭載したサイボーグというのが、昔から定番ネタではありますが、ー
逆に間違えないという処ろが、対戦相手とするには、不満かも。
（たまには間違ってくれよ。）
人間側としては、そんな気分もして来ます（汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

なるほど、将棋もチェスもできない私は、初めから挑んでないけど。
でも、奥が深い競技なんですってね。
うーん、ハサミ将棋ならできる。

投稿者：河　美子

＊　＊　＊　＊　＊

河美子さんコメントありがとうございます。
はさみ将棋ですか、なつかしいですね！

大きい子が本将棋をしてる横で、幼い頃、よく遊んでました。
男同士だと、つい張り合ってしまうから、覚えるのにも熱が入ってしまうみたいです。
コンピューターは宇宙人みたいなもの・・・
対等のルールで戦うのは反則だと思いますけどネ（汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

95）・96）

95）　日本の昔話し。

昭和五〇年代に、日本の昔話しを紹介する事がブームになって、ー

お蔭で今でもだいぶ覚えて居る。

当時は書籍や雑誌とな商品にも営業マンがあり、ー

家々を訪問しては売って回って居た。

なので、昔話しの絵本なども物置きに何冊か残って居る。

確か「泣き虫太郎」という題とか思うが、ー

それ、ふだんは大人しい、たいそう大柄な男の子が、ー

なにかの拍子に泣きだすと、ー

とんでもない馬鹿力をだして暴れる、というお話しであった。

大雨が降って、川の橋がもろともに流されてしまったので、

「太郎やい、おびえてばかり居ないで何とかしろいっ」

と村の者が勢い任せ、太郎の頭を殴りつけたら、ー

大声あげて泣きだすやいなや、雨の中、外へ駆けて行って、ー
えいやえいやと岩を投げ込んでは川の水をせきとめ、ー
たったひとりの力で、泣いたまんま、橋をかけ替えてしまった。
それが泣きやむと、自分で自分のした事に驚いてしまう。
ーとなオチ。

泣くと、非常な力を出す。
大雨。洪水。
このデザイン・・・
今になって想うと、
（彼、雷鳴りさんの化身かな？）
と想ったりもする。
雷鳴りさんが泣きだすと、大雨を降らす。
すると、雨乞いの際には逆に、雷鳴りさんを泣かせてしまえば好い。
ほぞをかむ。

こう考えると、やっぱりそれ、ー

おまじないとして、本当にやって居たのかも知れない。

噛まれたのは、きっと大柄な、おヘソの大きい男の子だったのであろう。

昔話しのうちに籠もるデザインも、よく眺めれば興味深い。

ちょっと、夢分析みたいな感じもする。

２０１０年　０７月　１８日　（Ｓｕｎ）

＊　＊　＊　＊　＊　＊

その話聞いたことあるような気がします。
昔話って何だか示唆に富んだお話多いですよね。
今のライトノベルなんかよりずっと意義深いと思っています。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメント下さり、ありがとうございます。
囲炉裏が在りし昔なら、昔話しにも息吹きが宿って居たはず。
今はもう、語り聞かすことはなくなり、文章を通して初めて知るくらいなことでしょうね。
小学生の教科書なら、昔話を並べて置いて充分とか思います。
昔を尊ぶのを誰ぞやが「下降史観」とか決めつけて、ー

こういう懐古趣味には、くそみそに言いくさすそうですが、ー
片寄った見方に思えて、なんだか寂しいものがあります。
（昔話しなら、まさしく子供用に練られたお話しですから。）

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

９６）　敬称。

ヒトの名前の下につける＜接尾語＞・・・
これを敬称と言うが、それには色んな種類がある。
「さん」は特別であり、オールマイティだけれど、ー
女性に対して用いるセンスが有る。
「さま」は目上、対して「殿」は目下という。
役場から届く封書には、よく殿と宛て名してあるが、少し気になる。
もとは屋敷のことを指し、男女の別なく「殿」を用いた。
その昔なら、屋敷を構えて居る程な者なら、それ目上に決まって居る。

なので、わざわざ、いうまでも無かったのである。

さらに「君」がある。

これも本来、女性用とみえる。

王が男性、君が女性。

文字「王」とは「斧」、文字「君」とは白木の「杖」をあらわす。

音「シ」たる文字「士」をも「斧」を象って居るから、ー

多分に男性なら「し」と敬称したのであろう。

すると、マスメディアが愛用する「氏」とな敬称をも、ー

もとは、それ男性用とか察しがつく。

文字「氏」とは刀、肉切り包丁をあらわす。

刀を振り回すのは、さすがに男の役目であったろう。

（手に持つと重いし、扱うのに力が要るから。）

こう並べてみると、敬称とは男女・兼用・・・

字面からは、男女の見分けがつきにくい。

むしろ、女性に対して、敬称を遣い分ける風がある。
列島においては、権力者とは女性？
敬称をながめて居ると、そんな予感もする。

２０１０年　０７月　１９日　（Ｍｏｎ）

＊　＊　＊　＊　＊　＊
殿が目下…そう言えば大奥ではそうだったな、なんてしょうもないことを言いましてすみません。
列島においては権力者は女性ですか。
うーん、白いジャケット姿の議員さんを思い出してしまう。

投稿者：河　美子

＊　＊　＊　＊　＊　＊
河さんコメントありがとうございます。
御殿というのが正室を住まわす建て物で、その建て物の名をもって、奥方さまの通称となした風です。
上様といい、殿下と言う辺り、いつの頃からか位分けして遣うようになったみたいです。
遊牧民族にては男性が権力者だけど、ー
農耕民族にては女性が権力者だったのでは？
雨乞いなど祭りの主役ならほとんどが女性であったはず。
男性は汗をかくより他、取り柄がなかったのかも知れません。
術者（シャーマン）が仕切る社会…

そんな予感がします。
（中華大陸の北部は遊牧民族が栄えてましたからね。）

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

手紙の書き方の授業では、近親者には「殿」をつけるって習いました。
教科書の教えてくれない知識、また勉強になりました。
ありがとうございました。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメント寄せて下さり、ありがとうございます。
敬称のニュアンスは時代によりけり…
どれも敬称には違いなく、何かしら付けておけばよいような気もします。
男女の別もコロコロ替わるし、ー
宛て名ならば、もれなく「様」にて通るかな。
（：税務署が殿をつけるので、そのイメージがどうしても…）（苦笑）。
「氏」なんて、名字の下につくものなのに、いまは名前の最後につけますからな（：首捻）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊

97）・98）

97）　法律以前。

日本に於いては裁判が少ない。

裁判沙汰になるような事件とは、よほどな重大事とのセンスが有る。

刑の軽重を問われる。

そんな事件を引き起こすのは、町内の大人衆も手に負えないような、どうしようも無い悪党だけと限られて居た。

お役人の手を煩わす。

そんな仕業をしてのける事は、平民として不遜（身の程知らず）とも考えられて居たのである。

「ひと昔前なら法律以前の処ろでみんな形がついて居た。法の世話になるのは、どうしようも無い悪たれだけやった。」

年配の人が嘆かわし気につぶやくのを耳によく聞く。

殺人事件などが新聞に載ると、それこそ大騒ぎで、治安が良いのを誇りにして居たものであった（何でもアメリカの数字と比較して一喜一憂するクセがあった）。

つまらない人物が大それた悪作などするのをみると、

（身の程知らずにも程がある！）

と、それこそお笑い草になったものである。

「法の世話になる。」

という言い回しも、思えば死語になりつつあるような気がする。

２０１０年　０７月　２２日　（Ｔｈｕ）

＊　＊　＊　＊　＊　＊

一方で、泣き寝入りや、首をくくるしかない事例も多くあったように思える。

どちらがいいかとは一概には言えないような。

失礼いたしました。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊　＊

山羊の宮さんコメントありがとうございます。

わたしは年寄りの話しを聞く機会が多いので、つい今と昔とを比べて観てしまいます。

平民にも誇りがあって、お役人にも誇りがあった。

思い返すと、それは法律の世話にならぬ事と今更ながら思い出されます。

振り込め詐欺など見て居ると、

（共食い。）
という感が物凄く来たします。
悪党以下です。
法律以前の処ろで歯止めを掛ける。
そんな心掛けが欠けて居る表われかと思います。
政治や経済などマクロな議論ばかりが世を賑わして居るけれど、
むしろミクロな状況の方が危機的かと思われます（冷や汗）。
平民としての誇り…といっても、平民という言葉自体がもう死語か知れませんが。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊　＊
裁判制度を見直したりしているのはいいことなんですが、結局法外な（↑ｗｗ）お金を取られる。
弁護士雇うのだって数十万から数百万までかかる。
そんなこと一般庶民には難しいですよね。
確実に勝てる見込みがなければ裁判など起こしてもだれも幸福にはなれないような気がします。
法を守るってお金がかかることなんですよね…

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメントありがとうございます。
アメリカの裁判にては、
「聖書を前にして嘘はつかない。」
という合意が前提となってあると聞きます。
しかして日本にはそういう前提が欠落して居るので、
「判例・吟味。」

との方式に則って居ます。
アメリカ人の偽証と日本人の偽証とは重味が違うのです。
日本の法律家は判例を重んじるので、
「新たな判例を作りたい。」
という独特の趣味を共有して居るとか。
新たな判例が出ると判例集に名が残るので、それを名誉として居る訳です。
なので、時に法廷戦術を駆使して、判例の逆転を図ってみたり、法解釈を問うだけな同様の裁判を何度も起こしてみたりするそうです。
偽証も法廷戦術とな国柄を鑑みれば、判例・吟味の方式のほうが次善の策とも思われますが、ー
新たな判例が生まれにくいという弊害もあり、ー
いまのままでは上手く機能し得ないのも確かですね（：難しい）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
以前と比べて、司法が少しだけ身近になったかなと感じていたもので。
少し論点がずれていました。
すみません。
犯罪、法律以前の話でありましたね。
確かに罪を犯すまでのハードルは低くなったように思います。
自制の鎖、平民としての誇り、がゆるくなっているのでしょうか。
昔と比べて、耐えることが苦手になったのかもしれません。
かくいう私も得意ではありません。
私も今を生きる人間ですから。
ならば、人に問うよりも自身に問うた方が早いやも。
答えは自身の中にか・・・潜るか。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊

山羊の宮さん再コメントありがとうございます。

そう、犯罪・心理を描いたドラマなどは、その実、犯罪・抑止を目的として制作されて居るのですが、惜しむらくは、逮捕された時点で終わってしまう。

肝心なのは、ここからで、逮捕された後、どうなるか、という事が省略してあるせいで、山羊の宮さんが所謂“ハードル”が低くなって居るのだと予想されます。

もちろんそれは知らないに越した事は無く、不文にて良いとは思われますが、ー

何らかの形で事前に伝達したほうが良いのではないか？という気持ちもします（こう発作的な犯罪が増えて来ると…）。

多分にあまりにも悲惨過ぎて読み物になるはずはありませんから、公けの仕事に頼る他はありませんが…。

自分に関わる多数の者を不幸にして、それでもなほ生きて頑張り抜けるような人物が、そうそう世の中に棲息して居るとは思われません。

きっとあとで後悔するものと予想されます。

（第一、世の中そんなに甘くは無いし…）

模倣・犯が出る度びに、

（なんとかならないものだろうか？）

と歯がゆく思います（息）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

９８）　道なき道。

金田一京助「アイヌと蝦夷」の内に、こんな話しが出ている。

太陽暦に替わってから、潮の満ち干しへ興味をもつヒトは失くなったけれど、ー

浜辺の風景を思い起こしてみてほしい。

磯という場は、ふだんは潮に浸かって居るが、ー

これが干き潮の間だけは、地上に露出する。

その間だけは、近道として通れる訳だ。

ただし、もたもたしては居られ無い。

潮が満ちて来たら、沖へもってゆかれてしまう。

時を見計らい、磯があらわれたら、走って其処を渡る訳だ。

こんな磯路を、アイヌ語にて、

［ｗｅｉ－ｓｈｉｒｉ］

と言う。

訳して「険しい・土地」という意味になるらしい。

仮名にて音写すれば、

「わ・しり。」

である。

ここから、

「わしる」＝「はしる」

という動詞が生まれでたらしい。

地震の際には、磯のみならず、渚の潮まで遠く干いてしまう。

なので、海辺はおろか海底まで走り抜けることができる話しとなる。

もっとも、びっくりしてる貝や逃げ遅れた魚を拾らうのに、みんな夢中になってしまうらしいが。

ただし、この珍事は大地震の後に起こり、ー

それ、大津波の前触れなので、ー

早く岬まで取って返さないと、もれなく海の藻くずと消えてしまうとのこと。

彼の旧約・聖書にある、

「海が裂けて道なき道が現れた。」

との伝説とは、

（もしかこの津波の前触れとして起こる現象を指すものか？）

と想ってみたくもなる。

２０１０年　０７月　２３日　（Ｆｒｉ）

＊　＊　＊　＊　＊

ではモーゼは地震予知をしたということでしょうかね。

毎回午雲さんの活報はタメになります。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊

聖騎士さん早速コメントありがとうございます。

何時の地震だか、井伏鱒ニのエッセイに、この大干潮の話しが記してありました。

（もちろん拾らひに出た村人は全員、行方知れずになったそうです）

（合掌）。

もしモーゼが予期して居たのなら、まさに“千載一遇”のチャンスを生かした！という処ろでしょうね（超ラッキー？）ｗ

投稿者：午雲

*

*

*

*

*

*

99）・100）

99）「耳から」第九十段・更新。

以前、過去の助動詞「き」について仮説してみましたが、ー
もちろん、今でも考えつづけて居ます。

とりあえず、彼の複雑・怪奇な活用形の表は誤って居ると思います。
（彼の「あり・き。」の「き」なら「確かに…」という意味の接助詞？）

漢文詠み下しの技とは後から生まれしもので、ー
初めは、原音そのままに吟詠せしものとか。

和歌における五・七調のリズムとは、子供の遊び・・・
わらべ唄から生まれ出たような予感もします。
（何か身体を動かす際には歌に合わせて行なうのが、古への慣わし。）

和語の「か」のうちに、たまたま、文字「可」の意味合いも含まれて居た。
同じアジア人だけに、そういう偶然もあって当然とか思われます。

または、漢詩に親しむうちに、いわば真似して「可」が入り込み、ー
知らぬ間に世へ定着したのかも。

古過ぎて、もはや見分けは着きませんが（玉汗）。

２０１０年　０７月　２４日　（Ｓａｔ）

＊　＊　＊　＊　＊

過去の助動詞については興味深い研究・考察がたくさんありますよね。

日本語ってほんと奥が深い学問です。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメントありがとうございます。

今の時代、データ・ベースを作れば、共同研究も可能だと思うけど。

そういえば、古典の教師は、作品の鑑賞ばかりして、細かい所は巧く通り過ぎてましたw。

文脈で時制を覚とる。

そんな作法のような感じもします。

助動詞「けり」も、尋ねられたら困るでしょうね？

（・・いかにも文語？）

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１００）　意味合い。

辞書をみれば分かる通り、一つの言葉には、たくさんの意味が含まれて居る。

音節が短い言葉ほど、そう成りゆく。

日本語は、ながらく文字と無縁な＜耳言葉＞であったから、ー

この手な、意味・多様なる単語が多い。

会話して居ると、聞き手が意味を取り違え、誤解を招く際がよくある。

そこで、工夫して、

＜同じ意味の言葉をつなげて、音節を長くする。＞

という事が、昔から行われて来た。

「同意・接続。」あるいは「同格・接続」と（我流にて）仮称して居る。

仮名「し」壱文字では、意味は星の数ほどあるけれど、ー

それに「か」をつける。

仮名「し」＝「値する。」「釣り合う。」「ふさわしい。」

仮名「か」＝「値する。」「釣り合う。」「ふさわしい。」

両者をつなげて「しか」という耳新しい言葉を造りだす。

形容詞の活用語尾「しく」とは、この「しか」から来て居よう。

同じ意味合いたる「し」と「か」・・・

この二つを並べることで、

「値する。」

という意味を強調し、特定して居るわけだ。

彼の「ひと・しく」なら、もと「いと・しく」かも。

仮名「いと」＝「大いに」。

これ、強調の副詞である。

「いと・しく・思う。」＝「たいへん・ふさわしく・思う。」

こう読むと、それ目上の者が口ずさむべき言葉なのかも知れない。

「すごく似合いのカップルだと思うけどな、わたしたちは、ー。」

いとしく思う。

なるほど、口説き文句には、違いない。

２０１０年　０７月　２５日　（Ｓｕｎ）

＊　＊　＊　＊　＊

なるほどとしか言えません。

奥が深いですね。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメントありがとうございます。

「しくしく泣く。」の「しくしく」も気になってるんですけどね。

（：誰が発明したのかな？）

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

人生は３６％の涙と、６４％の笑顔でできているといいます。

４×９＝３６（しくしく）

８×８＝６４（ははは）
まさかここからではないと思いますがｗ

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さん再コメントありがとうございます。
演劇の台詞か漫画の擬音語っぽいですね。
いや、年の数なら九九で言う例も。
「いくつだい？」「にっぱちです。」
こう来たら、相手は十六歳。
（もう三十六、三十六・・・）
何も泣くほどの事も無いのに・・・（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１０１）・１０２）

１０１）　勇気。

南の島…
ポリネシアの人々の暮らしぶりには大いに興味がある。
赤道直下、常夏につき、我々から見れば、なんとものんびりして見える。

しかし、ヒトが住む処ろ、かならず人間世間は在るわけで、ー
彼らの世間における勇気の示し方とは、
「航海。」
にあり、と云う。

いかだ舟で大海原へ乗り出して、遠くの島まで行って来る。
その証しとして、なるだけ大きな岩石を、いかだに積んで帰って来る。

岩山が占める島などにヒトは住め無い。
なので、そこは自然とに無人島と化すのである。
（飢え死にするから。）

行きはよいよい、帰りはこわい。
まさに命懸けなのだが、その代わり、その大岩は島世間にて、
〈通貨〉
の役目を果たす。
勇気の賜物として、半永久的に特別な価値を賦与される訳だ。

昔のマンガ「ギャートルズ」に於いて、ー
持ち運びには不便な大岩が原始の通貨として登場して居たけれど、ー
アレもあながちデタラメという訳では無いようだ。

２０１０年　０７月　２６日　（Ｍｏｎ）

＊　＊　＊　＊
今も儀式的に大きな石貨を使っているところは、結婚式など、特別な儀式のときに使うって言っていたな～
結婚のために作って、納める伝統行事。
単なる石がもつ、価値ですね……

投稿者：？まいまい@ノ”

＊　＊　＊　＊
まいまい@ノ”さん、コメントありがとうございます。
石貨とは勇気の印…
いまだに行われて居る処ろが何とも凄いと思います。
しかし鮫とかウジャウジャ泳いでるはずなのに…
指輪造る方が確かに楽で良いかも（：男にとっては）（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１０２）　達成感。

ここ、なろうに於いては、
「ゲーム・ファンタジー」
が花盛りだ。
わたしなども「ドラゴン・クエスト」や「ファイナル・ファンタジー」にハマッた一名なので、ー
その世界観に浸るコトはできる。
今になって振り返ると、ロール・プレイングに於いては、
「達成感。」
を味わうコトができた。
なにか、とんでもない大仕事を成し遂げたような感動が胸のうちを満たしたものだ。
熱中するあまり、バイトに遅刻して、よく怒られたものである。
しかし友人がみな社会へ出てしまうと、誰もゲームの話しなどしなくなる。
「裏技みつけたぞ。」
「それがどうした。」
とな調子である。
すると折角、クリアしても、ちっとも達成感が味わえ無い。
今はただ、その種の小説を読んで、若き頃の気分を懐かしむだけなコトである（溜め息）。

２０１０年　０７月　２７日　（Ｔｕｅ）

＊　＊　＊　＊

このサイトにおいて、達成感といえばやはり投稿した時の達成感であろうか？

うちの話もそろそろけりがつきそうである。

終わりは始まり。

一つ作品を完結しても、まだまだ他に書かなくてはいけないものが多くあるようにも思えるし、逆に一切書く必要もないようにも思える。

頭の中の映像を文章に書き起こせる力がもっとあれば、楽になるだろうにと思う。

できれば、難しい言葉を使わずに、伝わりやすく、楽しければなおよい。

破壊と創造が対をなすように、達成感と対と成すは飢えであろうか？

私は一体何に飢えているのだろうか？

そんな事をつらつらと。

失礼いたしました。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊

山羊の宮さんコメントありがとうございます！

ティナとジルとの戦いに果てしがあるのでしょうかw？

しかしゲームをしてて不図、思い浮かぶのは「病みつき」という

言葉です。
達成感にも中毒性？がありそうですね。
でも文章なら勉強になるから、一生の趣味にしても好いのでは？
（色々と応用が利きそうだし。）（たぶん）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

１０３）・１０４）

１０３）　簡字？略字？

一連の漢字を覚え込む。

それを難しいと思うのは、いつの世も同じ。

本家の大陸に於いては、すでに略字を般めつつある。

なるだけ画数を少なく為すのが、その狙い。

列島人が彼の街の看板を見たとて、すぐには読めない位だ。

もっとも、日本の漢字に於いても、知らぬ間に略字なら紛れ込んで居る。

この由縁とは、黒板へ白墨にて書き書きする手間にあるらしい。

明治以後、和製な漢語が増えて、板書が大仕事と化したのである。

至る処ろ漢語だらけだから、まともに書き並べて居ては、キリが無い。

そこで、その場限りな例外として、

「板書用の略字。」

という代物が、次から次へと発明されたのである。

かつては、ノートを清書して、略字を正字へと直したものだが、ーそれらしき略字なら、いつしかそのままに使い回すように為った。もはや本字の方が忘れられ、略字の方が世に定着してしまったのである。

「国」とか「仮」とか、本字と見比べてみると、なかなかに面白い。

この略字を用いる方便・・・

いわゆる「慣用」なら、今のみにあらず、昔にもあった。

「金」の字を書くのが面倒だと言うので「今」の字へ替える。

なので、将棋に「今」と文字せし駒が見つかる。

これ、どちらも読んで「キン」だからである。

呼び名たる「きん」が分かればソレで好いので、文字の如何など気に留めない。

より画数の少ない文字の方が、誰の目にも、親しみ易かったのであろう。

いかにも、耳伝て、口伝て言葉・・・

そんな在りし日の風景を、遠く想わせもする。

２０１０年　０７月　２９日　（Ｔｈｕ）

＊　＊　＊　＊　＊

話せればいい。
伝われればいい。
普段使いに言葉とはそういうものである。
だからなのか、文字を持たない文化というのも多くある。
植民地化、文化の流入。
廃れていく文化を歯止めするためには言葉を残さなければいけない。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊

山羊の宮さんコメントありがとうございます。
漢字の創始に関しては、占い用とか言われて居ますが、ー
もしかすると異民族と遭遇して、絵文字でもって筆談？する必要が生じたのかも知れません。
お互いにデザインを覚えておけば、仕草よりかは間違いが無いですからね。
実際、母国語に民族のアイデンティティを求めるのは、世界史にては当たり前の事…
日本も自覚的にそう振る舞ってほしいものです。

（母国語は、あらゆる学問の基本である。）
と、わたしも常々、思って居ます。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１０４）　道草。

道草を喰う。

これ、寄り道することであり、今でも遣う。

昔は道と言えば土盛りするだけ、舗装などして居なかったので、ー

道端には、雑草が生い茂って居た。

これを馬が食べだすと、しばらく休憩というコトに成るのである。

土がむき出しなままだと、何より埃が凄い。

そうして雨の日には、ぬかるみに難渋する。

コンクリートやアスファルトで舗装してある道が、どれほど快適

なものか、ー

今となっては、当たり前に過ぎて、想像もつかないであろう。

漱石は明治の東京を好んで描いて居るけれど、ー

当時は未だ、この砂埃とぬかるみとに悩みつつ日々、過ごして居たのである。

寄り道と謂えば、

「油を売る。」

という言い回しもあるのだが、ー

油売りが何故、寄り道という意味合いと為るのか、もうひとつ分からない。

彼の斎藤道三が油売りにて名を売ったと伝わるが、ー

その事と、何か関係があるのだろうか。

２０１０年　０８月　０４日　（Ｗｅｄ）

＊　＊　＊　＊　＊

昔の油は粘度が高くて、注ぐのに時間がかかった事から転じたみたいですね。

投稿者：神村律子

＊　＊　＊　＊

神村さんコメントありがとうございます！
あ、瓶詰めじゃなかったから、買う方が入れ物を持参して買ったんですね。
菜種油？ろうそくのろうみたいな感じだったんでしょうか。
それだと買いに来たほうも買うまでに時間が掛かったはずだから、
「今になるまで何処で油買ってたんだい？」
とか言っても良さそうな感じだけど。
（あまり足しにならぬ副業に精をだす、とな含みかな？）
いや、お知らせ感謝します！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

すみません、説明不足でした。
当時の油売りは「訪問販売」でした。
だから「油を売る」になったようです。

投稿者：神村律子

＊　＊　＊　＊

神村さん補足下さり、ありがとうございます。
あ、露店じゃなくて訪問ですか。
すると、口実を設けて誰か知り合いの宅で話し込む。
そんな当てつけなのかな？
なるほど、道草とはちょっと意味合いが違うみたいですね（う～む）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

１０５）

１０５）　原爆。

軽々しくは書けないが、原爆を投下された事、それは歴史的事実に違いは無い。

経緯として、受けなくても済んだはずな被害であったと悔やまれる。

まず、第二次世界大戦に於いて、米国は当事者では無かった。

英国の同盟国、唯、それだけに過ぎない。

彼の戦争とは欧州の覇権争いであって、ー

米国や日本が首を突っ込むべき騒ぎでは無い。

独国の暴走によって、ユダヤ人の難民が発生し、彼らを米国が受け入れた。

本来、原爆とは独国に対する報復として準備されたものである。

しかし指導者が自殺して、間に合わなかった。

もはや大義名分を失ったからである。

独国が降伏したのに、当時の日本は、なお粘って居た。

沖縄戦にて、米兵を二千人余り殺した。

風船爆弾が落ちて、米国市民を五、六名殺したと聞く。

これにマスコミが怒って、

「米国軍人および市民を殺害してのけた日本へ報復せよ！」

と、猛然とキャンペーンを起こしたと云う。

その結果が、原爆の投下なのであった。

ユダヤ難民と同等、あるいは、それ以上の虐殺を被ってしまったのである。

原爆・投下の陰に、マスコミあり。

よく忘れ去られるけれど、心しておくべき歴史的事実ではあろう（合掌）。

２０１０年　０８月　０６日　（Ｆｒｉ）

＊　＊　＊　＊　＊

実際、日本側も、マスコミがあおって（そのほうが売れるから）、ああなったというのを、どこかで聞いたことがあります。

投稿者：？まいまい@ノ”

＊　＊　＊　＊　＊

まいまい@ノ”さん、コメントありがとうございます！

戦時中の新聞なら、まだ保管してあるみたいですね。

当時の日本はめぼしい産業が無くて、軍需・産業が壱大産業と化して居たとか。

なので、海外の戦争にもすすんで首を突っ込んで居たようです。

当時は、マスコミの流す情報に対して”免疫”が無く、扇動も容易・・・

・・むしろ予想以上の効果を及ぼしてしまったみたいですね（冷や汗）。

情報を受け取る側にも、取捨選択の能力を養う義務があると思います。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

戦争はフィクションの中だけでいい。

奇麗事だけど、そう願う。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊

山羊の宮さん、コメント下さり、ありがとうございます。

実際、二度の大戦に於いて、ー

戦場と化した欧州の戦死者の数は、空恐ろしいものがあります。

通常兵器を用いての戦闘の方が、内実は、空襲よりもむごたらしい様相を呈するとか。

彼のベトナム戦に於いては、ー

勝って帰還せし米兵のなかにも、心的後遺症に苦しめられる者が続出したとか。

戦争とは、まさに、この世の悪夢です（冷や汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

私が広島に住んでいた頃、原爆ドーム側の共立病院に姉が入院しました。

その時同室だった二人の老婆が窓から見えるドーム前に流れる川を見て、当時の事を語り合ってました。

「眺めが良くなったね。ここも」

「昔は酷かったものね」

「うんうん。特に戦時中は最悪じゃった」

「被爆した人々が押し寄せてたもんね」

「結局そのまんま死んでいって、川の水が見えんようになるくらい、死体の橋が出来とった」

「あちこちの道が壊れた建物や火で塞がっとったけぇ、その上を渡

るしかなくての」…

その会話を聞いてて、生き証人同士が普通に交わす体験談だけに妙にリアルで、ゾッとしたのを今でもわすれません。

よく学生達に講演会したりするけど、あの時ってどこか教育的な話し方だったりするから、ピンとこないんですよね。

でも、こうして世間話の様に話されると、凄く身近に感じた。

今での広島の川の底には回収しきれずにいる人骨が眠っているのが、現実です。

夏になると、その川で泳いだり水上スキーをしてる若者がいて、その拍子に骨が発見される事は珍しくありません。

被爆当時燃えてなくなった木造の小学校を復興時にコンクリートにそのまま同じ場所に建築したらしく、私がいたときにリニューアルする為に工事に入りました。

するとそこの運動場から遺品や骨などが泉の様に湧いて出て、ニュースになってました。

決まってこの時期の広島は毎年、裸足のゲンのアニメが放送されてます。

近所に住んでいた私は、平和記念公園に散歩するのが日課で、今でもお気に入りの場所のひとつです。

でもそれを思うと、硫黄島に至ってはほとんどの日本兵がそのまま埋まっている辺り今やもう、鎮魂島とも言えるかも知れませんね。

投稿者：妃宮　咲梗

＊　＊　＊　＊　＊

妃宮さんコメント、サンキューです。

歳が行くと善い事も悪い事もまとめて忘れてゆくものですが、ーあの日の事があまりにも強烈過ぎて、記憶が固着してしまってるんでしょうね。

風景は替わろうとも、焼け跡は地層となって残るのです。

何千年経とうとも、その遺跡が消え去る事はありません。

「はだしのゲン」は、わたしも小学生の頃、読みました。

（当時は夢に出て困った記憶があります。）

・・思い出してしまった（寒）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

どこかのおバカな元空幕長が、「広島の平和式典には、左翼しか集まらない」と同じ原爆の日に講演したと聞きました。

何を考えているのでしょうね？

投稿者：神村律子

＊　＊　＊　＊　＊

神村さんコメントありがとうございます！

「原爆禁止。」＝「反米。」

かつて、これを旗印に左色が暴れ回って居た事は事実ですが・・・

・・もはや古い図式と言って好いでしょうね（苦笑）。

核兵器は対人兵器たり得ないと心有る者なら誰しも思い知るはず。
（・・勉強し過ぎると当たり前の事柄が分からなくなったりするものです。）
今は唯、慰霊の気持ちが有るのみです（合掌）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１０６・１０７

１０６）　漫才。

漫才はテレビ番組でよく観て居た。

正月や盆、年の節目には漫才を流すのが恒例で、ー

家族みんなして、テレビの前に集まったものである。

落語なら話しの枕以外、オチは決まって居るけれど、ー

漫才なら時事からネタを練る。

型が無いという意味では、気楽だし、楽しみもあった。

なので、本当に笑える処ろでしか笑わない。

一発勝負なのだ。

今は笑い屋が後押しするのが普通だが、当時は、そんな生易しくは無かった。

漫才師にも作法が有った。

それは何かギャグを言った時、当人たちは決して笑わないというコトだ。

ここで笑いを洩らしてしまうと、

「あちゃ、この漫才師、まだまだ青いね！」

などと、年配の者ならすぐに眉をしかめたものだ。

毎年観て居るものだから自然とに目が肥えて居るのである。

当時は笑いごとなど口にすると、

「はしたない。」

とか、

「ふざけている。」

とか叱られたものだ。

大人のみならず、子供にも、そんな雰囲気があった。

なので、日頃、笑いに飢えて居るような処ろもあり、ー

たまの落語や漫才やが世に喜ばれたのであった。

（世間全体がガツガツして居て、余裕がなかったなァ・・・）

と、今になって思い出す。

それでも、のっけからちっともウケない時もある。

そんなとき、漫才師は急に間を空けて、

「あのね、お客さん・・・ここ、笑うトコなんですけど・・・」

泣きそうな顔をして、こう言うのだ。

これには、きっと誰もが苦笑いしてしまう。

なので、壱日に一回は、必ず笑いが取れるように為って居るのであった。

２０１０年　０８月　０８日　（Ｓｕｎ）

＊　＊　＊　＊　＊

なるほどｗ

「苦笑い」も「笑い」には違いないですもんね…

あれ？

今何かひらめいたような…

ちょっと自分の世界に戻ります。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメントありがとうございます！

「ここで笑わな：もう笑うトコないよ？」

なんて今でもしょっちゅう使い回して居る芸人が居るけど…

あれは奥の手で、なるだけ使わないようにしてほしいですね（汗）

。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

高校時代、芝居の間の取り方の練習になるとして漫才を少ししたことがある。

やってみるとなかなかに難しかったことを覚えている。

笑いも・・・ムズカシイ・・・

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊

山羊の宮さんコメントありがとうございます。

演劇もまた難しいですね。

新劇だと、お話しの筋がよく分からないままに終わってしまうから、観て居て寂しいです。

漫才も若手だと、間違わないように言おうという気持ちが強すぎ

て、掛け合いという感じが薄れてしまう。
それだけに、何度も客席の目に掛けて、生の反応を確かめてやらないと、いきなりはキツイかと。
今日頃は客席の反応が良すぎて、かえって勘違いをひき起こしてる感じもします。
（おもろない芸人が多くなってきたような…）（う〜む）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１０７）　電話。

メール言葉には非常に興味が有る。
初めてこのサイトへ来た時、中学生の詩を読んで、大胆な行空け・・・
スクロールの多用に、まずビックリした。
文書スペースを＜画面＞として用いてある。
この発想は、もちろんわたしには縁の無いものだった。

活字本なら＜紙面の節約＞という心配が先に立つ。

スペースを”行”として捉えるコトはあっても”面”として捉えるコトは無い。

ちょっとカルチャー・ショックが来た。

悲しいかな、わたしは携帯・以前の様子を知って居る。

初めは、ポケベルであった。

専用のサービスで、連絡が入ると呼び出し音で報らせる。

それだけだ。

しかも、その音というのが、けたたましい非常ベルの音であった。

「ジリリリリリ・・」

鳴りだすと、もう鳴り止まない。

公衆電話をさがして、こちらから連絡を入れるまで、はた迷惑も甚だしい。

そんな代物だった。

そのポケベルが進化して、非常ベルが何かメロディと為り、ー

小さな画面が付いて、数字だけは送れるようになった。

至って無愛想な業務用だったのが、少しだけ電話へと近づいたのである。

数字の語呂合わせが流行ったのも、この頃だ。

着信拒否の頭数字１８４（いやよ！）も、ここから来ている。

ところが、そんなポケベルのブームは二年ほどですたれて、ー

いよいよ、携帯電話の登場となった。

もっともクルマに積む電話なら以前からわずかには在って、ー

これを＜移動電話＞と称んで居た。

桁違いに高級、高額で、いわゆるセレブ・御用達の品であった。

初め、メール文は、雑誌の文体を真似て居たと思う。

彼の（笑）や（汗）は、座談会の記事にて昔、誰だかが発明したものだ。

それが、何十年の時を経て、一躍、世間の役に立ったのである。

（発明した当人は今頃、特許権を思って悔しがって居るかも知れない。）

携帯にてメールを初めてやりとりした人々は、

＜メール＝手紙。＞

と、どうしても思ってしまう。

しぜんとに、改まった気持ちになって、書いてしまうのだ。

わたしなども、いまだにそのクセが抜けない。

気が付くと、時候のあいさつから始めてしまう。

（堅苦しいとよく怒られる。）

字がキレイなコトだけが取り柄だったのだが、ー

もう誰も信じては呉れないだろう。

（・・見せようが無いし）（吐息）。

２０１０年　０８月　１１日　（Ｗｅｄ）

＊　＊　＊　＊　＊

今やメールで告白、別れ話が主流ですからね。

電話以前にｗ

直接会って…　っていう人の方が珍しいぐらいです。

嘆かわしいことですね。

ケータイ小説サイトに行って、ぜひ読んでください。
カルチャーショック受けまくりですよｗｗ

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊

聖騎士さん早速コメント下さり、ありがとうございます！
う～む。そうなると何か「源氏物語り」と似た様なものがありますね？
文や和歌をやりとりして、会う前から恋をしたという・・・（苦笑）。
まあ、文通・欄なんてものは、昔の少年・少女雑誌にも必ず在って、ー
なかには、それをきっかけに恋人同志になるためしもホントに在ったそうですが・・・。
・・別れが手紙？一本というのは、確かに不人情ですね（汗）。
ケータイ小説サイト、まだ行ったコトないんです（勇気不足）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

かるちゃーーーーー、ショッッッック！！！（意味なし）

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊

山羊の宮さんコメント寄せて下さり、ありがとうございますｗ
いや、ホントにカルチャー・ショックを感じましたよ！
Ｆ・Ｆの作品をのぞいてみると、地の文が無いままに終わってるし。
（それでもみんな誰の台詞だかちゃんと分かってて、ー）
（矢継ぎ早やに感想が殺到してるんですからｗｗ）
・・ちょっと地の文が多過ぎるかな？と思ったり（・・疑心暗鬼）
。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

こんにちは。はじめまして。

確かに、物心ついた時からインターネットが普通にある世代の発想は、私（達？）のような世代とは非連続的な部分がありますね。非常に興味深いことです。

メールで時候の挨拶しないのは、帯域が貴重であったために少しでも通信データ量を減らそうという意識があったインターネット黎明期の名残りだと思います。結果、今時は時候の挨拶をしないことが普通（怖い言葉です）になってしまったのでしょうね。残念なことです。

急ぎでない事柄についてはいっそ手紙にするなど、使い分けることも素敵なことだと思いますよ。

投稿者：ｓａｍ．ｓｐａｄｅ

＊　＊　＊　＊　＊

ｓａｍ．ｓｐａｄｅさん、初めまして、コメントありがとうございます。

そう、電子メールとかだと当初、壱文字何円とか言ってましたっけ（電報式で）。

印刷の文字ですら、ハガキなら無愛想に感じてしまうくらいですからね（苦笑）。

直筆の手紙というのも、こうなると、かえってうれしく思えるか知れません。

（内緒にできない処ろがメールとの差かな…）

いま思い出すと、なつかしいです。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

108）

１０８）　日記。

小学生の頃は、日記をつけて居た。

学校の宿題だったから。

中学生になると、何か面白い事件があった日だけ、記すようになった。

小ネタ集めの始まりである。

しまいには書くのが面倒になって、残らず捨ててしまった。

頭のなかに日記をつけておく格好。

詳しくは思い出せないが、何かの拍子に、ぼんやり浮かんで来るコトがある。

聞く処ろによると、日記をつけ続ける趣味・・・

これがまた、日本人に独特のものらしい。

若くして有名人にでもならぬ限り、海外の人なら子供の間に止めてしまうとか。

（きっと日本人は文章を練るのが好きなんだろう。）

とか思ってみたりもする。

彼の有名な「アンネの日記」も、ー

アンネ、彼女がまだ少女だったから、ああして世にのこったものと思われる。

舞台ならオランダ・・・

オランダ人もやっぱり、大人になると日記をつけなく為るそうである。

２０１０年　０８月　１４日　（Ｓａｔ）

＊　＊　＊　＊

活報はある意味僕の日記ですｗ

そういえば「ブログ＝日記」と謝った認識が世に蔓延っているけれどー

「ブログ」とな、

「ウェブ＋ログ」の略造語でありー

つまり「ネットの」「記録」が本来の意味である。

毎日記録をつけるー

それとな日記に共通する考え方で、
日本人には受け入れやすかったのだろう。
「耳から草子」風に書いてみましたw
ありがとう！w

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメントありがとうございます！
うん。確かにこんな感じかもw
（平常心、平常心・・・）
と胸のうちに呪文を唱えてから書きだすと、こんな風に変わります（照笑）。

そう、ログ解析とか言いますね？そういえば・・・。
カササギが、ブログに当たるのかな？
「ログ＝データ」
とみれば、
「文書データ」＝「ユーザー・ログ」？
じゃあ、ウェブ・日記は「ザーログ」ですか？
（なんかメカの名前みたい・・・）（汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
×「謝った」→○「誤った」
お恥ずかしい／／／
おりおん☆行ってみましたか？
カササギは自分でつける記録ではないので、ブログとな言わないかもしれません。
「日記」は「ダイアリー」ですね。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さん再コメントありがとうございます。
あ、自分でつける記録が「ウェブ・ログ」ですか。
確かにダイアリーという言葉は、あっても、もうひとつ馴染みがありませんね。
（ダイア→ダイヤって聞こえるし…）

あのおりおんの雰囲気は、見るからに男子禁制という雰囲気…
投稿するのにも勇気が要るんでしょうね？
（それだけでも凄いと思います…）
…読むだけにしよっと（赤面）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
じゃあせめてファン登録してくださいｗｗ
あそこでは荒らしに遭って以来、ブログは書かないようにしてるんです。

交流は感想欄以外ではまったくしていません。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊

え？おりおんでもアラシがあるんですか（焦）。
ランキング・マニアって、ゲームだけじゃなく、小説にもうよう
よ居るんですね？やっぱ
（ムダに熱い：）。
まあ、野球でもレギュラー枠をめぐっての争いは熾烈とか聞きま
すが、あんな感じでしょうか？
それだけ注目されてるってコトかも知れません（う～ん）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

私も中学生の時に付けていた日記を、大人になって掘り返して読
んだら、罵詈雑言に憎悪、呪いの雨嵐で、とても禍々しい怨念を放
っていたので浄化すべく焼き払いましたｗｗｗ。
「親父殺害計画」に至ってはもはや日記ではなかったｗｗｗｗ。
面白すぎて笑い転げたけどｗｗｗｗｗ。

今は付けてません。
証拠を残すのが嫌なので（何の？ｗｗ）。
「過去は過去より美しい」たる名言がありますが、私にとっては「
過去は過去よりも醜く臭い」ですから（苦笑）。

投稿者：妃宮　咲梗

＊　＊　＊　＊　＊

妃宮さんコメントありがとうございます！
日記って、目的意識が薄れて来るから大変ですな。
（見られたら困ることもいっぱい書いてしまうし…）
ホント“過去を抹殺する”とな気分がしました。
生ゴミの袋に混ぜて捨て去る時にはー（遠い眼）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

そして、日記をつけない日本人も、ただつぶやくというかたちの、どんどん記憶から消えていくような記録（ツイッター）が、増えていくんですね……

……む。
なんだかんだいって、自分は、人生の3分の1はネット上に日記（ブログ含む）を書いているんだな～と、思い返してみる。
高校生くらいから書き始めた紙媒体のを含めると、人生の半分くらい日記を書いているのか……

小学生のころは、日記ではなくて、迷路ばかり書いていた。
小学2年から中学1年まで迷路を書いたノートが十数冊、実家にある（笑）

投稿者：？まいまい@ノ”

＊　＊　＊　＊　＊

まいまい@ノ”さんコメントありがとうございます！

迷路ですか。
うむ、確かにあれは幾何学模様…
前衛絵画？に通じるものがありますな。
モノに執着を示すのは考古学者の特徴だ。
そんな文句が「マスターキートン」のなかにあったのを思い出しました。
なにくれなく記録をつけておきたくなるのも、考古学者の素質の現われかも。
（どなたか御先祖に考古学者は居られませんか？まいまいさん）（推理）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
モノに執着するのは、考古学者の素質というよりも、単に、モノを収集する癖がある人が回りに多かったからだと思います（笑）
今思い出すだけでも、切手収集の人、食玩収集の人、仮面収集の人、土器のかけら・矢じり収集の人、鉱物収集の人……の、家に遊びに行ったり、逆に家に来たりしていましたから……

投稿者：？まいまい@ノ”

＊　＊　＊　＊　＊
まいまい@”ノさん再コメントありがとうございます！
（将来、何か価値がでるかもしれない）
そんな思いがして、なんでも分類・収集・保管してしまう習性が考古学者にはあるとか。

う〜む、それだけそろうと奇観ですな。
（仮面収集家って、まさか秘境まで出掛けてゆくとか…）（空想）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

将来や今の価値の有無よりも、分類・収集・保管に価値を見出しちゃうのが考古学者かもしれませんね。

仮面は、どこかの店で買っているのが大半だとは思うのですが……自らの手で、アフリカに行って手に入れたものもありそうです（空想）

薄暗いアトリエに安置されている大小さまざまな仮面は、少し怖いですよ……
今の時期、肝を冷やすには、ぴったりです。

投稿者：？まいまい@ノ”

＊　＊　＊　＊　＊

魅せられる、というやつですね！
わたしもこれまで変わったモノをあれこれ収集した覚えがありますが…
熱がさめて、いま考えるとなんだったんだろうと思います。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

日記はタイプの練習になると聞いたので、書こうとしたことがある。

けど、初日に挫折。

書くことない。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊

山羊の宮さんコメントありがとうございます。

そう、やはり記念に書いておくというのが、よくあるパターンかな？

毎日が記念日にしたいような日々なら最高ですけどね（：書くヒマなくなるか…）（汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１０９）・１１０）

１０９）　音符。

漢字とは＜甲骨文字＞から発して居るけれど、ー

当時の音（オン）となると、本当の処ろは分からない。

たとえば、彼の「易姓・革命」・・・

その際に、音を替えて居るかも知れない。

すべては口承に則っており、

（たぶん、こうだろう。）

とな推定に過ぎないのだ。

現に、大陸、半島、列島・・・

文字は同じくしても、その音には民族によって異なりが有る。

音楽の楽譜みたく、音符が在ったわけでは無いから、ー

極く古い文字、基本字となると、音韻さだかならぬものが在る。

（殷の時代にも、日本語みたく”仮名”があったら・・・）

時々、そんな空想すらしてしまう。

（・・わからないからこそ尽きせぬ興味が湧くのも確かだが・・・）（汗）。

２０１０年　０８月　１６日　（Ｍｏｎ）

＊　＊　＊　＊

音符も漢字と同じ記号ですからね。

そこに何らかの意味を見出すのは人間にしかできないことですね。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊

聖騎士さん早速コメント下さり、ありがとうございます。

そう、文字も記号とみなせば、意味合いが時に応じて変わってゆくのも当然かも知れませんね。

ましてや音なんて本来、表しようが無いのだし…。

（知らなければ、ただのオタマジャクシですもんね、あれ・）（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

室町時代の謎々に、
「母には二たび会ひたれども、父には一たびも会はず」
というのがあるそうです。
その答えは……、「唇」です。

えっ、「母」は「ｈａｈａ」で唇はくっつかないじゃんとお思いでしょうが、この謎々から、当時は「母」を「ｐａｐａ」と発音していたのだと推定されるのだそうです。

って話を思い出しました。

投稿者：ｓａｍ．ｓｐａｄｅ

＊　＊　＊　＊　＊

ｓａｍ．ｓｐａｄｅさんコメントありがとうございます。
その謎なぞ、興味深いお話しですね（うむむ）！
破裂音（丸つき）は清音に直して記しますからね☆
ただ、は行の声には濁音「ば」もありますからね…（もしか婆さまかも？）（冷や汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１１０）　週間・ユニーク・アクセス。

蚊がうるさいので、夜中にツイッターを読んで居たら、

「週間・ユニーク・アクセス。」

の順位に基づく検索・機能が付いたとの事。

以前、日別アクセスの順位が表示してある時には、よく利用したものだが、ー

あちらは瞬間風速・・・

今度は週間だから、人気度の上で、より信頼性が置けるのかも。

（また検索の楽しみが一つ増えたのであった。）

２０１０年　０８月　２１日　（Ｓａｔ）

＊　＊　＊　＊　＊

見ました。

上位の数字がとんでもないので、もう二度と見たくないですね。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊

聖騎士さん、コメント頂き、ありがとうございます！
週間ですから、週によっては順位に変動があるのでは、ー？
ちょっとザ・ベストテンみたいで楽しみです。
（今週の第一位は―っ）（声・久米宏）（：化石）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
そうなんですか。
いろいろとあるんですねえ。

投稿者：河　美子

＊　＊　＊　＊　＊
河さんコメントありがとうございます。
ユニークアクセスは自分読みしても、1ポイントしか増えないから、ー
人気の指標として分かり易いと思います。
自作のみならず、自分がお気に入りにして居る作品にも人気がでてほしいです
（眼力にも勝負あり：）。

投稿者：午雲

*

*

*

*

*

１１１）・１１２）

１１１）　テレビとラジオ。

さんまが発明した？バラエティ番組…
かつては、いかにアドリブに見せるかに苦心していたようだが、ー
この頃はスベッても慣れて気にならなくなった。
そこから更に進んで、ー
声優がしゃべりまくり、ずっとビデオを流しているだけ、という
作りの番組が多くなって来た。
（これではラジオ番組と変わらない。）
いっそ声優にギャラをはずんでやるべきだ。
テレビ番組のラジオ番組化。
（よっぽど予算が無いんやな…）
ぼんやり観ていても、そう思う（ため息）。

２０１０年　０８月　２２日　（Ｓｕｎ）

＊　＊　＊　＊

基本的に僕、明石家さんまととんねるずは嫌いなんです。

さんまは他の出演者の前に出過ぎです。
しゃべってる途中に平気で割り込んで話の腰を折ったり、まとも
に話を聞いてなかったり…

とんねるずは楽屋ネタとぱくりばっかりじゃないですか。
昔の映像の漫才はすごく面白いんですけど、今はとんねるずが出

るだけでチャンネル変えますね。
バラエティはレッドカーペッドくらいですかねぇ。
ちゃんと観てるの。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さん、コメント下さり、ありがとうございます！
さんまもとんねるずも昔、栄光の時代があったのですが、ー
結婚してから段々、パワー・ダウンして居るような気がします。
角がとれたというか、おとなしくなったというか・・・
サラリーマンみたいな感じがします。
番組の作りも千歳あめ状態・・・
そろそろ何か新しいコンセプトを打ち出してほしいですネ（退屈気味・・）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
確かに多いですねそのパターンが。
僕も新しいものを出して欲しいと思いますが最近のバラエティに出ている芸人がどれもぱっとしない気がします。
スベっても誰かがフォローしてくれるだと空気がありありで困ったものです。
そしてそのテレビを見てお笑い芸人を目指す人がいてこれまた面

白くない……もはや悪循環です。

投稿者：クロヤシキ（旧）

＊　＊　＊　＊

クロヤシキさん、コメント下さり、ありがとうございます。
芸人って、初めはドサ回りから入って、ラジオで鍛え、その内からテレビに出られるのんなんてほんのひと握りの者だったはずが、今やスルーして、いきなりテレビで起用されてるみたいですからね。
太鼓もちばっかりしてるから、何年経っても芽がでない（汗）。
せめて、ゴールデン・タイム？くらいは、真打ち級の芸人で固めてほしいです。
（：楽してるとしか思えない。）（立腹）。
ますますテレビ離れが進みそう
（：地方回りして呉れたら、それはそれでうれしいけれど）（う～む）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

１１２）　短歌の役目。

俳句は話題に為って居るし、連歌は復興しつつあるのだが、ー

短歌は依然、鳴かず飛ばずである。

コマーシャルのコピーを思わす節回しにて、
「サラダ記念日」
がブームに成ったけれど、それきり忘れ去られて居る。
即興に頼るのみでは息がつづかないという好い例だ。
想うに、おみくじの文と短歌とは、よく似ている。
づらづら書きつけてあっても、味気ない。
よく言葉を選んで、簡潔に書き流してあるほうが、しゃれている。
長文の内容の要約。
初心へ返るなら、おみくじ風な文が好い手本…なのかも知れない。
（格好の決まり文句を編み出す技なら、今日頃、マスコミの得意技とは化して居るけれど。）

２０１０年　０８月　２４日　（Ｔｕｅ）

＊　＊　＊　＊
「キャッチコピー」ってヤツですね。
韻文って味があっていいですよね。
短歌かぁ…
なろうにそういうジャンルあんまりないですよね。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメントありがとうございます。

「歌枕みて参れ！」＝「島流し」
というくらい、かつて短歌は社会・生活に定着して居たようですが、ー
今の世にては、短歌の役目が思いつかないくらい、縁遠いものとなってしまって居ます。
そう、おみくじや星占いくらいは、短歌でさらりとやってほしいですね
（散文ばかりでは息が詰まる‥）（吐息）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊
もぎりとり
首無し茎の
紅花を
血で染め上げ
花は二度咲く

山羊ノ宮

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊
おみくじは
待ち人来ずと

不吉の使者
紙を結おうと
手と手が触れる

山羊ノ宮

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊

午雲さん
馬鹿、違うって
午雲さん
ああ、人違い
お茶をズズズぅ

山羊ノ宮

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊

山羊の宮さん、歌を寄せて下さり、ありがとうございます！
むむ…この三種の五行短歌、どれをとっても個性的ですね。
そう、二つ目の心ですね☆
あ、一番と三番とは、わたしの力にては、今の処ろすぐには解読

不能です（焦）。
よければ歌説きお願いします（う〜む）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
望むなら。
では、まず一つ目から。
紅花は染料として有名ですが、とげとげで取るのに苦労したそうです。
今のようにゴムの手袋もなく、よく手を切っていたようで。
紅花の収穫風景と言ってしまえばそこまでです。
花もなく、茎だけの紅花畑、そこに点々と残る血痕。
そんな感じかなぁ。
言葉の端々に黒い気をまとっているのは、私の内なるものがにじみ出たのかと。
こんな鬱な雰囲気のものだけではいけないなと思い、その後の二首を読むに至るのでした。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊
では、三つ目。
「あ、あれ午雲先生じゃね」
「馬鹿、違うよ」
「そうか。ああ、あっちの方が午雲先生か」

人違いでした。
午雲「あの二人何やっとんや？（お茶）」
遠くで眺める午雲先生。
な感じのイメージ。
簡単に言うと失敗。
登場させたキャラが多くておさまりきれていない。
もっと午雲先生の実に迫る皮肉な歌ならもっと面白かったろうにとか思う。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊
山羊の宮さん歌説き下さり、ありがとうございます。
うむ、植物のなかには名前しか知らないものが沢山あります（反省）。

三首目は、ヒトさがしの歌でしたか（汗）
確かに、お茶を飲むときは言葉を飲み込んだときが多いです（白状）。

厄払い
おみくじにある
言の葉は
茶か煙草にして
けむに巻きたし

午雲。

（‥字余りでした。）

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

１１３）・１１４）

１１３）　鼻歌。

機嫌のよいとき、しぜんと鼻歌を唄いたくなる。
もの憂いときにも、何か唄ってしまう。
聞き覚えた節回しに乗せて、なじみの歌詞を口ずさむ。
鼻歌とは癖みたいなものだが、見方によれば比喩とも見える。
（いまのわたしはこんな気分です。）
その内容を、なじみの歌の一節に託して、言い表して居るわけだ。

もしか鼻歌と和歌とが役目を同じくして居ると考えれば、ー
歴代の短歌に本歌取りとな作法が多いのも、うなづける。
歌詠みとは作詞家にして作曲家…シンガー・ソング・ライターの如し。
もしか、和歌にても、ひとつひとつ、違う曲が付いて居たのかも知れない。
今にいう、桜井節とか桑田節とか。
（：琴線の調べが和歌の曲としてふさわしいような予感もする。）
万事、のんびりして居たことを思えば、ー
仕事の合間に歌う鼻歌も、ー
もっとスロー・テンポなものだったのかも知れない。

２０１０年　０８月　２６日　（Ｔｈｕ）

＊　＊　＊　＊　＊

音楽に触れる機会が多ければ、無意識に出てしまうものですよね。
最近の小学生は、Ｊ－ＰＯＰかＣＭソングばかり歌っています。
そういう描写も作品内で上手く活用できそうですね。
勉強になりました。
ありがとうございました。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメントありがとうございます。
そう、恋人の鼻歌を覚えて居る。
それが、短歌が伝承されるに至った由縁かな？と想ったり…
荒城の月とか早春賦とかなら和歌の調べに通じるものが有ると思います（五七調だし…）。
ロックで五・七調は、さすがにムリですけどね（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
こちらでははじめまして。
そうじ　たかひろと申します。
以前、聖騎士さんの活動報告にてトムとジェリー、とジョーズのお話、ありがとうございました。

ところでその件なんですけど……
野暮な事を聞いて申し訳ないのですが、答えのひとつなど聞いても良いでしょうか。
気になって気になって。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊　＊

そうじさん、初めまして、お立ち寄り下さり、ありがとうございます。

ユダヤ人という呼び方は曖昧なものですが、ー
もはや術語として定着して居る観があるので、このまま行きます。

ユダヤ人は旧約の民、異教徒として迫害されて来たので、
「不安定の中の安定。」
を好むという独特の心的傾向、美意識を有して居るとか。
七転八倒した挙句、
（は～今日も無事だった。）
と喜ぶ気持ち。
このデザインが「不安定の中の安定」という概念をあらわして居るのです。
なので「ジョーズ」は彼らにとってホラーでも何でも無く、最高の娯楽作品なのです。
「トムとジェリー」に於いてもこれは同じで、ー
追跡、逃亡、殺戮、迫害、報復・・・
あの異常なまでの繰り返しとは、ほかでもない、ユダヤ系の住人にとって快感なのです。
もちろん主役なら鼠のジェリーというコトになります。

現在のユダヤ人には日本人に輪を掛けて富裕なヒトが多いので、
「過去の歴史を振り返り、いま現在の栄光を噛み締める。」
という楽しみ方も含まれて居るのでした。
日本人とユダヤ人とは共に商売上手、海外ではどちらも、
「資本主義の鬼。」
みたいに恐れられて居るそうです。

（日本に住んで居ると、あまりそんな自覚もありませんが・・）（汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

なるほど。

追跡、逃亡だけは近い線を行っていた様でちょっとうれしいですね（笑）

セガやトイザラス、タイトーもそうでしたでしょうか。

世界でも大きく成功したユダヤ人の方は確かに大勢いますものね。

おかげさまですっきりしました。

丁寧な回答、ありがとうございます。

ではこれからもよろしくお願いします。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊　＊

・・考えてみると、ユダヤ系の住人は、メディア界にて重きをなしてますから、ー

何かにつけ、この手な話題は避けた方が得策かも知れません（冷汗）。

こちらこそ、よろしくですw！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１１４）　如しと若し（ごとし）。

まるで～のようだ。

この構文にて、助動詞「ごと・し」が現れる。

見た処ろ「如し」「若し」と宛てる風だ。

なお「若し」は「わか・し」では無い。

時に「もし」とよみ、時に「ごとし」とよむ。

「仰せの若し。」

（おっしゃる通りで御座います。）

こうなると、彼の「然かなり。」と似通う。

「（およばずながら）仰せの通りに致します。」

きっと、そんな含みが有るのだろう。

ところで、

「まるで～みたいだ。」

という構文があるけれど、ー

これは、英文・和訳から発して居るらしい。

Ａ　ｌｏｏｋ　ｌｉｋｅ　Ｂ．

（ＡはＢのようにみえる。）

これを、漱石が、

（Ａは、まるでＢみたように感じる。）

小説の内にて、そんな風に使い回して居る。

「～みたように」

これ、英文を、左から右へ読み流して居る様が見て取れる。

少しく、あやふやな翻訳の仕方なのだが、ー

「みたような」＝「みたいな」

どうやら、ここから、新たな形容詞？が発生したらしい。

多分に当時の女学生・言葉であろう。

如しや若しを「～みたい」と訓む例は、むろん古代には見当たらない。

２０１０年　０８月　２８日　（Ｓａｔ）

＊　＊　＊　＊

記事勉強になったみたいなｗ

いつもありがとうございますみたいなｗ

何かムカつきますね【＃・∀・】ムカムカ

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊

聖騎士さん早速のコメントありがとうございます！

なにせ漱石先生は英語教師の草分け的存在ですからね。

彼が当時、どうやって女学生・言葉を調べて居たのかは謎ですが、

ヒロイン級のキャラに、よくしゃべらせて居ます。

「～みたようね！」＝「～みたいね！」

この一歩、簡単なようにみえて、即興でなくては出て来っこないような予感もします。

世紀の誤訳と謂う処ろでしょうか。

（・・形容詞に特許・権なんて無いけれど。）

これも、きっと女学生の誰かサンが般めたんでしょうね（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

午雲さんは日本語や文法についても詳しいのですね。

と、いう事は漢字についても詳しいでしょうか。

私はこれまで、いわゆる二次創作しか書いていなかったので、ひとつ連載でオリジナルを書こうかと設定を考えています。
その話は漢字が重要な柱になっているので、理解や読解について相談させていただければ嬉しいです。

と、いってもくれぐれも勘違いされませんよう。物語の内容はまったく高尚なものではありません。
学園物の戦闘物です（笑）

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊　＊

そうじさんコメントありがとうございます。
新しい連載を始めるのですか。
漢字にはわたしも思い入れがあるので、どんな作品に成るのか楽しみにして居ます。
何かあったら相談して下さい。
こちらも勉強になります。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１１５）・１１６）

１１５）　テクノ音楽。

テクノの先駆けといえば「イエロー・マジック・オーケストラ」略してＹ．Ｍ．Ｏが思い浮かぶ。
坂本龍一他二名が組むバンドだ。
当時、シンセサイザーは、まだ目新しい楽器で、
「シンセを用いてどんな音が作りだせるのか？」
その可能性に挑んだバンドだった。
「雷電（ライディーン）」
などは今だに印象に残って居る。
重ね録りしたテープのラストに余りで入って居たのだが、ー
そのちぎれた雷電を巻き戻して、繰り返し聴いて居たのを覚えて居る。
いま思えば、シンセサイザーのパートだけがテクノで…
ドラムやギターは人力だった。
演奏を工夫して、演奏者がテクノっぽく見せて居たのである。
「知らなかった。使い方を教えてくれ！」
とＭｒ．坂本のもとを訪ねて来たのが、実はシンセを発明したヒトだった…という伝説もある。
ただ、ヒトがテクノらしく演奏するのは思いの外、大変らしく、ー
ドラム奏者は一時、雲隠れしてしまったとか聞く。
機械的な規則正しさ、正確さをヒトに求めるのは、土台、ムリがあるというコトなのだろう
（…同情）。

２０１０年　０８月　３０日　（Ｍｏｎ）

＊　＊　＊　＊　＊

ホソノさん僕好きですよｗ

「ライディーン」は名曲ですねぇ。

「君に胸キュン☆」って曲もありましたよね？

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメントありがとうございます。

Ｙ．Ｍ．Ｏは歌詞が無かったので、興味をもったのは、だいぶん後のコトでした。

（テクノポリスとか…）

天才の陰にホソノあり、という感じでしょうか。

東京・乾電池（忌野他）も連鎖して思い出すなァ（：化石）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１１６）　プロレス。

真剣なコトを「ガチ」と言う。
これは「ガチンコ・勝負」から来たして居る。
「俺はいつもガチンコでした。」
この述懐から“ガチンコ横綱”と呼ばれたのは、横綱・大乃国（現親方・芝田山）。
異種・格闘技・戦に、
「コンクリート・マッチ」
という種目があって、ー
リングの地面がマットでなくコンクリート…
プロレス技にある、彼の「ボディ・スラム」でも充分、致命傷と成る。
つまり、ストリート・ファイトのレベルだ。
「コンクリート・マッチ」＝「ガチンコ・勝負」
ここから、
「ガチンコ」＝「ガチ。」

プロレス技と相撲・技と、どちらが強いのか？
少なくとも「ガチ」で闘ったら、一般ピープルは手も足も出ないであろう。
あれだけの「演武」が見せられるのは、稽古の賜物…
それだけでも、
（…人間離れして居る。）
と、つくづく思う。

＊　＊　＊　＊　＊
プロレスは異常です。

２０１０年　０８月　３１日　（Ｔｕｅ）

格闘技の心得が有る私にとって、あれは信じられない行為です。
通常相手よりの攻撃は、【防ぐ】【避ける】【流す】等、どちらにしても無力化を目指す事を目的としますが、プロレスは【受ける】のほぼ一択。ありえません。
相当の訓練と覚悟が必要なのでしょう。
ちょっと真似できませんね。

相撲も異常です。
大した知識がなかった私は、力士の体は脂肪という鎧を纏ったものとは露知らず、さらに脂肪の下は筋肉だと想像もしていませんでした。
信じられないほど打撃に強かったです。
単純にウエイトが有る方が力は出ます。
しかも脂肪は衝撃を吸収します。
体型をあそこまで変えないと同じ土俵に立てない相撲もまた異常な格闘技です。

どっちも相当に凄いですよ。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊　＊
そうじさんコメントありがとうございます。
日本のプロレスは〈ストロング・スタイル〉（アントニオ・猪木・命名）…
技の掛け合いを見せ場として居る風です。
（なぜあんなに打たれ強いのかは謎…）。
外国人・選手が負けるのを嫌がって、よく悶着が起こったそうで

す。
（チャボ・ゲレロ対大仁田厚とか。）
相撲は、戦国時代になって格闘技の体を成したらしく、
（武器を取り落としてなお、いかに相手を倒すか？）
という考えのもとに、数々の技が練られたようです。
転がされるということは、その直後、鎧通し（千枚通し）で刺し殺されるということですからね
（冷や汗）。
きっと相討ちでしょうね、両者がガチンコで勝負すれば、―（多分）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
プロレスラーと力士では当然力士の方が強いという認識がありますが、実際のところどうなんでしょうね。
Ｋ－１での曙のていたらくを見ているので、それも疑問かもしれません。

ガチでｗｗ

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメントありがとうございます。
空手家は普段から競技として鍛練してますけど、ー

相撲やプロレスは競技とは次元が異なる武術（体術）と思われます。

曙がガチになったら、相手はバラバラになるかと（ホラーぢゃ…）。

きっとルールが合わないんだと思います。

（プロレスラーにとってもそれは同じく…）（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

１１７）・１１８）

１１７）　ちぎる？

上着の片そでをちぎって与えた、というので、

「ちぎり」

と謂う、とな説がある。

現に坂本龍馬は恋人にこれをやったので、彼女は死ぬまで操を守ったとか。

別れ際に、片そでを破いて渡し、後で取りに来た時に縫い合わせる。

和歌にも「袖」は恋愛にまつわるアイテムだから、この仕業ならしゃれて居る。

確か、彼の『源氏物語』に、

「逃げようとして片そでをつかまれ、破られる。」

となエピソードがあったはずだが、もしかそこから発生した慣わしなのかも。

その後、片そでの忘れもの？が他人の目に触れて、ー

哀れ”逢瀬”がバレてしまった。

（ホントは何もして無いのだが…）

すると「ちぎりを結ぶ」とは「ちぎりを繕う」という意味なのか。

（それなら、ちぎれを繕うだな…）

「締結」という漢語があるから、そこから「結ぶ」と接いたのかも。

ちぎりを交わす。

「口」＝「ち」と仮定すれば、

「口・霧」を交わすとか。

「口・切り」を交わすとか。

「食いちぎる」というからには、これもありそうだけれど、ー

果たして、その際、何を食い口切るのかが、問題だ。

・・まだまだ解らない動詞が数多い（溜め息）。

２０１０年　０９月　０１日　（Ｗｅｄ）

＊　＊　＊　＊　＊

面白く、興味深い見解ですね。
「袖を振る」というのも、いわゆる「振られる（失恋する）」の意で用いられているって聞いたことあります。
袖と恋愛は何か深い結びつきがあるのかもしれませんね。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメント下さり、ありがとうございます。
和歌のうちには、古代の風習をよく風景として用いてあるのですが、ー
ここに謂う「袖振り」の仕草も、やはり出てきます。
男が目配せして、女が袖を振ると”ＯＫ．”とな合図なのだとか。
または女が袖を振って誘いかけ、男が目配せすると”成立”とも謂われて居ます。
（・・断るときには無視するのかな？）（汗）。

男をフルことを「袖にする。」とか言い回すけど、ー
もしか”振り袖”する、という言葉の略語なのかも。
合図の意味も、時代によって変わるんでしょうね？たぶん・・（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

袖というと涙を連想しちゃいます。
あれ、発想がネガティブかも。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊

そうじさんコメント下さり、ありがとうございます。
涙をふりしぼる、という決まり文句…
あれが「袖」から来てるんでしょうね！
忍ぶ恋とな風景が長らく和歌のテーマだったみたいだから、ー
その連想は、むしろ普通だと思いますよ。
（和服なら男女関係なく涙をふりしぼりしものかと…）（涙に濡れた袖？）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

１１８）　伝書鳩。

羽根ペンが文事を象徴するのは、伝書・鳩のせいかと思う。

日本にては常緑の枝に文を結ぶけれど、ー
伝書・鳩を遣わす際には、脚首ら辺に結ひ附ける。
中島敦「李陵」に見える、伝書・鳩の故事は有名だ。
鳩は別に犬みたく忠実では無い。
ただ、蛙とかに見受ける“帰巣・本能”が強烈なだけだ。
なので、飼い慣らすと、夕暮れ時には、必ず巣箱へと帰って来る。
この持ち味を生かして、
「伝書鳩・競走。」
とな世界・大会すらある。
ゴール地点に巣箱を設け、遠い彼方の地から、一斉に空へ放つのである。

何の拍子か、日本でも競走馬よろしく伝書鳩の育成が流行った頃があった。
（ワールド・ワイドなので強い鳩なら“種鳩”と成る。）
サラブレッドは高くて手が届かないけれど、鳩なら誰でも育てられる。
そんな訳で、郵便局が出来上がった後も、伝書鳩は世界中で飛び回って居たのであった。
「鳥の話しが分かる。」
とな伝説とは、
（：伝書鳩・使いのコトかな？）
と思ったり…。
かつては、これも、きっと“秘術”たりし事ではあろう。

２０１０年　０９月　０２日　（Ｔｈｕ）

＊　＊　＊　＊　＊

それ知ってる！

「伝書鳩・競走。」っての。

うちの周辺でもそれに参加しているのか、知っているだけで二件が昼間とかに一斉に数十羽の鳩を放してる。

一気に集団で飛び立ち、しかも綺麗な列みたいなＶ並びで飛んでいるので、飼い慣らされている飼育鳩だと、素人でも一目瞭然で解かる。

あの瞬間が綺麗だなって、思わず見惚れてしまう。

でも私個人、鷹匠か梟匠に憧れるｖＶ

やっぱり猛禽類のような獣的な生き物が好きですｗｗ。

そういえば、朝の通行路にある街灯に、いつも決まった時間に羽根を休めている決まった鳶がいるんです。

それがいつもと同じ鳶だと見分けがつくようになってからは、私とその子の朝の挨拶が楽しみな日課になってます。

機嫌がいいと、「ピーヒョロロ」って、返事までしてくれるようにもなりましたｖｖｖｖ

鳶も頭がいいので、私の事を覚えてくれたのかな？

と身勝手な期待を抱いている今日この頃です♪

投稿者：妃宮　咲梗

＊　＊　＊　＊　＊

妃宮さんコメント、サンキューです。

ははあ、今でも居るんですね、鳩使い。

その筋では紳士のスポーツとして立派に認められて居るそうです。

（本場はジャーマニー鳩ぽっぽとかw）

うむ。とんびは実は村の守り神とみなされて居て、これを痛めつける者は古今東西に亘って先ず居ません。

（烏を追い払ってくれるし。）

むこうも人間が手出しせぬのをよく分かって居るので、輪をかく姿を眺めて居ると、首を傾けて、チラっと目を呉れたりします。

（どう思って居るかは知れんが…）

鷹や梟、飼い慣らせたら格好よいでしょうな。

わたしも憧れます。

（：飼い主を選びそうだけど、土佐犬みたく…）（汗）。

とんびが見られる空だけでも、大切にしたいものです

（鷹や梟にはもうお目には掛かれないけど：）（息）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

かつては現役の連絡手段だった伝書鳩。

初めに思いついた方は凄いです。

羽根ペンにしろ、文（ふみ）にしろ、伝書鳩にしろ、昔の道具や手段は、現代に生きる私にはなにやら浪漫を感じますね。

同じようにいつの日か、今使っている携帯やパソコンを見て「あの頃は良かったな」と感じる日が来るのでしょうね。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊　＊

そうじさんコメントを下さり、ありがとうございます！
ついこの間？まではタイプ・ライターで点字してたのに、ー
いまやプリンターで一瞬にして出来上がりですからね！
（時の流れの早さよ・・・）（茫然）。
電話つかってファクシミリで送信とか。
ちょっと気まぐれに海外とかに在住してたら、帰って来るなり浦島太郎な気分でしょうね。
中世風のゲーム・ファンタジーが流行るのも、想えば懐古趣味的な浪漫なのでしょうか。
確かに、そんな気もして来ました。
（逆に珍しいというか・・・）
そういえば着信音は黒電話のベル音にして居ます（無意識）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１１９）・１２０）

１１９）　中と十。

中を「ちゅう」と読み、十を「じゅう」と読む。

来週中に片付けます。

来週じゅうに片付けます。

中は「間」、十は「いっぱい」とか見て取れる。

漢字にては、最高数は「九」…

「十」は特別な数字にして、ー

どちらかと言えば「忌み数」であった。

（十日目を期して生け贄を捧げる。）

九を最高数とみなせば、ー

その真ん中に当たる数とは「五」である。

すると、仮りに、

「五」＝「中」

と記しても良さそうなものだ。

しかし、

「五」＝「ゴ」

「中」＝「チュウ」
残念ながら音が全く異なる。

ところが、ー
干支の丑を「チュウ」と読む。
丑とは「うし」である。

「丑」＝「牛」

ところが、
「牛」＝「ゴ」
用例に「牛頭」と書いて「ゴズ」と読む。
（地獄の番人。）
（お地蔵さんの前身か。）

また「午」＝「うま」
この「午」も同じく「ゴ」と読む。

「正午」＝「南中」。

共にお昼の１２時を指す。
１日のちょうど真ん中である。

（南中＝「南に中る。」＝「真南」とな感じだが。）
（東から南を通って西へ・・・太陽の位置を謂う。）

角が生えれば牛、髪が生えれば午という処ろであろう。

「中」＝「丑」＝「チュウ」
「牛」＝「午」＝「ゴ」。
……
「中」＝「牛」＝「五」？
今日ごろ、こんな風なコトに頭を悩ませて居る（汗）。
２０１０年　０９月　０３日　（Ｆｒｉ）
＊　＊　＊　＊　＊
「午雲」さん。
「牛雲」さん。
「五雲」さん…
どれも何かかっこいいですね☆
投稿者：聖騎士
＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメントありがとうございます！
干支の午が「ゴ」というのは知って居ましたが、ー

お馴染みの牛までが「ゴ」とは知りませんでした。
「牛」も「午」も両方、好きですけどね！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

【五】の解字。
指事文字。
×は交差をあらわすしるし。
五は「上下二線＋×」で、二線が交差することを示す。
片手の指で十を数えるとき、↓の方向に数えて五の数で↑の方向にもどる。
その転回点にあたる数を示す。

とありました。

転回点、つまり「ターニングポイント（ｔｕｒｎｉｎｇ　ｐｏｉｎｔ）。
やはり真ん中なのでしょう。

話は全く変わります。
漢字の質問なのですが、漢数字の四は　象形でしょうか、指事でしょうか、それとも会意？
個人的には指事だとばかり思っていたのですが、サイトによってバラバラで（笑）

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊

そうじさんコメント下さりありがとうございます。

そう、あの五の図案は、砂時計？の形に似てますね。

下半分、上半分…

そのおへそって感じがします。

あ、白川博士によると、四は仮借と見定めてあります。

明るいの左にある「日」が、バッタの面みたいな文様なのですが、

それを借りて四に宛ててるみたいです。

仮借とは由縁が無い宛て字…

暗号、符諜みたいな（宛て）字のことを謂うそうです。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

仮借……ですか。

私はてっきり転注と仮借って成り立ちではなく、用法だと思ってました。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊　＊

あ、のちに白川博士も、仮借と転注とは定義がしにくいと述べて居ました。

たとえば四なら本の字は四が定着すると共に行方不明になったらしく…

転注なら、同じ系統に連なる文字の一群、としか言いようが無いそうです。

昆虫の昆の頭が四（バッタの面）かな？と思ったり…

歴史の闇に埋もれて眠るとしか言い様が無いですね、あまりにも昔に過ぎて（汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

なるほど。

いえね、ｗｉｋｉで調べたところ、象形と書いておりまして。

でも、解説文では、

～後に四の字を借りて表すようになった。

とも書いているんですよね。

そもそもｗｉｋｉでは象形、指事、形声、会意の四種類でしか分類していないのかもしれません。

四分類の他に、辞書によっては会意兼形声と分類している時もあります。

会意兼形声でくくったら、日本の漢字のほとんどがコレになりいそうですね（笑）

wiki
http://ja.wiktionary.org/wiki/%E5%9B%9B

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊　＊

うむ。
白川流の漢字説きは、まだ主流になってませんから。
あれを認めると漢和辞典を書き替えなければいけないので、ちょっと大変です。
甲骨文字の様子からして、何だか原始時代の落書きみたいな稚拙さを有ってますからね。

当時、すでに取捨選択してたのかも知れません。

形声は特に、本の字の音が分からないと見定めようが無いから相当、あいまいかと思います。

象形、会意、仮借が造字法の基本でしょうね！
（ウィキはホント重宝してますw）

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

この手の話や質問が出来る方は周りにはなかなかいなくて本当に助かります。

私は相当に中途半端な知識なので、これからもどうぞご教授よろしくお願いします。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊

とにかく甲骨文字の研究がもっと進んでほしいですね。

データが足りない処ろは仮説を駆使して、ー。

こちらこそよろしくです！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

１２０）　つつがなし。

日出づる処ろの天子

日しづむ処ろの天子へ

書簡を送る。
つつがなしや。
この文章、彼の聖徳太子が隋の煬帝へ宛てた文と伝わる。
ここにみえる形容詞「つつがなし」が古来、語源・不明なのである。
「恙無く為終えました。」
こう決まり文句のなかに今も生き残って居るけれど、ー
だれもその由縁を知る者は無い。
「つつが虫」
と名乗る生き物が原っぱに棲息して居ると聞く。
なんでも耳から入り込んで、脳を冒すとか。
まるで狂犬病ウィルスみたいな害虫である。
「つつが（ある）虫」＝「害虫。」
と読めるのかもしれない。
仮名「つつ」＝「害」？

すると同じく「つつ」と声する他の言葉は、どうなるのだろう。

「筒井筒」の「つつ」とか「夕星」の「つつ」とか。

仮名「つ」を戴く馴染みの言葉に「つの」がある。

文字して「角」・・・

もとは、これ「つぬ」と記した。

文字「角」なら「かど」とも訓み、

「角がたつ。」

とか、ことわざにいう。

「角がたつ」＝「害になる。」

こう読めば、

「角」＝「害」？

害が無いことを、

「罪（つみ）がない。」

と言う。

そして、罪がないことを、

「科（とが）がない。」

とも言う。

そういえば「角隠し」という不思議な名前の衣装もあるけれども。

なお、角には「触角」もある。

虫にとっては触角は眼の代わり…

まず触角でさわってみて、ものの良し悪しを確かめる。

（つんつん）

と。

（そんな音はもちろん耳にては聞き取りようが無いけれども）（苦笑）。

すると、

「つつ・が」＝「触・害」？

もしか、

「つ・つ・が・なし」＝「触・触・害・なし」？

なお、

「思いつつ」の「つつ」なら、

「思いつ思いつ」

の変形であろうと思う（歌用？）。

２０１０年　０９月　０４日　（Ｓａｔ）

＊　＊　＊　＊

本当にそうなんですかねｗ

秋の虫がそんな風にしていたら、それはそれでかわいらしいですね。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメントありがとうございます！
アリをみてるとよく分かりますw
触手？みたく念入りにつんつんしてますよ！
（ホントは八本足なのではないか？と思うくらい）（6＋2）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
茶色い大きなかなぶんの、触覚を？まえたくて努力していた子供時代ww。
結局？まえられなかったけど。
だって、ヒョコって引っ込めるんだもん！！（未だに未練在りww）。

投稿者：妃宮　咲梗

＊　＊　＊　＊　＊
妃宮さんコメント、サンキューです。
かなぶんですか。
わたしらの所では「どうがねブイブイ」と呼んで居ました。
羽根に白い斑点がある「はなむぐり」が好きでしたネ（綿毛も生えてる）。
え？あの触覚、引っ込むんですか！？
・・今度、ためしてみようw（ーってもう秋か。）（焦）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

121）・122）

121）　甲斐性。

甲斐（かひ）が無い。

これ、当て字である。

「かひ」＝「交（か）ひ」

実は、これが省文にて、

「交ひ」＝「効ひ」

これが正着なのであった。

さらに、

「甲斐性（かいしょう）が無い。」

と言う。

ここから、
「しょうがない。」
とな文句も存る。

それ、
「仕様が無い。」
と宛てるけれど、本来は、
「性(しょう)がない。」
とな形かと推す。

なぜなら、関西弁に、
「しょうむない。」
とな、言い回しがみえるからである。

古くから存る形容詞に、
「むなし。」
が有る。

これを用いて、
「性むなし」＝「性・むなし」
とか読む。

ひるがえって、
「甲斐性なし」＝「効・性・なし」
であるから、
「効き目なし。」
すると、
「性」＝「目」
かと予想し得る。

ところが、古く、
「効」＝「しるし」
と訓む。

ゆえに、

「ショウ」＝「しるし」

とな意味合いこそ、ふさわしい。

そこで、調べてみると、

「ショウ」＝「証」＝「しるし」

とな文字を見つけだした。

すなわち、

「甲斐・性」＝「効ひ証。」

つまり、

「証」＝「しるし」＝「目」

と意図して居る訳だ。

もっとも、

「ショウ」＝「消」

とな文字もある。

むなしく消える。

すると、

「甲斐性」＝「効(ひ)・消」。

そして、

「しょうむない」＝「消・むなし。」

もしか、

「甲斐性が有る。」

とな言い方は、それ、間違いなのかも知れない。

（むなしとは「無なし」か「目なし」？）

２０１０年　０９月　０５日　（Ｓｕｎ）

＊　＊　＊　＊　＊

「甲斐性なし」と使うのが正しい使い方なんでしょうかね。
語源を探ると正しい意味・用法が見えてきていいですね。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊

聖騎士さん早速コメントを寄せて下さって、ありがとうございます！
浪速弁も江戸弁も、凡そ方言とは和語の古い形をよく遺して居るものとか思います。
たとえば、北関東に言う「～さ」などは「方角」を示すのですが、ー
実は古く、薩摩弁にて
「様（さま）」＝「～の方へ」
とな意味合いが有りしものとか。

「～さま行くべし。」＝「～さ行くべし。」
と、こう跡を辿り得るそうです。

口に「甲斐性なしっ！」とは咄嗟に吐くけど、
逆に「甲斐性ありっ！」とは、てんで言う気がしませんからねw！
たぶん、けなし文句・専用かと想います（苦虫）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

浮気は男の甲斐性　などという言葉もありました。

文全体の意味合いは各方面よりけなされそうですが（笑）

文中での意味合いは良い意味として扱われているのでしょうか。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊　＊

そうじさんコメントを下さり、ありがとうございます。

「甲斐性をみせろ！」

という言い回しもあるので、

「効証」＝「しるし」

という意味だと思います。

ただ、わざわざ、

「効」＝「交」＝「甲斐」

と紛らわしてある処ろが気になりますね（冷や汗）。

「交ひ処」＝「甲斐性」

とみれば、隠語かも知れません。

（交わる処を「会処」とも書きますから…）

効が先か交が先か悩む処ろではあります。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

毎度話が変わってすいません。

質問なのですが、四字熟語を分類するならばどのように分かられると思いますか？

例えば……

事象
概念
思想
心情
象徴

など。

あまり細分化はせず、出来たら五ないし六程度で分けようと考えております。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊　＊

そうじさんお立ち寄り下さり、ありがとうございます。

（壱）事象＝事件・現象。
（弐）概念＝概略・観念。
（参）思想＝思考・想像。
（四）心情＝胸中・感情。

（五）象徴＝（何かを）徴（あら）わす象（かたどり）。
＝「あらわす・あらわす」かも？

こうみても察せられるように、熟語には「同意・接続」が多いです。

漢語には「同音・異義語」が多々有るので、

「弐字・安定。」

というべきクセが有るとか。

なんでも「弐字・熟語」に作りたがるのです。

漢字ひと文字では意味を取り違える恐れがあるので、敢えて、
「同意・接続。」
して、その単語の意味を特定してみせるわけです。

加えて、漢語は英語と同じ語順を採ります。

主語・動詞・目的語・修飾語。

つまり、

「名詞・修飾語。」

これ、和語とは逆さまになります。

（1）同義・接続
（2）対義・接続

（3）名詞（節）・修飾語（形容詞）
（4）動詞（節）・修飾語（副詞）

この三つが基本です。

ただし、ー
漢語においても修飾語を前に置く「倒置・法」はあると見えて、ー
何か意味を強調したいときには例外もアリみたいです。

漢語は過去の用例に則った「慣用句」を重んじるので、ー
時に古過ぎて、意味不明なものもあります（ことわざ的決まり文句）。

上の四種プラス”ケースバイケース”ですね（難解）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
＞そうじさんへ。

つづきですが…
小説のなかで使われるなら、学問発な名前は使わずに、何かカッコいい名前を新しく考えてあげるべきでしょうね！

完全・無欠なら二字安定にして同義語どうし。
（二掛ける二・同義・合体。）

前後・左右なら対義・連結（一掛ける二、二足す二。）とか。

なにか“呪文的”な掛け声、予告、前台詞を考えだしたい処ろでしょうね。

その辺りは作者であるそうじさんにお任せします。
（起承転結なら一掛ける四、各語一連とか）
（アカン、ネーミング・センスがいまいち…）（頭固）。

訂正。
対義語なら一対一かな。
加減乗除で表すか。
一対一、二加二とか。

「＝」同等・一致。
「ｖｓ」対立。
「連結」なら並立とか。

いやはや、考える余地は大いにありそうですね！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
ご丁寧な推察、ありがとうございます。
そして、お察しの通り、小説内の呪文的な事です（笑）

魔法のような存在なので、ある程度系統分けしたいのです。

今の所は漢字単体と四字熟語のみ。二字、三字は考えていません。
漢字は教育漢字まで。つまり小学校で習う漢字までです。
四字熟語も一文字は教育漢字が入っているものしか使わない予定です。

予告なり、前口上みたいなのなり、詠唱なり、それに漢字や四字熟語の格付けなど、確かに考える事だらけですね（笑）

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊　＊
うむ。やはり詠唱でしたか。
あの「北斗の拳」の奥義みたいな名前がつけられたら、とイメージしてしまいます。

または剣法の流派みたいな名前。
二天一流とか。
どんな呪文となるのか、楽しみにして居ます！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１２２）　今日。

月みたく満ち欠けはしないけれど、太陽の称び方にも色々とある。

お日さん

お天道さん

今日さん

お天道さんは「てんとう虫」の「てんとう」である。

孟子の言だか、

「誠とは天の道なり。」

と云う。

漱石は、これに、

「人の道にあらず。」

と付けた（「それから」参照）。

今日さんは「こんにち」さんと訓む。

大日如来のコトを「だいにち」さんと言うから、ー

あるいは、その辺から派生したのかも知れない。

「今日さんは、よい御日和で。」

挨拶の「今日は」とは、ここから来たして居よう。

したがって、今日と書いて、

「きょう」＝仮名「けう」＝「けふ」

と読むのは、また別口と気が付く。

この「きょう」が何処から来たのか、ずっとさがして居た。

「鏡」でなし「京」でなし、ましてや「狂」であるはずがなし・・・

果たして、軍記物のなかに、

「向後」＝「キョウゴ」

という言葉を見出した。

「向後、如何なる事があろうとこのような事をしてはならぬぞ！」

「ははッ重々、承知つかまつりました。」

こんな感じである。

「向後」＝「これからのち」＝「（今）以後」

のちに向かいては、という処ろであろう。

文字「後」とは、時間においては未来の方を指す。

しかして、場所においては、後ろ、過ぎ往にし方を指す。

なので、少しややこしい。

動詞に「失す」＝「う・す」があって、

「失せし・ろ」＝「失せし・辺」

ここら辺りから「うしろ」へと転化せしものかとも想う。

また、

「後方」と書いて「しり・へ」と訓む。

尻の有る方が「うしろ」という訳だ。

「向後」なら時間に関わる言葉であるから、

「今日・後。」

と置き替わっても、構わない事になる。

「（今）以後」＝「向後」

「向後」＝「きょう（以）後」

「きょう以後」＝「今日・以後。」

だれぞやが、こう言い間違えて呉れたものか・・・

「向」＝「きょう」

が、いつの間にか、独り立ちして、

「今日」

という言葉が、世に生まれでたのであろう。

２０１０年　０９月　０６日　（Ｍｏｎ）

＊　＊　＊　＊　＊

「後」を「ご」と読めば位置を指し、「のち」と読めば時間を指すということでしょうね。

なかなか面白い考察です。

勉強になりました。

ありがとうございます。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメントありがとうございます。
そう「後」という文字には悩まされますね・・・。
後生とか後世とかは、未来でしょう？
まさか将来を振り返ったりはしないから、
「あとにする。」
といえば、過去でしょう。
先後と前後とは意味合いが違うというコトなのか・・・。
すると「先」が左で「前」が右？
（でも、紀元前って云うし・・・）（迷路突入っ）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１２３）・１２４）

１２３）　出来と木偶。

役立たずな者を指して、

「木偶（でく）の坊。」

という。

この「でく」という声が何処から来たのか気に為って居た。

通例「出来る」というのを「でくる」とも言う。

「こんなモンがでくるとは思ってもみなかった。」

多分に厄介な代物が出来てしまった時に遣う。

イボやコブ、ニキビなどを「おでき」という。

おできとは「御・出来」・・・

それ「出来もの」のコトを指す。

また、三日ばしかや水疱瘡のコトを、

「疫病（エキ・ビョウ）。」

という。

これも湿疹、出来ものによって発病を知る。

疫（エキ）と出来（でき）。

両者には由縁ありとかみえる。

疫病の代表格といえば、それ「天然痘」・・・

遣唐使によって大陸から列島へと持ち込まれたと伝わる。

免疫が無いので、当時には屍が山をなしたとかいう。

「疫」と同音の文字に「役」がある。

「役」とは「労役」・・・

今に謂う「強制・労働」である。

翻って、

声「でく」＝「出来」

と仮定すれば、ー

そも、

「でく（の坊）」＝「木偶（の坊）」

とは、芸能における「あやつり人形」のコト・・・

ほら、労役に参加すれば、ムチや木刀などで叩かれて、ー

命じられた事なら必ず仕遂げなければならない。

すると、

「木偶の坊」とは「役の坊」・・・

それ「能無し」という意味では無く、

「言い付けられた事しかしない。」

今に謂う「イエス・マン」という意味なのではなかろうか。

労役も過酷となると「疫」と化す。

実際、役に就く者共の間にて「疫病」が流行り出すコトも多かった。

「役・者」＝「木偶（の坊）」

「疫・病」＝「出来・病」？

一方、役（やく）といい、同じく「疫（やく）」という。

厄払いの「厄（やく）」とは、この「疫」から来たして居よう。

「でく」＝「役」

「出来」＝「疫」。

すると、

英語「Ｃａｎ」＝和語「出来る」

と翻訳するのは、何だか間違って居るような気もして来る。

（白川博士の説明によると、ー）

（漢字「役」＝［ｊｉｅｋ］）

（音写すれば「ジェク」＝「デク」。）

（しかも「役」も「疫」も同音の文字らしい。）

すると、地名「出雲」の序詞と云う「八雲立つ」・・・

あの歌の相が、少しく違ってみえて来たりもする。

（・・斜め読みではあるけれども・・・）（冷や汗）。

２０１０年　０９月　０７日　（Ｔｕｅ）

＊　＊　＊　＊　＊

天然痘。

我が世の春を謳歌していた藤原氏でさえ、彼の病には敵わなかったようですよね。

投稿者：神村律子

＊　＊　＊　＊　＊

神村さんコメント下さり、ありがとうございます！

天然痘、脚気（かっけ）、結核・・・

さらに戦国期に猛威を奮ったという梅毒。

あの時代、陰陽道が流行ったというのも、むべなるかな・・という感が来たします。

（・・迷信として笑うことはできない）（冷汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊
でくの坊と言われても、小説は書き続けたいものですw
今日も勉強になりました。
ありがとうございましたm（＿　＿）m

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊
聖騎士さん、コメントを戴き、ありがとうございます。
いや、木偶の坊は木偶の棒・・・
すなわち「役の棒」かも知れません。
すると、
「役の棒（持ち）。」＝「叱るばかりで何もしないヒト。」
という心なのかも？
（まだ木偶の坊の方がマシだな・・）（自戒）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊
なるほどの推察です。
役の漢字。

あまり良い意味でもないですし。
確か、つらい仕事をさせる。こき使うでしたよね。
……出来をバラしますか。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊
そうじさんコメント入れて下さり、ありがとうございます。
いや、わたしも漢字の発音までは考えず、あくまで日本語に残る音で考えてゆくつもりです。
でも、決まり文句としてさりげなく残って居る辺り、なんか不思議な気分がしてきます（：う～む）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１２４）　九・九。

足し算なら余り。
引き算なら足らず。
掛け算なら並べる。

わり算は見当たらぬ。

ただ、
「あがつ」＝「岐がつ」
「たまわる」＝「給わる」
とかなら割ってそう。

「分岐」とか「支給」とか。

すると、
「支」＝「割る」
かな？

「分かつ」＝「別かつ」
確か、
「割る」＝「カツ」
だったな。
「分割」＝「わかつ」？

戦に勝って、戦利品を配るとき、しぜんとわり算することになる。

すると、
「勝つ」＝「割つ」？

かち算なら分かるけど、わり算っていうからな。

やっぱり、たまわり算か。（どういう意味かな？）

俗に、
「割ってくれ！」

と告げたら、
「両替えしてくれ！」
っていうコトになるのだが…（汗）。
（・こうして、小説的センスから、どんどん離れてゆくのであった。
）

２０１０年　０９月　０８日　（Ｗｅｄ）

＊　＊　＊　＊
いつものより今日のは分かりやすかったです（笑）

午雲さんの活動報告にコメントする時は、パソコンの前で姿勢を正して、完全熟読状態で読ませていただいております。
私にとっては、とってもタイムリーですしね。
色々考えるヒントになっています。

そしていつも関係ない質問ばかりすいません（笑）

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊　＊
そうじさんコメント下さり、ありがとうございます！
ざわめき真名、漢字には呪力が有ると信じられて居たのは、確かですからね☆

それにしても、ー
割り算の筆算の方法は、凄い発明だと聞いた覚えがありますが、ー
古代にはわり算だけは無かったんでしょうか？やっぱり…（うーん）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊
「天地明察」を読んで初めてわかったんですが、江戸時代は数学も全部日本語だったんですよね。
よく考えれば当たり前なのですが。
数学と言葉も語源を探ればいろいろと新しい発見があるような気がします。
ありがとうございました。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメント下さりありがとうございます。
和算と名がつくものですね。
確かにあまり詳しく採りあげられたコトも無いようです。
勘定奉行になるのが出世の近道だったとか。
それで和算が発達したのかな？
アラビア数字無しで数学しろって言われても、今更、困ってしまいますね（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

１２５）・１２６）

１２５）　「汗も」と「笑くぼ」。

笑うと笑む。
特に「えむ」の方に首をひねって居た。

「いやす」とか「いえる」とかいう動詞をみても、ー
幻の〈ヤ行え段〉の声ならありそうだ。
（ｙｅ＝いえ）

癒える⇒癒えむ。
ここから、
「いえ・む」→「え・む」

つまり、
「笑」＝「ヤ行え段」
かと考えて居た。
（仮名にて声色を区別するためか、ー）
（ワ行え段「ゑ」を置く習わしがあるが。）

しかし、
「え・くぼ」
という言葉がある。

口脇にできる頬のくぼみを指す言葉だが、
「えく」
という音が如何にも気になる。

片や「汗も」という言葉があって、ー
出来もの、ぶつぶつである。

仮名「も」＝文字「現」
と見すます。

「もの」の「も」である。

「汗も」＝「汗・現」

「えくぼ」＝「えく・も」
「えく・も」＝「えく・現」

この仮名「えく」とは、ー
「いえ・くぼ」の「えく」では無く、

音「ジェク」＝文字「疫」

その「え」ではないかと思い着いた。

「役立ち」＝「えだち」
「疫病」＝「えやみ」
とも振り仮名する。

「ジェク」＝「でく」
「でく」＝「づ・えく」
「づ・えく」→「えく」

もしか、汗もと笑くぼとは、同じようなものなのではないだろうか。

（仮名「づ」の母音「う」の影響にて「ゑ」と化したか。）

彼の〈カンガルー命名〉の故事が思い浮かぶ。

「ガイドさん、あれはなんだい？」
「カンガルー、カンガルー」
「へぇ～カンガルーっていうのかい」

ガイドさんは、そのとき、
「おっしゃる意味がよくわかりません」
と、ただ問い返しただけなのでした。

（疫現が笑窪になったのも…）
（もとはといえば“勘違い”のせいかも知れない…）（仮説）。

２０１０年　０９月　０９日　（Ｔｈｕ）

＊　＊　＊　＊　＊
へぇ×１００
「カンガルー」にはそんな由来があったんですねぇ。
知りませんでした。
アボリジニの言葉なんですね。
面白いです。
今日も勉強になりました。

ありがとうございました！

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメントありがとうございます。
テンプル（寺）⇒天ぷら。
：も、そうですよｗ？

コミュニケーション・ミスから新たな言葉が生まれでる、というパターンもままあるようです。
（笑顔をみせて、と言うより、笑くぼをみせて、と言うべきなのかな？）（思案）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

そうそう。
カンガルーは現地の言葉で「分からない」という意味なんだよね！
そのネタ知ってる♪

投稿者：妃宮　咲梗

＊　＊　＊　＊

咲梗さんコメントありがとうございます。
わたしも動物ものが好きなので、何かの番組で聞きかじった覚えがあります。
（今日頃は「ダーウィンが行く」を観て居ます。）

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
ちなみに「カステラ」も勘違いの産物です。

投稿者：神村律子

＊　＊　＊　＊　＊
神村さんお知らせ下さり、ありがとうございます。
え？カステラもミスですか？調べてみます。
（戦国武将ってよっぽど食い物にしか目が無かったんだな・・）（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１２６）　やけ喰い。

やけくそとかヤケ喰いとかの「やけ」・・・・

これ、ー

「焦け」とか「自棄」とか書く。

凸面鏡だか凹面鏡だか・・・

虫めがねに日の光を通して、ー

焦点を合わせてやると、そこから火が点き、煙が立つ。

本当は「あせる」というより「こげる」という意味合いかと思われる。

自分から自分を投げ棄てる、というのだから、

「やけ」＝「自棄。」

と宛ててやるのも、納得がつく。

「やけくそ」＝「自暴自棄。」

みれば成程、よく風景を表わしてあるとおもう。

ヤケといえば、まず「やけ喰い」だ。

（見境い無く食べ漁る。）

そんな見苦しい光景が目に浮かんで来る。

じつは、これ、思いの外、古い言葉らしい。

すでに古典の神話のなかに有るかも、とか思わす。

女神イサナミと男神イサナキとのエピソードは、ー

人間味があっておもしろいのだが、ー

女神が死んで地獄？へ逝き、男神が逢いに行く場面がある。

そのなかに、

「よもつへぐひしけり。」

という、女神の台詞が出て来る。

これ、古来、謎とされる台詞なのだけれど、

「黄泉つ戸喰ひしけり。」

と記してある。

不明瞭なのは「戸・喰ひ」である。

「へぐひ」＝「へんぐひ」＝「へんみ・喰ひ」

「へぐひ」＝「ゑ・ぐひ」＝「うえ・喰ひ」

「ど・ぐひ」＝「とと・ぐひ」＝「百・喰ひ」

もう、ひとつ、

「へ・ぐひ」＝「へく・くひ」＝「ゑく・喰ひ」

こうも読めるのでは？と思い至った。

毎度、ひつこいが・・・

「へ・ぐひ」＝「ゑく・くひ」

「疫・喰ひ」＝「やく・くひ」

この「疫喰ひ」から「ヤケ喰い」が生まれでたのではなかろうか。

ふだん少食なヒトであっても、ー

一旦、病ひの床に就くと、ー

むやみに物を食べたがる習いがある。

「全く、どうしてこう渇くのかね？」

病人に限っては、食べたがる様を「かわく」と謂う。

（やけつくような飢え渇き・・？）

おもうに、

「疫喰い」＝「病人みたく無暗に食べ物を欲しがること。」

とか思われる。

そういえば、ー

副詞「むやみ」と「ヤケ」とは意味合いが通じて居るとも見える。

もしか、

「えやみ」＝「疫病み」

ここから「むやみ」へと転化したのかも知れない。

（ヤケに為るのは病気のときだけ？）（思案中）。

２０１０年　０９月　１０日　（Ｆｒｉ）

＊　＊　＊　＊

早速の感想ありがとうございました。
いや、嬉しかったです（笑）後ほど返信させて頂きます。
聖騎士さんのこの前の活動報告でもありましたが、『ざわめきは携帯の真名』は、午雲さんにも見守られている訳ですね。
なんとも心強い限りです。

「全く、どうしてこう渇くのかね？」

命を狙われている時、あるいは死を覚悟した時も渇くような…気がしますね。
どちらにしてもある意味追い込まれた事により急性的心の病みかもしれません。

別件質問です。毎度すいません（笑）
『制服越しにぬくもりを感じる』の、『越し』て漢字、あっているでしょうか？

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊

そうじさんコメント下さり、ありがとうございます。
真名が妖怪？と一緒に備品までぶっ壊したのにはビックリしましたが…（事故ｗ？）
瞬間的な時間でも危機にあっては莫大なエネルギーを一気に使うので、無意識のうちに渇くんでしょうね。
（渇きだすと死期が近いとも聞きますが）（冷や汗）。
そう、制服越しなら肩越しと同じでよいと思います。
ホントは声音とセットで出現するようですが、触覚に注目すれば、確かに服越しに触覚が届くと言ってよさそうです（用例も有り）。

連載・更新、楽しみにして居ます！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
失恋した時も「ヤケ食い」しますよねｗ
それもイザナキとイザナミの神話に由来するんでしょうかねｗ
語源を探るって面白いですね。
今日もとても興味深いお話でした。
ありがとうございました！

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメント頂き、ありがとうございます。
うーん、失恋してのヤケ喰いですか。

底無しに食べつづける様子を見ていると・・・
病いに臥せって居る人の食欲と相通じるものがあるのではー？
古代、日本列島で疫病といえば、マラリアとかかな？と思ったり（：不明）。
蛇か百足か、どちらも地底の主っぽいですけどね（汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊
フゥ…。
私も自棄食いできるようになりたい。
医者に、「とにかくひたすら肉を食え」と言う診断だけで終わった先月ｗｗ。
それが出来れば苦労せんわ！ｗ。
疲労と夏バテが先に来て、食欲がなくなるから困ってんのに！！（半泣き）。
せめて一週間でいいから、上げ膳据え膳やってくれないかなぁ（溜息）。
外食するのも大変だし、かと言って惣菜はまずくて進まないし。
週末は特に疲れが…（苦笑）。
暴飲暴食って、ちょっとした夢ですｗｗ。

投稿者：妃宮　咲梗

＊　＊　＊　＊

妃宮さんコメントありがとうございます。
身も肥えますが舌も肥えますからね。
食欲が無いときほど、とびきり美味しいものを舌が求めて居るのかも知れません。
イカとかタコとかアワビとか、味が無いおかずが美味しく思えますね！そんなときはー。
（味が無いのも味のうち？）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

１２７）・１２８）

１２７）　いばる？

その昔、ヤンキーマンガが流行ったコトがあった。
初めは本宮ひろし「硬派・銀次郎」であろう。
喧嘩は素手、肩で風を切って歩く代わり、バイクとかには乗らなかった。

（今もやってるか知れないが）木内「ビーバップ・ハイスクール」も同じ系統である。
特に彼らの物腰、ヤンキーの世間にだけ伝わる仕草や隠語が面白かった。

「メンチを切る。」＝「ガンつけ」「ガンをとばす。」

もとはこれ、合った視線をそらしてしまうコトであったろう。
「目を切る」＝「（合わせて居た）視線を外す。」
という意味合いであるから。

また「ガンつけ」の仕草の際には、ー
腰を構えて、しゃがみ、下から睨み上げるようにする。
この姿勢、古への、
「湯まり。」
と名のつく姿勢と似通う。

今は昔、家にはトイレを設けず、ー
男女問わず、表へでて、平気で用を足して居た。

なので、女の娘にはパンツというものが無かったくらいだ。
（・・下着といえば肌着のコト。）
湯まりの最中に他人が通り掛かったりすると、ー
きっと警戒して、相手を睨みつけ、睨み上げたものとか予想される。

「ゆまり」＝「ゆ・ばり」（ま・ば通音の法）
「ゆばり」＝「い・ばり」（ゆ・い転化の法）
「いばり」＝「小便」。

ここから推すに、

「いばるな！」
と口に言えば、それ、
「そんなトコで小便するな！」
という意味だったのでは？とか思えて来る。

少なくとも、あの「ガンをとばす」仕草・・・
相当、大昔から世間に伝わって今にまで至るコトは、確かとか想われる。

（あと、しゃば僧（ゾウ）って、どういう意味かな？）（首捻）。

２０１０年　０９月　１１日　（Ｓａｔ）

＊　＊　＊　＊　＊
ガンつけ…
そういう意味だったんですねぇ。

目からウロコです。
シャバ僧は何となく「いい子ぶってる」っていう意味で使ってました。
今日も勉強になりました。
ありがとうございました。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さん早速コメントを頂き、ありがとうございます。
運転中に目を切る、よそ見すると危ないと教習所などでは言われます（苦笑）。
繁華街の裏路地に有る「しょんべん横丁」なども本当は「威張り」横丁なのかも？
う～む、耳に「しゃばぞう」と聞くと「ヤバ三」とも聞こえるけど、ー
使われ方をみると、ショボいヤツ相手に選んで使ってるみたいだし、ー
よくわかりませんね（ちっともヤバないやん、このヒト？みたいな・・）（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
娑婆僧でしたっけ、確か漢字で書くと。

娑婆は三千大千世界、つまり私達の世界。
でも実際の娑婆僧の使われ方は、不良やその筋の人に比べ、恐がる、ビビるなど、一般人的な反応をする人を指して、みたいな使われ方が多いと思います。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊　＊
しゃば・い？
ヤンキーは特別な人種っていう選民思想の表われなんでしょうか（苦笑）。
いざとなったら臆病風邪に取りつかれる。
それをひねりを利かせて、言ってるのか。
（ひねり過ぎっちゅうか…）（苦笑）。
ヤバいの対義語を狙ったものなんでしょうかw？
そういえば、ヤバいは意味が変わってますね！
（亀田三兄弟ブームの時に初めて知った）（焦）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
恐らく、『娑婆い小僧』の略かと。
悪ぶってるだけで、もしくは、実は見かけ倒しなだけでイザと言う時はビビる人。
広義では一般人も含めて、娑婆僧かなと（笑）

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊

そうじさんコメント下さり、ありがとうございます。
あ、そのしゃばですか！
ヤバとか茶羽とか思い込んで居たもので（恥）。
現世の僧を「ビビり」な人になぞらえてる訳ですか。
確かに「坊さん」には今や「臆病者」となイメージが有るか知れませんね。
（誰が言い出したのかな？）（汗）。
お知らせ、感謝します！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１２８）　秋の虫。

トンボやチョウは空を飛べるから良いが、バッタやカマキリは足で歩くから大変だ。
至る処ろ、道路が植生を分断して居るので、草原を渡り歩くのにも必ず道路を渡らなければならない。
ミミズなどは熱がもろに身を焦がすから、凄いスピードで渡って

ゆく。
それに比べれば秋の虫たちは、まだマシだけれど、クルマに轢かれる危険は同じである。
道を渡る間は、そばに天敵が居てようが、我れ先にと渡ってゆく。
天敵の方も好物には目も呉れず、最短距離で向こう側の草原を目指す。

カマキリも　バッタも一緒に　道渡る　午雲。

（字余りでした）（汗）。

２０１０年　０９月　１２日　（Ｓｕｎ）

＊　＊　＊　＊

カマキリって羽根があったような。
バッタも種類によっては、跳ねるよりも羽根で飛ぶに近いものもいたりした気がする。
うる覚え、ウルオボエ。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊

山羊の宮さんコメント下さりありがとうございます。
バッタも逃げる時にしか飛ばないのでは？
ふだんは跳ね歩くだけみたいです。
カマキリの羽根は飾りだと聞いたコトがあるけど、やっぱりピン

チに陥ったら本気をだして飛ぶのかな？
（知らないことが多い…）（うーむ）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
いやいや、カマキリめっちゃ普通に空飛びますよ！
おまけにバッタも飛びますよ！！
でも、道路を渡っているカマキリが周囲を歩く人間などに一丁前に必死に威嚇して、カマを構えている姿は微笑ましくて可愛いんですけどね。
飛んでこられると、ビビりますｗｗ。

投稿者：妃宮　咲梗

＊　＊　＊　＊　＊
やはり飛ぶか。
やはりな・・・（まるで全てを知っていたかのように）

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊
妃宮さんコメント入れて下さり、サンキューです。
カマキリも子どもの間は飛べるのかも（身軽なだけに…）？

バッタは、中道なら、ひとっとびで渡ってしまいそうなものですが、なぜか歩いて渡ってることが多いです。
（ホントは飛ぶのが嫌いなのでは？）
カマキリが斧を振りかざした時には、感情むきだしな感じがして、見直してしまいますねｗｗ
昆虫界の王ですからね、あの誇り高さ、健気です！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊
風流な、それでいて殺伐とした名句ですねぇ。
ビートたけしの「赤信号　みんなで渡れば　怖くない」に共通した強烈なアイロニーを感じます。
家の周りでは虫がうるさく鳴いてます。
もうそんな時期なんですねぇ。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメント頂き、ありがとうございます。
あの様子を見て居ると昆虫も学習するものとか思えて来ます。
きっとボケっとしてたら轢かれるというコトを知ってるんでしょうね！
彼のたけしの名句は当時、募集された「ことわざコンテスト」からヒントを得て居ます。
「零点も　みんなで取れば　平均点。」

これが一等作品で、巨泉の「クイズ・ダービー」で設問にも為った程です。
（正解者は三枠・原たいらのみでした）（↑クイズの神様w）。
「零点も　みんなで取れば」さて、なんということわざだったでしょう？
面白い問題だったので（意味も無く）今でも覚えて居るのでした（生きた化石？）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
短編で、女の子に殴られそうになって猛スピードで逃げるかたつむりを書いてみました。
あれ読者に伝わったかなあ。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊
こちらにもコメントありがとうございます、らいす兄さん。
かたつむりなら殻のなかへ逃げ込むのでは？（亀と同じく・・。）
そう、なめくじよりは早いかな（目が有るだけにー）w？

投稿者：午雲

*

*

*

*

*

１２９）・１３０）

１２９）　復元。

アジアの両雄と言えば、インドと中華。
インドにサンスクリッド語あり、中華に甲骨文字あり。
釈迦の経典ならサンスクリッド語・・・
漢訳して「梵語（ボン）」で記してあるらしいが、ー
すでに滅んだ。
唯、お遍路さんが唱える呪文、
「ぎゃあてい　ぎゃあてい　はらぎゃあてい
はらそうぎゃあてい　ぼうぢそわか。」
ここにだけは、梵語の音をそのまま遺して居ると云う。

中華の古代文字なら甲骨文字・・・
これは漢字と相（すがた）を変えて今に息づいて居る。
商王朝、通称・殷（イン）王朝の首都は安陽（アンヨウ）・・・
そこまでは分かって居たのだが、それが何処なのか、とんと分からなかった。

なので、漢字と言えば、秦の始皇帝・・・
彼の時代に定めた「篆刻（テンコク）」を基ゐとして居た。

風の噂に、
「不思議な妙薬が有る。」
と聞こえて来たのは、十八世紀頃。
見た事もない文字が刻まれた板を、ー
薬として切り売りして居る者が在ると云う。

その噂を便りに当たってみると、ー
何と、それこそが「甲骨文字」の切れっぱしだった。
「へえ、もう随分前から売って居ります。」
と土地の者が言う。
「土を掘れば、いくらでも出て来ますよってに。」
案内してもらうと、ー
その場所こそが「安陽」の在り処であった。
ここを「殷墟」ともよぶ。

感激して発掘を始めたのは良いが、ー
折り悪しくも、戦争が始まってしまった。
占いの甲羅は段重ねにして丁重に封してあったのだが、
（日本帝国陸軍の手には渡せぬ！）
急ぐあまり、みな衣装箱へ詰め込んだので、ー
逃れて台湾の地までたどり着いたときには、ー
哀れ、粉々に砕け散って居た。

その修復作業は、今もなお続き、ー
幸いにして、出来上がった板から順に、解読に挑んで居るとか云う。

一体、いつ復元が成るものやら・・・
・・想うに、気が遠くなるような話しではある（合掌）。

２０１０年　０９月　１３日　（Ｍｏｎ）

＊　＊　＊　＊　＊
本当、復元はいつになるのでしょう。

「龍骨」と呼ばれる骨の表面に刻まれていた甲骨文字。
骨を削って薬として売っていたんですよね。
カルシウム補給は出来そうです。

中国は４０００年以上をかけて歴史や文化を築いて今があるのに、日本はよくこの短い歴史で世界と肩を並べる事ができたなと。
どれだけ効率の良い成長をしてきたのでしょう。
そう括るとアメリカもそうですけどね（笑）

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊　＊

そうじさんコメント入れて下さり、ありがとうございます。
うむ。日本でも魚の身とか唱いながら蛇の切り身を売りさばいて居た昔もありますから（苦笑）。
薬も半ば信心の加減で効いたり効かなかったりするのでしょう。

封建制と貨幣の流通。
奇しくも欧州と日本とは同じような歴史の流れを辿って居ます。
戦国期には華僑を凌いで、日本がアジアにて覇権を唱えて居たような雰囲気すら感じ取れます。
（ポルトガルの宣教師は本国へ宛てた手紙の中で日本を特に褒めちぎって居ます。）
もともと素質があったんでしょうね！
アメリカが資本主義の鬼と化したのは、二度の大戦に絡んで大儲けしてからと聞いて居ます。
それ以前は「大草原の小さな家」みたいなノリだったみたいです。

（武器商が歴とした主要産業ですからな…）（冷汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

「ぎゃあてい～」って般若心経じゃなかったんですか？
何だか気の遠くなるような復元作業ですね。
今日も勉強になりました。
ありがとうございましたm（＿　＿）m

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメント下さり、ありがとうございます。
四国は彼の弘法大師・空海の出身地ですから、おそらくは真言宗（密教）の呪文かと思われます。
漢語よりか梵語の方が効能が有るはずと考えたのでしょう（釈迦の時代の言葉だけに―）。
（行った行った彼岸に行った、法（のり）に幸あれ！）
という風な意味だったかな？
竜骨の復元は、顕微鏡などを用いて極めて慎重に行われつつあるそうです。
ユダヤ民族が死海文書の解読に精魂を傾けるのと、似たような趣きがありますね。
もっとも箱の中身を復元する訳で、散逸したわけでは無いから、理論的には可能だと思います。

（粉薬？としてヒトの腹の中に収まった分は、もう取り返しようが無いけれど…）（残念）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１３０）　ふすま。

押し入れのふすまを引き開ける。

今に「ふすま」と謂えば部屋を仕切る建て具のコトだが、ー

もとはこれ「寝床」のコトかと思われる。

いにしへ、ふすまといえば「布団」のコト・・・

昔なら上着をひっかぶって寝たので、

「掛け・ふすま」＝「上着。」

でもあった。

「ふす・ま」＝「伏す間」。

伏すと言えばそれ「うつ伏せ」なはずだが、ー

臥薪嘗胆・・・

この「臥」をも「ふす」と言うから、ー

もとは、どっち向きでも構わなかったのであろう。

風通しなどを考えて、ー

昔ながらの家屋なら、軒並み「平屋」であった。

一階建てにして本来、ひと間切りな造りである。

すると、寝るにしても着替えるにしても、他人目が気に懸かる。

そこで、伏す間を隠す為めに、ふすま立てを巡らせた。

何事も、ふすま立ての陰に隠れて、執り行ったのである。

ふすま立てが屏風と為る。

事が済めば、取り払う。

やがて、敷居を設けて、ふすま戸とは成る。

何かの時には、ふすま戸を全て開け放つ。

かつては紙子という紙の浴衣を羽織るコトもあったので、ー
本来、紙ぶすまと謂えば、これ着物のコト・・・
それがいつのまにか、ふすま戸の別称と為った。

戦さにて「槍ぶすま」という。

穂先を揃え、周りを槍で取り囲む様をいう。

これ、敵将の居場所を「臥す間」に見立てて居る訳だが・・・
・・ならば、槍の向きが逆さまのような心地もする（冷汗）。

２０１０年　０９月　１４日　（Ｔｕｅ）

＊　＊　＊　＊　＊
　ぼくは昔おばあちゃんに聞いたことがありますよ。
よくふすまを蹴飛ばして穴を開けて遊んでいたので、
「これ。ライス。そんなことしてると、ふす魔が現れるぞ」
と。
ばあちゃんによると、ふす魔は、身長３メートル。
口から火を噴き、全身毛むくじゃらだという。
ぼくは恐ろしくて恐ろしくて眠れませんでした。
ふす魔に追いかけられる夢を何回も見ました。

その数週間後、おばあちゃんがふす魔に殺されたというのを母さんに聞いた後、もう夢にふす魔は出てこなくなりました。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊

らいす兄さん、素早いコメントありがとうございます。

伏魔殿・・・

そんな言葉が思い浮かびます。

屏風にも、もののけが居たんでしょうか？父さんっ（声・鬼太郎）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

鬼太郎！

筒井師匠の作品に「公共伏魔殿」という短編があったのを思い出したぞ。

ＮＨＫの局内をめちゃくちゃに書いてるのだが（うろ覚えだけど、出演者がうんこもらしながら素っ裸で走り回ってたりしてたような気がする）、わしは青い頃に読んだので、ほんまにそうなってんのかとちょっと怖かった。。。ＮＨＫはミステリアスな感じするから。。。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊
そのタイトル、わたしにも記憶があります。
昔なら朝の連続テレビ小説に出たっきり、消えてしまう女優が多かったみたいで。
確かに一旦、清純派のイメージが着くと、他の仕事がしづらかったものと想われます。
（刃傷ものとか濡れ場とか・・。）
おもえば、気違い染みたキャラに追い回される、というのは、ー筒井氏の目に立つ得意技のひとつではありますな（汗）。
チャップリンのドタバタ喜劇が念頭に有るんでしょうか？

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
確かに清純派てかわいそうだなぁ。
絶対に昼ドラとか出られないものか。
てか、元ウインクのさっちゃんがポルノに出てたよ！
これはこれでむふふのようなあらららのような。。

筒井ドタバタの場合はチャップというより、マルクス兄弟だろうか。
ただマルクス兄弟観たことないんでよくわかんない。
かなりクレイジーらしい。
チャップはちょっとハートフルです。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊

聞く処ろによると、ー

ポルノ映画にも”スタントウーマン”が居るそうで（ヴィデオ店・店長・談）。

プロダクションでぶらぶらしてるだけの、お荷物？女優がコレに当たるそうです。

（・・夢を壊してゴメンなさい。）（小舌）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

今の新しい家は、襖のない家も増えてきたようですね。

家はオール電化なので、ガスも灯油もありません。

便利な世の中になったものですねぇｗｗ

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメント入れて下さり、ありがとうございます。

少し山間部へ住むと、気候が厳しいので、平屋建てで無いと住むのに難儀します。

特に夏場と冬場をいかに乗り切るか、ー

デザイン的には平屋建てというのは智恵を尽くした絶妙のものら

しいです。
（：長持ちなので、住宅会社は商売あがったりかと思いますが）（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

では私は　襖の漢字解字という角度から検証を。

襖

《意味》

〔名〕衣服のあわせ。わたいれ。「袍襖ホウオウ」

〔国〕ふすま。建具の一つ。からかみ。あお（アヲ）。

（イ）奈良・平安初期、武官の朝服。

（ロ）かりぎぬ。「素襖スオウ」とは、室町時代に直垂ヒタタレから変化した武士の常服。のち、礼装用にもなる。

《解字》

会意兼形声。「衣＋音符奥（＝燠。ぬくみがこもる、あたたかい）」。

うーん、この、会意兼形声。
「衣＋音符奥（＝燠。ぬくみがこもる、あたたかい）」。
が妙に気になりました。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊

そうじさんコメントを頂き、ありがとうございます。
古代には衣を今の布団代わりに用いる習わしがあったようです。
室と言っても土間をつき固めたものですから、かなり寝心地は悪かったと偲ばれます。
奥というのは屏風の奥で、つまり寝床を指す文字なのでしょう。
寝床に敷く衣、寝床で被る衣という本意かな？
むしろ衣のほうが本意ですから、この文字は単に形声と見るべきかも。
すると子音は「イ」系統に為りそうなものですが、―
推して思うに、もとは、
「イ・オウ」＝「ヨウ」
とな音たりしかも？
そこから声「おう」へ転化したのかも知れません。
すると本来は会意の文字なのかな（多分）。
兼が付くのは、曖昧としか言い様が無いですね（苦虫）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

１３１）

１３１）　短編好き。

起承転結と名のつく構成を考えると、ー
短編・作品は読み捨てにされがちだ。

ラスト・シーンに向かって、行文が並べてある訳だから、ー
一度、それを見てしまうと、しばらく用が失くなってしまう。

この辺りが短編の泣き所ではあろうか。

言い遂せて、何かあり。

これ、俳聖・芭蕉の述懐だが、ー
彼も、おのが句を読み捨てにされる事をやるせなく想いしものとか偲ばれる。

ラスト・シーンも大切だけれど、ー
その過程だけでも、読み手を魅き込めないものか。

小林秀雄は、当時、
「地味。」
と目されて居た、彼の井伏鱒二の文章を褒めるに当たって、

「言葉の布置。」
という点に着目して居る。

鱒二の短編にてはオチはどれも微妙？なのだけれど、ー
その文辞の相（すがた）は非常に美しい。
（むしろ整って居ると言うべきか。）
行間に、そんな雰囲気が有る。

たとえ笑い話しであっても、ー
行間に何かしら雰囲気が有れば、
（もう一度、読んでみようかな？）
という気持ちをそそる。

聖騎士さんに倣って、おすすめ作品（短編）を言え、と言われれば、

「あばら骨ハヤオ＆肩甲骨トミエ」

この二人の書き手さんを敢えて推してみたい。

（ご両人とも復帰の日が待ち遠しい処ろではある。）

おヒマな方は、ユーザ検索からＧｏ！してみて下さい。

（珍味・保証つき）（失礼）。

日付　２０１０年　０９月　１５日　（Ｗｅｄ）

＊　＊　＊　＊　＊

短編、長編。それぞれのよさ。

ひっぷで長編書く楽しさわかりましたよ。

読む楽しさは知ってましたが。

書く楽しさは実際書いてみないとわからんすね。

今は短編書く苦しみを味わってます。

以前はほいほい書けてたのに、長編に集中して以来、書き方忘れてしもうた。

投稿者：ごはんライス

」

＊　＊　＊　＊　＊

ライスさんコメントありがとうございます。

長編にもストーリー・テラーとエピソード・ライター？の二種がありますね。

漱石の「猫」なら、エピソードを叙述するだけに終わって居ます。

短編とは基本、エピソードが主体とか思います。

（こんな事件がありました。）

昔話などは、その典型と見えます。

（ある日、日本にて、こんな事件がありました。）

すると、キャラは（日本人なら）誰でも好いって話しになるのかな？

（三面記事をよく短編のヒントに使う例があるけど。）

現実を種に現実より先へ行く。

考え過ぎると余計に書く勇気が萎えてしまいそうですな（かゆみ）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

ひっぷはどちらかというと、エピソードの集合体かなあ。
まあストーリーがまったくないわけではないけど。
一応、ある。起承転結。まあつまらん起承転結だけど。
やはり、笑ってはいけないシリーズが準拠にありますね。
あれは映画のような番組のような。
一応、大きな起承転結はあるんだけど、どのシーン観ても笑える
とこは、エピソード集合体ですね。

ひっぷは筒井師匠の反復文体をやって満足してまいました。
もうちょい練らんとなあ。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊

実際、漱石の「猫」は当初は人気を博したけど、後になって、
「寒月の恋愛問題はどうなった？」
「ストーリーの体を成して無い！」
というので方々からこきおろされたとか。
しかし当時、英国では、
「筋書きの無い小説。」
という風な作品もチラホラ出てたそうです。
「そんなつもりで書いた作物では無い。」
先生は、その一言。

やはりエピソードの可笑し味を狙った、落語趣味な作品だったの
でしょう。

小説＝結末あり。

そんな思い込みも、固定観念の一種かも知れません（悩み）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

連載か書き下ろしかにもよる。。

連載だとやはり一ヶ月は楽しめるようにせんといかんから、極論、短編の集合体のような長編になる。

けど書き下ろしの場合、そのへん気にせんでいい。

実際、外国の上下巻大長編古典で、八分の七までくそだるくて、ラストの八分の一で感動的に盛り上げるってのあるもの。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊

それ、ジャンプだったら一年で打ちきり。

いくら三年後、感動的になるゆうても。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊

あの長編を分載するという形式は、日本では当然だけど、海外では例外に属するとか。

（本の売れ行きが下がるから。）

雑誌には専ら短編を載せて、長編なら書き下ろしオンリーと決まって居るそうです。

逆に謂えば、

（日本には短編作家が少ない。）

という徴われなのかなァ（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
わかる！ヨーロッパもアメリカも。日本だけですよね。
前言ったけど、昭和２０年代て日本も連載４ページくらいだったでしょう。
でもヨーロッパて今でもたぶんそう。
そうすると、ネコみたいになりますよ。
全体の整合性・文学性よりまず一回一回の娯楽性が優先されるっうか。
週刊で２０ページの日本てはっきりいって、外人漫画家にとってはクレイジーですよ。
だいたいアメリカの漫画は完全分業制。
企画部があって脚本部があって、作画部があってという感じ。
日本も今はアシスタント制だけど、最低コンテは漫画家がやりますものね。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊
彼の本宮ひろしサンなんかは、
「俺は目しか描けねえ。」
と大昔から言ってました。
「けど、あの目は俺にしか描けねえよ。」
堂々と言える処ろが、男気っちゅうか何ちゅうか。
独りに全部描かせるのも結局、手間が省けるからでしょうネ。
（セコいぞ！五代くんっ）（声・三鷹氏）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

おもろい！！！！

手塚も連載を三本同時に描くとき、顔を先に描くから、別の漫画のキャラの顔が別の漫画のキャラの胴体についてるみたいなことがあったそうです

（ブラックジャックの顔にアトムの胴体とか笑えませんよ。きもくて）

赤塚師匠はお粗末くんの顔、コピーしてはってたみたいですね。

めんどくさいから。どうせ同じだからええやんと。

男気なのか何なのかようわからん。かっこいいような気もするけど、そこまでいくと。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊

う～ん、本宮氏だから許されるというか（・・なんせあの時代ですからね？）（冷や汗）。

手塚にしろ赤塚にしろ、昔なら線が少なかったから、どうにか乗り切れたんでしょうな。

今時のマンガだと少女マンガ系のタッチで輪をかけて線が多いから、四苦八苦だと思います。

（絵が凝り過ぎてて、逆にアニメ化・不可能なのでは？）（ムリ×2）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

自分も、
あばら骨ハヤオさんと肩甲骨トミエさん、お気に入り登録していますよ～

短編は、短いから、気軽に読めるし、気軽に読み返せるところが、いいかな～
ただ、なろうだと、すぐに埋もれてしまうのが欠点かしら。

投稿者：？まいまい@ノ”

＊　＊　＊　＊　＊
まいまい@”ノさんコメント寄せて下さり、ありがとうございます。
あのツートップは強烈でしたね～w！
毎回、企画（お題）を立てて、二人して競り合って居たそうですがー。
「普通のは書かないぜ！」
という気迫を感じました。
ホント、まだ一年ほどしか経ってないのに、ー
どんどん埋もれてゆく感じがしますね（寂シイ）。
（キーワード・カレーっていうのがまた難しい・・）（汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
そういえば午雲さんはどんな漫画を読まれるのですか？
新しめなのも含めて、お好きな漫画はなんでしょうか？

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊　＊
そうじさんコメント下さり、ありがとうございます！
近所に文房具屋兼マンガ屋さんが在ったので「ドラえもん」の一巻から読んでます（化石）。
妹が居たので「キャンディ×2」や「ガラスの仮面」も知って居ます。
ジャンプのマンガなら大概、読んでます（何処かには置いてあったので）。
「めぞん一刻」と「タッチ」とは話題になってたので、よく読みましたね。
（・・野球は観るだけなヒトでしたが・・・）（汗）。
「ギャラリー・フェイク」が終わってからは、遠ざかってます。
（なじみの散髪屋さんでたまに拾い読みするだけw）
「海皇紀」が面白いかなァ（あの絵が好きです）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
ＰＶ数でランキングを出すサイトは、短編は明らかに不利ですよね。
どんなにいい作品でも、上位にくることはまれ。
そのお二方は存じませんが、縁があれば読むこともあるでしょう。
ともあれ、力強いコメントありがとうございました。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメントありがとうございます！
うーん、やはり電籍化するとなると、新聞と同様、

「分量が多くないと売りにくい。」
という信仰？が有るんでしょうね！
短編といえど、キラリと光るものがあれば、売りものとして耐えるはずですが。
やはり売り手としては売れ残ってガミを食うリスクを先ず、恐れてしまうのでしょうね。
中・長編を書き切る力を練るより外、無いかな、やっぱり…（汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

１３２）・１３３）

１３２）　レベッカ。

男なのに「レベッカ」が好きというのはヘンな話しだけれど、ー

遠く私が高校生の頃、軽音楽部がコピーしてたのが、このバンドだった。

剣道場を入ると、その地下に、各部室の扉が密集して居た。

（もう慣れっこだったが）むっと立ち込める臭いの上に、ー

さらに隣りからは絶えずレベッカの演奏が聞こえて居た。

ボーカルの声とドラムの音が半端じゃ無い。

お互いに口を寄せなければ、こちらは会話が聞き取れない程であった。

（防音壁なんてあるわけない。）

コピーながら、そのとき毎日、聴かされて居たのが「フレンズ」だった。

もちろん、それだけでは終わらない。

ｋｅｅｐ　ｔｈｅ　ｂｏｔｔｏｍ　ｌｉｎｅ．

いつだって　ギリギリの
澄まし顔だけど
ホントの愛を知ってる。
ーなんて、ボーカルの女の子が、際どい声色で歌ったりする。
（はっきり言って、体に毒・・・）
レベッカのボーカルと言えば、彼の有名な＜ｎｏｃｃｏ＞だが、ー
女性にしか書けないような、怖い詞を平気で書くから時々、ドキリとする。

文字数のボトム・ラインが二百文字になったのを思い出して、ー
旧作「十年一日の如し」を編集した、という報告なのでした。
（割り込み投稿した新話は、夜兎さんの短編のネタと被ってるかも？）
（・・ただし、偶然、偶然。）（失礼）。
２０１０年　０９月　１６日　（Ｔｈｕ）

＊　＊　＊　＊
レベッカ。
私も好きでした。
学生時代を思い出す歌声です。
懐かしいです。

投稿者：橋本　直

＊　＊　＊　＊
橋本さんコメントを寄せて下さって、ありがとうございます！
そう、いま思うと存在感が有るバンドでしたね！
売れ線なら、ふざけた歌詞が多いのに、あの聴かせる歌詞が殊に印象に遺って居ます。
（ライブで聴けたコトは聴けたけど、コピーですからね？）
本物のライブを一度でいいから聴いてみたかったです（心残り）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊
知ってますよ！
「７６ｔｈ’ｓ　ｓｔａｒ」だっけかな？
この歌が好きです。
その時代っていい歌多いですよね。
「ＮＥＮＡ」ってドイツのバンドも好きです。
「ロックバルーンは９９」って言ったかな？
今の曲より好きですね。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメント入れて下さり、ありがとうございます！
もう昭和の匂いってくらい懐かしのメロディになってしまいました（化石）。
あ、でもダウンロードとか出来る時代だから、聴こうと思えば、気軽に聴けるのかな？
（実は洋楽にはとんと疎い午雲なのでした）（冷汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
フレンズは何年か前にドラマの主題歌になってましたね。
ボーカル、歌詞もさることながら、曲もとても印象的でした。
＞女性にしか書けないような、怖い詞を平気で書くから時々、ドキリとする

そのお気持ちはよく分かります（笑）
とある曲をボーッと流していて、ふと聞き直したら、
『あなたのお姫様は誰かと腰を振ってるわ』
でしたから（笑）

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊　＊
そうじさんコメントありがとうございます！
消息・通によるとレベッカのリーダーに木暮♂というヒトが居て、未完の恋愛に終わって居たとか。
なのでノッコは何時も木暮に向けてメッセージを送って居たそう

です。
（チェリー食いまくったろか（結婚前に…））
みたいな歌詞もあったような（‥はじけてます）（汗）。
解散後、ロスへ飛んでめでたく一緒になったそうです（‥どうでもいいけど）（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
レベッコの「ＫＩＮＴＡＭＡ」は名曲ですね。

女は心にみんなきんたまを宿してる
ああたまに玉のないミッドナイト
きんたまを蹴り飛ばしたい夜もある
女はきんたまがほしいのよ
おっぱいときんたま交換しますか？
二個ずつ交換しますか？
どうします？
女は心にみんなきんたまを宿してる

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊
らいす兄さん、Ｆコメどうもです。
ノッコなら英語で歌いそうですネ？
（アイアン・ボールか？）（首捻）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

１３３）　「耳から草子」第百段・到達。

「葉書き物語り」の付録として始めたものが、ー

いつのまにか、百段まで来ました。

大強引流な我流の仮説に頼って居る為め、ー

将来、齟齬（ソゴ）を来たす可能性も無きにしもあらず。

記号としては「」と（＝）としか使ってませんが、ー

本当なら、もっといろんな記号を使ってみたい思いです。

そのうち、ＩＭＥにて作成しだすかも知れません。

（しかし、縦書きで読むと横向くからなァ）（汗）。

アクセス０の日が無いコトが、やはり、何よりの励みです。

これからも宜しくお付き合い下さいませ（福助）。

２０１０年　０９月　１８日　（Ｓａｔ）

＊　＊　＊　＊

百段到達おめでとうございます！
いつもその想像力に感心させられています（笑）
これからも長く続きますよう応援しています。

投稿者：大橋　秀人

＊　＊　＊　＊

大橋さん、うれしいコメントを頂き、ありがとうございます。
日本語はあまりにも古いものだからこそ、ありふれて見える言葉であっても、語源が辿れないのだと思います。
けれども、言葉の成り立ちには、各々に、もれなく因果や由縁、歴史があるはずと信じて居ます。
その一念ですよ！
一つでも多くの言葉の、本来の相を明らかにしてゆきたいと考えて居ます。
（中り外れも、なかにはあるでしょうが…）（恥）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

おめでとうございます。
いつも勉強させていただいております。
千段を目指して下さい。

投稿者：神村律子

＊　＊　＊　＊　＊
神村さんお祝い頂き、ありがとうございます。
これはＰＣのお蔭もありますね。
筆書きだと、こう早くは書けてないと思います。
（書いては消しの繰り返しでしょう。）
あまりマニアックにならぬよう、なるだけ頑張らせてもらいます（予定は未定）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
百段おめでとうございます。
いつも勉強させていただいています。
これからもなろうの言語領域を引っ張っていってくださいね！

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんお祝い下さり、ありがとうございます。
大陸にては「百年」と言えば「永遠」に通じるニュアンスが籠もって居るそうですね。
それだけに、区切りの好い数字とは想われます。

和語の単語は軒並み音節が短いので、ー
本当は仮説なら複数立ち得るものとか考えます。
その内から、的を射得て居そうなものを自分なりに選んで居る訳ですが、ー
案外、それが見当外れな可能性も勿論、有ります。
その辺りは、自由に取捨選択して欲しいですね！

きっかけになれば、これ幸いに思います。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

アクセス０の日はありえません。
少なくともあと９０日は保証できます。
私、１０日前から一日一話読んでますから。
もっとも、私以外の方も読まれているのでどのみちアクセス０はないんですけどね（笑）

百段おめでとうございます。毎回勉強させて頂いております。

本当に良い時機に午雲さんと出会えたと感謝。
いつか「耳から草子」に言霊が住まう日がくる事を祈りつつ。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊

そうじさん励ましの言葉を下さり、ありがとうございます。
文明以前の世界を空想して居たので、前半は尚更、異様？なのでは、と心配します（汗）。
アジアには、まだまだ古代風な暮らしを守る集落が沢山にあるとか。
なので、想像する手掛かりは大いにあると思います。
（もちろんフィールド・ワークまでやる積もりはありませんが）（苦笑）。
時の狭間の界の、何かお役に立てれば、幸いです。
（アイヌ語が謎ですね、やっぱり…）（汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

１３４）・１３５）

１３４）　処刑の方法。

フランス革命の際、マリーアントワネットをほふったギロチンは有名だ。
これを発明した革命家も、最期はそのギロチンに架けられたと云う。

牛裂き、と称する刑も見える。
四肢に綱を掛け、四方から牛を駆るのである。
この牛が馬車へ替わると、車裂き、と成る。
魂の復活を許さない、呪法でもあった。

崖と崖との合い間・・・
深い谷間をスキーで飛び越えさせる刑もあった。
斜面を滑り降り、その勢いで宙へ飛び出る。
風に乗っても、雲をつかめるはずが無い。
実際は、真っ逆さまに谷底へ落ちてゆくばかりである。
ここから、スキーのジャンプ競技が生まれた。

熱帯地域の刑に、虫殺と謂うものがある。
十字架にくくり付け、丸裸になしてから、その全身に蜜を塗る。
そばに火を焚いておくのを、忘れてはならない。
夜が更けて、ー
すると密林の虫たちが雲霞（ウンカ）の如く集まって来る。
密林の虫たちは飢えに苛まれて居るので、ー

蜜にあぶれた虫たちは、人肌にさえ喰い突いて来ると云う。
羽虫にたかられて逝くから、他人呼んで、虫殺と謂うのだそうだ。
マンガ「ゴルゴ１３」の何処かに、その様子が出て居た。
（もちろんデューク・東郷は生き延びたけれど・・）（不死身）。

２０１０年　０９月　１９日　（Ｓｕｎ）

＊　＊　＊　＊　＊
処刑というと「戦場のピアニスト」のナチス将校がユダヤ人を射殺していく光景を思い出します。
最後の一人で弾が無くなった拳銃（Ｐ０８）を平然とマガジンを交換して最後の一人の頭を撃ち抜く。
オートマチック化されたような将校の表情が印象的でした。

投稿者：橋本　直

＊　＊　＊　＊　＊
橋本さんコメントを寄せて下さり、ありがとうございます。
欧州の歴史にて処刑と謂うと、彼の「魔女狩り」の流行が思い浮かびますね。
凶作や不安に見舞われると、発作的に巻き起こるようです。
ナチスの暴走も、欧州に全体の、潜在・意識の現われのような気配がします。
生きとし生けるもの全てに情けを掛けて居ては、狩猟や牧畜は成り立ちませんからね。
欧州人のこの種な心的・傾向を指して、

「黒い森。」
と、近隣の異民族は名づけて称んで居るそうです。
近年、日本人が例に無い残虐性を発揮し始めて見えるのも、
「黒い森。」
が意識下に形成されつつあるせいかも知れませんね（不安）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
事実は小説より奇なり。
「食人族」という映画がありましたが、現実は映画よりグロいらしいですね。
鬼束ちひろももしかして…

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメント頂き、ありがとうございます！
何か人間離れした事を行なうのが”祭り”の場とか想われます。
古代には、
「食べる事によって相手の異能を吸収する。」
という信仰が在ったようです。
勇者を食せば勇気を得られる。
食人の風習も、その一環だったみたいです。
（触れるだけで充分だろう・・）（冷や汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
うろ覚えですが、確か火炙りの刑って、槍で突かれて殺されてから焼かれるのが一般的（？）だったが、かのジャンヌ・ダルクは生きながら焼かれたのだとか。

怖いですね。

投稿者：神村律子

＊　＊　＊　＊　＊
神村さん、コメントを入れて下さり、ありがとうございます！
火あぶりは、復活を許さないという意味で、肉体を灰へ返すみたいですね。
死後、天国で無い、異界をさまよわす為めの呪法なのでしょうか？

異教徒よりも異端者を憎み、よく火あぶりに掛けたそうですが、ージャンヌは異端ではありませんからね。
宗教的・情熱とは出処ろが異なる発想に基づいて居るのかも（謎）？

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
虫はやだなぁ。虫はダメ。

人を殺してはいけないという意識はあくまで後天的な物。
同族を殺してはいけないと、先天的にそうであれば世の中もうち

ょっと平和だったのでしょう。

いや、よく考えると、そもそも同族を殺してはいけないなどとルールを設けている生物など、この世にいなかったか。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊

そうじさんコメント頂き、ありがとうございます！

虫殺は明らかに拷問に入るでしょうね（汗）。

真偽は定かではありませんが、内戦の最中にでも或いは行われたのかも知れません。

飢餓が極まると、群れにて行動する動物の間にては、稀れに共食い行動も起きるみたいです

（ピラニアとか）。

ただし、それ以外の理由にて同族を殺すのは、チンパンジーとヒトだけにしか見られないようです

（遺伝子の相違は０．１％）（冷や汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１３５）　模倣。

中学生になって、読むだけでは飽きたらなくなり、何かお話しを書いてみたくなった。
藤子不二雄「ドラえもん」や高橋留美子「うる星やつら」が全国的に流行って居たが、話しは毎回、どれも単純であり、誰にでも書けそうな気がして来る。

しかしキャラは案外、大人だ。
あたるくんが弁天の背筋を人差し指でなぞる仕草などは、ちょっと高校生とは思えない。
ドラえもんにしても、ロボットのクセに、妙に人間が出来て居る。
分別くさいオジサンみたく見える時がある。
（中学生には大人が描けない…）
まだ大人になったコトが無いのだから、当たり前だ。
一方、陰に隠れて居るけれど、作者は、もう大人だ。
大人も子供も知っているのだから両方、描けて当たり前である。

大人になるまでは模倣で良いし、実際、模倣しか出来ない。
オマージュとかパロディとかいうけれど、それは誰もが通る道…
・・けなすには当たらないと、今になって、つくづく思う。

２０１０年　０９月　２１日　（Ｔｕｅ）

＊　＊　＊　＊　＊
なるほど、ごもっとも。

『背筋を人差し指でなぞる仕草などは、ちょっと高校生とは思えない』

流石なトコを突いてこられます（笑）
高校生にはちょっと出来ないですよね。
模倣した作品をさも自分のオリジナルと主張するのがダメなだけなんでしょうね。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊

そうじさんコメントありがとうございます！
わたしの友人に「うる☆」の信者？が居て、よく議論してました。
「空飛んでたら自衛隊のレーダーに捕まる。」
とか、
「大気圏に突入したら宇宙船は燃え尽きる！」
とか。
友人は全て、
「異星人の科学は人智を超越して居るのだ。」
の、ひと言で片づけてましたが。
そんな彼でも、
「あたるは好かん。」
と言ってました。
男の目から見ると、あれは半分病気ですよね（苦虫）。
大人になってから童心に返るというのは案外、難しいと思います。
（思考実験と言うべきか）（感心）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

そうか。
僕が異常にオリジナルにこだわるのは、そういう気持ちの裏返しなのかもしれませんね。
以前「〇〇（プロの作品）を彷彿とさせます」のコメントにキレたことがありますｗｗ
青いですねｗ

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメントありがとうございます。
模倣から離脱するには、きっと大人の歳になるのを待つしか無いんでしょうね。
わたしも、模倣ばかりなのを焦りまくってた覚えがあります（中二病？）
これは核家族なせいもあると思えます。
昔は大家族制で、身の周りに色んな境遇の大人が生息して居た。
話しも聞けたし、モデルにも困らなかった。
それに比べると、いまは格段に不利かな、と思ってしまいます（汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１３６）

１３６）　「中」シリーズ。

文字「中」と謂えば、
音：チュウ。
訓：なか。あたる。
辞書には、これだけしか載っては居無い。

しかし我流にて、ー
文字「中」には、ー
もっと色んな意味合いが、今も昔もありしものとか見透ます。

１）「中軍」＝「王軍」。
王の旗の下にあるのが中軍にて、中とは「王旗」の象りでもある。

（あふ＝おう？）

２）「中」＝「つか」？

「中」には古く、
「つか・ふ」＝「仕ふ。」
という訓みもあった。

「王に仕える軍」＝「王中軍」？「中王・軍」？

「つかぬ」＝「中ぬ」。
「つかむ」＝「中む」。
「つかのま」＝「中の間」？
（小間使いを「中間（チュウゲン）」と武家に云う。）
「て・つかず」＝「手中・ず」
「ふ・つ・つか」＝「不・手・中」＝「生娘」？
（つ＝手。）

3）「中」＝「あひ」＝「赤」。

「藍色」と謂えば「濃紺」と定まって居るが、その花は赤い。

秋の花、あかまんまを、
「あい・たで」
とか、
「いぬ・たで」
とか、云うらしい。

（たで喰う虫も好き好き、の「たで」。）

「あえかな唇」の「あえか」＝「あい・か」？
（漱石の「猫」に、この形容詞が出現。）
「あい・あか」＝「あいやか」＝「あやか」＝「あえか（な）」？

もしか女性の唇が藍色・・・

紺色だったら、大変である。（↑酸素不足。）

4）「中」＝「なふ」。

くれなひ＝ぐれなひ＝ぐれんあひ＝紅蓮あひ＝紅蓮中。

「中」とは、紅蓮のような赤？

（紅蓮＝ぐれ（ん）＝くれ＝「呉」？）

「商ひ」＝「あきなひ」

「あきなひ」＝「さきなひ」（↑「あ＝さ＝は」声の転化。）

「さきなひ」＝「さきん・なひ」（↑隠れ鼻音「ん」。）

「さきんなひ」＝「砂金なひ」＝「砂金中」＝「砂金衆。」

「金売り吉次」と「炭焼き藤太」が商人（あきんど）の代名詞。

商人と言えば、砂金・人？（↑奥州・藤原氏。）

二人合わせて、藤吉・郎？

（ん・あい＝ん・ない）（音便）。

5）　文字「中」＝音「ゴ」。

「中」＝「呉」＝「五」？

女御（ニョウゴ）＝女中。

（上臘＝女郎。）（↑尊卑・逆転。）

午飯＝中食（チュウジキ）

後座＝中座（チュウザ）？

（座を後にする＝座を立つ。）

手中女＝「て・ゴ・め」＝「手籠め」（↑時代劇・用語。）

中味＝ゴミ？（↑ミイラ化？）

6）「中」＝「あ・つ。」

「中手」＝「あつ・た」

（手＝「た」＝方。）

「中」＝「熱」？

熱田＝中手？

熱海＝「あたみ」＝「あつた・み」？

「あつ・た・み」＝「あった・み」＝「あた・み」＝中手海。

（促音「っ」＝省略。）

（中手政秀。信長の守り役。自害の上、切腹して死去。）

（中手氏とは、もと熱田氏？）

（得＝「トク」＝古音「テ」。）

（勅使河原＝「チョクシがわら」＝「トクシがわら」＝「テシがわら」）

（中手氏＝中得氏？）

もて・あそぶ。

「もて・ぶ」＝「持手居」

「あそ・ぶ」＝「中手居」？

（ぶ＝うう＝居。）

「手」＝「チョウ」

「中手」＝「あつ・チョウ」

「あつ・ちょう」＝「あっちょう」

「あっちょう」＝「あちょ」

「あちょ」＝「あと」

「あと」＝「あそ」

ゆえに、

「中手居」＝「あそぶ」。

「遊び女」＝「中手居女」？

「中（手）居」＝「遊女」の隠し名？

すると、

「中手（居）氏」＝「遊氏（あそ）」＝「阿蘇氏」？

7）「中」＝「相」＝（左右）対称。

「合い駒・する。」＝「中合（なか）い・する。」（↑将棋・用語。）

（中合ひ＝あひあひ？）

相合傘＝中合傘。

「相」＝「中」？

「相」＝「中」＝左右・対称？

「中」＝「五」＝対称・形。

（北＝非＝鏡像。）（↑左右の手。）

「相好を崩す。」＝左右・対称が崩れる？

（相好＝相合＝音「ソウゴウ」？）

みめよき顔とは左右・対称な面相か？その昔…。

（瓜実顔＝出雲美人。）（↑平安調な面差しの典型。）
（能面＝相好？）
（地蔵＝相好？）（↑平安調な童子の顔。）

・・以上、備忘録でした。

２０１０年　０９月　２２日　（Ｗｅｄ）

＊　＊　＊　＊　＊
「中」華思想というのもありますねｗ
傲慢な民族らしい由来です。
今日もいろいろ考えさせられました。
ありがとうございました。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメント入れて下さり、ありがとうございます。
中華の「中」なら「王」という意味合いかな？
大陸風の礼を般める事を、
「王化。」
とか謂いますから。
大陸の住人は古来、黄色を貴びますが、

「黄」＝「王」＝音「オウ」
こう音が通じて居ます。
（自分の色に染める。）
という事なのでしょう。

王の旗の色合いは、時代によりけり、ー
今や黄色は列島に於ける「ピンク」の意味合いも有るそうですが、
何故か…（苦笑）。

投稿者：午雲

注）中手正秀→平手正秀。
（ン十年間、思い込み。）（赤恥）。

＊　＊　＊　＊　＊

１３７）・１３８）

１３７）　才と手偏。

和魂漢才。
学問の神様、菅原道真の頃には、こう謂われて居た。
よく漢文に通じる事が都に於ける出世の近道だったからである。
ところが、なお漢文は難解にて、原音で詠んで居た節もあり、貴族どうしの間であっても、才の有無によって反目し合って居た。
和才派と漢才派と、派閥が在ったのである。
漢才を示す者を目の敵にして、
「あざとし。」
と、ののしった。
ここから、
「わざとらしい。」
という形容詞が来たせしものらしい。
言霊の咲きわふ国柄だけに、文字を嫌う風もあったかと見える。
漢字には、手偏が付く文字が沢山にあるけれど、ー
どれも、
「才」＝「わざと～」
と見えて、仕方がない。

技という字は手偏では無くて「才偏」なのでは？
わざとらしいとな言葉があるのを思うと、そんな考えも浮かんで来る。
（支とは手で叩き割る動作を表わすと云う。）

２０１０年　０９月　２３日　（Ｔｈｕ）

＊　＊　＊　＊
「てへん」は「手を使って」という意味合いが加わりますからね。
そこに何かしらの意志が込められるのは至極まっとうなことのような気がします。
今日も勉強になりました。
ありがとうございます。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊
聖騎士さん早速コメント下さり、ありがとうございます！
けもの偏なら、犬の背中に何か刺さったような形に見えるのですが。
才は「ざえ」とも言って「冴え」にも通じるのですが、ー
たとえば、
「拗ねる。」
などは、

（わざと幼く振る舞う。）
と読めそうでしょう？

日本人は人工よりも天然を好む風があったのかな。
（書き順から謂うと、けもの偏の方が、よっぽど才っぽいんですけどね？）（冷汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
『日本古来の精神を失わずに、教養として漢学を学ぶべきだ』

新しい波にはいつの時代も初めは反発が付きものなんですね。
新しいものを否定的ではなく、ニュートラルに接する事が出来るよう、心のどこかに若さと好奇心を在り続け、そして公平に判断できるよう心掛けたいです。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊　＊
そうじさんコメント頂き、ありがとうございます。
稲は元々、亜熱帯・植物ですから、それを栽培するとなれば、高度な知識が要求されたはず。
学校などを設けて、技術者を養成したのだと思います。
その過程にて、文字の知識が必要とされたのでしょう。
しかし伝説によれば、彼の天智天皇の代に初めて日時計を設置したと云うのだから、ー

朝廷に仕える人々も、のんびりした者が多かったのでしょうね。
明治維新の頃には、和魂洋才と謂われたそうですが、ー
やはり雅びの頃と同じように、すったもんだの大騒ぎが在ったようです。
和魂＝のんびり。
ちょっと、そんな感じもして来ます（微笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１３８）　枕詞。

短歌に枕詞は憑きもの。

しかして其の由来は杳として解からない。

草枕→旅。

あしひきの→山。

ぬばたまの→夜。

ひさかたの→光。

ちはやぶる→神。

歌枕と名乗る言葉もある。

み吉野とか天の橋立てとか・・・

これは名所を指す。

およそ短歌には、枕詞や歌枕が入って居ないと、雰囲気が出ない。

筑波といえば連歌だが、ー

この連歌に謂う「縁語」と認め得る詞が、ー

彼の「枕詞」に近しいものかと予想される。

縁語には複数あるのが普通だけれど、ー

それが一つの詞へ固定化されたものが、ー

これ「枕詞」なのではないだろうか。

歌謡界には、作詞家がたくさんに生息して居るが、ー

人は違えど、暗黙のうちに決まり文句というものがある。

それは演歌もポップスも同様である。
歌詞用の文語という他ない。
（色あせぬ→思い出、とか。）
枕詞や歌枕の伝統は、ー
所を変えて、
「歌詞のうちに息づいて居る。」
と、観るべきなのかも知れない。

２０１０年　０９月　２４日　（Ｆｒｉ）

＊　＊　＊　＊
確かにそう言う言葉の連なりはありますね。
非常に興味深いです。
私もつい言葉の連なりを自然に実行してしまうことがあります。
ある意味伝統からは逃げられません。

投稿者：橋本　直

＊　＊　＊　＊
橋本さんコメントを頂き、ありがとうございます！
男の歌手が女歌を歌う際に、特に、そんな感を抱きます。

日常の会話で遣うと、
「なにクサいコト言ってんのよ？」
って即座に背中をぶっ叩かれそうな言い回し。
でも、歌に乗せると、それが似合うんですよね（不思議）。
文章においても無意識のうちに、そんな操作を掛けて居そうですね（異次元？）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
「韻文」とはリズムが大事ですからね。
まさに耳からの文学のような気がします。
そういう意味では語調って大事なのかもしれませんね。
今日も興味深いお話、ありがとうございました。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメントありがとうございます！
うむ。確かに枕詞を置かないと、初めの一句・五音が案外、難しいですね。
出だしで興が乗らないと、せっかくの歌も物足りなく思えてしまうかも？
五音の句を調えるための工夫として枕詞が生まれて来たのかな。
（いくら和語の音節が短めと謂っても、さすがに五音のみで一句となすのは難しい…）（汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

あしひきの
ひさかたの
ちはやぶる

小学生の頃に暗記した百人一首を思い出します。
今なら良さも意味も理解できるのですが、あの頃の私には無理です。
なぜ小学生なのだろう。
もったいないなぁ（笑）

【色あせぬ】とくると【思い出】と、みんな違和感なく連想しますね。
午雲さんのおっしゃるとおり、まさに情緒を添える枕詞と同じ働きをしていると今更ながら気が付きました。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊　＊

そうじさんコメントありがとうございます。
少し前までは、正月といえばお祝いの意味も籠めて「百人一首」や「いろはカルタ」をとるのが毎年の恒例でしたね。
訳はわからなかったけど、耳で覚えて居ました。
（・・坊主めくりの方を熱心にやった思い出もありますが）（苦笑）
。

わたしなどは、ちょっとひねくれ者なので、奇を衒うのも好きなんですが、ー
やはり、
（決まり文句の上を行くようなモノは、めったに出来るものじゃない。）
と思い知らされるコトが多いです。
（・・滑ると言うか・・）（冷や汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１３９）・１４０）

１３９）　短歌の行く末。

俳句とは元、俳諧と謂い、短歌のパロディであった。

（ハイカイと徘徊とを暗に掛けて居るかも。）

川柳とは、風刺である。

毒と可笑しみとを含んで居るのが典型である。

短歌とは多分に叙情だが、のち叙景を試みる向きもあった。

古めかしい枕詞を戴く風情を見て居ると、ー

それは先祖への語りかけ・・・

先祖・信仰の行事の一環として歌われしものかとも偲ばれる。

いにしへの言の葉・・・

かつて先人が遣いし詞を敢えて用いる事によって、ー

体験を共有する感覚を味わい、ー

あわせて供養の心とも為したのでは、なかろうか。

折口信夫という人物は、ー

自身、歌人でありながら、

「短歌の命数は最早、尽きようとして居る。」

という論を発表した。

「短歌＝古代の遺物。」

と捉えしものと見受く。

口語体が文語と化せば、

「先祖との共通体験。」

という縁起が途絶えてしまう。

世には、俳句あり川柳あり連歌あり。

短歌に壱有の形式が、あいまいになりつつ存る事も、確かだ。

啄木風な五行・短歌なら、散文とカチ合う。

いっそ散文詩の方が、格好よい位いだ。

こうみると、短歌の居場所は、如何にも心もとなく思える。

歌枕か枕詞か、どちらか必ず入れるようにすれば、どうだろう。

俳句に季語の集、歳時記があるように、ー

短歌にも歌枕や枕詞の集、その手な品を設けてみては、如何。

もちろん、時を追って、詞の種ねを増やして行っても、構わない。

（自分でやれ！と言われても、ちょっと困るけれども・・・）（玉汗）。

２０１０年　０９月　２５日　（Ｓａｔ）

＊　＊　＊　＊　＊

短歌のパロディであったとは知りませんでした。

いえ、もちろん厳密にそれだけが成り立ちとは思ってませんので

ご安心を（笑）

活動報告の趣旨と違うコメすいません。

先日、かつて書道を習っていた先生の葬儀に行ってきまして。

その先生は俳句も詠まれていたようで、俳句サークルに所属していたそうです。

葬儀に集まったそのサークルの方々は、弔電ならぬ弔句を短冊に

書かれて持ってきていました。
葬儀場の入口に次々貼られてゆく短冊。
見てみると、あの僅かな文字数に信じられない思いと情報量が詰め込まれています。
すごいなと思いました。
そして仲間が亡くなった時に自分の思いを表せる手段がある事は素晴らしいなとも思いました。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊　＊
そうじさんコメント下さり、ありがとうございます！
うむむ。
筆跡というのは其れ自体、立派な形見ですからね。
書き置きや置き手紙なんて謂うのも、ー
もとは”遺書”とな意味合いが有りしものとか見透ませます。
（中宮定子が臨終を前に部屋の障子戸へ遺歌を書き留めしエピソードあり。）
（ただし、火葬にはしないで、となメッセージ。）（枕草子）。

俳句詠みを俳句で弔う。

・・粋な計らいと謂うべきか（以心伝心）（合掌）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

呼ばれた気がしたので参りました（笑）。

日本語がどこかの国の言葉に「侵略」されて「滅亡」しない限り、「短歌」は形が変わったとしても、生き続けると思います。

「五七五七七」のリズムは、日本語にピッタリなのですから。

なーんて、見当外れなコメントしてみました。

投稿者：神村律子

＊　＊　＊　＊　＊

神村さんお呼び立てして、すみませんw。

最近は短歌に飽き足らず、人麻呂風に長歌を試みる人々も在るとか。

土井晩翠だか、諸葛孔明を悼んだ五・七調の詩歌などは、すでに長歌な趣きも有るとおもいますが。

先人も同じ日本人なのだから、現代の歌人にも臆せず競い合って欲しいとは願って居るのですが・・・（ムリかな？）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

む？

僕も呼びました？

俳句や短歌は世界に誇れる日本の文化だと思っています。
それこそアニメ以上に。
それは文学にも言えたことだったのですが、ラノベ隆盛によってか細くなってしまった感があります。
誰でも手軽に楽しめる日本のすばらしい言語文化を、ぜひ後世に引き継いでいきたいものです。
今日も考えさせられるお話、ありがとうございました。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊

聖騎士さん、お忙しい処ろ、ありがとうございます。
漱石の「心」を英国の学者に読ませると、
「・・俳句的な処ろがいい。」
という誉め方をしたそうです。
文章は英国人のスタイルそのままだから面白くないと。
（むしろ菊地寛の文章を褒めて居たらしい。）

口語体が文語として定着しても、ー
和歌や俳句に流れる五・七調のリズムだけは、ー
日本語らしさとして、後世へも、受け継がれてゆくのでしょうね！

口語文の歴史は、まだ浅いから、日本らしさが出て来るまでには相当、時間が掛かるのでは？
マンガに遅れず、文章の方面も、早く一定の地位を築いてほしいものですね（願望）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１４０）　うつけとたわけ。

戦国時代にしろ江戸時代にしろ、ー

時代小説には俗語が沢山に出て来るから、面白い。

侍とは武芸を磨くのが本分だから、こむつかしい言葉は遣わない。

写本など漁って手本となすのだろうが、ー

庶民的な俗語の数々を如何に遣いこなすか、ー

それが書き手の腕の見せ処ろでもあろう。

さて、その昔には「うつけ」と「たわけ」とな言葉があった。

いまの世の「アホ」と「バカ」とに相当する。

彼の信長は少年の頃、世に「うつけ殿」と称ばれた。

一方、彼の光秀なら「大たわけ」と笑われた。

「たわけ」＝「田分け」

と思われて居るけれど、そんな生易しい文句では無い。

「たはく」＝「狂(たは)く。」

もとは、禁忌を犯す者、道に外れた行ないをする者を指した。

「たわけ」＝「外道」

と考えてよい。

一方、アホに当たる「うつけ」なら、ひと目、

「空(うつ)の気。」

かと見える。

空(そら)とぼける、という様子が思い浮かぶ。

「気」を「け」と読む際には、ー

もののけの「化」とか「怪」とかな意味合いを含む。

「うつ」＝（頭が足りない。）

という風な隠語かとも想う。

「呆けて居る。」＝「うつけ」

こうみると「ボケ」とも通じるか知れない。

しかして、少年・信長の行跡をみるに、決してボケとは思えない。

むしろ、暴れ者とか変わり者とか謂った風情である。

すると、

「うつ」＝「空」

というのは、間違って居る予感が来たす。

「うつ」を戴く言葉には「移る」がある。

変人、あるいは、非常な人という意味にて、

「怪・移り」＝「移怪（り）」＝「うつ・け」

特に、そう称ばれたのでは、なかろうか。

何かお祓いをする際には、

「わざとに他人へ移す。」

という作法があった。

伝染ると言うのは、ここから来て居る。

お祓いをすれば、当人から離れて、その代わり誰か他人へ乗り移るのである。

それが「移・怪」とか想われる。

彼の秀吉も晩年、陰で「たわけ」と悪口された。

部下の武将、その女房の尻を、ー

見当たり次第、次から次へと追いかけ回したから、であった。

２０１０年　０９月　２６日　（Ｓｕｎ）

＊　＊　＊　＊

法律上名誉毀損に当たるのは「バカ」らしいですね。

「アホ」は当たらないのだとか。

語源を考えれば「アホ」の方が差別意識が強い気がするのですが、関西の方々が「アホ」の意味合いを軽くしてきた功績かもしれませんねｗ

今日も興味深いお話ありがとうございました。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊

聖騎士さん早速、コメントを下さり、ありがとうございます。
え？バカと罵ると名誉棄損なんですか。
全然、知りませんでした（冷や汗）。
馬鹿と「たわけ」とが等しいとすると、うなずけます。
アホとボケとは連語にもなりますが、ー
確かに馬鹿はちょっと含みが有る感じがします。
少し前、どこかの大学の正門に、
「大馬鹿門。」
と名前をつけた彫刻家が居ましたが、ー
そういえば、その門、すぐに撤去されてました。
（これが大阿呆門でも、何か名誉棄損な気がするけど・・）（苦笑）
。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

うつけは手元の古語辞典だと「空け」です。愚か者と訳があります。
たわけは「たばけ」と案内がついており、「ふざけること」「おろかもの」と訳がありますね。
意味の差は微妙のようです。

但し、たわけの方が「エロい」みたいな……。

投稿者：神村律子

＊　＊　＊　＊　＊

神村さん、コメント寄せて下さり、ありがとうございます。

「うつ」＝「うつろ」

と見るのが普通なのですが、ー

信長がうつけ者たる事は当時、万人が認める処ろだったようなので、ー

これを正しい用例として、そこから考えてみたのでした（仮説×2）。

そう、武者言葉に、

「おのれ、たばかったか！？」

と罵る文句がありますからな。

これは「だましやがったな！」とも聞こえるのですが、ー

用例をみるに、きっと目上から目下へと、この文句を発して居ます。

「おのれ、気でも狂ったか（主君たるこの私をだますとは、ー）！？」

おもうに、そんな本意なのではないかと。

・・現行の辞書が（必ずしも）正確とは限りませんよ？

（文部省とかに怒られそうですけど・・）（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

【空】会意形声。

つきぬけてあながあき、中に何もないことを示す。

まぁここから「うつけ」なのでしょうが、空には他の意味がありまして、

（仏教）万物は因縁による仮の姿であり実体はないという概念。

色即是空色即是空、ああ意味深（笑）

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊

そうじさんコメントありがとうございます。

この文様「工」が音「ク」ですから「穴」に音符「工」を付けた形…

これは形声の文字と見るべきか知れませんね。

そう、三蔵法師が訳したとか云う名文句…

現実の現を「うつつ」とも訓むのは、この概念から発して居ると想われます。

逆説の極致なはずなのに、どこか気に留まる処ろがある（：哲学というか文学というか…）（摩訶不思議）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１４１）・１４２）

１４１）　井戸。

井戸は息をして居ると云う。

なので、井戸が枯れると、口を閉じるのだが、その前に、

「息ぬき。」

と名乗る作法を行なう。

（もう閉めますよ。）

と知らせる為めに、しばらく間を置くのである。

井戸のなかには神さんが居る。

そんなセンスの現われであろう。

息抜きしないで、いきなり潰したりすると、祟りがある、とか云う。

この井戸の井を仮名して「ゐ」と記す。

仮名の表で謂えば、それ「ワ行い段」となる。

おもうに、この仮名「ゐ」には特別な意味が有ると見受く。

「ゐ」＝「う・い」

仮名「う」＝「神」

とみれば、

「う・い」＝「神・い」

とか読めそうだ。

仮名「い」とは古へ「伏せ字」を示す。

名を呼ぶ事すら忌みしものを指す「代名詞」である。

（へびとか。）

すると、

「ゐ」＝「う・い」＝「神・忌」

とか読める。

考えれば、ー

動詞「居」とか「往ぬ」とかも「ゐ」と記す。

このうち「往ぬ」とは「居ね！」から来て居よう。

「泣か・ね！」＝「泣いてはいけない。」

この形、否定の命令形、というヤツである。

（否定の助動詞「ぬ」＋「え」）

（仮名「え」＝「あなた」？）

そうして、動詞「居」もまた、活用して「ゐ」と訓む。

「隠居」＝「ゐ・かくれる。」

とか謂うから、多分に「神忌」とな意を含んで居よう。

仮りに、この動詞「居」を、元は「五段活用」とみてみたら、如何。

「わ、ゐ、うう、ゑ、を。」

すると、終止形なら「うう」となる。

「居」＝「うう」

実は、これも仮説だが、母音「う」が連続すると「ぶ」へ変わる。

すなわち、

「居」＝「うう」＝「ぶ」

と読める話しとは成りゆく。

（ああ＝ば、いい＝び、ええ＝べ、おお＝ぼ、とな転化の法。）

もしか、

「武士」＝「ぶし」＝「居士」？

居着きたる士、居候したる士・・・

それが「武士」の本意かな？とか想ってみたくもなる。

（武芸者＝武者（むシャ）？）

（畏怖（イフ）の「畏」を用いて「神畏」と宛てるべきかもしれない。）

２０１０年　０９月　２７日　（Ｍｏｎ）

＊　＊　＊　＊　＊

井戸に神がいるという考え方は、日本独特のものですね。

八百万の神。

語源を調べていくと、最終的には何かしらの神様にたどり着くのかもしれません。

今日も勉強になりました。

ありがとうございました。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメント下さり、ありがとうございます。
農村にては今でも井戸の神を普通に敬って居ます。
枯れた井戸であっても、息をさせたまま、古井戸として置く屋敷も在ります。
（それに縁起がついて怪談の出処ろになったりもするようです。）
人は替われど井戸は替わらず。
そんな相に永遠とか神々しさとかを感じたのでは？
山や川もそうですね！
（千と千尋の白クンが思い浮かんで来ます）（↑ネタバレ注意？）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

１４２）　∀（さい）のデザイン。

甲骨文字において、現行の「口」の本となる文様「∀（さい）」。

その音は不明だが、白川静博士は「さい」と仮定する。

「∀」が示すデザインを、ー

博士は「器」と推し、我流にては「白面」かと推す。

祝詞(のりと)を納める器のデザインとみなすわけだ。

いずれにしろ、霊媒・・・

神の依り代たる品を示すデザインと見るのだが、ー

それが何物なのか、もうひとつ、はっきりしない。

博士の本には、よく甲骨文字の図案が載せてあるのだが、

「文」

という文字の図案が四種類ほど並べてあるのが、目を惹いた。

「文」とは（男の人の）胸板をさらした形。

そこに、入れ墨を施す作法を表わすと云う。

「文」には、肝心の入れ墨が抜けて居るけれど、ー

甲骨文字には、ちゃんと入って居る。

その入れ墨のデザインというのが、

「人」（逆Y）

「乂」（バツ点）

「?」（ハート・マーク）

「∀」（さい）

この四種であった。

（もう一種、心臓を象った図案があるが、書写不能。）

どうやら、心臓・・・

そのデザインを胸板に入れ墨する事が文字「文」の本意らしい。

（身に入れ墨をほどこす事を「文身（ブンシン）」と謂う。）

心臓が音を打って居れば、生きて居る、ということ。

逆に、心臓が音を止めれば、死んで居る、ということ。

おそらく、

「心臓には神が宿る。」

そう考えなして居たのではなかろうか。

心臓から神が離れれば、即ち死に至ると。

こう仮定してやれば、ー

彼の四種の図案とは、どれも「心臓」のデザインを表わす、とみてよいのでは？

「心臓のデザインこそは、神の依り代として、最適である。」

古代には、そんなセンスが定着して居たのであろう。

「又（バッ）」＝「？（ハート）」＝「∀（さい）」。

こう見比べてみると、すこしく異な感じではあるけれども（・・思案中）。

２０１０年　０９月　２８日　（Ｔｕｅ）

＊　＊　＊　＊　＊

サイ、ですか・・・

私には白いお髭の巨人様しか思い浮かばなかったです。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊

山羊の宮さんコメントを寄せて下さり、ありがとうございます。
そう、白川博士は晩年、神様みたく思われて居たそうですね。
さしもの中華人も博士の著作だけは出版に値するとして翻訳に努めて居る最中とか。
・・九十六歳とは言え、故人となられたことが、惜しまれてなりません（合掌）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

山羊ノ宮さんがおっしゃっているのは「ターンエーガンダム」のことですねｗｗ

なるほど。
そう言われてみればそんな気がします。
つまり文には命が宿っているということですね。
今日も興味深いお話、ありがとうございました。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメント下さり、ありがとうございます。

ガンダム？
実は（ガンダム世代のくせに）ほとんど縁がなかったので、ちんぷんかんぷんなのでした（焦）。
心臓をハート・ラインで注るすのは西洋の発明かと思って居ましたが、ー
これは相当、古くからあったようですね！
（はるか原始人の発明なのかも・・）
すると、トランプではハートが一等、強いのかな？

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊
なるほど、心臓ですか。
昔の方にとって、脈打つ内臓はさぞや不思議な臓器だったのでしょうね。
人の体を切り開けて積み重ねる解剖学。
カエルさんで精一杯な私には、学問の為とはいえ人を解剖する覚悟がありません。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊
そうじさんコメント下さり、ありがとうございます。
心臓を動かそうとして、いろんな復活儀礼があったものと想像します。
ちょっと怖いですけどね…（冷や汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

１４３）・１４４）

１４３）　月並み。

月並みといえば「平凡」という意味合い。
これ、漱石が闇雲に連発して、世に流行らせた言葉とみえる。

日本の芸能には家元制度と名のつくものが有るが、ー
俳句の一門にも、やはり其の風が在った。
月に一回、門弟が集まって、句会を催す。
それが「月例会（ゲッレイカイ）。」と呼ばれて居た。
この月例を文字って「つきなみ」と読ます。
師匠にとっては弟子たちをもてなす会合でもあるから、ー
ありきたりな句を並べて善しとした事に由（よ）る。

ところが、明治期の小説、その文章のなかに、
「蹲踞（ソンキョ）」
と書いて、
「つくなむ。」
と訓む動詞を見かけた。

旅回りの一座が来て、芝居をうつ。
それを村の衆が土間に「つくなみ」て、見物するのである。
「蹲踞する。」
といえば、剣道の姿勢。
うづくまって、座ることである。
（地面に尻を着けない座り方？）

座敷に上がるのは、身分の有る者だけで、ー
その他大勢な門弟達なら、土間に“つくなんで”参加したのではなかろうか。

「蹲踞する。」＝「つくなむ。」

この「つく」とは「うづくまる」の「つく」であり、ー
片や「なむ」とは「並む」であろう。

「つく」＝「しゃがむ」
「並む」＝「揃(そろ)える。」

こうみれば、
「つく・なむ」＝「そろって、しゃがむ。」
そんな風景かとみてとれる。

すると、ー
「月並み」とは「月例」よりも先に、
「つくなみ（の会）。」
：ここからか？ともおもう。

２０１０年　０９月　２９日　（Ｗｅｄ）

＊　＊　＊　＊　＊
ほほう、なるほどですね☆

「月並み」や「大根役者」など、本来の意味からズレて悪い意味に使われてしまっている言葉って多いですよね。
そういう言葉って困っちゃいます。
どっちの意味で使ったらいいのか…
正しい意味で使ってるのに「用法が間違ってる」なんて指摘がきちゃったりして><

今日も勉強になりました。
ありがとうございましたm（＿＿）m

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメント頂き、ありがとうございます！
正しい用法を知って居て、敢えて崩してみる、というのが可笑し味を誘うようですね！
読者より先へ行こうと思えば、しぜん“通”にならざるを得ません。
正着と絡め手と“両備え”という型が理想かな？
（年々石頭になって行くような気が…）（焦）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊
只今、更新が「月並み」になりつつある作品を執筆中ですｗｗ。
しかし…。

今週は疲れたなぁ…（まだ水曜なのにw）。↑ボヤキか！？ww。

投稿者：妃宮　咲梗

＊　＊　＊　＊　＊

ふはは・・雪天使も黒魂も確かに月イチになりつつありますね？
しかし一話が長文ですから週並みだったら付いてゆくのが大変かも（汗）。
二百文字の方も楽しみにして居ります。
コメント、サンキューです！妃宮さん。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

月並みと聞くと“ありふれた”が最初に思い浮かびますね。
辞書を見ると“毎月行う事”とも書いてありますが、その意味で使われているのはほとんど見かけませんね。
そして蹲踞がここでできますか（笑）
あれは足腰が出来ていない頃にはなかなかにつらい体勢でした（笑）

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊　＊

そうじさんコメント下さり、ありがとうございます！

「例」＝「なら・ひ」

と訓むので、

「月例」＝「つき・なみ」

と読ますのは、ちと解せぬな？とは思って居た処ろなのでした。

既存の「つくなみ」に対する”隠語”みたいなものだったのでしょうね（苦笑）。

「うづくまる」の「うづく」とは「うん・すくまる」かと想ったり、ー。

（例の「くそ・まる」の「くそ」が「うん」かも？）

「産気づく」と同様に「うん・づく」とな言葉もあったか知れませんが。

（便意をもよおす、という意味合いで・・。）

道場にしろ土間にしろ、昔は畳やゴザなど敷いて無くて、ー

着物が汚れないように、尻を持ち上げて、座ってたんでしょうね！

（・・ひざに来ますな、あの姿勢は、ー）（汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

あ、居すくまるという動詞がありましたね（訂正）。

「すく」＝「すく・む」

「すく」＝「シュク」＝「縮（む）」かな。

「居」＝「ゐ」＝「い」＝「ゆ」＝「う」
と転化したのかも。

「かしづく」という動詞もあるし、ー
もと「蹲踞」とは、どんな座り方だったのか、ちょっと考えてしまいます。
（宛て字としては、ちょっとミスってるような気もする。）
失礼しました（冷や汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１４４）　ぎっちょ。

その昔「私の彼は左利き」というタイトルの流行歌があったけれど、ー
左利きなヒトを指して、
「ぎっちょ」
と呼ぶ。
よく聞くと、
「左・ぎっちょう。」
と言う時もある。
決して「右・ぎっちょう」とは言わぬようだ。

あるとき、
「手斧」＝「ちょうな」
と書いてあるのを見かけた。
古音にて、
「手」＝「チョウ」
と読んだらしい。
（双が両手の象りなので、そこから来たすものか。）
すると、
「ぎっちょう」＝「ぎっ手」
と見澄ます。

あと、
「ぎ」＝「きき」
であろう。
（同じ仮名が連なると濁音の仮名で記す。）

したがって、
「ぎっちょう」＝「利き・手」
ゆえに、
「左利き（手）」＝「（左）ぎっちょ」と説ける。

思うに、
「ぎっちょう」＝「右手」
なのであろう。
「みぎっちょう」
という言葉が思い浮ぶ。
濁音「ぎ」の前には「ん」が隠れて居る。
そうして、
「ん」＝「んみ」

と転化する法が有る。
そこから、
「右・手」＝「（ん）みぎ・て」
という言葉が生まれでたのであろう。

さて、左は、
「非・たり。」
という形が第一感として思い浮ぶ。
（反対の手…）
（右手では無い方の手という意味合いで。）

掛け声して、
「ぎっちょう」
「非足り」
「ぎっちょう」
「非たり」
とか…（想像）。

２０１０年　０９月　３０日　（Ｔｈｕ）

＊　＊　＊　＊

以前ツイッターでも呟きましたが、チンパンジーは左利きが普通なのだそうです。
右利きは珍しい。
となると、チンパンジーの世界では右利きが「ぎっちょう」になるんでしょうね。
今日も興味深いお話、ありがとうございました。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊

聖騎士さん、コメントありがとうございます！

チンパンジーは、ヒトの祖先と目されて居ますから、それもむべなるかな。

（遺伝子の相違は０．１％…）

所謂、原人の遺伝子を調べてみると、チンパンジー以外の類人猿が祖先たる可能性が考えられるそうです。

超・隔世遺伝が発現すれば、古代の原人が復活するかも…（ＳＦ的妄想）？

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

ぎっちょ＝器用と思ってました。

腕以外にも利き脚、利き目、利き耳とありますが、左は少数派ゆえに神秘性と有利性をなんとなく感じ、憧れていましたね。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊

そうじさんコメントありがとうございます！

あ、ぎっちょを器用やなあと言いなすのは、お世辞だと思います。
左利きだと、目立ってしまうから、良し悪ろしですね。
天才というよりか、環境の強制が作用するのかも？
（ふつうにやってたら右利きのヒトには勝てない、みたいな…）
行動の遺伝子と名乗るものもあるそうなので、遺伝かな？と思います（未確認）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
少数派はどうしても不利になる。
そんな感じの言葉ですね。

投稿者：橋本　直

＊　＊　＊　＊　＊
橋本直さんコメント寄せて下さり、ありがとうございます！
わたしは野球・世代なので左投げの子を見かけると、しぜん「ぎっちょ」と呼んで居ました。
特に女の子の場合は、みっともないと言われて、厳しく直させたようです。
横並び意識の現われ、というヤツでしょうか。
（・・最近は、あまり聞かなくなりましたが・・・）（遠い眼）。

投稿者：午雲

*

*

*

*

*

１４５）・１４６）

１４５）　うるとえる。

同じ「得」という漢字を用いて、時に「うる」と言い、時に「える」と言う。

「え」＝「あなた」
と推す。
「えり」＝「選り」。

「う」＝「自分」
と推す。
「うり」＝「得り」。
こちらが本来であろう。
「得り物」＝「売り物」
もしか他人の選り物を売ったら、怒られる。

「うぬぼれ」とは自分に惚れる事。
この「うぬ」の「う」が、即ち「自分」を意味するのだろう。
なお、
「ぬ」＝「人」
かと見澄ます。
「ぬし」＝「本人」
とな意味合いか。
（おぬしと尋ねる際の「し」なら「某（ボウ）」かも。）

縦棒「｜」＝「シ」？

「棒」＝「し」＝「某」？
（仮説。）

実は、
「自」＝「鼻」
これは省文では無く、基本字である。
「自」から代名詞の「自」と名詞の「鼻」とへ別れたのである。

自分の鼻を指差す仕草が、
「それは私です。」
という合図となるので、
「自分」＝「鼻」
と宛てしものと謂う。

すると、
「う」＝「自」
「自」＝「鼻」
なのだから、
「う」＝「鼻」
と訓んでみたら、如何。

「鼻歌」＝「う・うた」＝「ぶ・た」。
ブーブー鼻歌ばかり歌ってるから、
「豚」＝「ぶた」
なのでは、なかろうか。

また、
「鼻白む。」
なんて言う不思議な動詞なら、
「う・しろむ」＝「後ろ向（く）。」

それ、呆れて後ろを向いてしまう様を表すのかも知れない。
（後ろめたい、白々しい…）

「う」＝「はな」＝「花」？
そんな隠し言葉たる可能性もある。
「卯月」＝「花月」とか。
（旧暦・四月。）

「うたふ」の「う」…
それ自体が「鼻」のような予感もするが。
（もとは「鼻歌」＝「う・たひ」とか？）（…思案中）。

２０１０年　１０月　０１日　（Ｆｒｉ）

＊　＊　＊　＊　＊
なるほど☆
「うぬ」に「惚れる」から「うぬぼれ」なんですね！
なんかスッキリしましたｗ
ありがとうございました！

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメントありがとうございます！

「うぬ」＝「自分」

「おのれ」＝「あなた」
とか思います。

「のる」＝「告げる」
なので、
「おん・のり・あそばせ」＝「御告り遊ばせ。」

この命令形が、
「おんのれ」＝「御告れ」
かと予想されます。
（名を名乗って下され！）
と呼び掛ける形かと。

ただ、代名詞の場合、ー
「自分」と「あなた」とが、よく入れ替わるので、紛らわしいのは、確かです。
「自己」といえば、あなたと私というニュアンスなのかも？…
（己＝「うぬ」と訓むべきかと。）

そう考えると、二人称「あなた」を示す代名詞が、もう一つ、はっきりしませんね（‥うーん）？

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１４６）　近似値。

古代の気候・変動の相を考える。

そんな方角の学問を「環境・考古学」という。

天気、天候とは跡が残らない現象。

それなのに、どうやって調べるのか。

実は、植物の分布、すなわち「植生」によって調べるのである。

さらに、植生もまた、跡を残さない。

すると、植生の様相を知らせて呉れる、そんな「痕跡」を求めなければならない。

今の世に於いては「花粉症」とは文明・病とか思われて居るけれど、ー

その「花粉」こそが、植生の痕跡と為って呉れるのである。

この花粉・・・

なぜだか非常に丈夫に出来上がって居る。

なので、地層のなかに、保存されて在る。

ただし、生き物の活動があると、その痕跡が乱れてしまう。

地層なら何処でも好い、という訳には、ゆかない。

そこで、忘れられた場所・・・

湖の底、その地層を用いる。

魚が泳いで居るけれど、花粉の数は変わらない。

この地層を、特に「泥層」という。

「花粉の数」⇒「植生の分布」

「植生の分布」⇒「気温の変動」

「気温の変動」⇒「気候の変動」

一見、何の関係も無さそうな痕跡・・・

それを手掛かりとなして、求める情報を導きだす。

ただし、その値は、飽くまで「近似値」である。

（今の代にては、杉の植林を盛んに行なって居るので・・・）

（この方法だと・・・）

（・・後世、日本は氷河期だった、と想われ兼ねぬ恐れもあるが…）

（苦笑）。

２０１０年　１０月　０２日　（Ｓａｔ）

＊　＊　＊　＊　＊

今日のお話しはまったく知らないジャンルでした。杉は寒さに強い子という事ですか……

考古学や地層学はロマンに埋もれてますね（笑）

なんとなくですが、気候の変動に至るまでが二次方程式みたいだなぁと見当はずれな感想を抱いたり（笑）

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊　＊

そうじさんコメント下さり、ありがとうございます。

杉の樹は寒くても生き延びる、というコトらしいです。

大噴火⇒天候不順⇒凶作⇒杉の繁茂・・・

・・という風な読みに成るとか。

実際、日本の湖で調べてみると、

「日本の戦国時代は寒冷期だった。」

と推測されるそうです。

今日頃は「証拠」よりも「近似値」を求めようともくろむ方法論が多い様です。

（近似値で既存の通説をくつがえす、みたいな・。）
ちょっと魔法じみて見える時もあるかも（冷や汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
なるほどぉ。
地層学って畑違いですが、いろいろと知的好奇心をくすぐりますね。
そういう知識って確実にネタですねぇ。
今日も勉強させていただきました。
ありがとうございましたm（＿＿）m

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメント頂き、ありがとうございます。
結局、数学的な方法・論というコトになるのでしょうか。
数学的な推論を駆使して、不可視な現象を見る。
過去の出来事も本来は不可視なるものです。
しかし、地層を調べるのは、いかにも地道な仕事とか想われます。
（地層とはタイムカプセルだ、と学者は謂うけれどー）（同情）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
例のバトン…。
午雲先生に回そうかとも、思ったんだけどね…。
フフフフ…ｗｗ。

投稿者：妃宮　咲梗

＊　＊　＊　＊　＊
妃宮さんコメントありがとうございます。
いや、わたしは課題とかは苦手なので…
見物して楽しませてもらいます（焦っ）！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１４７）・１４８）

１４７）　広告。

自作小説を携帯から開けると、広告がドぎついエロ・マンガばかり。

ホント、漫画はダメになった。

たわけ（倒錯）漫画が多い。

漫画で儲ける。

（売れない）文庫本へ資金を回す。

そのシステムは分かるけど、

（マンガのイメージ。）

も、また大切にしてほしい。

愚民政策。

そんな標語すら思い浮かべてしまう。

漫画に規制が入る日も近いだろう（予言）。

２０１０年　１０月　０４日　（Ｍｏｎ）

＊　＊　＊　＊　＊

エロは強し……ですか。

広告もエロでないとクリックしてくれないのでしょうね。

分からなくもないですが、ねぇ。

ネットが普及し、ありとあらゆるジャンルが爆発的に広がる。

元手もさほど必要ないから参入障壁がとても低くなる。

良い面としては小説家になろうもその一つでしょうが、悪い面も当然ある。
そんな悪い面の一つなんでしょうね。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊　＊
そうじさんコメント寄せて下さり、ありがとうございます。
マンガが悪役になってしまうのが、悲しいです。
昔、森山塔（改名・山本直樹）という漫画家が居て、わたしの親友をおタク化ガス雲に巻き込んでしまいましたが、あの悪夢を思い出します。
何でもアリでは免疫の無い青少年には害が有るのは明らかです。
視角・情報は刺激が強いですから（不安）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
あの広告に下手に手を出すと、ウイルス感染しちゃいますよ。
私は過去、初めてＰＣを触ったのが「猫の産後と仔猫の扱いについて」だったんですよ。
当時、飼い猫が出産したので調べようと思って。
そしたら、
「産後」
「仔猫」
がエロワードに入っていたらしく、無知だった私はとにかく出てくるバナーを、片っ端クリックしていたらいきなり超激エロエロ動画

に突入してしまい、慌てふためいてパニックしていたら（何せ初心者なので、戻り方が分からないｗｗ）、突然のドクロマークと共に何かの羅列がブワーーーって現れたと同時に、再起動みたいなのを繰り返し始めてそこのエロサイトしか強制的に行けなくなる様になっちゃったんです。

メッチャ怖くなって、「ＰＣ壊した！？」と大慌てでコンセントから引っこ抜きましたｗｗ。

そして、怒られる、怒られる～～～～って、小さくなって怯えていたら、漫画喫茶の店員がやってきて、そんな私を愉快そうに笑いながらチョチョイと直してくれましたｗｗ。

「この程度なら、大丈夫だから心配しなくていいよ」

と、笑顔を見せてくれたときには、凄く安心しましたｗｗ。

弁償を覚悟してたのでｗｗ。

それっきり、エロ小説は読んでも、動画などには二度と行かないようにしてます。

ええ、例え死体、グロデスク画像サイトを見に、海外のサーバーまで飛んだとしても、エロだけは絶対に見ません！！（トラウマｗｗ）。

投稿者：妃宮　咲梗

＊　＊　＊　＊　＊

Ｗｅｂ拍手のページもそうなんです。

しょうがないとはいえ、何とかならないものでしょうかね。

まったく興味ないし、不愉快です。

もっとエロいの、ノクタで書いてますがｗ

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊

＞聖騎士さん

え？

私のところはエロ広告一切ないよ？

普通に漫画、小説、アニメ、フィギュア、ＤＶＤとかのノーマル広告。

何が違うんだろうね？

投稿者：妃宮　咲梗

＊　＊　＊　＊　＊

妃宮さん聖騎士さんコメントありがとうございます！

何か単語に反応して、自動的に決まってるんでしょうけど、―

（広告はサイト側の勝手だから文句は言えないのかな）（汗）？

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

＞広告はサイト側の勝手だから文句は言えないのかな

そうなんですよね……

だからなろうは無料で使えてる訳ですし。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊　＊

そうじさん再コメントありがとうございます！
プロフィールにマンガ大好きって書いてるせいかな？
普通？のマンガが好きなんですけどね
（ワイセツ物陳列罪みたいなマンガでは無く―）（冷や汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１４８）　ノーベル賞。

日本人には天才が多い。
それは確かだけれど、ー
日本に於いて、学問や研究がはかどる理由は他にも有ると聞く。
それは、環境である。
日本人は社会の健康に気を配るので、治安が良い。
なので、日本人は人生観がよそとは異なって居る。
「人生、五十年。」
と言い、辛抱強く学問に取り組む。
この姿勢が海外の住人には、なかなか無いと云う。

明日をも知れぬ命。
そんな緊張感を持って、日々を暮らすのが、むしろ普通だからだ。
一代限り、刹那的、享楽へ流れる成り行きとは為る。
おちおち学問などして居られないし、志す者が居ない。
（治安もまた金銭では買えない。）
と、つくづく思う。

２０１０年　１０月　０７日　（Ｔｈｕ）

＊　＊　＊　＊
日本人に、明日の我が命なんて考え、基本ないですしね。
環境は大事ですよね。双子でも育った環境が違えば、驚くほど変わってくるそうですし。

追伸
丁寧な回答ありがとうございました。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊
そうじさんコメントありがとうございます。
アメリカの住人に過食症が多発して居るのは、肉食のせいでは無く、緊張感から来たすストレスによって、エネルギーを過剰に消耗するからだそうです。
その緊張感が社会の活力を生み出すとの説もありますが、微妙で

すね（汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

日本人という人種の国民性の特性かもしれませんね。
ストイックに何かを追求することを美徳とし、そういう姿勢に「サムライ」の姿を見るのかもしれません。
武士は食わねど高楊枝。
お金目的に学問をすることは、日本人の感性からすればほめられたことではないのですからね。
今日も興味深いお話、ありがとうございましたm（＿＿）m

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメントありがとうございます。
学問とは公けの為めに行なうもの。
そんな意識が暗黙のうちに流れて居るものと思われます。
漱石の座右の銘と伝わる、
「則天去私。」
も、そんな心かと。
（滅私奉公。）
が武士の本分。
発明家などは何か発明して見せない限り、ずっと気違い扱いされますからね（可哀想）。

結果をだすまで評価されないのだから、学者になるのも余程、覚悟が要ると思われます（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

なるほど、日本は住みやすい国と思ってると、学者がいつの間にかアメリカへ。

学問してる人を大切にしない国、これは良くないですねえ。
頭脳流出って言われて随分経つけど、この経済的な援助をどうにかしたいものですね。
議員を減らして、天下りを無くせば随分お金は出てきそうですね。

投稿者：河　美子

＊　＊　＊　＊　＊

河さんコメントありがとうございます。
学者をさして優遇しないのは、日本の伝統ですね。
額に汗して働く者を尊ぶ気風があると見えます。
農業国と謂う事なのでしょうね、やっぱり（微笑）。

投稿者：午雲

*

*

*

*

*

１４９）・１５０）

１４９）　もてる？

もてあそぶ。

玩具の「玩」を此れに宛てる。

おもうに、この言葉・・・

「もてぶ」

と、

「あそぶ」

とが同意・接続した言葉なのではなかろうか。

「もてぶ」＝「玩（もて）ぶ」

「あそぶ」＝「遊（あそ）ぶ」

もとは、

「もてび・あそぶ」

となる形が予想される。

助動詞「ぶ」には「望」と「居」とが宛て得る。

「望」＝「バン」＝「ブ」＝「ボウ」

「居」＝「う・う」＝「ぶ」（仮説。）

おそらく、

「もてぶ」＝「玩居」

「あそぶ」＝「遊望」

とか置き得よう。

「もて」＝「持手」「保手」

「あそ」＝「中手」

（手当てとか手厚くなどの言葉が思い浮かぶ。）

仮名とは本来、順不同・・・

「手持」でも「持手」でも意味が通じたものとみえる。

すると、

「もてぶ」＝「持手居」「保手居」

「あそぶ」＝「中手望」

（遊猟の「遊」だけは、この意を含むか。）

（「中手」＝「手に中(つか)む。」？）

両者ともに、ー

もと、

「手に乗せて可愛がる。」

そんな風景を表わすものか。

（手乗り文鳥みたく。）

彼の「もてる」の「もて」とは多分、ー

この、

「もて・ぶ」＝「玩居」

の「もて」であろう。

（すでに強意の接頭語「持て」とも化して居る。）

仮名「る」とは本来、ー

それだけで「受け身」に近い意味をも表わす。

「もて・る」＝「玩(もて)る。」（＝もて遊ば（る）る。）

こう読むと、思ったほど褒め言葉でも無いようだ。

２０１０年　１０月　０９日　（Ｓａｔ）

＊　＊　＊　＊　＊

「彼はモテる」とは、「弄ばれる」という意味だったのですね！

びっくりです。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメント下さり、ありがとうございます。

ちやほやする。

もてはやす。

きっと子猫をからかうような扱いを指すものかと。

（面手はやすと、かつて読んで居たコトは内緒・）（冷汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

子猫。もうこの言葉だけでエロいと思います（笑）

さて、【もてあそぶ】。

決して良い意味ではないのだろうと改めて類義を見てみたら酷い（笑）

あしらう　・　思い通り　・　蹂躙　・　慰みもの

最後のはなんだ（笑）

今回の解き明かしは私が思っていたのと似て異なるとても楽しいものでした。

特に、

「もてぶ」＝「持手居」「保手居」

「あそぶ」＝「中手望」

「もてぶ」＝「玩居」

あたりは全く思いつきもしませんでした。

なるほど、の一言です。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊　＊

そうじさんコメント下さり、ありがとうございます。

もてあそぶだけがあって、持ちあそぶとは言わないでしょう。

そこで、

「もて・ぶ。」

という動詞を想定してみたのでした。

（今の辞書には載って無いけど、耳に聞いた覚えがあるような気が…。）

「もてぶ」が卑猥な意味合いへ傾いたので、代わって「あそぶ」が定着したのかも知れません。

「～遊ばせ」＝「望み通り、好きなだけ～」

ここからですね！

（最近は聞かなくなりましたけど、この言い回し。）

もう、死語かな（汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

午雲先生。

その調子でもしや私を…！？ｗｗ。

フフフフフフｗｗｗｗｗｗ。

投稿者：妃宮　咲梗

＊　＊　＊　＊　＊

妃宮さんコメントありがとうございます。

「もてぶ」は、だから手のひらに乗せて愛でるコトで、ー。

玩具の「玩」は宝石、おはじきみたいなものでしょう

（王へんが玉（ギョク））。

今みたいな意味合いになったのは、きっと後の世の事で御座ろう

（番茶）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１５０）　物実（ものざね）。

生れし男子は、物実、汝が物に因りて成りませり。

古典にこんな例文がある。

「物実」とは副詞にて、

「もとをたどれば」

「もともと」

という本意らしい。

「実（ざね）」＝「種（だね）」（さ・た通音の法。）

である。

（物の種⇒物の起こり？）

命あっての物種（ものだね）。

（何事も命がなくては始まらない。）

そんな、なじみのことわざも世にある。

（ありとあらゆる物思いも、物実、おのが命に因りて成りませり。）

だから命だけは大切にしろ、という本意となる。

似た言葉に、

「言い草」＝「言い種（ぐさ）」

がある。

「憎い言い草だね！」＝「憎いお口！」

などと言い回す。

言い訳の種。

それが「言い種」なのであろう。

「これは良い言い種ができました。」

叱責を言いかわす為めの理由。

もとは、それが「言い種」とか推して思われる。

「物種言うか！」＝「言い訳するか！」

こう見ると、

「物種」＝「訳」

とも読める。

（とんだ物言い種（だね）？）

この「言い種」を「口種」と言い替えて、

「憎い口だね！よくもまあ、そんな言をー。」

ここから、

「口種」＝「口実」

という言葉が生まれでたのでは、なかろうか。

なお、

「種」＝「くさ」（濁って「ぐさ」）

とも訓むので、

「言い種」＝「言いぐさ」＝「言い草」

とも当て字したものとみえる。

「口実」とは、本当は訓読みして、

「くちだね」とか「くちざね」

あるいは、

「くちぐさ」

とか言ってやるべきなのだろう。

２０１０年　１０月　１０日　（Ｓｕｎ）

＊　＊　＊　＊

「種」と「実」はつながりのある言葉ですもんね。

根拠となれば「種」。

結果であれば「実」かもしれませんね。

今日も勉強になりました。

ありがとうございました。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメント下さり、ありがとうございます！
そう、今は確かに、そんなニュアンスが有りますね。
やっぱり、どんぐりを食べてたコトと関係が有るのでしょうか？
（種子と実と区別が着かない・・。）
すでに因果律を把握して居た処ろが垣間見えて、凄いと思ってしまいます（唸）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

１５１）・１５２）

１５１）　ぬばたま。

ぬばたまの夜。

この枕詞「ぬばたま」の本意を考えてみる。

夜を示すだけあって、色合いなら黒だろう。

「黒水晶」という名が思い浮かぶ。

仮名「たま」＝文字「玉」

こう仮定すれば、残るは「ぬば」と為る。

注目すべきは、仮名「ば」であろう。

濁音の仮名・・・

その直前には、鼻音「ん」が隠れて居る。

殊に、言いだす際の仮名が濁音な場合には、ー

この鼻音「ん」を、ー

敢えて、しっかり発声する慣ひが有る。

（声「が」＝「ん・が」）

そう考えると、ー

「ぬば」の「ぬ」へと目がゆく。

ほら、仮名「ぬ」と「ん」とは相互に転化し易い。

すると、

「ぬば」＝「んば」＝「ば」。

もとは、

「ば・玉」

とな形かと推して思われる。

さて、仮名「ば」と声する言葉となると、

仮名「ば」＝文字「庭」

という言葉が思い浮かぶ。

「桜庭」と書いて「さくら・ば」と訓む。

（今の世にては「場」にて代用。）

したがって、

「ぬば・たま」＝「んば・たま」
「んば・たま」＝「ば・たま」
「ば・たま」＝「庭・玉。」
ゆえに、
「ぬば・たま」＝「庭・玉」
とか読み得よう。

庭に敷く石を「玉石」と謂う。
置き石では無く、砂利（ジャリ）石である。
これ、庭に砂埃が立つのを防ぐ工夫にて、ー
必ずしも飾りの為めに敷くものでは無い。

仮りに「庭玉」・・・
すなわち「玉石」が黒色であったとすれば、ー
それ、どんな石を用いたものか。

先ず、頭に浮かぶのは「黒曜石」である。
黒硝子のような色合い。
列島にては、遠く石器時代から、お馴染みの石という。
夜空の黒・・・
黒水晶のイメージにも近しい。
産地が限られて居るので、ー
庭面(にわも)一面に敷き詰めれば、ー
充分に、富みや権力の象徴とも為ったコトであろう。
ただ、割れ目が尖って鋭いので、ー
もしか裸足のままで歩いたりすると、ー
足の裏を怪我してしまいそうだけれど（冷や汗）。

２０１０年　１０月　１１日　（Ｍｏｎ）

＊　＊　＊　＊　＊
玉砂利は防犯のために敷くと聞いたことがあります。
足の裏を怪我してしまうのも、そういう意味では理に叶っているのかもしれませんね。

今日も勉強になりました。
ありがとうございましたm（＿＿）m

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメント下さり、ありがとうございます！
日本列島は火山国なせいか、黒曜石の産地が多いそうです。
硝子の槍と謂った処ろでしょう。
武器として、かなり重宝して居たようです。
確かに黒曜石を玉石として敷き詰めておけば、空き巣よけになりそうですねw！
（くつを履くような身分の者が挨拶もせずに庭へ通るはずも無し・・・）（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
ぬばたま。単純に漢字で書けば『射干玉』
檜扇　（ひおうぎ）になる黒い実ですよね。

その実は漆黒。
濡れたような艶に光が反射し、白く光っている小さな実。
故にぬばたまは夜や黒を意味する枕詞となる。

なら濡場玉とでも書きましょうか。……あれ、なんだか妙に淫靡

な文字面に……

うーん、どうも発想が元の字から考えてしまって、新たな展開にならないですね。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊　＊

そうじさんコメント下さり、ありがとうございます！

うむ。

おもうに、ひおうぎの実の色が「射干玉」の色に似て居るのでしょうね。

「干」とは「たて」。

当て字の字面から推しても、これは武器でしょう。

「玉」とは「ギョク」すなわち「宝玉」を示すものと思われます。

黒い宝玉にして、しかも武器となれば、やはり・・・。

（わたしも「沼さまの～」だと永らく思ってました）（迷路）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

黒曜石、という訳ですね。なるほど。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊　＊

でも、庭の玉石に黒曜石を用いて居たかどうかは、仮説の域をでません。

今なら那智の黒石をよく庭園に用いてますので、そこからの連想もあります。

（たった四文字の詞なのに…）（汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１５２）　雲海。

みずうみという言葉がある。

あわうみともいう。

地名・近江を「淡海」と書いたりする。

「とおつおうみ⇔ちかつおうみ」

仮名「つおうみ」＝「と（う）・うみ」

「とう・うみ」＝「たう・うみ」

「たう・うみ」＝「ちゃ（う）・うみ」

「ちゃ（う）・うみ」＝「茶・海。」

・・かな？と想ったりもする。

「遠つ淡海」＝「遠江」＝「静岡」

「近つ淡海」＝「近江」＝「滋賀」

古来、どちらもお茶の産地ではある。

うしおとは「海の潮」・・・

それ「海流」を指す。

いったん潮に乗ってしまえば、人力にては、まず逆らえ無い。

塩といえば「焼き潮」と書く。

潮水を焼くと「塩」が取れるというわけだ。

壱面、野ばらに覆い尽くされて居る処ろ・・・

そんな場所を指して「ばら海」とも言う。

「ばら園(ぞの)」＝「ばら海」

とおもってよい、

動詞「埋(う)まる」が思い浮かぶ。

野ばらでもって埋まって居るから「ばら埋み」とか見澄ます。

そういえば、漢語に「雲海(ウンカイ)」という言葉がある。

山登りして、雲の上へ出で立てば、ー

眼下に、この「雲海」を望む事が為しうる。

初日の出なら、雲海と共に眺めるのが、通なワザだ。

この雲海の景色も、ー

おもえば、四方を雲に囲まれて居るのだから、

「雲埋み。」

には、違いない。

野ばらに埋まれば、ばら海・・・

茶の木に埋まれば、茶海・・・

飲み水に埋まれば、湖（みずうみ）・・・

そうして、白雲に埋まれば、雲海（くもうみ）・・・

海の相（すがた）を「雲海（ウンカイ）」に見立てて居るから、

文字「海」＝「うみ」

そう呼ぶようになったのでは、なかろうか。

（文明とは高原から興るとも謂うし・・・）（予想）。

２０１０年　１０月　１３日　（Ｗｅｄ）

＊　＊　＊　＊

遠江は現在の静岡県西部で、

「駿河」

とは地理的にずれる気がするのですが？

投稿者：神村律子

＊　＊　＊　＊

神村さん、お知らせ有り難うございます。

あ、とおつおうみ（とおとうみ）って、駿河は含まないんですか？
今川義元が「遠江」の領主と聞いて居たもので（・・短絡的）。
静岡県民の方々、ごめんなさい（・・調べてみます）（焦）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
今川義元は「駿河の国」の領主ですね。
現在の静岡県中部・東部に該当するようです。

投稿者：神村律子

＊　＊　＊　＊　＊
彼の大井川を境ひにして、遠江と駿河とに別たれてあるんですね。
（・・地名を簡単に滅ぼすなよ・・・）（苦虫）。
「遠江＝浜松」と置けば良いのか。
近江にしろ遠江にしろ、ー
お茶の葉の栽培がいつ始まったのかも、謎ですな（穴だらけ・・）
（汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
世の中に対しては「膿」か「倦み」のような気がしないでもあり

ません…（ー＿ー）

今日も勉強になりました。
ありがとうございました。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメントありがとうございます。
あ、うみと言えば、そちらも確かにありますね？
うーん、分からない（またそのうちに）（汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
山から見る雲海は人間の力なんてちっぽけだと思わせてくれるほどの大きさを感じます。
うず潮もそうですよね。
自然に敬意を払うべきですし、自然に対抗していかなければならない。

自然と上手く生きる。最近色々とヨーロッパ人に憧れます。でもドナウ川は残念です。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊

そうじさんコメント下さりありがとうございます！

フェニキア人という民族が居て、古代、高原・国家を築いて居たとか。

馬も、高原に放牧する方式が在ったそうです。

そこで余力を蓄えて、平地へ推し出してゆく。

当然、文明人なら大海原より先に雲海の景色になじんで居たはずです。

ヨーロッパ人は「アート」と「ワイルド」とを区切ると聞きます。

聖霊・思想も、その発想から来たすものなのでしょうね！

（日本人は伝統的に「アート」を嫌う趣きが有るような・・）（苦笑）。

こうアートばかり増殖して来ると、アジア的な美学も、かえって貴重なのでは？

（アニメとは聖霊・思想の表われ？）（深読み）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１５３）・１５４）

１５３）　七不思議。

世界の七不思議といえば、時代によって様々・・・

なので、今と為っては、どんな代物だか判らないものもある。

バビロンの空中庭園。

これは、

（遥か遠くから眺めると宙に浮いて居るように見えたから。）

とか云う。

反重力の原理を応用した宇宙船・・・

・・とか思いたい処ろだけれど、それは無いだろう。

実は、ひそかに現存するものも有るとか聞く。

それは「純度１００％の鉄」である。

インドの砂漠、そのとある場所に今も安置されて居るという（放置？）。

鉄も純度１００％と成ると、一切、化合しなくなる。
なので、半永久的に、サビが来ない。
これ、地球上では到底、不可能である。
（鉱物に造化した時点で、すでに酸化して居るので。）
魔法の触媒が有るのか？
それとも、隕石みたく、大気圏外から来たのか。
（鉄・彗星とか。）
氷・惑星が衝突して、地球に水をもたらした。
そんな仮説もあるくらいだから、
「（純度１００％の）鉄・彗星。」
が降臨したとて、あながち不思議とは謂え無いけれども。

２０１０年　１０月　１５日　（Ｆｒｉ）

＊　＊　＊　＊　＊
おお、なんかすごい夢がある。
いいですね、こういうの大好きです。

夢って不可能や実現困難って言葉の類義語な気がします。

夢は寝てみろ
夢見る事は自由
努力すると大概夢はさめる

携帯電話なんて幕末の人がみたら妖術ですよね。
いつか純度１００％の鉄も現れるのでしょう。
錆びない鉄。これはもう固定化の魔法、もしくは錬金術ですよね
（笑）

やはり科学と魔術は背中合わせです。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊　＊
そうじさんコメント下さり、ありがとうございます！
バビロニアは幾何学が発達して居たようです。
古代の人々も天文学に執念を燃やして居たようなので、数学や物理学が発達して居たと仮定しても、不可思議ではありません。
（野生的な洞察力なら古代の人々の方が上手かも？）
何か謎の触媒が有った方に賭けてみたいですね！
（カラスに喰わすと純度が上がってゆくとか）（小説的妄想）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊
大阪にもありますよ。
通称「空中庭園」がｗｗ。
某ホテルの最上階にあるレストランだったかな？？

投稿者：妃宮　咲梗

＊　＊　＊　＊
妃宮さんコメントありがとうございます！
バビロニアの空中庭園は、どうやら王宮のコトだったみたいですが…
高層マンションも宙に住んで居るのは、確かですな（苦笑）。
そんなレストランで（予約さえ取れれば）食事できる現代人は、思えば、バビロニアの王様よりか贅沢な気分を味わって居るのかも知れませぬ（冷汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊
ＳＦって夢がありますよねぇ。
ファンタジーって現実逃避ってイメージ持っちゃうんですが、ＳＦって現実への挑戦って感じで、僕的にはＳＦ＞ファンタジーなんです。

錆びない鉄かぁ。
地球外生命体が持ってきたのでしょうかね。
今日も興味深いお話、ありがとうございました。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメントありがとうございます！
ＳＦ＞ファンタジー
ＳＦなら新しい概念を含むものが面白いですね。
タイム・マシンも、かつては新しい概念でしたから。
ファンタジーはＳＦを、より分かりやすくしたって感じかな？
新しい概念を発明できたら、それだけで名が残りそうですけど（夢想）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１５４）　熊。

熊の出没が相次ぐと聞く。

熱波の施(せい)為で、木の実が実らず、人里へ降りて来て居るとか云う。

熊とは柄体に似合わず、憶病な生き物だ。

牙を研いで立ち向かって来る、猪とは違う。

冬眠を前にして、大食いするのが、これ熊の習性だから、ー

よほど、餌に困って居るのであろう。

村々が過疎化して、里山が放ったらかしなのが、また原因とも云う。

熊の住み処が広がって、しぜん頭数が増えて来たのだ。

熊を狩る猟師が居なくなったので、天敵が居ない分、いよいよ増える。

もともと、熊を殺すのは、禁忌な気配が有った。

狼と違い、立ち姿がヒトの形(な)りと似て居たからであろう。

古へには、山に入った後には、きっと、

「けもの道へお供えをする。」

という慣わしが在ったと聞く。

山の幸とは、熊の餌でもある訳だから、ー

お返しに、何か置いてゆくのである。

すると、

（熊が怒らない。）

と信じられて居た。

桃栗三年、柿八年。

そこまでせずとも、どんぐりだけで、熊は満足して呉れる。

敵とみなして、猟銃片手に追い掛け回すよりも、ー

木の実が生る木を、どしどし植樹してやれば、いかがなものか。

人間以外の生き物が棲んで居ない。

そんな里山は、いかにも、寂しい。

２０１０年　１０月　１６日　（Ｓａｔ）

＊　＊　＊　＊　＊

失礼いたします。

山の手入れをあまりしなくなったせいともテレビで言ってました。

放置されている雑木林とか。
良い住みかだそうです。
それでは、失礼いたしました。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊

山羊の宮さんコメント下さり、ありがとうございます。
熊を詠んだ歌は無いけれど、熊もやはり、特別な生き物だと思います。
うちの近所には杉林というか杉山が多いのですが、
「材木が売れないから放ったらかしや！」
と、山の持ち主が言ってました。
もう薪を拾ったり下草を刈ったりする用も無いから、ー
文字通り「手つかずの自然」と化して居るのでしょうね！
（パンダと交換でツキノワグマを贈ってみたら、どうだろう？）（動物園向けw）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

悪循環、ですね。
よく地球にとって人間は癌だと言われますが、そうなのかもしれないですね、残念ながら。
熊は決して悪くないですしね。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊　＊

そうじさん、コメント寄せて下さり、ありがとうございます！
増殖を図るのは生命体の本能。
けれども、ウィルスの例を鑑みても、
「宿主がヒトと家畜だけ。」
という状態は、かえって危険を招くと察知されます。
（古代文明の多くは、伝染病で滅んだ。）
とな仮説も、むべなるかな。
熊が滅べば、遠からず人間も滅ぶでしょうね？
（ウィルスには勝てない・・・）（冷や汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

なかなか考えさせられるお話ありがとうございました。
人間のすみかが広がれば、そこに衝突が出てくるのは必然的なことですね。
人間が多すぎるんです。
ん？
これってネタに使えるかもですね。

今日も興味深いお話、ありがとうございました！

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメント下さり、ありがとうございます！
熊は憶病な性分だけれど、さすがに人間より強いコトは自覚してると思います。
ふだん熊が降りて来ないのは、つまり熊の方が遠慮して呉れてるんですね！
（人間を驚かしては悪い。）
と。
そんな彼らが敢えて人前へ姿をみせるということは、
（こんな年には、ちょっとくらい餌を分けて呉れてもエエやないか？）
と多分に怒ってるんだと想われます。
不作なのは、山も一緒・・・
秋口に熊が出没することは、本当は、迅うから、わきまえて居たはず。
（・・そんなコトも分からんようになったんか？）
熊たちの嘆き声が聞こえて来そうな思いがします（溜め息）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

「敵とみなして、猟銃片手に追い掛け回すよりも、ー
木の実が生る木を、どしどし植樹してやれば、いかがなものか。」

この考え方に、私は全力で賛成する！！
熊だって生きようとしているだけなのに、殺されるなんて理不尽だ。
森を切り開き、開拓して動物の住処を侵しているのは人間の方なのに。
せめて麻酔銃で眠らせて森に返し、目覚めた時にそこに冬を越せるだけの食料を置いてやってから、置いていくような外国みたいな粋な計らいがどうして日本人には出来ないんだろう。

投稿者：妃宮　咲梗

＊　＊　＊　＊　＊
妃宮さんコメント下さり、ありがとうございます！
列島の開発は戦国時代から江戸時代までに大方、完了して居たのを、さらに、車道を造るために、無理やり山際へ道を通したそうです。
いつの間にか狼は居なくなって、熊も山奥でひっそり生き永らえて居るだけとか。
ただ、代替素材のお蔭で、樹を伐らなくなったので、それが救いかな。
森林が消滅すると、文明も滅ぶ。
そのことは歴史が証明して居ます。
なるだけ森林の復元に努めて欲しいものですね！
（森が豊かなら熊もわざわざ降りて来ない。）
日本に合った文明の型があっていいと思います。

投稿者：午雲

＊＊＊＊

１５５）・１５６）

１５５）　将棋。

縁台・将棋という言葉が存るように、ー

将棋とは庶民にとって格好の娯楽であった。

双壁たる遊技と謂えば囲碁だけれど、

「岡目八目。」

くらいしか、ことわざも残って居ない。

対して将棋となると、

「ヘボ将棋　王より　飛車を可愛がり。」

ほか、数々の川柳が生まれでてある。

碁石がまず安くは無いので、その辺りにも原因が存ろう。

大陸の麻雀と同じく、将棋も永らく賭け事の道具であった。

連歌も実はそうであったが、あれは文字の知識が無いと為し得ない。

そこで、もっと手軽な遊技として、将棋が愛好されしものとみえる。

お寺の坊さんが好んで指したので、ー

いつしか将棋とは”女人禁制”なる風とは成った。

初期の名人と謂えば「検校」と名乗る僧侶が多い。

それ、盲目たる知るしでもあった。

囲碁に比べ盤目が少ないので、脳裏にても充分、指せたものとみえる。

その風が現代にも受け継がれて、ー

将棋界に於いては、棋士を、男女に別けて居る。

かつて、林葉直子という名の伝説の棋士が居た。

（今もまだ生きて居るヒトだけれど。）

女性ながらに”女人禁制”な将棋界に挑んだのである。

プロは四段なのだが、それ以前に「奨励会」という養成所が在る。

ここで勝ち抜かねば、プロには為れないのだ。

当時、女子高生の彼女は、美少女棋士としても人気があった。

しかし、将棋界は”女人禁制”の世界・・・

ルックスが好いからといって、容赦はしない。

棋譜が後世まで残ってしまうので、

「女に敗けて、なるものか！」

と、むしろ目の敵にされた。

周りは男だらけ、友人など一人も居ない。

しかも奨励会には女子トイレが無かったので、ー

男子トイレの大便器にしゃがんで、よく独りきりで泣いて居たと云う。

結局、彼女は四段に成れぬまま、奨励会を去り、ー

代わりに女流棋界に身を置く事と成った。

実は、彼女の居場所を作る為めに、今ある女流棋界が創設されたのであった。

（あの林葉直子が、もしか無事、四段になって居たら・・・）

それは、将棋・愛好家の間にて、ー

今もなお語られる、将棋界の夢物語りであるそうだ。

２０１０年　１０月　１７日　（Ｓｕｎ）

＊　＊　＊　＊　＊

棋士の方は、自分のすべての棋譜が頭の中に入っているそうですね。

プロ棋士になられた方の本で読みました。

ほんとお金を稼ぐってたいへんです。

小説家もそうですよね。

小説だけで食べていける人って、ほんの一握り。

才能だけではそこにたどり着くことはできませんよね。

一にも二にも努力、努力あるのみです。

そう考えれば、プロを目指す方がネットで小説を書いている暇なんて本当はないのかもしれませんね。

今日も興味深いお話、ありがとうございましたｍ（＿＿）ｍ

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメント下さり、ありがとうございます！

今のプロ騎士と謂うのは、天才の選りすぐり…

小学生・大会の方が熱いそうです。

年齢・制限があるので、自信が有る者しか入って来ないし…

名人クラスになると、宇宙人としか思えないような思考力を有し

て居るようです。
小説家は、勝負事ではないし、年齢制限もないから気持ちは楽ですが、ー
願わくは、生きてる間に実に生って欲しいですね
（：亡くなった頃に名が売れだすヒトも、よく居るからなァ…）（汗）。
努力が目に見えて結果にでてくれる分野です！文章の世界は、ー。
そういう意味では、やり甲斐がありますねw！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
林葉直子を知ったのは、私の場合小説でしたからね（ラノベ？）。
ジャンルは推理小説なんだけど、恋愛絡みで時々エロいw。
面白くて、当時は夢中になって彼女の作品を我先にと、周囲と競争するかのように読み漁った覚えがあります。
なので、彼女が実は将棋が本業と知って、驚いたのなんのってww。

林葉直子はマジ犠牲者だと思う。
女であるのを利用して名のある棋士のおっさんにヤラれて、メディアで騒がれるやボロ雑巾のように棄てられて。
同じ女として、彼女の処遇は許せない。
何か最近また復帰したとかチラリと聞いたけど、どうなったんだろう。
また負けじと女を見下す将棋界の男どもを、叩きのめして欲しいw。

投稿者：妃宮　咲梗

＊　＊　＊　＊

妃宮さんコメント下さり、ありがとうございます。
彼女は幼い頃から「九州の天才少女」として注目され、ー
雑誌の企画で時の谷川名人と弐枚落ちで対局してもらって居ます（小学五年生）。
結果は敗けでしたが、悔し涙をこぼしながらも一手負けの形作りをして対局を終えました。
女流棋士になってから、青春小説？とか書いて、売れっ子だった時がありましたね！
閉鎖的な世間なので、派閥闘争のダシに使われてしまった模様です。
強いからこそ、追い出されてしまったんでしょうね！
勝負事の世界は、ひと筋縄ではゆきません。
師匠になって、自分以上に強い弟子を育てあげて欲しいものです。
（女人禁制なんて、芸能に本来、そんなものあるわけないよ？）（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

ちょうどこの前、聖騎士さんとこの活動報告で老後に備え将棋でも覚えようかなとか書いたばかりでした。
スポーツはやはり限界がありますが、頭脳戦なら年を重ねてもいけるかなと。

固くなる思考は経験でカバー（笑）

今からすればそこそこの実力が身に付くかなぁ。
目指せ！　ご近所の王者（笑）

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊　＊

そうじさんコメントありがとうございます。
そう、将棋は一人でも練習できますからね！
わたしも（頭の体操に）よく詰め将棋など解いてます。
（あれを作れるヒトは凄いと思う。）
ふだん酷使している言語野を休めるという意味でも、脳の健康には良いかと。
最近の将棋ソフトは強すぎて、返って面白くありません
（寄せ手が厳し過ぎるっちゅうの！）（めまい）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１５６）　じやがいも。

じゃがいもは高原・植物…

大航海・時代に、船乗りたちが南米の地から持ち帰ったと伝わる。
イモは雑草並みに強いが、じゃがいもは特に強い。
寒かろうが痩せていようが、しっかり育つ。
むしろ痩せた土地の方が好いくらいだ。
それはサツマイモも同様である。
日当たりさえ良ければ、砂地でも育つ。
江戸時代に非常食として栽培が始まったのだが、ー
これが結果的に、終戦直後の飢餓を救う事と成った。
ヨーロッパに於いては、じゃがいもなら、準・主食である。
小麦が実らぬ年でも、じゃがいもは平気で実る。
そのじゃがいもすら不作な年には、乱が起きるようだ。
穀物には劣るけれど、ー
イモは保存が利くし、持ち運びができる。
なので、南洋の島々、ポリネシアの住人の世間では、今もなお、
イモが主食の座に在るという。

船乗りがイモを積み込み、海を渡り回ったので、ー

こぼれ落ちたイモが自生して、島々至る処ろに、イモが根付いたらしい。

日当たりさえ良ければ、どこにでも生えてみせるイモのしぶとさ。

それが古代の文明を育んだものと見える。

食糧難の地域に於いては、ムリに穀物を栽培せず、まずイモを植えてみたら良いかと思う。

アジアなら、じゃがいもが育たないほどな土地は、捜す方が難しいだろうから。

２０１０年　１０月　１８日　（Ｍｏｎ）

＊　＊　＊　＊　＊

イモが育って食料がある程度確保できたら、次は豆かなぁ。

豆は土を大気中の窒素を固定して豊かにする菌が根っこに住むらしいから。

投稿者：まいまい？

＊　＊　＊　＊　＊

まいまい@”ノさん、コメント寄せて下さり、ありがとうございます！

うむむ、豆に、そんな能力が有ったとは（初耳）。
裏作に豆を植えるのは、まさに農民の智恵だったんですね！
（生ける有機肥料…）（感心）。
穀物を栽培する前に、ある程度、余力を蓄えるべきだと思いますw！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

確か根粒菌という名だったような。
まあ、大体私の記憶はあいまいなのである。

ポテトチップはおいしい。
じゃがバターもおいしい。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊

山羊の宮さんコメント寄せて下さり、ありがとうございます。
落花生（ピーナッツ）が主食たる文明も古代には在ったような予感がします。
お蔭で土が肥えて、稲作へと進んだのかも。
サツマイモって英語で何て言うのかな？
ポテトは、わたしも大好きですよw！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
やっぱり焼き芋は、マヨネーズですよね！？ｗｗ。
最近は、ファミマのモンブランプリンにハマッています♪ｗｗ。
でも近来、落ち葉で焼き芋が出来る環境が少なくなってきたのが、寂しいです。
焚き火禁止法のせいもあって。
民家の極めて少ない田舎なら、まだ大丈夫なんでしょうが、住宅地では例え庭付き一戸建てで焚き火をしても、近所から警察に苦情の報告を入れますからねぇ（溜息）。

なので、私はコンロのグリルでサツマイモ焼いてますｗ。
ところで。
ファミマのモンブランプリンって美味しいですよねぇ♪←くどいｗｗ。

投稿者：妃宮　咲梗

＊　＊　＊　＊　＊
妃宮さんコメントありがとうございます！
石焼き芋を食べて、
（こんな美味いもの食べたことない）
と感激した子供時代を思い出します。
焚き火ができないのは寂しいけど、ー
失火や放火を防ぐ為めと考えれば、やむを得ぬかも。
ポテトといえば、ポテト・サラダで充分かな（飽きないｗ）？

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊
じゃがいももさつまいもお好きですよ☆
戦時中は重宝したらしいですね。
確かに芋の効能は計り知れないかもしれませんね。
今日も勉強になりました。
ありがとうございました。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメントありがとうございます。
どうせ緑化するなら、芋を植えるべきだと思います。
バイオ・燃料にもなるし、援助・物資にもなるし
（あ、でも泥棒されますね？売り物になるから）（冷や汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊
じゃがいも。
なんだか平仮名の並びがかわいいです（笑）
実際優れものですよね。
すぐ芽がでますし、沢山出来ますし。
味が濃くないからこそ飽きずに食べる事が出来ます。
主食たるもの、やはり味わい深くも薄味である事が必須条件なの

でしょうか。

最後に。
じゃがいもという平仮名の並びがかわいい故に今回のタイトルはかわいい。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊
そうじさんコメント下さり、ありがとうございます。
じゃがいもって「ジャガタライモ」ってのが本名だったかな？確かー。
さつまいもの略称「おさつ」は、あんまり流行らないけど、ー
じゃがいもの「じゃが」は、商品の頭文字にもよく遣われてますね！
（じゃがの付く言葉なんて、めったと無いから、得？ですなw。）

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１５７）・１５８）

１５７）　返品。

現品限りと帯がついて、置き時計が８００円で売って居た。

メイドインチャ〇ナだったが、目覚まし時計が欲しかったので買った。

うちへ持って帰って、セットする。

果たして、時間になっても、アラームは、ウンともスンとも言わなかった。

（時計として使ってやってネ！）

店員の、そんな台詞が、聞こえた気がした。

店へ取って返すと、例の帯の下に、小さく、

「現品かぎり８００円☆（返品なし）」

と書き足してあるのに、気がついた。

（・・書き足したのだと思う、たぶん・・・）

あれから、現品限りは、二度と買わない（歯がゆし）。

２０１０年　１０月　１９日　（Ｔｕｅ）

＊　＊　＊　＊　＊

しょせんチャイナですからねｗ

詐欺や騙しは国風ですｗ

いい勉強をしたというところでしょうかｗ

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメント入れて下さり、ありがとうございます。

最近、ボールペンなんかも、不良品に当たる確率が増えて来ました。

「設計図はまともだけど、その通りによう作らない。」

と、耳に聞いた事があります（バイクとか）。

いったん封を切ったら、もう返品は利かないとか言い張るし（・・理不尽）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

目覚まし時計なのに、起こしてくれない不親切な時計ですね。

いや、寝かして上げようという親切な時計？

それとも、もう時間かと気になって眠れない時計かも。
なんてことを考えてしまいました。

投稿者：河　美子

＊　＊　＊　＊　＊

河さんコメント下さり、ありがとうございます。
アラームつきと書いてなければ、気にならないんですが（苦笑）。
目覚ましが無いと起きれないというのでは、まだまだ気合いが甘いのかも知れませんね（反省）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

うーん、中国４０００年（笑）
セカイ四大文明はどうした。

友達に中国人もいるのですがいいやつなんですけどね。
集団だとダメなのか。
やはり民族が違うとわかり合えないものなのでしょうか。

日本人の美徳である謙虚な態度は確かに世界ではなかなか通用しないと思うのですが、やはり良いです。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊　＊

そうじさんコメント下さり、ありがとうございます。

日本人の価値観は独特で、海外では何かと衝突の種子になっているようです。

（電車が時間通りに来ないと怒るのは日本人だけ。）

というのは有名な話しですからね。

（価値観に多数決とかは関係無いとは思うけど）（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１５８）　客家（ハッカ）。

中華・大陸と謂えば、黄河と長江（揚子江）。

北人と南人とに区別される。

北部は雨が少ないのだが、黄河のお蔭で保って居る訳である。

古来、王朝が興亡し、しばしば流民（ルミン）が発生した。

多く都は黄河のほとりに置かれたので、流民は北部から来た。

しかして、南部は人口・過密・・・

すでに住人で埋め尽くされて居る。

なので、流民は、山岳地帯へ追いやられた。

この流民に発する人々を「客家（ハッカ）」とよぶ。

（文字「客」とは居候、謂わゆる「よそ者」とな意味合い。）

文字「家」とは「一党」ぐらいに思えば、好い。

この「客家」と「南人」との抗争とは、積年のものにして、ー

あたかもヨーロッパに於ける「ユダヤ人」問題の如しであった。

やがて山岳民族と化した客家は、南人の迫害に備えて要塞まで築く。

（その遺跡は今も大陸に残って居る。）

客家は山岳の一党につき、儒教・道徳には囚われない。

男も女も働き手なので、男女・平等との思想に立つと云う。

実は、この「客家」が政治に関心を持って居るのだ。

権力を持たなければ、理不尽な迫害から逃れる術べが無いからで

ある。

優秀な政治家と謂えば、客家。

北人、南人、客家。

中華・大陸には、この三大勢力が在ると聞く。

客家は少数派ではあるけれど、その代わり、権力に親しんで居る。

果たして、大陸の住人・・・

その意思が何処に存るのかというと、読むのは、なかなかに難しい。

ひと口に「中国人」と称んでも、中身は、色々なのである。

２０１０年　１０月　２０日　（Ｗｅｄ）

＊　＊　＊　＊　＊

言葉も四種類ありますしね。

奥深くていい国なのですが、マネと反日感情は嫌ですね。

今日も勉強になりました。

ありがとうございましたｍ（＿　＿）ｍ

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメント下さり、ありがとうございます！
なにせ中華・大陸は広すぎるので、
「特許権を守ろう。」
と伝達して隅々まで行き渡らせるのは、不可能だと思います。
あれだけの大規模な国家を運営するのは、
「地上に於ける壮大な実験。」
とすら世に謂われて居る程ですから（汗）。
どうしても三國志のイメージで考えてしまうのですが…
農村部へゆくと、やっぱり昔ながらの生活をして居るとも聞きます。
（そういうヒトたちが表へ出てくるコトはほとんど無いと思うけど…）（汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

歴史ある良い国なのですが。
うーん、どうもヨーロッパなどのデモとは違うんですよね。
ヨーロッパのデモはしている理由が分かるもののあるんです。
なんなんでしょうか。
考えている事が良くわからない。
次の政権トップの事も絡んでますか。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊

そうじさんコメント下さり、ありがとうございます！
うーん、大陸・中華のマスコミは国営しかありませんから、ああして世界へ配信するというコトは、そういうコトなんでしょうね！
（誇り高き中華人が茶髪？にするなんて信じ難いけど）（唖然）。
日本もかつて学園紛争の時は無茶苦茶でした。
（反米を叫びながら国鉄の駅を壊したりー）
なんかあれと似たような気配がありますね？
（学生デモと市民デモとは違うのかも？）（推測）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１５９）・１６０）

１５９）　自動・翻訳。

今年に入って、ＮＨＫだけは、よく電子・書籍を採り上げて居る。

マイクロ・ソフト対ＩＢＭ。

ネットの基本・言語なら英語である。

なので、英語圏のみならず、アルファベット圏なら、自動翻訳・機能が働く。

名前は違えど、元は同じ、親戚みたいな言語ばかりだから。

ユーザーに応じて、その都度、翻訳してやれば好い訳だ。

ところが、非・英語圏・・・

それも日本語まで来ると、英訳すらままならない。

ましてや、二次・翻訳・・・

英訳した上で、さらに他の言語へ写すことなど出来るはずが無い。

原本と訳本と、文意にズレが生じること請け合いだ。

そういう意味においては、ー

現行の英文・和訳構文・・・

翻訳・構文にも価値を見出す思いが来たす。

雑然たる思念を一旦、和訳・構文化してから、ー

ようやく文に章わすクセが付いているから。

漢語の多くは今や和製・漢語であって、ー

もともと、欧米語を翻訳するべく造られたものなのだから、ー

逐一、英語にも対応して居る。

残りの和語も大方、英和・辞典から覚えたもの。

その実、翻訳・不能な言葉など、ほとんど用いては居ない。

加えて、構文は英文・和訳の構文に組んであるのだから、ー

自動・翻訳とな作業も、そう考えると、見かけほどに難しくは無い。

英訳さえ果たしてしまえば、後は、どうにでもなる、というものだ。

戦後以来の、

「受験以外には役に立たない。」

そう謂われ続けて来た、日本の英語・教育の方式が、ー

まさか、こんな所で役にたつとは、ー。

未来というのは成る程、分からないものではある（・・人間万事塞翁が馬・・・）。

２０１０年　１０月　２１日　（Ｔｈｕ）

＊　＊　＊　＊

ほんとですねｗ

英語はいずれ「話せない方が恥ずかしい」言語になるのかもしれません。

特にアジアでは。

今日も興味深いお話、ありがとうございましたｍ（＿＿）ｍ

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメントありがとうございます。
そう、将来、大陸・中華が（世界最後の市場）として、世界の経済界を牽引するとすれば、ー
中華語は難解なので、シンガポール（華僑の国家）みたく互いに英語で話した方が良いかも？
自動翻訳が利けば、その方が楽チンですね！
（ゲーム・ソフトと対話してヒヤリングするとか。）
外国語もやっぱり”耳から”ですよ（宣伝？）w。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
海外の方は二カ国語を話せる方、日本に比べると多いですよね。
これはやはり日本が海に囲まれた島国である事が要因でしょうか。
昔は侵略されにくい事が最大のメリットですが、よもやこんな形で弊害があろうとは。
いや、私の単なる努力不足ですか（笑）

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊　＊
そうじさんコメントありがとうございます。
二ケ国語を習得するのは、日本人にとっては難行だと思います。
日本語と英語とは系統が異なる言語なので、かなり脳に負担が掛かるでしょうね！

あまり早く英語を教え込むと、母国語が英語と化してしまうおそれがあるので、危険です。
（身近に英語をあやつる友人や恋人が居てくれると、覚えやすいそうですが。）

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊
明けない夜はない。
散らない華もない。
今はただ日が昇るのを待つのみ。
長い夜です。
泡がはじけた時に巻き込まれなければいいのだけれど、ちゃんとリスクの分散しているのかな。
確かソ連が崩壊した時は米国と競り合って、軍事費を多大に注いだはず。
そして、インフレ。
今、元を安くするためにばらまきまくっているが、その価値は一体どうなるのか。
二のテツを踏むのか。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊
山羊の宮さんコメントありがとうございます。
ゼロ金利よりのち、円は相当、大陸へ投資されて居るそうです。

もう足が抜け無い状態なのでは（お互いに…）？
成長して返済して貰えるようにもって行くしか無いんでしょうね（…冷汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１６０）　盛り上がる？

宴会・用語、盛り上がる。

これ、やはり帝都・言葉である。

ビールと焼き肉が世に般まったのは、明治の頃・・・

ＯＯ倶楽部と称して、盛んに宴会が催された。

その場に於いて、だれが言いだしたものか、

「メーター上げて行こう！」

とな掛け声が起こった。

ここに謂う「メーター」とは、寸法では無い。

汽車などの計器、スピード・メーターの事である。

ところが、メーターには「目盛り」が打ってあるのが常だから、

「メーター」＝「目盛り」

と言い替わった。

「目盛り上げて行こう！」

と、掛け声なすようになったのである。

ところで、

「目盛り」＝「盛り目」

かと推して思われる。

天秤量りで量って、彼我の重さを比べる際、ー

その支点には「目」が打ってあるはずだ。

八百屋よろしくカゴに盛った品物を「ひと盛り」と言う。

また、

「重さ」＝「貫目（カンモク）。」

と謂うから、

「ひと盛りの重さ」＝「盛り・目」

と言ったのであろう。

「重さを読め！」＝「盛り目を読め！」

そんな言い回しが想い浮ぶ。

これが並び替わって、

「盛り目」＝「目盛り」

それが、やがて「計器」の引き線を指すように為ったのであろう。

「メーター上げて行こう！」＝「目盛り上げて行こう！」

ここから「目」が落ちて、

「盛り上げて行こう！」

という、今の形に成ったものとか思われる。

この「目盛り」が「テンション」に置き替わったり（死語？）、ー

あるいは、

「盛り下がる。」

とな反意語を生みだしたり、ー

（言葉とは日々、枝葉を伸ばすもの。）

そんな様子が、この壱語をながめてみても、改めて思い知られる。

２０１０年　１０月　２２日　（Ｆｒｉ）

＊　＊　＊　＊

焼肉にはビールが一番♪

昨日はストレス発散にメーター揚げ揚げでしたよｗ。

「コレストロールがあなたにはありませんから、肉を食べなさい」と医者に忠告されちゃったしｗｗ。

ありすぎるのも問題だけど、ないのも問題なんだってｗｗ。

そりゃそうよね。

普段は一日一食、お菓子も食べないで体力勝負の生活送ってりゃ、いくらその一食に油もの足したってたちまち消費されるのがオチだよねｗｗ。

投稿者：妃宮　咲梗

＊　＊　＊　＊

妃宮さんコメント、サンキューです！

え？栄養・失調なんですか（汗）。

ダイエットに励み過ぎて、慢性的に栄養不足なヒトが、特に女性

の間で増えて居るそうです。
人間には骨格というものがあるので、ダイエットにもおのずと限界があります。
（：タレントは仕事だから死に物狂いでダイエットしてるので、旨いモンでも食わなきゃ損ですよ？）

メーター上げて下さいね！胃袋のｗｗ。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊
僕は「盛り上がる」っていうのは、海の波のうねりからきているものだと思っていました。
平面に山ができるように「盛り上がる」。
目盛りですかぁ。

今日も勉強になりました。
ありがとうございましたｍ（＿＿）ｍ

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメント下さり、ありがとうございます。
明治の頃は、誰しも藩士…
藩を異にすると互いに気心が知れないので、そのせいもあって、しきりと杯を重ね合ったようです。

動詞「盛る」の名詞形「盛り」なら、擬態語「こんもり」の「もり」かなァ…？
結局、
「森を生す。」
の「森」になりそうです。

「目盛り」という言葉も、かなり古そうですけどね（メモると違って…）（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
『目盛り上げて行こう！』の時点で“目”を読まなければすでに盛り上がって行こうですもんね。

単純に【盛】のという漢字の意味そのものと思ってました。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊　＊
そうじさんコメント下さり、ありがとうございます。
「盛」＝「さか・り。」
と訓むのが先に在ったみたいです。
「咲き荒れる」＝「盛れる」
かと思ったり。

（動詞「荒れる」は、強意の助動詞とみなして。）

商人が景気づけに、
「もりつけ。」
の「もり」を使い回ったのかな？
（何でも「大盛り大盛り」みたいな…）（予想）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊
ダイエットなんて、生まれて一度だってしたことありません！！
どんなに食べても太らない体質なんです！！
一時期一日四食プラス間食もしてたけど、やっぱり太らなかったし。
おまけに体を動かすとその場で３Ｋｇも体重が減って、悩んでいたくらいです！！（苦笑）。
今の私はせめてあと２Ｋｇ体重増やしたい！！
でも増えないｏｒｚ

投稿者：妃宮　咲梗

＊　＊　＊　＊　＊
妃宮さん再コメントありがとうございます。
そういえば、
「思考力のあるヒトは太りにくい。」
と聞いたことがあります。

脳が一等、エネルギーを消費するのだとか。

なので、思考力を行使した後には、甘いものが欲しくなるのだそうです。

（チョコレートとか。）

雪天の執筆にエネルギーを吸いとられて居るのでは？

（カリントとか麦チョコとかつまんだ方が良いですよ？執筆の後にはー。）

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

あ、しかし、

「且」＝「まな板」

「成」＝「まさかり」

ですから、

「さかる」＝「裂く・割る。」

かも知れません。

（酒の肴を作る料理の風景？）（悩み）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

先日は漢字の由来についての検分ありがとうございました。

おかげさまで無事投稿できました。

時間掛かりすぎましたが（笑）

全然違う話なのですが、【二律背反】って四字熟語の話です。
これって最後はどうなると思われます？
単なる矛盾をさした言葉ではなく、両方正解の事が同時に存在、正命題、反命題のどちらにも証明できる矛盾・パラドックス。

どちらかが残るのか両方残るのか。それとも両方消えるのか。

もちろんケースバイケースなんですけど（笑）

活動報告と全く関係ないのでメッセージの方が良いでしょうか。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊　＊

ざわめき、どんな敵キャラとなるのか。

うむ。
二律背反（パラドックス）とは、仮説の段階における話し、すなわち思考実験における話しと言えると思います。

実践不能な理論がパラドックス。
すると現実に於いては、何も起きない、不発弾、失敗した手品みたいな状態だと思います。

また、考えてみます。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

１６１）・１６２）

１６１）　挿し絵。

みてみんへ自分で撮った写メを投稿。

甲骨文字の図案なら白地にマジック書きで充分だけれど、ー

挿し絵代わりとなると、何か色つきの絵が欲しい。

そう思って、あれこれ考えて居たのだが、ー

子供の頃、切手を集めて居たのを思い出した。

郵便・切手なら、古くは壱円・単位から有り、ー

それぞれに眼にも馴染みな色んな風物を象ってある。

これは使えると思って、早速、何枚か写メしてみた。

（御目汚しになってはいけないので・・・）

（・・さすがにイラストを投稿する勇気は無い。）（冷や汗）。

似合いの切手を見かけたら、また使う心積もりをして居る。

２０１０年　１０月　２３日　（Ｓａｔ）

＊　＊　＊　＊

午雲さんのページがわかりません＞＜
探して行ってみますね！
見たい＞＜

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメント入れて下さり、ありがとうございます。
写メ・オンリーなので、そんなに見所があるわけでも（焦）。
ローマ字・表記で「ｇｏｕｎ」としてあります。
（もっぱら鑑賞させてもらってますよｗ）（感嘆）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

私も探してきます（笑）

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊

そうじさん、うれしいコメントありがとうございます！
無いものねだりで、イラスト・レーターにはあこがれを感じます（溜め息）。
（また切手コレクションしたくなってきた・・・）（ドウドウっ）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１６２）　爆発リレー。

「背後で爆発が起きて、振り返る。」（ＰＡＲＴ２１）

この文を自分流に書くという、バトンが大橋秀人先生からまわってきました。

・例文
◆ケータイ小説
「ドカーン！俺はびっくりして振り返った。」
◆ラノベ
「背後から強烈な爆発音がしたので、俺はまためんどうなことになったなぁ、とかそういや昼飯も食ってないなぁとか色々な思いを巡らせつつも振り返ることにしたのである」
◆京極夏彦
「凄まじい音とともに地面が揺れる。――爆発、ですか？私が問うと、

彼は白湯とさして変わらぬ出涸らしをすすり、
――だから何だと言うのか。と答えた。りん、と、何処かで風鈴の音がした。」

ちなみにこのバトンは、

・スリーS先生→・聖騎士先生→・そうじたかひろ先生→・桜庭春人先生→・妃宮　咲梗先生→・玉紀直先生→・御堂志生先生→・沢上澪羽先生→・ｅｋｏｅｋｏ先生→・タチバナナツメ先生→社九生先生→・猫乃鈴先生→・無言ダンテ先生→・河野夜兎先生→・河美子先生→・日下部良介先生→・星野雫（Ｅｌｗｉｎｇ）先生→・抹茶小豆先生→・中原可絵先生→・大橋秀人先生→午雲という順番で回ってきたようです。

午雲流『背後で爆発が起きて振り返る』をお楽しみください。

駅の改札口をでて、オフィス街を歩く。

平日の朝のいつもの光景。

このまま行けば会社にへと辿りつく。

ところがその日は違った。

「ドガーン」

ありえない爆発音が背後から起こる。

わたしは咄嗟に駆けだした。

振り向いてるヒマがあったら走ることだ。

破裂弾にやられて、前の方で通行人が何人も倒れて居る。

乗り越え乗り越え、わたしは走りつづけた。

幸い、わたしだけは無事なようだ。

こんな所で悪運が強い分、ふだんツキが足りないのかも知れない。

全くこのクソ忙しい時に、ひと騒がせな事だ。

会社が入って居るビル。

その前に野次馬がでて、こっちをながめて居た。

「おはようございます！課長。」

「き、君っちょっと後ろを振り返ってみろ！」

「は？こうですか。」

「ぐわッ」

鵞鳥が絞め殺されるような声を立てる、課長。

「よ、よく立って居られるなっ君！？」

「・・はれ？」

わたしの後ろ半身には、

無数なガラスの破片が、

隙間なく突き刺さって居たのであった。

（おしまい。）

必死になると、しばらくは痛みも忘れるそうです（人間ってスゴイw）。

ありがとうございました。

さあ、このバトンはらいす兄さんこと”ごはんライス先生”へお渡し致します！

また、来週！（声・仮面の忍者・青影）（・・化石）。

２０１０年　１０月　２５日　（Ｍｏｎ）

＊　＊　＊　＊　＊

コメディーできましたか（笑）

にしても、どこまで繋がるこのバトンってやつですね。

投稿者：大橋秀人

＊　＊　＊　＊

大橋さんコメント頂き、ありがとうございます！
わたしもやっぱり直ぐに振り返っては、ーと考えてしまいました。
爆発といえば日本の場合、地震の際でしょうか？やっぱり…。
そんなイメージで書いてみました。
（ためしに数えてみると二十一番、ちょっとテレフォン・ショッキングみたいですな）（笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

午雲さん、見事な爆弾処理でした。
また、違う爆弾が違う所から落ちてきそうですね。
でも、不幸の手紙よりはマシですね。

投稿者：日下部良介

＊　＊　＊　＊

日下部さんコメントを下さって、ありがとうございます！
みなさん個性があって面白いですね！
企画？に参加したのは、これが初めてだったので、勉強になりました。

また、呼んで下さいね（ホッ）ｗ

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

面白いですね。
本当に十人十色ですね。
次はごはんライス先生ですか。
これもまた楽しみです。

投稿者：河　美子

＊　＊　＊　＊

河さんコメント寄せて下さって、ありがとうございます！
爆発事故のニュースは、よく聞きますが、実際に遭ったら先ず無傷では済まないでしょうね？
そんな想像で書いてみました。
ライスさんは、どんな爆発を披露？して下さるものか。
わたしも楽しみですｗ

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

まさかのホラーコメディｗｗ
午雲さんやりますねｗ

楽しませていただきました！

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメントを下さり、ありがとうございます！
ビル街の恐怖は窓ガラスだと聞いたコトがあるので…
痛みを限界を超えると感覚・不能になるとか。
（音声も大き過ぎると耳に聞き取れなくなるそうです。）
：痛過ぎただけ、というオチなのでした
（ホントは頭上から降って来るものですが…）（見猿）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

私にとって初期にこのバトンへ参加できたのは幸運でした。
こうしてみれば凄いメンバーですね（笑）

そして予想外の仕立て。
よもやコメディとは。
そしてそう振り向かせるとは！

気が付いたあの人は今から痛いでしょうねぇ（笑）

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊
そうじさんコメントを入れて下さって、ありがとうございます！
そうじさんを初め、さまざまな例題を参考にさせてもらったので、かなり助かりました。
こういう企画？のなかに名を連ねられた、というのは確かに、うれしい気分がして来ます。
サイトに参加してこそですね！
この先も楽しみにして居ます。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊
うひゃ。気が付かないもんの勝ちですよね！　走れ！
それにしても、やっぱり、振り向いたら負け、ですかねー＾＾；
そして、バトンよ回れ～。くるくるくるりー。振り向かずに書けー。（ぇ

お疲れ様でした。

投稿者：星野　雫（Ｅｌｗｉｎｇ）

＊　＊　＊　＊
星野さんコメント下さり、ありがとうございます。
予期せぬ事態というのは、やっぱり怖いです（汗）。

何かそういう偶然の助けが無いと、助かりにくいかと。
できるだけ長く続いてほしいですね！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

午雲さん、ご飯ライス先生なんですが、ずいぶん前（更新ペースが速いので）の活動報告で、自分はとっとと爆弾処理を終えて、琉生さんにバトンを渡しているんですよ。
そこから先が、今のところ音信不通？みたいです。

投稿者：日下部良介

＊　＊　＊　＊　＊

日下部さんお知らせ下さり、ありがとうございます！
いや、そうでしたか。
すると誰か他の人に頼まないといけないんですね。
探してみます。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

楽しませていただきました。
我に返った主人公、とっても痛そうですね。

投稿者：抹茶小豆

＊　＊　＊　＊

抹茶小豆さん初めまして、コメント頂き、ありがとうございます！
確かオジサンライダーで、ガードレールに接触して足が片方もげたのに、ー
気付かずに、しばらく走ってた、という事件があったもので（汗）。
他の仲間は真っ青になって、刺さった足をながめて居たそうです。
（・・助かったんだろうか？そのヒト？）
人間の生命力の強さを表現してみました（ウソ）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

１６３）・１６４）

１６３）　爆発バトン。

大橋秀人さんから、わたしが受け取ったバトンは、
彼の「よんよん」イラストなどで有名な、まいまい@”ノ先生に
お渡ししました。
本日のまいまい@”ノ先生の活動報告を御覧下さい。

２０１０年　１０月　２６日　（Ｔｕｅ）

＊　＊　＊　＊　＊

一瞬、バトンが宙に浮いていたようですね（笑）

きっと午雲さんの爆発が凄まじかったからでしょう…

投稿者：大橋　秀人

＊　＊　＊　＊　＊

大橋さんコメントありがとうございます！
そう、ちょっと凝りすぎたみたい（本能？）。
活報欄だし、気楽に書いてもらえるのが持ち味ですから。
まいまい@”ノさんが、さらっと爆発？してくれて、良かったです（安堵）。

バトン、まだまだ繋がってくれたみたいで、何よりです（口笛♪）
。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

爆発バトン、無事に書くことが出来てよかったですよ。

さらっと、爆発してみました♪（笑）

投稿者：まいまい？

＊　＊　＊　＊　＊

まいまい@”ノさんコメントありがとうございます！
シューティング・ゲームの爆発音、どうやって作ってるのかな？
あの音が魅力ですからね！
バトン、渡せてよかったです（ほっ・・）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

あれから、大輔華子が書いてくれるようで今爆発考えてるみたい。
二手に分かれました。

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊

ライス兄さんお知らせ、ありがとうございます！
おおっふた手に増えましたか。
また、楽しみが増えました。
活報、発掘してみたいけど、通し番号だけでもつけてくれれば、探し易いのに（汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

午雲さん、きちっと説明します（するほどの内容じゃないけど）
一度、琉生に頼んだんです。
すると返信がない。
んで、大輔華子に頼んだの。
これも返信がない。
だから無理ですと午雲さんにゆうたの。
すると、まいまい書いてましたね。
その後、琉生が爆発書いてました（報告しろー！）しかも、次、絡屋烈くんに決まってる。
しかも、その後、大輔華子から書く気満々のメッセージ。
もう意味わからん！流れに任す！！！

投稿者：ごはんライス

＊　＊　＊　＊　＊

らいす兄さん、お知らせ、ありがとうございます！

（以下、敬称略）。

ライス→琉生→絡屋烈。

ライス→大輔華子。

という具合いですか。

こちらの方は、

まいまい@”ノ→敬愛→ｃｏｄ

まいまい@”ノ→山羊の宮→（・・・）

と、こう各先生方へ繋がって行って居る模様です。

よい機会なので、お気に入りユーザから跳んでみますね！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１６４）　秀吉。

秀吉という人物には興味が有る。

彼の伝記と謂えば「太閤記」が在るけれど、ー

その内容には明らかに作為の跡が見て取れる。

ちょっと御伽草紙みたいだ。

炭焼き藤太と金売り吉次との伝説なら鎌倉時代から存る。

しかして、秀吉の名乗りが、その名も「藤吉郎」・・・

・・これ、いかにも”芸名”としか思えない。

どちらも商人、幸運に恵まれて思わぬ出世を遂げた者共である。

自称・針売りと彼は謂う。

針売りを指して「針磨き」または「はりま」と謂った。

嫁の寧々なら尾張に養女に来て、出身なら「播磨」という。

（吉川英治「私本・太閤記」より。）

実際、播磨の地には当時、鋳物（いもじ）師の里が沢山に在り、ー

縫い針と名のつく品物なら、播磨に有名な特産・品であった。

（「今昔物語り」性空上人の段、参照。）

（生まれてきたとき、手の内に針を持って生まれてきたとか云う。）

（その後、播磨の地、書写山・円教寺に寺を構えて住まう。）

軍師・黒田官兵衛とは、播磨の住人であった。

武士に似合わず、目薬を商なって財を成したので、

「なにを、薬売りの小倅（こせがれ）が。」

と、のちのちまで陰口をされたと云う。

当時、薬と謂えば、漢方薬のことであった。

また、同時代の大陸の王朝といえば、明王朝。

その貿易港といえば、寧波（ニンポー）。

ねねの当て字が「寧々」なのも、きっと此処から採って居よう。

播磨の国、その地の理なら四通八達・・・

行こうと思えば、何処へなと行ける。

秀吉とは、播磨より出て、やはり商人・・・

それも、むしろ”倭寇”つまり海賊の頭目だったのではないか？・・・

・・今の処ろ、そんな予感がする。

（彼の発想なら、おおよそ、さむらい離れして居るし・・・）

（・・後世の事を慮(おもんぱか)れば、さすがにそんな事は書き遺せ無いだろうから。）

慶長の役の際、半島や大陸の下見を全くしなかった、とか伝わるのも、

（すでに、あらかた勝手知ったる土地なれば・・・）

そう考えてやると、つじつまが合うとか思う。

（当時、彼は誇大妄想(パラノイア)の気味だった、との仮説もあるけれど。）

（それ、ちなみに司馬遼太郎の説。）（謎）。

２０１０年　１０月　３０日　（Ｓａｔ）

＊　＊　＊　＊　＊

耳から草子の件ですが、ちょっと気になったので……。

「藍」は「あひ」ではなく「あゐ」だと思います。

失礼しました。

投稿者：神村律子

＊　＊　＊　＊　＊

神村さんお知らせありがとうございます。
分かり易くする為めに「あひ」と置いてみたのですが…
「ゐ」と置いても、雅び以降なら声は「い」ですからね。
「あゐ」＝「あうい」
と声したはず。
なので本来は、
「あう・い」＝「あおい」
でしょうね（葵）。

すると、
声「あひ」と「あゐ」とは異なるものと見分けられます。
草花「あいたで」の「あい」が「藍」では無い、という事が本題なのでした。
（今の世にては、あい色あい色と口に言いますから。）

「あゐ」＝「あおい」
と呼ぶようになったので、
「あをし」＝「あおし」
とかな形容詞が生まれたのでしょう。

そこで、
「あゐ」＝「あひ」
と書き替わって、
「赤」
を示していたものと思われます。

これをさかのぼって、

「あい」から「あい」と「あゐ」とへ別れて、ー
のち、
「あゐ」から「あおい」と「あひ」とへ別れ、ー
いつしか、
声「あい」＝「赤」
という本意は忘れ去られたと、仮説してみたのでした。
（実は仮名「ふ」が記号という処ろが、眼目。）

仮名の表において、記号代わりに使って居る仮名…
イワレヒコさまにはすでにお見通しですな。
（よい補足の機会とはなりました。）（感謝）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
あ、いかん、もれなくと書いてある（焦）。
神村さん、助かりました。
早速、修正を施して参ります（中座）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
神村さん＞
修正致しました。
寄り道を避けようとして、本道を踏み外す。
また、宜しくお願いします（反省）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

秀吉かぁ。

歴史の授業でいろいろ聞きましたが、

信長や家康と比べちゃうと、ちょっと興味なかった覚えがあります。

「陰が薄い」

感じがするんですよね。

それも秀吉の持ち味なのかなぁなんて思ったり。

今日も勉強になりました。

ありがとうございましたm（＿＿）m

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメントありがとうございます！

秀吉は信長と知己になるまで全く謎な人物ですし、ー

他の二人に比べて侍らしく無いので、あまり冴えない印象が有るのは、ぬぐえませんね。

「死ぬのは嫌にて候ふ。」

これが文（ふみ）の決まり文句で、ー

実は、この念が、下々の者の心を惹きつけたとか。

室町時代から急に列島が豊かになって、
「平和に暮らしたい。」
という思いが庶民の本音だったそうです。
今の日本も、思えば似たような状況ですね。
古武者然とした者よりか、秀吉みたいな人物の方が、待望されて居るのかも
（本音にては…）（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１６５）・１６６）

１６５）　宝物。

古都の強みとは宝物かなと思う。

昔話しのラストには宝物を貰う話しが多い。

子供ながらに、やっぱりワクワクしたものだ。

工房という言葉がある。

宝物は、そこで造られた。

どれも先祖・伝来の秘技である。

褒美の品として初めて手にし得る珍宝ぞろい・・・

真似しようにも真似できぬ”秘術”が施してある。

故郷に錦を飾る。

その錦とは西陣織りの絹織り物。

これ、爪の先をギザギザにして絹糸を引っかけるのが、種ねだとか。

色違いな糸を同時に操れるので、細やかな模様が織り込めるらし

い。

言われてみれば簡単なアイディア、しかし到底、思いつけそうに無い。

金色（コンジキ）という言葉がある。

「こんじき」の「ん」が「に」へ替われば「こにしき」・・・

漢音の音写の法に於いて、

「コン」＝「こに」

と仮名に写すことは、有り得る事・・・

なので、

「金色」＝「こに・しき」

彼の「錦」とは、もと「小錦」とか「黄錦」とか謂われて居たのかも知れない。

奈良の大仏殿が在る、東大寺。

そこに、その名も「正倉院」が在る。

これこそまさに宝庫、どれを取っても宝物の典型であった。

目録が奉納されて居るので、おいそれとは持ち出せない。

信長が天下人と目された頃、ー

褒美として、香木が切り分けられた。

香木だけは、短くなっても香木、とな理屈であろう。

その頃、すでに八百年ほど経って居た。

（・・これは何か魔法が掛かって居るに違いない。）

盗賊ですら、そう思い、かしこまって、ここには手をつけなかったという。

出土品なら木製品は、もれなく朽ち果ててしまう。

湿度によって伸び縮みする、樹の選び方に秘術が籠もって居るのだが、ー

傍から見るかぎりは、ちょっと魔法としか思えなかったであろう。

（気温を計る百葉箱の造りが、この建物を応用したものと云う。）

今から四百年ほど前、ー

信長に授けられたという香木の行方が、ー

ちょっと気に為りもする（家宝？）。

２０１０年　１０月　３１日　（Ｓｕｎ）

＊　＊　＊　＊

綺麗な織物って昔はそれだけで宝物だったんですね。
和服は高いですからねぇ…

興味深いお話、ありがとうございましたｍ（＿　＿）ｍ

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊

聖騎士さん早速コメント下さり、ありがとうございます。
文章を綴る相を“織り成す”とか例えますけど、織り成しつつ絵を描いてみせる訳ですからね！
（いっそ絵筆で描いてみたら…？）
と思うほどです。
確か絵師が型紙を作って、その通りになぞってゆくはずだから、今のコピー画に当たるのかも？
鶴女房の昔話が思い浮かびます。
（：のぞいてしまったのですね？）（ブサッ）。
もとは、そんなお話しのような予感がします（冷や汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
香木は、蘭麝待(らんじゃたい)ですね。
校倉造(あぜくらづくり)、歴史の授業で習いました。
今は昔の事です……（泣）。

投稿者：神村律子

＊　＊　＊　＊　＊
神村さんコメントありがとうございます。
名前からして西遊記に出て来そうな名前ですね。
（東南アジアのジャングル原産？）
校倉造りか。
風通しを自動で調節してくれるのだから、天然の冷暖房みたいなものですね。
（亜熱帯の智恵かな？やっぱり…）
黄金の国ジパングの始まりを感じさせます（砂金でゴールド・ラッシュ！）。
また、黄金が湧いて来ないかなァ（夢想）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
今、宝といえば宝剣、陽宝剣と陰宝剣。
ニュースを見ててどきどきわくわくしてます（笑）

香木は実際に見た事も香りも知らないのですが、
昔の人にしてみたらさぞや不思議な一品だったのでしょうね。
私も不思議です。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊

そうじさんコメントありがとうございます。
大仏は平家の頃に焼き討ちされたけど、台座は、そのままだったんですね！
夫婦でお揃いの剣を持って居たんでしょうか。
（何に使ったのかな？）
伝来の香木は何回か切り分けられて、だいぶん短くなって居るとか。
香りは霊性を招くアイテムだったようです。
（線香もその発想。）
ひときわ御利益が有ると、きっと信じられて居たんでしょうね！
（なにせ正倉院の宝物ですから）（納得）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

１６６）　加工。

材に木目が有るように、石にも割り目が有るという。

これを「理」と謂う。

結晶が積み重なって岩は大きくなるのだから、ー

眼には映らずとも、そこには自ずと境い目が存るコトとなる。

終戦後、旧満州の住人が多数、拉致され、シベリアの地へ送られたが、ー

そこでは過酷極まる強制労働が待って居た。

シベリア鉄道を敷設するのが任務であったが、ー

枕木を敷く為めに、岩を割る仕事も多かった。

その仕事に際して、

「理に沿って石を割ってゆく。」

とな技が大いに役に立ったという。

生き残りの元、石工たる人の談話である。

また、宝石にも同じく「理」が有るという。

ダイヤなら最も堅いと世に認められて居るけれど、ー
これも技を極めれば、やはり加工なし得る。
英国のエリザベス女王が戴冠式に臨む際、ー
当時にあって世界最大のダイヤを用いて、ー
これを飾りとなす事に為った。
もちろん原石に加工を施し、ー
見栄え好く、正・多面体に仕立てあげなければならない。
ただし、宝石を彫ると為ると一回勝負・・・
途中、しくじったとて、修正は二度と利かない。
しかも相手が世界に唯壱個しか無いダイヤなのだから、凄まじい。
この仕事を任された研磨師とは、ー
当代随壱とな腕の持ち主であったが、ー
三日三晩、件(くだん)のダイヤを彫りつづけ、ー
ついに最後の一刀を下す際には、ー
思い余って、その場にて気絶してしまったという。

なので、殊勲たるべき彼が、ようやく気が付いた時には、ー
もう、滞り(とどこお)無く、式典が済んだ後だった。
彼は生涯、その事を口惜しがって居たとか云う。
(ビデオ・テープなんて代物は、まだ無かったのだから、仕方がない。)

２０１０年　１１月　０３日　(Ｗｅｄ)

＊　＊　＊　＊
まさに凄まじき職人魂ですね。
我々も精魂込めて作品を完結させた暁には、気絶するぐらいの気概を持って執筆に取り組みたいものです。
気持ちだけでもプロには負けたくないですね。
今日も興味深いお話、たいへん勉強になりました。
ありがとうございました。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊
聖騎士さん早速コメントを下さり、ありがとうございます！

天然のダイヤとは炭素・鉱物・・・
本当は貴とするに足りぬ程な埋蔵量を誇って居るものと聞きますが、ー
やっぱりあの正多面体のデザインが放つ輝きが、魅力なんでしょうね！
熟練を要する技なだけに、ー
あの高値とは、むしろ手間賃という感じがします。
文章も芸能とか技とか考えてやると、もっと報酬をあげても良いのかも？
（後世にまで生き残って居る作品なら、ほとんどが精根籠もってる感じですが。）
絵画や宝石と違って、すぐには判別がつかないから、難しい処ろです（汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
いまや遺骨から炭素を取り出し、人工ダイヤモンドを作り出す時代。
天然と人工で輝きも硬度も変わりないのだとか。
いつかお墓ではなく、遺骨は身につけて供養する日がくるのかもしれません。

…案外土地不足解消？

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊

そうじさんコメントありがとうございます！

え？遺骨を原料に？

形見というコトですか。

ダイヤは火に弱いのが困りものだけど…

生き物を資源とよぶ時代ですから、いずれはそう成るかも知れませんね（冷や汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

１６７）・１６８）

１６７）　旧仮名遣い。

古本屋巡りなどして居ると、旧仮名遣いの本に、よく出喰わす。

吉川英治「三国志」なら、この方が雰囲気が有るくらいだ。

その昔、その名も「活字拾い」という仕事が在った。

印刷の際には、判子を拾って、活字を組んで居た訳だ。

まだ「コピー機」と名乗る、文明の利器が無かった頃の話しである。

印刷屋、校正係、新聞記者、小説家。

こんな経路が、作家にへと成り遂せる”近道”でもあった。

活字拾いなら、見習いの小僧さんがやる。

重労働である。

しかも、旧仮名遣いだと見落とすコトが多い。

今は昔、子供も早くから働き手であったので、ー

さほど教育が行き届いては居なかったのだ。

（井戸の水汲みや子守りなど。）

何より印刷の手間である。

旧仮名遣いに則って居たのでは、時間が掛かって仕方が無い。

新聞などは日夜、印刷に一刻を争って居たものだから、

「旧仮名遣いの廃止。」

を、かねてより要望して居た。

昭和三十年代に至って、

「日本語の国際化。」

とな不思議な標語の下に、ついに旧仮名遣いは廃止と決まった。

古典を学ばずとも、あらかた文章が読み書きできるので、ー

その策とは一見、便利と見えたけれど、ー

気がつくと、古典に触れる機会が、ほとんど失くなってしまった。

旧仮名遣いで書かれた文章を引用する際には、ー

読み手に素養が欠けて居るせいもあって、ー

書き手側は、かなり苦心する羽目に陥ってしまったのである。

今の世なら「輪転機」なる物を用いるので、ー

新聞の印刷なら”秒速”である。

活字拾いなる仕事も跡形も無く滅んでしまった。

けれども、旧仮名遣いへと今更、戻しそうな気配は無い。

語源説きとかを考えて居ると、ー

古文を引用すべき機会に行き当たるコトも多いので、

（・・そろそろ旧仮名遣いを復活して呉れないかなァ）

と、よくおもう。

２０１０年　１１月　０４日　（Ｔｈｕ）

＊　＊　＊　＊

こんにちは。

和文タイプライターを思い出しました。昔は図書館で見かけたり

していましたが、もうワープロに駆逐されたことでしょうね。
旧かな遣いといえば、「い」と「ゐ」どころか「お」と「を」を区別して発音できない若者が増えたと先生が嘆いていたっけ……。

それでは。

投稿者：卯田手石

＊　＊　＊　＊　＊

ｓａｍ．ｓｐａｄｅ（現・卯田手石）さんコメントを寄せて下さり、ありがとうございます。
あ、タイプライターなら、うちの押し入れにも一台、眠って居ます（骨董品？）。
タイピストといえばＯＬの代名詞でしたね（遠い目）。
そう、旧仮名遣いが用なしとなってみると、使わない仮名が増えて来た感じがします。
英語の「Ｗ」と「を」や「ゐ」は一緒なんだから、本当はキッチリ発声してやるべきなんだろうけど…
日本人って、もともとア行の単母音が好きなのかも？
（耳伝てに分かれば、それで良しとする気楽な発想？）
せめて、公けの場だけでも、発声に気を配ってほしいものです（正確を期すという意味でー）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

とりあえずＰＣやケータイでは変換できる旧字体がまだあるのでいいですよね。
古典はやっぱり旧字体だからこそ味があるものです。
今日も興味深いお話ありがとうございました！

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメント頂き、ありがとうございます。
短歌や俳句を引用するとき、特に、旧仮名遣いが懐かしく思えます。
（確かに、もしか「ゐ」が入ってなかったら書けませんね？あれ…）
（苦笑）。
厳密を期すとなると、明治期の作家たちさえ苦労したようですが（焦）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊
日本は文化の保存と育成がどうも苦手なような気がします。
あと、西洋への憧れが強いとも思います。
京都のような町並みが現代風に成長していたら、ヨーロッパの町並みに負けない魅力溢れる町だったろうに。

文字もそうです。
現代日本語は柔軟性があり、様々な組み合わせ、造語がたやすいかわりに本来の美しさはほとんど継承されず。
もったいないですね。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊
そうじさんコメント下さり、ありがとうございます。
西欧風の文章を目指す余り、日本風なものを軽んじて来たのは、確かだと思います。

和風回帰がようやく意識されだしたようですが、ここまで西欧風に染まってしまうと、なかなか難しい感じがします。

せっかく古典作品が沢山残ってるのだから、生かしたい処ろですね！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊
旧仮名遣いできる人、尊敬してしまいます。

亡くなった伯父の文章は旧仮名遣いで「良いなあ」と思ったものです。

投稿者：神村律子

＊　＊　＊　＊

神村さんコメント下さり、ありがとうございます。
その昔は文庫本なども旧仮名遣いで印刷されて居たはずですから、
やはり接する機会が多かったんでしょうね！
和歌と俳句だけでも旧仮名遣い、復活してほしいものです（様になるし：）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

１６８）　音便。

三河の国の領主、松平氏。

彼の宮城谷昌光の文章によると、ー

その地に「知恩院」と名乗る御寺が在ったとか。

当時、仏教には、なお宗教的な権威が有り、ー

総本山とも成れば、庶民の崇敬を集めたものだった。

宮城谷氏の調査によると、ー

彼の「知恩院」も、何かの宗派の総本山と化した時期が在ったらしい。

それにて松平氏、小豪なりと謂えども、敢えて天下に志しを持ったとか云う。

松平氏の結束の強さ・・・

その源とは、菩提寺を同じくするという、ー

氏子ならぬ檀家としての、

「宗教的情熱。」

に在りしものとか見える。

それは、さておき、ー

この「知恩院」という名前、仮名で記せば、

「ちおんいん」

と為る。

「ちおん」＝［ｔｉｏｎ］

この声に注目すると、

「ちおん」＝声「ちよ・ん」

と為るはずである。

「ちよ」といえば「千代」・・・

彼の家康の幼名が「竹・千代」であった。

さかのぼって、おもうに、

「千代ぬ（寺）院」＝「千代ん院」

「ちよん院」＝「知恩・院」

こう隠し名して居るのではなかろうか。

「知恩院」を総本山として居る宗派・・・

その信者たる目印として、命名する際に、

「ちよ」＝「千代」

という”通り名”を入れる。

「たけ」とは「長」か「秀」か。

同意・接続とみれば、

「竹」＝「たけ」＝「長」

かも知れぬ。

「いお」＝「いよ」

と音便する法があるけれど、

「ちよ」＝「ちお」

と、音便をほどいてみせる法も、また有ったと見受く。

幼名「たけ・千代」・・・

後の家康の名とは、ー

奇しくも、名乗りに違(たが)わぬ、不朽の名とは成った。

（・・命名も、おろそかにはできないな。）

と、また思う。

２０１０年　１１月　０７日　（Ｓｕｎ）

＊　＊　＊　＊

歴史的建造物の名前や由来に隠された真実って、探せばけっこうたくさんありそうですね。
ロマンを感じます。

今日も興味深いお話、ありがとうございました。
勉強になりました。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメントありがとうございます。
知恩院の住職が都へ出て、総本山の主に納まったのだったかな。
歴史に埋もれたエピソード、探せば、まだまだ有りそうです。
名前などは人名にしろ何にしろ格好のヒントになってくれると思います。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

宗教ほど下らなく、それでいて人類史上最高の歴史的傑作作品という二面性を持ったジャンルは他にないですねw。
私は無神論者ではありますが、作品としてなら宗教は認めます。

でもそれで人の人生にちょっかい出すのは野暮であり、余計ではありますがw。

ところで…。

しつこいようだけど例の兄弟話、連載して下さいよ！ｗｗ。

投稿者：妃宮　咲梗

＊　＊　＊　＊

妃宮さんコメントありがとうございます！

人の生き死にが激しい社会では、宗教が栄えるようです。

生き抜く為めの心の拠り所と謂うべきか。

年老いて宗教心に目覚めるコトが多いのも、故あるコトかとも想われます。

あの自己中・兄貴は好きなキャラですが、連載はムリそう（女の娘にモテないからw）

脇役ならイイかも知れませんが（汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

田の付く地名は元は水田。

地名には埋もれた歴史が隠されているのですね。

名前に何かしらの意味を隠す時はやはり表には出せない何かがあ

る時が多いのでしょうか。

興味は尽きません。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊　＊

そうじさんコメントありがとうございます。

字名と諱み名…

本名は隠して容易に他人には教え無いのが、古代の礼でしたからね。

地名も名前、やはり隠し名を好んで用いた風です。

列島なら名字が何処から来たのか、それが興味深いですね！

ちなみに天皇家は代々「空姓」です。

最高位の名字が「空」というのは、般若心経の思想かな（：深い）？

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１６９）・１７０）

１６９）　ゴースト？

少し前、アメリカにて「ゴースト」という恋愛・映画があって、ー

今になって、日本版「ゴースト」が上映されて居るという。

よく忘れられるが、キリスト教にては、

「ゴースト」＝「幽霊」

の存在を認めて居ない。

霊性なら、かならず「化身」する。

過去の諸作品を注意深く見れば、そのルールに気付かれるであろう。

アメリカの市民・社会における有力者・・・

その代名詞とは「ＷＡＳＰ」と謂われる。

ホワイト、アングロサクソン、プロテスタント。

白人にして英国系、しかもキリスト教徒。

そんなタイプの市民たる事が、暗黙の了解とは聞く。

アメリカに於いては本来、

「ゴースト」

というのは、異色な映画・作品なのだ。

当時、大ヒットしたというのが、むしろ不思議なくらいだ。

日本人の世間にてウケるのは、当たり前だけれども。

（・・いまだに一度も観たコトが無いのに、つい書いてしまった）

（焦）。

２０１０年　１１月　１３日　（Ｓａｔ）

＊　＊　＊　＊

あれはとてもよい映画でしたよ。

感動的で美しくて。

明らかに東洋人の死生観を意識して作られていますが、ラストで

「成仏」するのでヤンキーにも受け入れられたのではないでしょう

かね。

ギリでｗｗ

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメントありがとうございます。
先にあらすじを聞いてしまったので、見ずじまいに終わったんです（・・読めてたけど）。
ジェームス・ディーンみたいな恋人だったら、
（化けて出てほしい！）
と、キリスト教徒であっても想うのかも知れません（苦笑）。
予想外の設定という意味で、ヒットしたのかな？
（・・幽霊も復活に入るのかどうか？）
案外、日本人の観客を宛て込んで居たりして（・・まさかね）？

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
多分、霊媒師役のウーピー・ゴールドパークの存在が一番大きかったような気がするｗｗ。

投稿者：妃宮　咲梗

＊　＊　＊　＊　＊
妃宮さんコメントありがとうございます。
霊媒師といえば「憑依」系が普通・・・
幽霊になって現われるのは、日本・趣味な感じがします。
何か日本の作品を種本にしてるのかな？とおもったり・・。
幽体離脱とか地縛霊とか。
（よくあんな企画が通ったなァ）

ちっとも怪談っぽく無い処ろがアメリカらしいですw！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

キリスト教的には地球人以外の人類は認めていないと記憶していますが、
宇宙人であるE．T．を作った国です。
やはりキリスト教が浸透しているとはいえ、そこはそれ、自由の国、という事なのでしょうか。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊　＊

そうじさんコメントありがとうございます。
え？すると知的・生命体とコンタクトを取ろうとする試み、あれは何なのか？
（居なくてホッとするとか・・・）（不可能性の証明？）。
彼の「E・T」は、何かの象徴のような気配が濃厚にします。
おそらく、分かる人の間でだけ分かり合える、というレベルのものでしょう。
こうみると、キリスト教に囚われない設定たる作品が案外、多いですね？
しかも堂々と名作と謳われて居る。
芸術の領域だけは、コスモポリタン（↑死語？）で行こう！というコトなのかな？

まあ、日本人にとっては、その方角のほうが有り難いですねｗｗ。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

ゴースト…。

テーマとして「最愛の人の喪失」という普遍的テーマが描かれている気がします。

確かに東洋的な死生観が意識されている気がしますね（おそらく、監督か脚本家が日本通なのでしょう…制作当時の状況から言って十分考えられます）

ヒットした要因としては、やはりウ―ピーさんの存在が大きいと思われます。

シリアス一辺倒に適度な撓みを持たせ、作品に深みを持たせることに成功していると思います。

日本版…キキキリン…嫌いじゃないけどなー。

でも、松嶋さんは好きだからみようと思います（笑）

投稿者：大橋　秀人

＊　＊　＊　＊　＊

大橋さんコメントありがとうございます。

霊媒師の役柄は研究して出来るものとも思えないし・・・

どうやって為り切ったのか、一度、聞いてみたいですね。

（日本ならイタコ風に為るのかな？）

クリスマスに幽霊って謂うのも、向こうでは、それほど気に為らないんでしょうか。

（キリストの誕生日にして、復活祭という意味合いもありそうだしー）

きっと日本人が演じた方がリアルになりそうな予感がします！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１７０）　山。

神道には本尊が無い、と謂う。

その典型が奈良の三輪山。

此処にては、山それ自体が即ち”御神体”である。

古墳にもデザインが有る。

地上から観ると、ー

土を掘り上げて、堀をめぐらし、小山を築いただけと見えるけれど、ー

上空から見下ろすと、ー

それは甲(かぶと)や盾の格好をして居るのだ。

かつて、甲から冠が生まれでたコトを想うと、ー

甲山や甲池や、各地に甲を戴く地名がのこるのも、ー

それ、冠の隠し名なのかも知れない。

上空から眺めて、ようやく分かるという処ろに、ー

彼の地上絵やピラミッドにも通ずる、

「天界へのメッセージ。」

という風な発想をも感じとれる。

もっと実際的な目的として、

「田を作るには山が要る。」

という事が在るらしい。

稲を実らすには、肥やしが要る。
それを怠れば、土がやせてしまう。
（土の肥え具合いを”地味”とも謂う。）
その際に、
「敷き草。」
と名のつく作業を行なう。
この草採りをする場として、
「里山。」
というものが必要なのである。
もっとも、山なるもの・・・
天然の造化による他、仕様が無いから、ー
そう都合よく在っては呉れない。
そこで、田を開くと共に、
「みんなして、山をこしらえよう！」

と思い立ったのではなかろうか。

神神が降臨する目印であるだけには留まらず、

「農業への手助け。」

古墳の造立（ゾウリュウ）には、ー

そんな目的も隠れて居たものかも、と想ったりする。

２０１０年　１１月　１４日　（Ｓｕｎ）

＊　＊　＊　＊

なるほどぉ。

普段考えもしないことを考えさせてくださるので、午雲さんの活報は本当に勉強になります。

ありがとうございました。

「甲」ってそんな意味あったんですね。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊

聖騎士さん、早速コメント下さり、ありがとうございます！

甲と冠。
盾と太刀。
この二組は声が似通ってるので、ー
デザインの上でも共通して居たのでは無いかと思います。
列島の武者が敢えて盾を用い無かったのも、
「太刀をもって盾代わりにすれば好い！」
とな発想が有ったものかと。
弓矢を太刀のみにて防ぐのは、ちょっと人間技とは思えませんけどね（・・恐るべし）！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
お返事ありがとうございます。
はい、実はその考え方は自作に使わせていただいています。
盾のあるなしって、剣（刀）の持ち方、形状、使い方に大きく関わってきますよね。
鎧（甲冑）にも影響あるし、当然全体的な陣形にも。
なかなか興味深い命題だと思います。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さん再コメントありがとうございます。
「今昔物語り」の後ろの方に、武者の決闘が活写してあります。
彼の「平家物語り」よりか、よっぽどリアルです。

矢の行き筋が見得て居たとしか思えません。
（ブッシュマン並みの動態・視力？）
それを想うと、柳生流の奥義「真剣白刃取り」も本当に出来て居たのかも？
（・・有り得るっ）（冷や汗）。
白鵬関並みのつわ者がゴロゴロ生息して居たのでは（・・野性）？

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

171）・172）

171）　夢分析。

二十世紀初頭、その名も「精神分析学」なる学問が生まれた。

第一次世界大戦に於いて、精神に異常を来たす者が続発し、ー

図らずも、臨床・心理学が発達したのである。

トラウマ＝精神的・外傷。

この概念から出立して、ー

フロイトは、

「言葉による連想によって当人のトラウマを突き止める。」

とな治療法を編み出した。

言葉とは象徴・・・

何物かを象徴する代物である。

象徴とは、人によって異なるもの・・・

そこへ着目して、

「連想。」

という方法を採用してみせたのである。

これは「夢」に於いても謂い得る。

およそ「夢」に現われる映像とは「象徴」の集合体である。

ここから、

「夢分析。」

と名のつく学問が始まった。

フロイトとはドイツ人、すなわちヨーロッパ人につき、ー

象徴何の在り処を「ギリシヤ神話」に求めて居る。

つまり子守唄代わりに聞いた”むかし話し”みたいなものだ。

彼の有名な「エディプス・コンプレックス」などは、ー

やはり、ギリシヤ神話に基づいて居る。

人間の無意識を暴く。

連想によって象徴をたどれば、そういう結果へ成り行くので、ー

この方法論を、嫌う人は、忌み嫌う。

リアリズムな小説が往々にして嫌悪感を催すように。
なぜなら、無意識の欲望とはタブーにつながるからだ。
連想により象徴をたどると、やがて、タブーにへとたどりつく。
フロイトは夢分析によって、こんな結論に達した訳だが、
「在ってはならないもの。」
それこそがタブーでもあるから、ー
これを公けに唱えるとなると、矛盾を生じる。
なので、
「さわらぬ神にたたり無し。」
いまや、フロイトの学説なら、そんな扱いではある。
ただし、芸術の分野に於いては、隠し味みたく盛んに援用されつつあるけれども。
「新しい芸術の生みの親とは、新しい学問である。」
と、また思う。
２０１０年　１１月　２０日　（Ｓａｔ）

＊　＊　＊　＊
保守的な考え方の人ってどうしても新しい概念や価値観を「間違ったもの」として排除しようとしますよね。
ケータイ小説がよい例です。
確かに問題はありますが、ここまで「売れて」しまうと、出版社は認めるしかない。
いつまでも目を背けている作家は、気がつくとケータイ小説に囲まれて身動きが取れなくなってしまっているのかもしれませんね。
示唆に富んだお話ありがとうございました。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメント下さり、ありがとうございます。
トラウマが象徴を歪曲させる。
象徴の個性化という現象とは、そこから起こるようです。
あまりにも象徴が個性化し過ぎて、今日頃の活字・小説なら、軒並み意味不明に陥って居るような気配があります。
象徴の一般化。
難しく謂えば、そんな希求の念が、携帯小説の人気へと繋がって居るのでしょう。
揺り戻しと謂うべきか（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

フロイトは何でも「性」のせい（しゃれではありません）にするとユングに批判されていますよね。

エロい人だったのでしょうか（笑）？

投稿者：神村律子

＊　＊　＊　＊　＊

神村さんコメントありがとうございます。

推して思うに、フロイトの頃は「ヒステリー」の患者が多かったものと思われます。

軍隊とは禁欲生活を強いられますから、男性にもヒステリーは起きました。

患者の傾向から勢い、性的な葛藤に注目したのかも？

ユングになると「適応・障害」に悩む患者が相手として増えて来たので、タイプ分けとか少し異なる方法論を採用するに至ったのでは？

そう考えると、彼の「ピーターパン」もユングの学説を物語りに仕立て直したものなのかな？と想ったり・・。

興味深い学説ではあるけれど、学問というよりは仮説の域を出ないと現時点では考えています（汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

トラウマ。
幸い私にはトラウマと言えるほどの精神的・外傷はありません。
戦争が原因のトラウマというのは、私なんぞの想像なんて遙かに超えて凄まじいものなのでしょうね。

その傷をめくってゆくのはやはり相当の痛みが伴う事なのでしょう。

あまりにもそれが痛くて認めたくなかった――　なんて事をちょっと思ってしまいました。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊　＊

そうじさんコメントありがとうございます。
通常兵器による殺し合いこそ実は最も残酷なのだとか。
第一次世界大戦はドイツが負けた戦争、きっと凄まじい光景がドイツでは観られたのでしょう。

実際、医者と患者との間に信頼関係が無ければ、彼の連想・術は成り立たないとか。
神父と信徒みたいな間柄が前提として必要なのかも？
治療の方法としては、効果にムラが有りすぎるので、今は、文学的とか非科学的とか想われて、医者には余り顧みられぬようです（残念）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

１７２）　み音便。

予期、期待、意志を示す助動詞「む」。

ここから「み音便」なるものが発生したものと見得る。

「瀬を速み　岩にせかるる瀧川の」

この部分、口語訳するのが、実は難しい。

意訳して、

「瀬が速いので」

と「理由」の意に読み取るのが、精一杯だ。

「み」＝「んみ」

と見澄ませば、

「瀬を速む」

この「む」から鼻音「ん」へと移り、ー

さらに「ん」から「（ん）み」へと移りしものとか考えられる。

「瀬を速む岩」＝「瀬を速めようとする岩。」

その岩に急（せ）かれて、ーと読むことが為し得よう。

遠く「瀧川」を出す為めに、ー

瀬→岩→瀧川と、二重に形容詞・節が係って居る訳だが、ー

耳にも目にも、あまりに複雑なので、

「句切れ。」

を置いてある格好なのでは、なかろうか。

ゆえに、本来は、

「瀬を速む。」

と詠んでやって構わないと思われる。

（直後の名詞「岩」に係る形容詞・節として。）

また、ー

形容詞「無し」から「無む」という動詞を作って、

「無み」＝「無いので。」

という意味に用いる例があるけれど、ー

この用法とは、類推による後世の発明であろう。

「無む」＝「無くそうとする。」

そんな意味合いなら意味が通るものと予想される。

ただし、和歌の歴史とは、ー

遡ると、恐ろしく古そうなので、

「類推。」

と言おうとも、それもまた相応に古い時代の仕業なのに違いない。

直後に助動詞「む」を受ける名詞・・・

被・修飾語が置いてある形が正着かな、とは推して思う。

（南無阿弥陀仏の「なむ」も、和語・由来かも知れない。）

（「無む」＝「後にも先にも無いものと予想される～。」）

（つまり、空前絶後、前代未聞という意味か。）

２０１０年　１１月　２３日　（Ｔｕｅ）

＊　＊　＊　＊

その俳句は知っていますが、確かに訳は難しいですね。
活用語尾の意味は本当に奥が深いです。

今回も勉強になりました。
ありがとうございました。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメント下さり、ありがとうございます。
速見とか速水とか、地名を織り込みし可能性もありますね。
ふせものとかふしものとか呼ぶ、今に謂うお題つきの会合だったのかも。
それを知らずに「み音便」とみなして、古めかしく作って喜んで居たような気がします。
偉大なる誤解と謂うものも、たまにはありますな（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

谷川ではなく、滝川ではないですか？

投稿者：神村律子

＊　＊　＊　＊

神村さんお知らせ有り難うございます。
確か、もと歌は、女人の歌にして「谷川」と置いてあったとか。
何処からか拾って来て、滝川と替え、崇徳院の名前にて、載録した様です。
わたしは個人的に本歌なる谷川の相が好みなので、勝手に引用してしまいました。
調べてみると、百人一首にては瀧川と置いてあります。
単語ひとつで雄々しく成り変わる辺り、さすがですな（技ありっ）。
また、よい補足となりました（感謝）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

そうなんですか。
失礼しました。

投稿者：神村律子

＊　＊　＊　＊

わたしも孫索きばかりで、とても威張れたものではありませんが（白状）。
確か読み人知らずなものでは無かったはずですが（汗）。
また調べてお知らせします（どの本だっけ…）（忘）。

＞神村さんへ。
瀬を速みの歌、谷川が本歌との引用元、すぐには見つけられません。
勅撰集には本歌採りが多く、この歌もそのうちの一つと書いてあったと記憶して居たのですが・・・。
見つけられない限りは、瀧川で置くのが本筋・・・
追って、修正しておく事に致します。
失礼いたしました。
（わたくし本人の勝手な思い込み、記憶違いかも・・・）（反省）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

上方落語に崇徳院というのがあります。
瀬をはやみ、岩にせかるる、瀧川の……に絡んだ面白い話ですよ。

投稿者：蝙蝠傘

＊　＊　＊　＊　＊

蝙蝠傘さんコメントありがとうございます！
上方落語の話しの種になってるんですか？
俳句や短歌を読むのが共通の趣味、そんな時代の徴しなんでしょ

うか。
そういえば、正月は歌留多の季節ですね！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

今回はなかなかに難易度高し。
そして確かに口語訳は難しい。

瀬を速み～と聞くとつい百人一首を思い出します。
小学生の頃は全首暗記していたのですが、今となっては下の句が怪しいのもちらほら。
いつかもう一度ゆっくり詠んでみたいです。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊　＊

そうじさんコメントありがとうございます。
古文・読解の際に用いられる定説には、ー
どうやら、はてな？と思える代物も含まれて居るようです。
百人一首といえば、極く子供の頃に座敷で輪に為って遊んでましたが、うろ覚えでした。
堅物の定家が何故、切ない恋の歌ばかり選んで居るのか、その辺りが問題に成ってます。
（式子内親王に叶わぬ恋慕を抱いて居たとな伝承も有り。）
いろはカルタに百人一首、正月くらいは風流に過ごしたいもので

すね！

投稿者：午雲

＊＊＊＊

１７３）・１７４）

１７３）　歌会・合わせ。

雅びとは、後宮（コウキュウ）文化と云う。

列島の朝廷も妃（きさき）を置くように成って、女性に教養を施したのだ。

初め漢詩であったが、のち和歌が主流と成った。

「伊勢」「枕草紙」「源氏物語り」・・・

当時の文章のうちに、その光景がよく示されてある。

どうやら、清少納言が仕えた中宮・定子などは、ー

率先して後宮・文化の創出に努めて居たらしい。

夫たる天皇が訪れたとき、

（退屈させないように、ー）

という風な心遣いから興りしものか。

和歌は、やがて、欠かせぬ娯楽と化して、

「歌会・合わせ。」

なる催しが始まる。

今に謂う「宴会・芸」・・・

何かお題つきなのが、お約束だ。

早く万葉集の編者と目される、大伴の家持がこれをやって居る。

万葉集の後半なら、彼の宴会芸の成果とも見える。

のち、互いに恋の歌、相聞歌すら詠む風になったが、ー

会が終わってから、ゴシップを楽しむオマケも付いたようだ。

（誰に向かって詠んだ歌なのか、すぐには分からないのが常だったので。）

彼の「防人（さきもり）」の歌歌も、ー

家持が宴会・形式にて聞き取り、集めしものと伝わるけれど、

（ホントにそんなコトができたのだろうか？）

と、少し不思議に思う。

アンケートくらいなら取れたかもしれないけれど。

（ほとんど家持の推敲、手直しの結果なのでは、と想ったり・・）

（首捻）。

２０１０年　１１月　２５日　（Ｔｈｕ）

＊　＊　＊　＊

出典は忘れましたが、

「都をば　霞と共に　立ちしかど　秋風ぞ吹く　白河の関」

という能因（？）が歌ったものは、都に居て歌ったものだとか。

実際は白河に居ないので、それっぽい理由付けをする為に失踪して日焼けしてきた、なんて話がありますよね。

もしかしたら防人の歌も、家持が歌って……とか勘ぐってしまいます（笑）

投稿者：小山内瑞穂

＊　＊　＊　＊　＊

麦藁帽子（現・小山内瑞穂）さん、コメントを寄せて下さり、ありがとうございます！

歌枕というヤツですね。

万葉集は秘密の歌集であったので、よく本歌に用いたようです。

水戸黄門みたく、部下を派遣して見物させたヒトも居たのでは？

防人の歌も、何か違う材料から、和歌に仕立て上げたのかも知れません。

能因法師と同じく、家持も其の道のプロでしたからね（笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊
後宮では、きっとものすごく暇だったのだろうなと思う。
だから、退屈しのぎに和歌などが流行ったのかなと思う。
文化ってやつは退屈から生まれるのかなとも思ったり。
ギリシアで奴隷にすべて任せて、暇になったから哲学にいそしんでみたり。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊
山羊の宮さんコメントを頂き、ありがとうございます！
妃に位をつけて、たくさん置くとなると、ー
人数が増える程、訪れの日は減りゆくわけで、ー
待ち遠しくも退屈な日々だったろうと思われます。
侍女を相手に、日がな遊び暮らし、遊びを練ったんでしょうね！
（彼の在原業平などは、格好の遊び相手・・・）
（完全におもちゃ？にされてますからな・・・）（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊
それは興冷めだなぁ…
哀愁漂う防人の歌は大好きなのですが。
今日も勉強になりました。
ありがとうございました。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメントを入れて下さり、ありがとうございます！
防人とは労役、身分定かならぬ者が多かったはず・・・
・・そう考えると、いかにも「出来過ぎ」な観があります。
よばれて即興で歌ったとすれば、なおさらのこと。
家持は武人でもありましたから、心情を推し量り、為り変わって歌を詠む事も為し得たのでは？
（実際に歌わせてみたのは本当かも知れませんが・・）（憶測）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１７４）　紫。

歴史上、紫を「高貴な色」とみなす例は、数多い。

彼のローマ帝国に於いても、

「皇帝の衣服」＝「紫色」

であった。

なぜなら、染色するにあたって、紫色をだすのが非常に難しかったからである。

どこぞやの貝から紫色が採れると云うので、ー

ローマでは、これを盛んに輸入した。

もちろん王室のみが独占せる「秘術」である。

古代、列島に於いても、紫は禁色、高貴な色とされた。

彼の源氏物語りのヒロイン、その名も「紫の上」・・・

それ、

（並ぶ者が無い、かけがえが無い。）

そんな意味が籠もりし命名とか見受く。

（ここから作者をも紫式部とは呼ぶように成ったとか。）

果たして、紫にも赤紫と青紫とが存る。

列島・古代の紫色とは、何色であったのか。

「むらさきだちたる雲の、細くたなびきたる。」

と「枕草紙」に曰う。

朝焼けの空、その光景とすれば、

「紫」＝「赤紫」

と覚ゆる。

また、枕詞に、

「あかね・さす」

と謂えば、

「紫」

に係る仕来たりらしい。

「あかね」＝「茜」

花は黄色いのだが、根が赤く、

「茜色」＝「暗赤色」

を採る染め料(しろ)に成ると云う。

茜色といえば「夕日」の赤を指し、ー

暮れなずむ夕焼け空・・・

それこそが「茜空」と呼ぶにふさわしい。

ここから推すと、

「古代・紫」＝「赤紫」

という話しに成るのであった。

片や「青紫」なら「藤・紫」が存る。

彼の「藤原氏」の「藤」も、ー

この「青紫」なる色合いを意識して居よう。

赤紫対青紫・・・

「茜」対「藤」・・・

どちらを禁色となすかで、永年、暗闘があったのかも知れない。

風景・美の最高を指して、

「山紫・水明。」

と、よく謂うけれど、ー

おもうに、あれは「赤紫」かと思い返す。

藤紫、青紫とは古代、
「欲しいけれど、手に入らない。」
永らく、幻の色だったのであろう。
（シルクロードを通した交易によって、ようやく手に入れしものか。）

２０１０年　１１月　２８日　（Ｓｕｎ）

＊　＊　＊　＊
なるほど、紫にはそんな由来があったんですねぇ。
紫式部の名前の由来には、至極納得です。
藤原氏は日本の歴史に残る名家。
それも紫から来ていたんですね。
今日もたいへん勉強になりました。
ありがとうございました（≧∇≦）

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメントありがとうございます。
絵具と染料とは話しが違いますからね！
紫とは禁色・・・

紫式部と「紫」が名に載って居るのは当時、余程もてはやされた徴しでしょう。
実は「紫の上」が思い悩むシーンが、あの小説のメインなんですね。
（通い婚だけに、夫の浮気は妻たる女性に共通の悩み事。）（同情）。
藤原氏の「藤」を「（青）紫。」と読むと、
「藤原」＝「紫・腹」
とも読めそうです。
（代々、中宮を出す家柄なるぞ！）
家を立てる際、そんな約束があったのかも知れません（大化の改新の頃。）。
名の由来といえば隠し名と見澄ますのが、普通ですからね（日本の場合・・）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
なるほど。いやあなるほどです。
言われてみれば紫には赤系統と青系統があるんですよね。
思い返せば、私のイメージではかなり濃い青紫でした。
心理学的に欲求不満を示す色とも考えられているそうですが、禁色と言われると余計に欲しくなるのは、私が現代人だからでしょうか？（笑）
かつては畏怖の念、あるいは羨望の念を持って遠くから見ていたのでしょうね。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊　＊

そうじさんコメントありがとうございます。

ローマ帝国と漢帝国とが同時代・・・

漢帝国が「青」を美と定めたのも、遠く「青紫」を意識して居たのかも？

（ローマ帝国の噂を聞いて青紫に執念を燃やしたとか・・）（憶測）。

「赤紫」といえば「ワイン・レッド」が典型ですね。

（確か「ワインレッドの心」は欲求不満の歌。）（↑玉置・弁）。

やはり「夕日」の赤紫を美しいと思ったのでは？

（・・紫雲？）

ほとんど誰もが生地のままに着こなして居たでしょうから、

「茜色。」

に染め上げた衣なら、さぞ目立ったでしょうね！

（何処に居ても直ぐ分かる、みたいな・・）（想像）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

そうですか。

昔、小学校一年生で海の中の絵を描いていると、私が紫で塗りつぶしたのを担任の先生がひどく問題にしたことがありましたね。

欲求不満の色ですと言われて、母が困ったと話していました。

今は学校ではそういう言い方はしなくなりましたね。

投稿者：河　美子

＊　＊　＊　＊

河さんコメントありがとうございます！

教師なら児童・心理学を専攻して居るはず・・・

きっとその先生、思い中ってビックリしたんでしょうね（笑い）。

心理学も仮説の一種に過ぎないのだし、ー

色合いに対する心理というのも、

（人それぞれ。）

とか思いますけどね？やっぱり（ケースバイケース）。

（・・赤富士の浮世絵は、どうなるのやら？）（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

色って本当に不思議ですよね。

一定の色があっても、それは見る人によって「色」を変えますし、

そもそも「色」という定義はどこにも存在していないと思うのです。

産まれてからずっと盲目の人間に「色」を説明出来ないように、ある意味「色」は三次元の世界には存在していないのではないでしょう。

それこそ「色」は、「愛」だの「美」だのの世界に潜んでいるのではないかと思います。

勝手な持論ですが。

紫色が三次元世界に「意味」として召喚された幾千年前のことに、古代のロマンを感じたりする今日このごろ。

午雲さんの話題には毎回興味が尽きません。

投稿者：中ノ　晁

＊　＊　＊　＊　＊

中ノ晁さんコメントを寄せて下さり、ありがとうございます！

色相というのも、数字と同じく”抽象的・概念”と捉えるべきなのかも？

確かに、理想の「赤」と言っても、イメージなら本来、人それぞれなはず・・・

それを言葉や比喩によって壱義に特定して居る、とも見えます。

美意識、共通感覚・・・

いわゆる「センス」というものが、意識下に形成されて在るんでしょうね。

母国語、ネイティブ・ラングエイジが当人の世界観を決定する。

色相にまつわる、あれこれを眺めて居ると、その事を自ずと実感してしまいます。

「母国語とは生ける歴史。」

そんな言葉を、改めて思い出します。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

１７５）・１７６）

１７５）　エントリー。

アルファ・ポリス「エッセイ・ブログ大賞」へ「耳から草子」をエントリー。
語源を考えるのは午雲、わたしのライフワーク。
海外の住人へ日本語を説明したいという大それた野望もあります。

エッセイと謂えば即興というイメージがありますが、ー
そこにも自然とにテーマが含まれて居るもの。
書いて居るうちに発見するという場合もあります。

今日は「やはり」を考えて居ました。
「ありゃ、やっぱり」
とな言い回しがあります。

「ありゃ」＝「あり・や」

並べ替えて、

「あり・や」＝「や・あり」

母音「あ」が連続する格好なので、

「や・あり」＝「や・ば・り」

濁音「ば」を清音「は」へ直して、

「やばり」＝「やはり」

また、

「やばり」＝「やははり」＝「やっぱり」

（濁点とは同じ仮名が連続する事を示す場合もあり。）

すなわち、

「ありや」＝「やっぱり」

とか仮説し得るのでした。

万事、こんな調子です。

（ちっともエッセイっぽく無いけど・・・）（汗）。

２０１０年　１２月　０１日　（Ｗｅｄ）

＊　＊　＊　＊　＊

語源を音声言語からという視点で考えるこのエッセイは大好きです。

いつも楽しみにしていますよ。

投票してきますね！

がんばってくださいね！

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊

聖騎士さん、うれしいコメントありがとうございます！
わたしは田舎暮らしが永いので、耳言葉の方へ興味が向きます。
日本は今もなお所謂、方言が豊かに息づいて居ますから。
そういえば、首位は元ジャンプのマンガ家サンでした（汗笑）。
感謝します☆

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

市民登録をして投票してきました。
わがしょぼいパソコンではアルファ・ポリスが重くて、重くて大変でしたが、
最上位を目指して頑張って下さい。
どんどん更新！
きっと、数年後にはヒマラヤに腰かけてインド洋で足を洗っていることでしょうね。

投稿者：蝙蝠傘

＊　＊　＊　＊

蝙蝠傘さん、うれしいコメント下さり、ありがとうございます！
エッセイは小説ではありませんが、小説と同じ気持ちで書いてま

す！

感謝します☆

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１７６）　桂と香。

将棋の駒に、桂馬（ケイマ）と香車（キョウシャ）とが有る。

馬と謂えば角行、成って竜馬（リョウマ）。

それに比べると、

（桂馬とは軽馬かな？）

とか思えて来る。

これは、香車とて同じこと。

車と謂えば飛車、成って竜王。

（香車とは軽車かな？）

とも思えて来る。

もし仮りに、

「けい」＝「けひ」

と置けば、如何。

この「けひ」を動詞とみなせば、その連用形。

そして、その終止形なら「けふ」。

ところが、

仮名「けふ」＝声「きょう」。

（漢語「今日」＝仮名「けふ」。）

はて、

「けひ」＝「軽ひ」

「けふ」＝「軽ふ」？

音「ケイ」と「キョウ」とは互いに、

「転化。」

の関係に存るのでは、ー？

そういえば、

「歩兵」

の「兵」という文字・・・

「兵」＝音「ヘイ」＝「ヒョウ」。

これも、

「へい」＝「へひ」

と仮定すれば、

動詞「へふ」の連用形が「へひ」。

そして、

仮名「へふ」＝声「ひょう」。

仮名文字と漢字の音・・・

その対応・関係とは、こう見ると、少しく謎めいて見えて来る。

（・・偶然の一致かも知れないが。）

（いまに謂う”訛（なま）り”の一種か。）

日常の風景として考えれば、ー

軽馬と軽車とでは、頭の音が被るので、ー

呼び分け、また聞き分け易いように、

「けひ馬」

「けふ車」

と洒落て、ひねったのかも知れないけれど（予感）。

２０１０年　１２月　０３日　（Ｆｒｉ）

＊　＊　＊　＊

将棋の起源って、僕はよく知らないのですが、古語が当て嵌められるくらい歴史は古いのでしょうか。

語源って興味深いですよねぇ。

今日も勉強になるお話ありがとうございました。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊

聖騎士さん早速コメントを下さり、ありがとうございます。

彼の正倉院の宝物、そのなかには将棋盤が見当たらないので、ーいまの処ろ、いつ始まったのかは謎のままです。
ただし、記録によれば、将棋にも大・中・小が有ったとか。
（ルールは不明。）
今の将棋と謂えば「小」将棋となる訳ですが、ー
おそろしくゲーム・バランスが練り上げられて居るので、ー
永きに亘って絶え間無く愛好されし事は確かでしょう。
むしろ囲碁よりか日本流なエンブレムがよく籠もって居ると見えます。
（ゲーム用語など。）
古墳の中から出て来ないかな？大将棋の駒一式とか（夢想）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

香車は槍、桂馬は忍者のイメージがある。

将棋の起源は確かインドだったような。
西に流れて、チェス。
東の果てで将棋になったとか。
（ウルオボエ、ウルオボエ）

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊

山羊の宮さんコメントありがとうございます。

桂馬の動きがチェスの駒にも有るんでしたね（八方桂？）。
あの奇妙な動きが一致する辺り、偶然とは思えません。
香車は浪花にては「槍」とあだ名してます（実は隠語らしい…）。
歩兵は「ヒョコ」だったかな（兵子？）。
インド将棋は四名対戦の形なので、ー
四から二になったのか、はたまた、二から四になったのか？
いずれにしても、アジア各地にて、相互に影響し合って居るコトは確実かと。
不文の歴史なだけに、これもまた仮説の余地は大いにありそうです（途方もつかぬ感じですがー）（汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

あはは、「桂まゆさん」と「沢木香穂里さん」の事かと思った将棋音痴です。

投稿者：神村律子

＊　＊　＊　＊　＊

神村さんコメントを入れて下さり、ありがとうございます。
桂馬と香車とは将棋においては馴染みの深い駒にして、名コンビ…
将棋をたしなむ人なら、思わず目がゆく漢字でもあります！
（改名するとき使ってみようかな？）（笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

１７７）・１７８）

１７７）　風立ちぬ。

小説にて「風立ちぬ」と謂えば、堀辰雄だが、ー

内容は兎も角、タイトルが印象的なので得をして居る。

（文庫本の棚からは迅うの昔に外されたようだが。）

この仮名「ぬ」とは、助動詞の「ぬ」。

ただし、

「立た・ぬ。」

なら、おなじみな否定の意を有す助動詞だけれど、

「立ち・ぬ。」

であるから、これは、

「（動作）完了。」

の意を有す助動詞とか云う。

（英文法の時制「完了」からの類推であろう。）

果たして、和語にては発声上、仮名を省略することが多い。

よく眼を凝らせば、

「立ち・ぬ。」＝「立ち・いぬ。」

とも見えてくる。

さて、仮名「いぬ」と謂えば、動詞「往ぬ」。

用例から推して、

「往ぬ」＝「行ってしまう。」

とか読める。

これ、詳しく訳せば、

「行ってしまって、今は居ない。」

と説ける。

まさしく「完了形」ではある。

ところが、

「ゐ・ぬ」＝「居ぬ。」

これにて「居ない。」という意味とも成る。

のち「ゐ」の声が滅んだので、ー

耳言葉の世間にては、

「往ぬ。」

と言おうが、

「居ぬ。」

と言おうが、単独にては区別が着かない。

これが「命令形」に為ると、

「往ね！」＝（向こうへ行ってしまえ！）

「居ね！」＝（ここに居てはいけない！）

実際は、

「ゐ・ね！」

とな用例は見当たらないのだけれど、

「否定の命令形。」

として、

「否定の助動詞「ぬ」の命令形たる「ね」。」

というものを推して考えてみたくも為る。

（係り結びの定型句として「え～ぬ」とな決まりなら見得るけれど。）

（これは否定の助動詞「ぬ」・・・）

（その命令形たるはずの「ね」を分かちて強調したものか。）

「ね」＝「ぬ・え」＝「え・ぬ。」

今は「～できない」とな不可能の意を示すけれど、ー

昔は「～してはいけない」という否定の命令形を示して居たのでは？

（英語で謂えば「Ｄｏｎ，ｔ～！」。）

動詞「往ぬ」とは、ー

この否定の命令形、

「居ね！」＝（ここに居てはいけない！）

から来たした気がして、仕方が無い（仮説）。

２０１０年　１２月　０８日　（Ｗｅｄ）

＊　＊　＊　＊

風立ちぬと言えば聖子ちゃんなミーハーです（笑）。

投稿者：神村律子

＊　＊　＊　＊

神村さん早速コメント入れて下さり、ありがとうございます。
堀辰雄と謂えば、彼の軽井沢を舞台としたコトで有名・・・
ただし本人は押しかけ同然に訪れて居たとの事（・・鬼っ）。
（風立ちぬ。今は秋～♪）
でしたネ（笑）。
松田聖子の「ぬ」は、よく響いてたなァ（遠い眼）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

タイトルって大事ですよねぇ←遠い目

センスが欲しいです＞＜
今日もありがとうございましたｍ（＿　＿）ｍ

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメントありがとうございます！
そう、売って無いので堀辰雄の全集は図書館で読んだのですが、
タイトルだけは今も忘れず覚えて居ます。
（ひらめきも才能のうちかも知れませんなw）
：詩人は得ですね！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

178）　おわす。

動詞「居る」の語幹は「居」。
これが以前から気に為って居る。
古文においては、もれなく、
「居」＝「ゐ」
と書き分けてある。

耳言葉の世間にては、ー

ワ行の仮名「ゐ」と「ゑ」とは、ー

声の方が先に滅んで居ると見得るから、ー

これは、よほど古い言葉なのであろう。

さて、動詞「居る」と似た言葉に、ー

動詞「おわす」となものが存る。

（薩摩弁「ごわす」の元か。）

（なお、この言葉、本当は京都弁である。）

動詞「居る」なら「をる」とも訓む。

推して、

（動詞「居」とは元、ワ行五段活用か？）

と想ったりもする。

そう仮定すると、

「わ、ゐ、うう、ゑ、を」

つまり、

「動詞「居」その本来の終止形とは「うう」。」

とか説ける話しとは成り行く。

（我流にて）声「うう」＝仮名「ぶ」。

ゆえに、

動詞「居」＝仮名「ぶ」（終止形）。

これが初めの相とか見澄ませる。

尊敬の助動詞「す」とは、ー

動詞の「未然形」に接く定まりなので、

「居す。」＝「わ・す。」

こう活用してあるのでは、なかろうか。

（仮名「お」＝「御」か。）

動詞「わ・す」と謂えば「走す」もあるけれど、ー

もうひとつ、

「居す。」（声「わ・す」）

も在ったとか思われる。

（すると「をる」の「を」とは「命令形」由来か。）

「居」＝「ゐ」。

いつも頑なに書き分けてある理由とは、ー

この辺りにありそうな予感がする（仮説）。

２０１０年　１２月　０９日　（Ｔｈｕ）

＊　＊　＊　＊

この仮説は想像もしませんでした！

確かにこれなら書き分けの理由も説明出来ますね。

いや、凄いです。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊　＊

そうじさんコメント下さり、ありがとうございます！

動詞が全て五段活用だったら、日本語も、もっと分かりやすいのに（汗）。

単音節にして動詞となり得る…

イヤでも目立ちます。

仮名「うう」が省いてあるのは、きっともう在るからなのではないかと。

（先人も人間ですから）（微笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１７９）・１８０）

１７９）　工字架。

キリスト教徒のシンボルと謂えば、十字架。

磔（はりつけ）になして、罪人を刑殺する道具である。

不吉なはずだが、キリスト教徒にも迫害されし過去が在りし事を物語る。

白川博士の字説によれば、ー

甲骨文字にも、似たようなデザインが有ると云う。

それは、

「工。」

という文字である。

これは、横倒しな形であって、ー

本来は、

「H。」

という相(すがた)をして居る。

横木に罪人をもたせ架け、さらし者にしたらしい。

これを、

「工字架。」

と謂う。

みれば、彼の十字架よりか安定感がある形ではある。

初め、工字架とは「処刑」の象徴であったが、ー

のち「魔除け」の印しと化し、ー

処刑に従事する仕事が「職業」とも化したので、

「工」＝「職」

とな意味合いとも成った。

十字架をかざすと吸血鬼が灰塵と化すように、ー

工字架にも強烈な「呪能(ジュノウ)」が期待された。

なぜか図案として用いる際には、

「工」

と、横倒しにされて存るのが常だけれど。

「工」＝「工字架」

「工」＝「呪印」

「工」＝「職工」

こうながめると、漢字にも歴史が有ることが、うかがえる。

彼の「功夫（カンフー）」において、ー

その名も「ヌンチャク」という武具があり、ー

見るからに、それ、

「工。」

の字そのものなデザインをして居る。

聞けば、これが、見かけによらず、ー

自在にあやつろうとすると、案外、難しいとか。

（・・ほとんど御守りみたいなものか？）

と、思えなくもない。

２０１０年　１２月　１２日　（日）

＊　＊　＊　＊

十字架が邪悪なる者を滅すると、もしキリスト教が断言するなら、そのはりつけにされたイエスもまた然りと認めることになるこの矛盾w。

更に、イエスを神の子と尊びながらも、イエスの人種であるユダヤ人が未だに迫害されし民族として、放浪させられているこの矛盾w。

元々イエスは、ユダヤ教だったけどその死により、独立したキリスト教が誕生してしまったのにw。

そう考えると、宗教ほど混沌に満ちた世界はない。

投稿者：妃宮　咲梗

＊　＊　＊　＊

妃宮さんコメント下さり、ありがとうございます！

十字架とは“殉教者”の象徴と考えられて居たようですね。

終末論というのは、過酷な環境に住まう民族にしか理解されないのでしょう。

旧約、新約と区別する辺り、充分にユダヤ教をも意識して居ると思えます。

宗教と哲学とは似て非なるものにて、宗教とは、やはり仮説の領域に在るような気がします。

仮説の極地が宗教というコトになるのかなァ（考え中）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

ヌンチャクは一度ハマって練習したことがありますw
後頭部にぶつかるんですよねぇ。
工は上の横棒が短いですよね。
これにも何か意味があるんでしょうか。
なかなか奥が深いですね。

今日も勉強になりました。
ありがとうございました。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメント寄せて下さり、ありがとうございます！
漢字の字体は時代によって変わるので、本当は、どれが正解ということも無いようです。
（便宜上、教育指導要領にて定めてあるだけ。）
ヌンチャクは、彼のブルース・リーが得意技にして居ました。
（見ていると簡単そうなんだけど…）（汗笑）。
武具ではナシに、もっと何か別のことに使う道具だったのではー？

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

イエスは人々の身代わりになって十字架に掛かり、人々を罪から解放した、というキリスト観からすれば、それをお守りにするという行為は至極納得できます。

工字架というのは初めて聞きます。
なかなか想像しづらいですが（笑
三角木馬みたいなものですか？

投稿者：小山内瑞穂

＊　＊　＊　＊

麦藁帽子（現・小山内瑞穂）さんコメント入れて下さり、ありがとうございます！
人間は、霊的清浄を求める習性が有るとみえるので、
十字架というアイテムにも、そんな観念が籠って居そうです。
（邪念を十字架に閉じ込めるみたいな発想？）
工字架の横木にまたがった字体は、まだ見当たりませんね（拷問？）。
辺境、国境いに、これを立て並べて、威嚇して居たようです。
（おぞましい光景…）（冷汗）。
ラーメンのどんぶり鉢にある工字模様なら、おまじないかな（食中毒よけ）w？

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１８０）　母音・交替。

口頭語とは、ちょっとした弾みに音韻が転化しやすい。

いわば「口癖」のようなものだ。

京都弁にては「え」と声する処ろを、ー

江戸弁にては「い」と声する癖が有る。

たとえば語尾につく「かえ？」が「かい？」と成り行く。

これが「母音・交替」の例である。

古語に於いては、

「くま」＝「かみ」

これも、

「母音・交替の結果か？」

とか謂う。

「くま」＝［ｋｕｍａ］

「かみ」＝［ｋａｍｉ］

つまり、

「く」から「か」へ移り、ー

且つ、また、

「ま」から「み」へ移った、と謂うのである。

その間の過程が不明なので、飽くまで仮説の一つに過ぎないけれど。

（くま⇒かま⇒かみ？）

そういえば、ちょっと不思議なものに、

「コップ」

という言葉がある。

もとは外来語の「ｃｕｐ」なはずだから、

「カップ」
と音写するのが普通である。
「カップ」＝「コップ」
これ、
「母音・交替。」
とな法が働いて居るとみえる。

ちなみに、アイヌ語にて、
「ｔａｐ・ｃｏｐ」＝「タップ・コップ」
という言葉があり、
「タップ・コップ」＝「まあるい丘。」
という意味とか。
（彼の「たんこぶ」の語源が実はコレらしい。）
はて？
「カップ」と「たんこぶ」・・・
もしかカップを逆向きに立てれば、ー

それ「たんこぶ」らしく見えやしないだろうか。

「コップ取って！」

「はいよ。」

そのとき、洗い立てのカップなら、ー

大抵、台が上を向いて居るはずである。

（・・カップを「こぶ」に見立てたものか？）

まさかとは思うけれど、

「母音・交替。」

が起こる際にも、ー

それなりのきっかけというものが、ありそうだ（・・仮説）。

２０１０年　１２月　１５日　（水）

＊　＊　＊　＊　＊

さすがにコップとたんこぶはつながりを感じられませんねw

でも「たんこぶ」の由来にアイヌ語があったなんて知りませんでした。

今日も勉強になりました。
ありがとうございました。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さん早速コメント下さり、ありがとうございますw！
英語で「コップ」とは警官でしょう（↑ロボ・コップ）？
だれが言い始めて、世に定着したものか、おもえば謎です。
茶呑み茶碗のことを「こっぷ」と称ぶクセが、古くから在ったのかな（俗語）？
彼の「わっか」の例も有るし、ー
案外「こっぷ」もアイヌ語・由来かも・・。
・・もしか無意識のうちに、
「こっぷ」
という音に反応して居るのでは（・・遺伝記憶）？
まァ、俗語に「こっぷ」が在ったとも未だ聞きませんが（迷路）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１８１）・１８２）

１８１）　省エネ。

１９７０年代、オイルショックが起こって、

「省エネ。」

が叫ばれた。

それまで石油は「無尽蔵」と想定され、ー

或る日本人の学者は、石油から「肉」を造る方法を開発したりもした。

（石油が有限とな話しになって、一転、ボツになったらしいが。）

化石燃料という割りには、いろんな処ろから噴き出すので、ー

喉元過ぎれば、熱さ忘るる・・・

いつしか、なし崩し的に使い放題と化して居たが、ー

ここへ来て、また風向きが変わり始めた。

ＣＯ２が引き起こす、壱連の「温暖化」問題、その進行である。

たとえ石油が無尽蔵に近くとも、ー

このままでは、先に文明が滅んでしまう。

西洋文明とは謂わば「寒冷地」の文明なので、ー

あまり暑く為っては、維持できないのだ。

省エネとは、まるで文明の速度を落とすような行ないだけれど、ー

良質な石油が出ない、この日本にとっては、ー

かえって幸いなのかも知れない。

（・・電池の研究なら戦前からの蓄積が有るコトだし・・。）

２０１０年　１２月　１７日　（金）

＊　＊　＊　＊

寒冷地の文明か……なるほどですね。

確かに考えようによっては日本にはいい話かもしれません。

しかし肉ですか。作れるもんなんですね。驚きです。

さて、省エネや環境問題に利害関係なくしては少し意識の薄い日本人。

そもそも近年よく聞くエコ、つまりエコロジーの本来の意味を知っている人は案外少ないような気がします。

なんであれ環境の事はもっと考えたほうがよいのでしょうね。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊　＊

そうじさんコメントありがとうございます。

近畿の家屋なら夏の暑さをしのぐ事を第一に考えて居たようです。

（冬は重ね着して耐える。）

エコ＝リサイクル。

日本では、そんな発想が定着して居るのでは？

島国だけに、何処に捨てても良いという訳には行きませんから。

リサイクルの技術なら、これまた日本のお家芸となりつつあるみたいです。

（エコって本当は生態系の事を考えるべきかと思われますがー）（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１８２）　クリスマス・ソング。

街に流れるクリスマス・ソング。

客寄せに「ジングル・ベル」を流すのが、商店街の慣わしであっ

たが、ー
何処も寂れがちだし、今日頃は、どうなのだろう。
軽音楽には、耳に残る曲も数多い。
松任谷「恋人はサンタクロース」
などは、何年経っても定番であった。
（つむじ風追い越して～♪という歌詞は未だに意味がよく分からないけれど。）
ドリカム「Ｗｉｎｔｅｒ－Ｓｏｎｇ」も雰囲気がある。
（途中「アイウォンチュショウユ」と聞こえる部分が玉に傷な気もするが。）

そういえば、演歌にクリスマス・ソングは見当たら無い。
吉幾三あたりがクリスマス・ソングを作ったら、どんな曲が出来るだろうか？
…なんて、想像してみないこともない（ムリか…）。

後になって思い出すと、
（クリスマスにはＢ．Ｇ．Ｍが欠かせ無いなァ…）
と思ったりもする。

２０１０年　１２月　２４日　（金）

＊　＊　＊　＊　＊
僕はワムの「ラストクリスマス」ですね♪
あの淡々とした感じが好きです。
日本人の曲はあんまり…
卒業関係はＪ－ＰＯＰでもいいのが多いんですけどね。
国民性の違いでしょうね。

演歌にクリスマスってめっさ似合わないかもですｗｗ

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊

聖騎士さん早速、コメント下さり、ありがとうございます！
ワムなら「フリーダム」が衝撃的でしたね☆
日本人にウケるということは、
「エキゾチック」
と現地では見なされるとか。
確かに「ラスト・クリスマス」は、日本の冬を思わすのにピッタリな感じが今もします。
（歌詞が英語でないと雰囲気でないかな？やっぱりー）
雪国～クリスマス・バージョン～
とか、ムリかなァ（チャレンジしてほしい）ｗ？

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

メリークリスマス！
やはり、山下達郎や稲垣さんなんかもよく聞きますよ。
森進一が冬のリビエラを出した頃は、クリスマスに歌っていたような気がします。
まあ、クリスマスソングではないですね。

投稿者：河　美子

＊　＊　＊　＊

河さんコメントありがとうございます。
メリー・クリスマス！
そう、その二曲もＢＧＭとしてブームになりましたね。
歌詞からして、感傷的というか・・・
たまにふっと耳に聴くと、
（あの頃を思い出すなァ・・・）
しぜん、そんな気分がして来ます（遠い眼）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

今年は定期演奏会でジングル・ベルをジャズアレンジで吹いたのでどちらかと言うとサンタ側でした。
でも、ジングル・ベルって元々雪橇レースの賭け事の歌でクリスマスとは関係無かったですよね。
初めて知ったときショックでした。
雰囲気があっていれば結論はＢ．Ｇ．Ｍやイメージソングは何でも良いのかも知れないですね。

投稿者：華綾

＊　＊　＊　＊

華綾さん初めまして、コメントを入れて下さり、ありがとうございます！
ジングル・ベルは陽気な歌、実はわたしも大好きです。
お祭りの歌、晴れの歌。
みんなを元気づける歌。
演奏会の演目には、もってこいですね！
音楽は思えばその場限りなものなはずだけど、いつまでも記憶に残ることが多いから、不思議です。
ましてや自ら演奏して人々の記憶へ遺すとなればー
素敵な趣味だと思います。
（ジャズって難しそう…）（汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

１８３）・１８４）

１８３）　うど。

「隼人」と書いて「はや・と」と訓む。
「隼」とは「はやぶさ」の「はや」と見える。
この前、テレビで見かけたけれど、ー
はやぶさの狩りとは、急降下である。
（とんびもこの式。）
おそらく遠目に狩りの様子をながめて、
「はやっ！？」
文字通り、感嘆したのであろう。
（十の上にある部首「ふるとり」が鳥のしるし。）

文字「人」＝仮名「と」。

もうひとつ、
「うど」
という言葉がある。

はやぶさも鳥の狩人…
（歌手の名前にも在ったが）
「狩人」＝「かり・うど」
ここにみえる仮名「うど」が、それである。

濁音「ど」が問題なのだが、
「狩人」＝「かり・ぬ・と」
と仮定すれば、
「かりぬと」＝「かりん・ど」

さらに、
「かり・んど」＝「かり・むど」
さらに、
「かり・むど」＝「かり・うど」
こう、
「ん」＝「む」＝「う」
とな転化が掛かって居るものか。

（形容動詞「むべなり」・・・）
（その「むべ」から動詞「うべ・なふ」が生まれでたようにー。）

（助動詞「む」なら未然形につくので、この例では無い。）
（彼の「枕草子」に見得る「んま」＝「むま」＝「馬」があやしい。）

あるいは、
仮名「う」＝数詞「二」
と見なして、
「う・ど」＝「二・人」
さらに、
濁音「ど」＝「と・と」
と仮定すれば、
「う・ど」＝「二・人・人」
つまり、
「う・ど」＝「二・二人」。

こう重ねてあるのは、
「二。」
たる事を強調して、その意味を特定して居るものとみえる。

実は、こんな時、便利な言葉に、
「番。」
とな言葉がある。

音読みして「バン」・・・
よく「番犬」とか「留守番」とか言うけれど、ー
訓よみすれば、これ、
「番」＝「つがひ」。
二つ揃って初めてひと組みを成す様子を指す。

「う・ど」＝「番・人」
と宛ててやれば、如何にもぴったりな予感がする。

（この「ど」も、同じ仮名が連続した際、濁音の仮名でもって記す、
とな仕来たりの例なのであろう。）

番人とは本来、
「二名・ひと組。」
それで、
「狩人」
においては、
「人」＝「ど」
と、わざわざ濁って居るのであろう（仮説）。

（わなを仕掛ける狩りもあるので…）
（その場合、文字は「離り」となる。）
（遠ざかるの「かる」にも遣う。）
（：ひと晩中、見張るだけ？）（想像図）。

２０１０年　１２月　２６日　（日）

＊　＊　＊　＊

全然関係ないのですが、神奈川県茅ヶ崎辺りでは、砂浜をハンバーガー片手に歩いていると、トンビに襲撃されるらしいです。

投稿者：神村律子

＊　＊　＊　＊

冬は餌が乏しいので、とんびも本気をだすんでしょうネ（笑）。
ここいらでは、よくとんびとからすが空中で鬼ごっこをして居ます。
（・・なんで揉めてるのかは分かりませんが。）（汗）。
たぶん、もぐらを狙ってるんでしょうが、ー
急降下を仕掛けて空振りして居るのを、田んぼでちょくちょく見かけます。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

失礼いたします。
トンビは確かカラスを食べるのですよ。
今日、初雪見ました。
寒いです。
それでは、また。失礼いたしました。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊　＊

山羊の宮さんコメントありがとうございます。
とんびがからすを食べるとは、想像できませんでした。
攻撃してる所は見たコトがありますけど、
事切れた一羽を放置して、どこかへ飛び去ってしまったしー。
案外、悪食なんですな、見かけによらず（何かショック：）（汗）
。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

―Ｐｙｏｏｏｕｒｒｒｒ…　と、トンビの鳴く声が何処からともなく聞こえた時は、つい空を見上げてしまうものでした。
私の実家はド田舎ゆえ、空が無尽蔵に広くて、すぐに青空にポツンと浮かぶトンビの姿が目に映りました。
年末に実家に帰ったら、また彼らの声が聞けるかなァ。
あ、飛んだ自分語りになってしまいすいません。
私が一人で鳴いても、トンビの様に美しくはいきませんね。
言霊の響きにも負けず、野生の響きもまた趣がありますよね。では、失礼します　。

投稿者：中ノ　晁

＊　＊　＊　＊

中ノさんコメントありがとうございます。

とんびの鳴き声が響き渡る広い空…

田舎では陽当たりを考えて高い建物を造らないからこそ、とんびもああ自由に飛び回れるとか。

あの風景に和風を感じてしまいます。

案外、都会にては味わえない眼の贅沢なのかも知れませんね☆

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

１８４）　野人。

家康と秀吉・・・

この両者は一度だけ合戦して居る。

名づけて「小牧・長久手の戦い」・・・

このとき、家康の家臣、石川数正が檄文を書いた。

ーそれ、秀吉は野人の子。

冒頭、この文句に秀吉は痛く怒りを示した。

どうやら「野人」という言葉は、禁句だったらしい。

笑い飛ばさねばならぬ処ろ、我慢たまらず怒ってしまったものとみえる。

山野と謂い、野原という。

そも「野」とは、山裾の斜面辺りに広がる原っぱ・・・

里の出口、森の入り口に当たる。

そこは境い目、謂わば所有者が定まらぬ土地であった。

そんな「野」に住まう者が名づけて「野人」・・・

つまり、秀吉を「無名」な者と罵ったわけである。

列島には「境い目」が沢山にあった。

舟の上に住み暮らす者を「あま」とよぶ。

和歌に「あまの釣り舟」というけれど、ー

和人とあまとが交流した様子は、ついぞ出て来ない。

（舟の縁語にて海を想い、かれ「海女」と書くのであろう。）

「野人」＝「所有者が定かならぬ土地に住まう者。」

これを公界（くがい）とか無縁（の土地）とか謂う。

市が立つのも、中洲など、この手な公界であった。

野人の「野」とは、ー

思うに「無縁・地」の象徴なのであろう。

戦国時代とは、大航海時代・・・

彼の「梅毒」が流行を極めた時代でもある。

めぐりめぐって、渡来人がもたらしたものである。

ーとすると、混血児が世に沢山に産まれたものとも考えられる。

混血するような交わりを「野合」と謂い、ー

また混血児のことを指して「合いの子」とも謂う。

見た目が異なるため「奇人」とされ、ー

もれなく「野」へ追い払われた。

俗に謂う「ウチ」と「ソト」・・・

この観念が発動して、世に「野人」を沢山に生みだしたものとか想われる。

混血児には天才が多い。

この言い伝えは、秀吉の身の上に、ものの見事に具現して居る・・・

・・・ような予感も来たす（小説的仮説）。

乱世には、無縁な住人が沢山に生じてしまう。

無縁＝無能とは限らない。

そこに目をつけし信長は、やはり非常の将器と謂うべきではあろう。

（・・出来そうで、実際は出来ない事と思われるので。）

２０１０年　１２月　２９日　（水）

＊　＊　＊　＊　＊

人を見る目がある人って、間違いなく優秀な人ですよね。

人を見る目を養うって、結局は自分自身を高めることになるよう

な気がします。
ランキングに拘らず、良作を見つけられる「目」を養いたいものです。
とどのつまり、それは自分の小説書きとしての能力を高めることになるような気がします。

興味深いお話、いつもありがとうございます。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメント下さりありがとうございます！
秀吉の肖像画が残って居ますが、本人の希望で美化している可能性もあるかと。
ふつうなら見た目だけで、
「よそへ行っとくれ！」
となる処ろ、ー
信長は見る処ろが違っていたようです。
ヒトの感想とか読んでみるのも、確かに勉強になりますね！
眼力の鍛練は、いつもやっておきたいものです（同感）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊
あの頃の画家は大変でしたよね。
そのまま描けば怒られるし、似ていなくても怒られる。

秀吉の肖像画は何枚かあって、それぞれ互いは似ていないのは、そのせいかも知れません。

秀吉の人垂らしも、自分の出自が影響しているのでしょう。

虐げられた人達は、仕返しにまた別の人達を虐げる事が多いでしょうが、彼はその逆だった。

などと考えています。

成り上がった後の秀吉は嫌いですけど。

投稿者：神村律子

＊　＊　＊　＊

神村さんコメントありがとうございます！

秀吉は利休を切腹させて居ますが、どうやら根に持つ性格だったようです。

それだけに、絵師も下手なものは書けない。

モデルたる秀吉の心を先読みして、筆を走らせたのでしょうね（プロの技）。

信長さまの肖像画は法事に際して描かれたものなので、本人にうり二つとか云われて居ます

（もう当人はこの世に居ないので、遠慮なく筆を奮ったものか）。

信成サンの鼻が、それを証明して居ると、一見して思ってしまいました（隔世遺伝？先祖返り？）。

過去を飾ろうという心行きは、偉人に共通…

人間らしさが出ている感じもします（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

野人……といいますか、「野」についてそこまで深く考えた事がありませんでした。

なるほど、「無名」という意味がありましたか。

いやぁ勉強になりました。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊　＊

そうじさんコメントありがとうございます！

秀吉は戦国時代の華…

しかも謎の人物と来ては、どうしても興味が向かいます。

野原の「野」は、和語のうちでも、ゆかりが深い言葉ですから。

「歌垣」＝「野辺・遊び」

とか。

境い目はケンカになるので入り合い地、共有地にしていたようです。

緩衝地帯を置く。

先人の知恵でしょうね！

（家康にも野人・伝説は有るのですが…）（未詳）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

なるほど、野に下るという言葉もここから来ているんですね。
興味深いお話ありがとうございます。

確かに、戦国時代、大航海時代共に魅力的なエピソードに溢れていますね。
小説の世界じゃあないですが、それだけ魅力的なキャラが犇いていたということでしょうか。
日本のみならず、世界でも過渡期にあったのは何とも不思議なものです。

それにしても信長の慧眼には恐れ入ります。
二世、三世議員だらけの今の日本を見て彼が何と言うか、ちょっと興味ありますね。

投稿者：本倉　悠

＊　＊　＊　＊　＊

本倉さんコメントありがとうございます！
市井とか町とか謂う場所も本来は「公界」だったようです。
（至る処ろに野辺あり？）
共用の井戸、それが「市井」の「井」とか。
戦国時代とは日本の黄金期…
東アジア経済圏に在って、重きをなして居たようです（鎖国以降、衰退…）。
信長は生まれながらの領主…
それなのに野人にまで目を届かす、あの眼力とはただ事ではあり

ません。
（野人は使える！）
そんな智恵を何処から得たものか？
秀吉に劣らず、信長も“人間好き”な人物だったのでは？
合戦に生きることを天職と心得る世代だったからこそ、生まれた発想なのかも？
（平和に慣れ切った我々から見ると、異常な時代としか見えませんが）（汗）。
世襲で国が保ってるのは、きっと平和な徴るしなんでしょうね（…たぶん）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

１８５）・１８６）

１８５）　モデル。

異性のキャラを操るのは実に難しい。

モデルが有れば、楽かとも思う。

マンガにおいては、よくタレントをモデルにして居る。

手っ取り早いし、もしか憧れの気持ちも混じって居るのかも知れない。

（大人の眼でみると）芸能人のキャラとは作られたものとみえる。

観客の前でだけ演じ切れば好いわけで、ー

いわば”提案”みたいなものである。

ふだん他人前で演じて居るキャラでもって、ー

ドラマの役柄をも演じてみせるわけだから、ー

演技の二乗・・・

おもえば、かなり高度な技を駆使して居るのかも知れぬ。

同性と違って、人間、異性には、なかなか本性など見せはしない。

また、現実のキャラそのままでは、思った程、面白味も出ない。
花が有るキャラというのは、どこかしら現実離れして居るものだ。
そこで、モデルのすり合わせ、という操作を行なうらしい。
いいかえれば「合体」である。
キャラの個性、その拠り所を「ペルソナ」とか称ぶけれど、ー
複数のペルソナを同居させ、融合させて、ー
一体のキャラを新たに作りあげてしまうのだ。
ただし、この作業・・・
数式みたく機械的にはできないと思う。
描いて居るうちに、だんだん洗練、合体してゆくものであろう。
異性が描ける。
それが小説家の勝ちパターンとは聞くけれど、
(勝ちパターンは、成るだけたくさん手の内にしておいた方が好い。)
と、かつて教わったことがある。

なかなか、そう、思い通りにも行かないけれど（焦）。

２０１０年　１２月　３０日　（木）

＊　＊　＊　＊　＊

勝ちパターンですか。

僕は自作品の主人公、圧倒的に異性が多いんです。

書きやすいというのもありますが、自分の理想像をそこに表現しているのかもしれません。

もちろん上手く書けているというわけではありませんがｗ

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメント下さり、ありがとうございます！

現実から一段上へ飛びだすのが、小説のキャラとは思うのですが、ー

わたしの経験では、思春期？の頃は全く現実から離れられませんでした。

やはり想像力が豊かなのでしょうね！聖騎士さんは、ー。

文章をつくるのは知的な作業、妄想にまみれて居たら書けるはず無い。

きっとクールなタイプなのだろうな、と勝手に想像して居ます。

（あのコギャル亜弥のモデルは？…）

理想のだしの素になってくれそうなキャラクター、

そんなヒトとたくさん出会いたいものですねｗ！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

私の周りは天然の宝庫なので、天然キャラはすぐに書けます。

その代わり、悪い人はいないので、本当に悪い人が書けません。

投稿者：神村律子

＊　＊　＊　＊

神村さんコメントありがとうございます！

天然ボケって、ジミー大西から出来た言葉でしたっけ（誰だったかな？）。

あのキャラだけは意識して為れるものじゃないから、貴重ですな。

悪役は、どこへ行ったら見れるかなァ？

（：繁華街？）

ハード・ボイルドな小説を参考にしてみたら？

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

作者が自分を作中の人物に投射するのは良く聞く話です。

自分に思考がそっくりなキャラは、やはり描写しやすいものです

ね。

私が一番難しいと感じるのは、昔の舞台に生きる人々です。
時代背景まできちんと頭に入っていないと、とんちんかんな思考になってしまいます。
世に言う傾奇者に早変わり。

投稿者：小山内瑞穂

＊　＊　＊　＊　＊

麦藁帽子（現・小山内瑞穂）さんコメントありがとうございます！
作者の分身を作品のなかに登場させるのは、誰しも必ずして居るみたいですね！
（ほとんど無意識…）
でも、それだけでは似たようなキャラばかりになってしまうから、限界がある。
（なかにはそのまま走りつづけてみせるヒトも居るようですが…）
（苦笑）。

時代小説なら、やはり目に見えない部分が難しいと思います。
背景や服装やは調べれば何とかなりそうですが…
活き活きと操るには、文化や思想などを把握しないと、始まりません。
昔は講談とか大衆演劇、落語や紙芝居などが身近に息づいて居て、
過去の文化に触れる機会がありましたが、
今は希薄と化して居ますから（遠い眼）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

失礼いたします。

多重人格の人は小さい頃のトラウマから自らを守るため、別の人格を作るのだという。

この別人格を一つの人格だと認めるのならば、

人格とは作り出せるものということにはならないだろうか。

無意識下ではなく、意図的に。

それはちょうど細胞内に取り込んだ、独立したＤＮＡを持ってはいるが、

共存しているミトコンドリアのように。

ミトコンドリアは細胞の完全な支配下にある。

だが、少し考えてみてほしい。

我々のこの器は一体何を運ぶための器だろうか？

細胞の核のＤＮＡ、ミトコンドリアのＤＮＡ、それとも両方。

そして、人格もその性質の一端を受け継いでいくのである。

しかし、人格はＤＮＡと違って形をなさぬ故、別の運ばれ方もする。

文字という媒体を使って人から人へと。

その精神へ入り込み、そこで一つのキャラクターとして存在することができる。

忘却と波がその身を攫うまで。

などと妄想してみるのでありました。

それでは、また。

失礼いたしました。

投稿者：山羊ノ宮

＊　＊　＊　＊

山羊の宮さんコメント下さって、ありがとうございます！
遺伝子・配列が９９％以上同じでも、
スイッチの入り方によって、個人差が生じる、との仮説があります。
もしか人格形成も環境の強制によって、遺伝子のスイッチが入り、確定されるものなのかも？
（脳が指令をだして、眠れる遺伝子にスイッチを入れるとかー。）
片や、
「三つ子の根性、百まで。」
とも言うしー。
人間の脳とは神秘にして玄妙ですね！
（：小説はフィクションだから性格も一定な事が多いけれど…）（苦笑）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

１８６）　謹賀新年。

去年は前半、金魚を書き、後半、耳からを書き出して、暮れてゆきました。

Ｈシーンは１８禁との御触れがでて、あたふたしたのを覚えて居ます。
ラブシーンと濡れ場とは違う。
そんな当たり前の事が、分からなくなって居たようです（反省）。
都会は、いさ知らず、地方では今も平穏を善しとする暮らしが続いて居ます。
（無事是れ名馬。）
力（リキ）まず、そんな気持ちでやって行けたら、と思います。
（マンガへの規制がどうなるかに注目しつつ…）
本年も宜しくお願い致します。

２０１１年　０１月　０１日　（土）

＊　＊　＊　＊　＊
あけましておめでとうございます☆
今年もよろしくお願いいたします。
淡々とマイペースに執筆されるお姿には、いつも尊敬の念を抱いておりました。
今年も楽しく、小説と関わっていきたいですね。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さん、本年（平成廿三年）初コメント有り難うございます！
今は昔、お世話になった方が亡くなったりすると、その一周忌に記念として、

「遺歌集。」
を出す慣ひがありました。
和歌だとかさ張らないし、飽きが来ないので、故人を偲ぶよすがとしたのです。
世に出るのは当人が世を去ってからー
無論、本人の眼に触れることはありません。
そんな昔を想えば、
他人さまに、こうして読んで貰えるというのは、有難きことかな、としみじみ思い返されます。
もう、すでに世に出た気分ですよ！
（：いい時代になったなァ）（大喜び）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
明けましておめでとうございます。
今年もどうぞよろしくお願いします。

投稿者：河　美子

＊　＊　＊　＊　＊
明けましておめでとうございます！
河さんコメント頂き、ありがとうございます。
風のささやき、昨年中は、ひそかに楽しませてもらいました。
（スーパー銭湯、知ってますよ！わたしは、ー）

今年は彼の空海が映画になるとかならないとか。
また、四国地方が話題になりそうですね。
今年も宜しくお願いします。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
あけましておめでとうございます。
今年もよろしくお願いします。

あの条例は東京だけなんですよね？
ならば、創作者の皆さんは、埼玉か神奈川かあるいは群馬で活動するヨロシ（と中国人風に）。

投稿者：神村律子

＊　＊　＊　＊　＊
明けまして、おめでとうございます。
神村さんコメント頂き、有り難うございます！
今年の焦点は、やはり東京都の条例がどうなるか？ですな。
少なくとも、中学生までは義務教育でもあり、性的な表現からは外すべきかと考えます。
しかしながら、高校生は微妙ですね。
性行動に対する理解をもたせなければならぬ年齢ではあるし、ー

徒らに理想視しないよう、免疫をつけて行かねばならぬのも、確かです。
（ロリータ・コンプレックスの蔓延は今、世界的な問題なんですよね。）
外圧には違い無いですが、日本人の良心が問われて居ます。
（：扱いが難しい問題ではありますが。）

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊
あけましておめでとうございます。

条例は必要だと思います。
ただやり方と発言がマズかった。
あれはダメであります。

卑しい？

ダメですね。ダメです。

それはさておき、今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊　＊

明けまして、おめでとうございます！
そうじさんコメント寄せて下さり、ありがとうございます。
こう利害が錯綜しては、遅きに失した感も否めません。
初めは写真誌でした。
児童の写真なら性的表現に当たらない、としてノーカットで売り出したのです。
それに法の網が掛かると、今度はアニメで児童のノーカットを売りだしました。
当時は未だアニメーションにその種の法律が無かったので。
すぐに規制が入りましたが、全ての出版活動を監視することは、物理的に不可能です。
よって、これまで業界の自主規制に任されて来たのです。
いわば現状は、法律はあれども見て見ぬふりをして居る状態。
性器は伏せてありますが、性表現自体は野放し状態と化して居ます。

ただ、都知事のやり方は拙速にて、合意形成を行なうには、もっと手間と時間を掛けるべき。
日本は歴とした民主主義・国家ですからね！
（・・犯罪者とは氷山の一角、その陰にはすでに予備軍が多数、発生して居るはず。）
手続きを踏む心掛けだけは忘れて欲しくないですね（・・政治家にも居ますが）。
どう推移するのか、しっかり見守りたいと思います。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

あけましておめでとうございます。
今年もよろしくお願いします。

条例の改正、第一人者との話し合いの場を持たぬは
若かりし彼が嫌ったはずの傲慢さが鼻に付き、何とも皮肉。
今の彼の方は作家に非ず、政治家なのでしょうね。
名馬と聞き、老いては麒麟も、という格言を思い出しました。

さておき十二月から、耳から草子拝見しております。
日本語とは何と妙なる言葉かと感嘆するばかり。
外国の方が覚えるのに苦心するのも肯けますね。

投稿者：本倉　悠

＊　＊　＊　＊　＊
明けまして、おめでとうございます！
本倉さんコメント寄せて下さり、ありがとうございます。
去年は書いてばかり居て、読ませてもらうのが御留守になって居ましたが、ー
今年からは、また小説狂？の本領に返ってみたいと思って居ます。
（ゲーム・ファンタジーの分野は、新しい分野なので、興味が湧きます。）
かつては「噂を聞く」という行動が無かったのですが、ー
「北斗の拳」だったか、それが採用されて、ー
以後、急に、ＲＰＧの世界が広がったような気がします。
（それまでは宝さがしをメインとする迷路？パズル？ゲームとなイメージでした。）

あの「耳から」を思い着いたきっかけは、
「旅」＝「他・火」
と説いた、折口信夫の意見を読んだときです。
民俗学の第一人者が未だ草創期とは謂え、如何にも特殊な仮説を展開して居る。
（もっと一般的な方法論は無いものだろうか。）
ということで「子供の分際」へ注目してみたのでした（種明かし）。
（かつては「目に一丁字もねぇ。」という大人がたくさん暮らしてましたから。）

彼の石原・都知事は裕次郎の実の兄というコトで、文句なく人気が有るヒトです。
裕次郎が駆けつけて一言「頼む！」と謂えば、それでみんなが彼へ票を投じたものです。
その伝にて政界を渡って来たので、根っからの政治家ではありません。
ただ、裕次郎の余恵で、今も影響力は保って居ると思われます。
（東京の住人なら「べらんめぇ調」が好きなのも、確か。）
戦中派・世代というのも、あるかな？
（壊し屋、なんでも反対に賛成、周りが抵抗すればするほど燃え上がって頑なになる。）
一種の個性、時代を象徴する人物には違いないかも？
（たとえ正論であっても、手続きを踏まなければ、世の中には通らない。）
その見本のような事例ですな（生きた教本？）。

投稿者：午雲

*

*

*

*

*

１８５）・１８６）（後書き）

１８６）より、平成二十三年（２０１１年）に突入。

１８７）・１８８）

１８７）　初夢。

吉夢なら黙っておくと叶う。

凶夢なら話してしまうと払う。

ただし、夢は売り買いできるとか。

「売ります。」

「買います。」

と誓い合った後で話すと、聞いた相手へ夢の験（しる）しが現れるとか。

その代わり、相手はそれに見合う代価を夢の主に与えなければなりません。

（かけがえのない程、大切な物を差し出すと一層倍、効き目が増すとか。）

壱富士・弐鷹・三なすび。

なぜ、なすびが初夢にて吉祥とみなされるのか？

その縁起は、未だ不明です（謎）。

２０１１年　０１月　０３日　（月）

＊　＊　＊　＊　＊

なんかそのネタでファンタジーかホラー書けそうな気がしますねｗ
午雲さんぜひ書いてください！

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊

聖騎士さんコメントを頂き、ありがとうございます。
実は吉夢を買う話しは歴史上、たくさんに残って居るので、リアルにても起こるようです。
（たぶん伝説だとは思いますが…）。
ちょっと玉の輿・占いって感じですが（夢のお告げ？。）

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１８８）　目をつぶる？

まぶたを閉じること。

それを「目をつぶる。」と言う。

片や、まぶたを開ければ、

「つぶらな眼」

と為る。

「円い」＝「つぶら・な」

というのは、文語でしか遣わない風だが、ー

「閉」と「開」とは、対義語・・・

それを考えると、

（・・どちらかがおかしい。）

とか思われる。

動詞「つぶれる」

この「つぶ」なら、

「粒。」

ともみえる。

「粒」と「丸」・・・

「丸」と「円」・・・

したがって、

「粒」と「円」となら、縁語と謂えよう。

別に、

「円」＝「まどか・な」

その昔、ー

建て具の「窓」と謂えば、

（円く切る。）

のが、仕来たりであった。

飾り窓のデザインとして、

「円窓。」

が、大陸の王宮で流行したからであろう。

今日頃は、

「窓」＝「四角形」
なので、意味が直感しづらく為って居る。
「つぶれる」＝「角が取れる。」
と読めば、
「つぶ・る」＝「円くなる。」
とも読めそうだ。
ごつごつした岩も、川を下って居るうちに、ー
川床の砂に洗われて、丸石と成る。
そんな様子が、
「つぶ・る」＝「粒る。」
かとも想う。
「目をつぶって、よく視よ！」
初めは、そんな言い方だったものが、
「つぶ」＝「つぶ・す」

このイメージが強くなって、

「目をつぶ・れ！」＝「見るな！」

とな意味合いに為り替わったものか。

あるいは、

「まぶたを伏せる。」

目を閉じることを、そうも言うから、

「まぶせ。」（目伏せ。）

「ま（つ）ぶせ。」（助詞「つ」＝助詞「の」）

この「つ」が現われでて、

「つぶ・せ」＝（目を閉じる仕草。）

とか言い慣わすように成ったのかも知れない。

「まぶし」なら「眩し」・・・

「まぶせ」なら「塗せ」・・・

「まつぶせ」なら「待つ伏せ」・・・

こう意味合いが紛れるので、

「（ま）つ・ぶせ。」

つまり、

「（目を）つぶせ。」

とか、わざわざ言いだしたのではなかろうか。

（動詞「伏す」の名詞形「伏せ」と見て。）

「つぶる。」

とは、

「つ伏る。」（＝まつぶせ・る。）

と宛て字してやるのが、ー

実は、本来の相なのかも知れない。

（すると今度は「つ伏る」と「円ら」とが図らずも？・・・）（仮説）

。

追記。

眼に物が当たれば、反射的に目を閉じる。

「眼がつぶるる心地こそすれ！」

そこから誤用して、

「目をつぶる（る）。」

という言い回しが生まれでたものか。

本来なら、

「目をつぶ・らふ。」

あるいは、

「目をつぶさるる。」

とか言うべき処ろだけれど。

また、

「まぶたを閉じる」＝「目を閉じる」

「まぶたを伏せる」＝「うつむく」

ただし、

「まつ毛を伏せる」＝「目を閉じる」

自ずと、そんな比喩と為る。
（涙をこぼすシーンが多い。）
すると、
「まつ毛・伏せ」＝「まつ（毛）伏せ」
ここから、
「つぶせ」
「つぶせ・る」
「つぶる」
と移り替わったのかも知れない。
（・・誤用のせい？）（予感）。

追記。
「つぶら・な」＝「つぶら・ぬ」
（否定の助動詞「ぬ」。）
（声「ぬ」から「な」へ転化。）
まさか、

「つぶり眼」＝「閉じた眼」
「つぶらな眼」＝「閉じて居ない眼」
（肯定形と否定形。）
そんな本意ではあるまいな（・・有り得る）？
（すると、これ、かなり新しい詞なのかも知れない・・）（不明）。

２０１１年　０１月　０４日　（火）

＊　＊　＊　＊　＊
なるほど、そうかあ。
面白いなあ。
言葉にこだわる午雲先生、尊敬します。

投稿者：河　美子

＊　＊　＊　＊　＊
河さん早速コメントを頂き、ありがとうございます！
彼の「源氏物語・絵巻」に見得るように、ー
平安・貴族界の美形とは「引き目・鉤ぎ鼻」・・・
つぶらな瞳とは、かえって由々しき顔つきだったのかも？

（・・今や小説には欠かせぬ詞ですけど。）
まつ毛の「つ」が、古き助詞「つ」の例なのでしょう。
（・・宛て字には何が好いものか？）（考え中）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
「つぶる」と「つむる」はどっちが正しいのでしょうね。
「目をつむる」という言い方も一般的ですよね。
「つぶらな瞳」は「粒のように小さくてかわいい」という意のような気がします。

言葉を考える時には方言や語源って本当に大事ですよねぇ。
今日も勉強になりました。
ありがとうございました。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊　＊
聖騎士さんコメントを入れて下さり、ありがとうございます。
「ぶ」と「む」とは交替・可能・・・
すなわち通音する関係にあるので、ー
どちらも正解です（旧・新の順序は存るかも？）。

そう、粒は宝石とかも連想させますね！
（眼の玉を何か宝石にたとえることも多いし・・。）

ホントは「まぶたを伏せる」と、ー
しぜん、うつむいてしまうので、
「しょんぼりする。」
という意味合いに用いるようですが。
（・・昔のコトはいざ知らず・・・）（注）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
黄泉津比良坂（よもつひらさか）や黄泉津大神（よもつおおかみ）などの場合、
「津」は「の」の意ですが、
その「つ」はどんな「つ」なのでしょうね。
先例どおり、「まつげ」は「目（ま）の毛」だと思いますけど。

投稿者：神村律子

＊　＊　＊　＊　＊
神村さんコメント寄せて下さり、ありがとうございます。
この古助詞「つ」には、やはり悩まされますな。
同格を示す「つ」というのなら、解かり易いのですが。
「Aと謂うB。」
「つ」＝「ちゅ」
つまり、
「つ」＝「ちゅ（う）」＝「〜という」
（大阪弁には今も有り。）
でも、用例をみると、必ずしも「同格」とは限らないしー

いったい何処から来たものやら（超・難解）？
発見した方に、国民栄誉賞をあげてほしいです（是非っ）！

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊

１８９）・１９０）

１８９）　日と火。

火を起こすなら、火打ち石。

摩擦熱よりか手軽である。

ところが古代にはすでに、ー

日光から火を起こす術が見出されて居たという。

ほら、虫めがねに透かして焦点を合わせれば、ー

火が立つ事を誰しも一度は聞いて知って居るであろう。

どうやら、その術を、遥か昔に用いたる痕跡が見得るらしい。

その道具とは鏡である。

磨けば、レンズよろしく凹面鏡にも凸面鏡にもなる。

これに日光を反射させて、火を取って居たらしいのだ。

（鏡とは片面なので、双方から合わせ鏡したものか？）

日と火とが訓んで同じく「ひ」な由縁とは、ー

遠く、この辺りに有るらしい。

彼の出雲大社に於いては、

「出雲の国造（コクソウ）。」

と名乗る者が住まい、

「火継ぎ。」

という行事を続けて今に至るらしい。

神社を建立する際、

「分霊。」

という儀式を行なうけれど、ー

そのとき、神さんの御魂と見立てるのが、ー

実は、この「火」である。

オリンピックの聖火よろしく、ー

火継ぎの火を分かちて、そこへ移すのだ。

火打ち石では無く、日の光から取った火だからこそ、ー

そこに、霊性を見るのであろう。

鏡が神器とされ、古墳からも出土するのは、

「日光から火を取る術。」

その存在のしるしとか推して思われる。

（日継ぎと書いても火継ぎと書いても、同じ事。）

鏡と、その術とは、ー

天然の火しか知らぬ人々の眼には、

「・・魔法だ！」

と映ったのに違い無い。

ただし、それは秘術として守り伝えられ、ー

代々、他者の目には伏せられて来たので、

「火継ぎの式。」

なるものが、伝統として今に遺ったのであろう。

（漢字「鏡」＝古音「ｋｙａｎ」とか。）

（英語「ｃａｎ」＝音「ｋｙａｎ」だが、はて？）

卑弥呼と鏡・・・

この術を想うとき、

（・・確かにお似合いだな。）

とも思われて来る。

（汗ひとつかかず、光を火に変える術ではあるし・・。）

２０１１年　０１月　０５日　（水）

＊　＊　＊　＊

「卑弥呼」は「火見子」とも書けますねｗ

なかなかに奥深い考察です。

勉強になりました。

ありがとうございました。

投稿者：聖騎士

＊　＊　＊　＊

聖騎士さん早速コメント下さり、ありがとうございます！

実は白川静博士が甲骨文字から考察して、

「火を戴く人の形とは、鏡による発火・術を表わすものか。」
と述べて居られるのです。
（たとえば「光」＝「火を戴く人」と見えます。）
ちょっと、鏡をどう使えば火が起こるのか、くわしい事は、よくわからないのですが。
姿見として喜んで居ただけでは無いはず・・とか、わたしも思います。
（ヒミコの「ヒ」は、きっと「火」か「日」でしょうね！）

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
日からは易という変化を表す言葉も残ってますね。
昔の人も日の色合い、動きを見て不思議に思ったのでしょうか。

卑弥呼と言えば何故女王に「卑」という貶めるような漢字が使われたのか。
大国の魏が小さな島国の女王を卑しめた名が残ったのでしょうか。
もしかしたら、邪馬台国ではその漢字ではなく、
本当に日見子（神子）で通っていたかも知れませんね。

投稿者：本倉　悠

＊　＊　＊　＊　＊
本倉さんコメント下さり、有り難うございます。
農耕民族の場合なら、太陽・崇拝は芽生えて当然かと思われます。

漢字「畑」などみると、稲作以前に「焼き畑」農法をやって居た感じですが。
辺境の諸民族へ卑しめた文字を宛てるのは、大陸の慣例にして、やはり中華思想の現われなのでしょう。
「卑しい奴っ子さん。」
音写の裏に、そんな意味が見て取れます。
（あの時代に魏の地まで出掛けただけでも凄い事。）
そう考えると、女王・卑弥呼も相当な富と権力を保持して居たのでしょうね！
（史書に録すということは、それなりの行列を整えて居たはず…。）
卑弥呼の鏡を見つけることが先決かな（銘が入った鏡とかだと分かり易いのですがー）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
古代の日本語では、「日」と「火」は発音が違ったらしいです。
詳しい事は……。わかりません（泣）。

投稿者：神村律子

＊　＊　＊　＊　＊
神村さんコメント入れて下さり、ありがとうございます。
うむ、ほむらとかほのおとか「ほ」と訓む説が有力ですな。
光にまつわる擬音語に「ピカ」もあるし、あるいは日は「ぴ」と

呼んで居たか知れません。
しかし、子音をみれば「h」で共通…
例の母音・交代が起こって居るのかも知れません。
（場所によって「ぴ」とか「ほ」とか色々に呼んで居たのかも？）
謎は尽きません。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

１９０）　ばさら？

バサラと謂えば、カブキ者のこと。
室町時代にうまれた言葉とみえる。

奇抜にして派手な格好。
奇をてらう。
派手を競う。
この衒（てら）う心意気を、
「衒気（ゲンキ）。」
と言った。
「見栄を張る意気をだせ！」
それが「元気」の本の意味かも知れない。

ばさら
かぶき

だて

衒気者を指して、時代が下るに従い、こう呼び囃す。
派手といえば、室町時代、猿回しという芸能がもてはやされた、
という。

猿に派手な衣装を着せて、狂言などしてみせたものか（腹話術みたいな感じで）。
これを手本として、
「ばさら者。」
が世に出でしものと予感する。
「わざとに猿真似してみせる。」
という処ろに、かえって不敵なまでの自信が垣間見える。

「ばさら」＝「ま・さら」
「ま・さら」＝「ましゃら」
「ましゃら」＝「まし・や・ら」
「ましやら」＝「ましら・や」
ここにみえる「ましら」とは「猿」の異名…
（あれは猿回しの猿か？）
そんな気持ちが、
「ましらや」
並べ替えて、
「ましやら」
にして、
「ちょっと隠さないと不味い。」
ということで、
「ばさら。」
と暗黙の符丁、合い言葉として、だれぞやが言い出したのであろう
（小説的想像）。

２０１１年　０１月　０９日　（日）

＊　＊　＊　＊

バサラってカブキ者のことだったんですか！？
一行目からびっくりです（笑）

ああ、戦国ＢＡＳＡＲＡってそういうことか。
じゃあ日産ＢＡＳＳＡＲＡはどういうコンセプトでつけたのだろう……

そしてよもやここからおさるさんが繋がってくるとは。
今回は驚きっぱなしで終わりました（笑）

投稿者：そうじ　たかひろ

＊　＊　＊　＊

そうじさんコメントありがとうございます。
日光・猿軍団を見て居ると、猿回しがどんな芸能なのか想像がつきます。
猿真似って言葉が猿回しから来てるのなら…
秀吉が猿とあだ名されるのも、奇抜な格好を好んだからでは？
（まだよく分かりませんが）（汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
ばさら
かぶき
だて

……縦読みすると『ばかだ』になりますね！w

確か、バサラ自体は見栄をはったりする武士の気風そのものも言いますよね。
流行り始めたのは室町後期かな？

投稿者：小山内瑞穂

＊　＊　＊　＊　＊
麦藁帽子（現・小山内瑞穂）さんコメントありがとうございます。
強者が奇をてらう処ろがバサラの条件みたいですね！
かぶきはかたぶく「傾向」と宛てますが、ー
傾には首をかしげる意味もあるので、
「かしげ」＝「（お）かしげ」
とな意を含むか知れません。
たぶん褒め言葉じゃないです。
武士の世間にては、馬鹿にしてるというのが本音なのかも？

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊
ゴメン。

＞ばさら
かぶき
だて

のところで思わず吹き出したんだけどｗｗ。
これってわざとだよね！？ｗ。
もし違うなら、せめて順番を変えて欲しかったｗｗ。
え？　なぜだって？
それはこの三つの単語の頭文字だけを、縦読みすれば解かるｗｗｗ。

＞そうじさん
バサラは、荒くれ者とか暴れ者的な意味合いもあるからではないでしょうか。
ざんばらとかさ。
戦闘意欲的な心意気もそう呼ばれてるみたいですから。

あ、一足先に麦ちゃんから感想入れられてる！！

……

……ｏｒｚ

投稿者：妃宮　咲梗

＊　＊　＊　＊　＊
妃宮さんコメントありがとうございます。
戦場に於いて目立つことは的にされやすくなる行為…
いわば自殺行為なのですが、それを敢えてやってみせる処ろが、
バサラのバサラたる由縁と思えます。

「さむらいとは（合戦の場にて）死ぬる事と覚えたり。」

葉隠れに見える、この心構えが遠くバサラの心意気かな？
（：気合いが違うと思う）（冷や汗）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊
どっ、どうして「ばかだ」の縦文字に触れないの！？
放置！？
スルー！？
うわああぁぁぁ～～～～ん！！
このばかがああぁぁぁ～～～（泣きダッシュｗｗ）。

投稿者：妃宮　咲梗

＊　＊　＊　＊　＊
いや、あの縦て並びは偶然だと思いますけど（焦）。
かぶき踊りは戦国時代、出雲の御国が男装して、艶っぽい踊りを

してみせたのが始まりとか。
それが何時の間にか、女人禁制の芸能と成り替わって居るのは、思えば不思議ですな。
（女ながらに武芸達者な者を男の助と称ぶ慣らいがあるとか。）
かぶきとは最初、男装せる女人を奇として生まれでた言葉なのかも？
（バサラとはちょっと違う言葉だったか、もの好きみたいな意味でー）（う～む）。

投稿者：午雲

＊　＊　＊　＊　＊

ＰＤＦ小説ネット発足にあたって

ＰＤＦ小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は２００７年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にＰＤＦ形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのＰＤＦ小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能（たんのう）してください。

この小説の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n9579k/

さえずり日誌（自分用）。

2011年10月11日12時57分発行